

岐する。主郭は東西20m、南北10mの楕円形を呈し、幅4~10mの腰曲輪をめぐらせる。主郭西側にも東西16m、南北10mの曲輪がある。そこから尾根筋へは堀切で遮断する。

68 明智坊旧跡の碑（遺跡番号21217-00079）

神岡町吉田字洞に所在し、高原川の支流吉田川左岸の河岸段丘に立地する。

市史跡に指定されている。大国寺が神岡町西に移る以前には吉田に所在していた。その顕彰碑として元禄年間に建てられた石碑である。

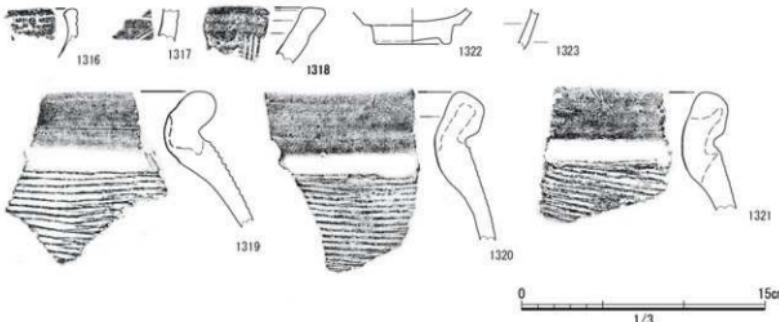
69 森茂遺跡（遺跡番号なし）

神岡町森茂に所在し、高原川の支流跡津川に注ぐ森茂谷川左岸の河岸段丘に立地する。

遺物は、耕作の際に採集されたもので、「昭和40年」「昭和52年」という採集年が記載されているものもあった。縄文土器2点、珠洲焼12点、近世陶器4点、時期不明陶磁器3点、合計21点であり、今回は縄文土器2点（1316・1317）、珠洲焼4点（1318～1321）、近世陶器2点（1322・1323）を図示した。

1316は内湾する口縁部の破片である。半截竹管状工具により、2本の半隆起線の間に蓮華文を施す。北陸系新崎式に比定でき、縄文時代中期前葉のものと推定される。1317は横位に矢羽根状沈線を施文する。1318は珠洲焼すり鉢である。口縁端部は水平に近く、断面三角形を呈する。珠洲IV期の14世紀代のものと推定される。1319～1321は珠洲焼の甕である。1319は、口縁部がくの字状に短く屈曲し、端部は断面がやや丸みを持つ四角形を呈する。1320・1321は、口縁部がくの字状に短く屈曲し、端部は断面四角形を呈する。1319～1321は、いずれも珠洲IV期の14世紀代のものと推定される。1322・1323は近世陶器である。

縄文時代と中世の遺物が過去に採集されていた。飛騨と越中を結ぶ交通の要所であり、古くから人々の営みがあったものと推測される。しかし、採集された方からの聞き取りでは、採集場所は字清水垣内と字谷川の2ヶ所で、少し離れているとのことであった。このため、現状では遺跡登録しないこととする。



第129図 森茂遺跡遺物実測図

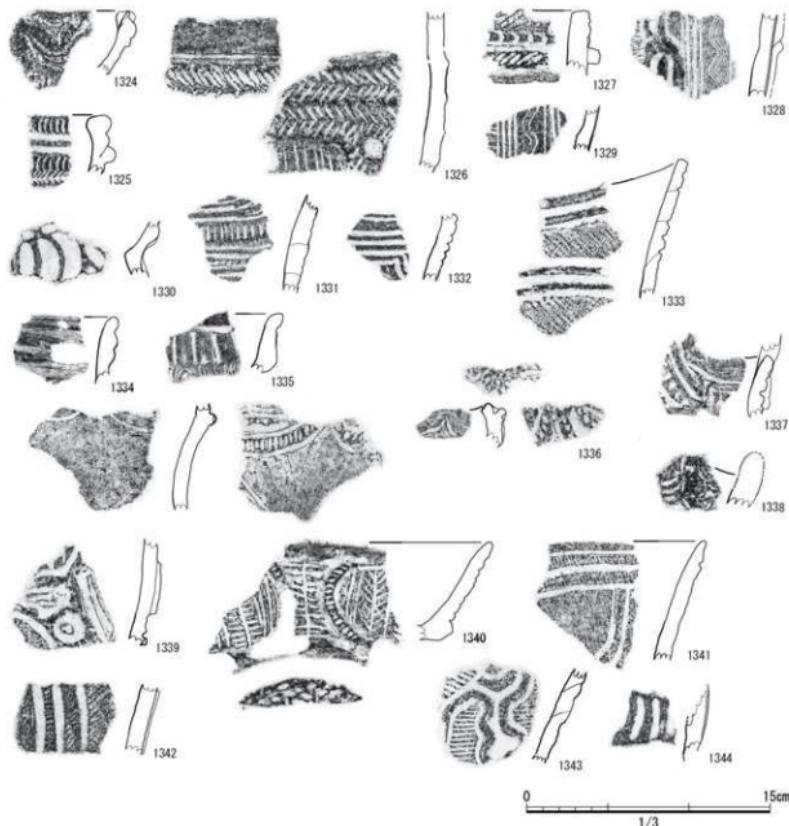
70 やなぎさこ遺跡 (21217-00066)

神岡町船津字神成に所在し、高原川の支流山田川左岸の河岸段丘に立地する。

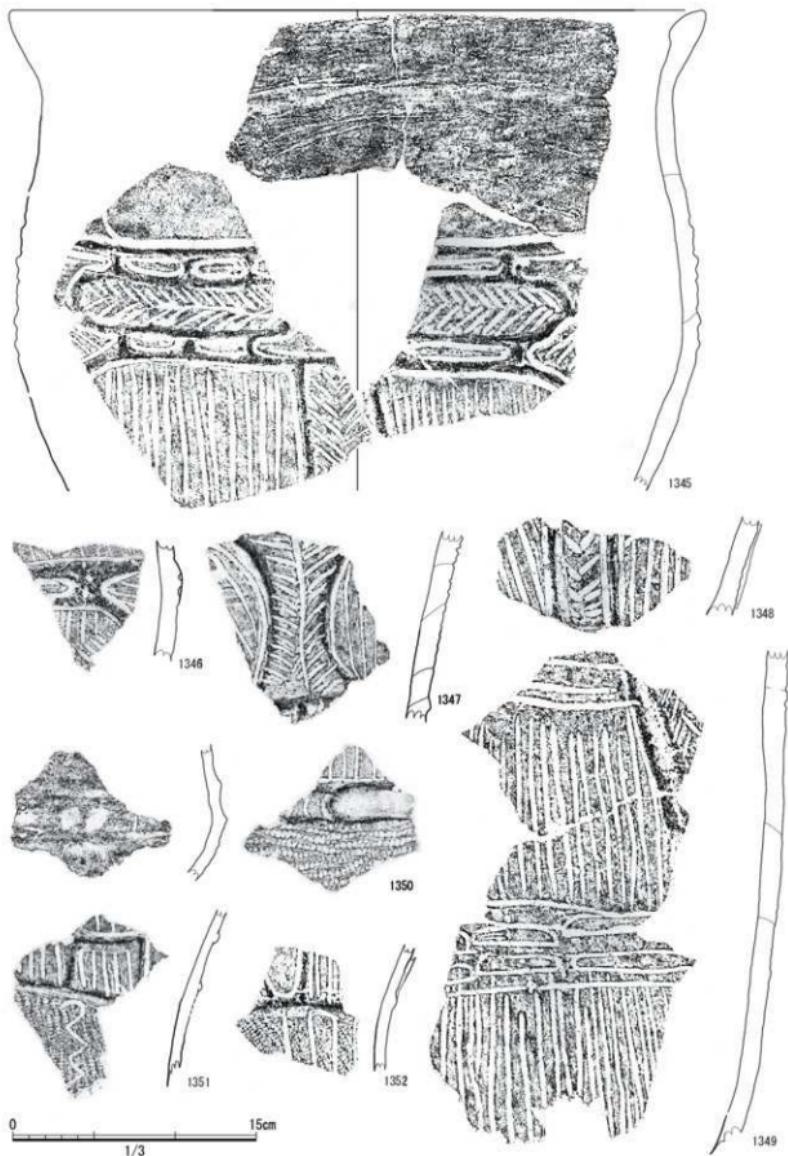
かねてより石冠の存在が知られていた（中島 1983、高山市教委 1987）。『神岡町史通史編Ⅰ』で多くの遺物が紹介され、中～後期にかけての時期と判明し、土偶の存在も知られる（飛騨市教委 2009）。

踏査では、日当たりが良い河岸段丘に遺物が散布する状況を確認した。

遺物は、縄文土器 20 点、須恵器 2 点、灰釉陶器 2 点、石鐵 1 点、UF4 点、剥片 22 点、磨石 1 点、金属製品 1 点、合計 53 点を採集した。また、耕地造成時に見つかった遺物や、耕作時に耕作時等に見つかった遺物の寄贈を受けた。今回は、縄文土器 67 点（1324～1390）、土製品 2 点（1391・1392）、石器・石製品 14 点（1393～1406）を図示した。

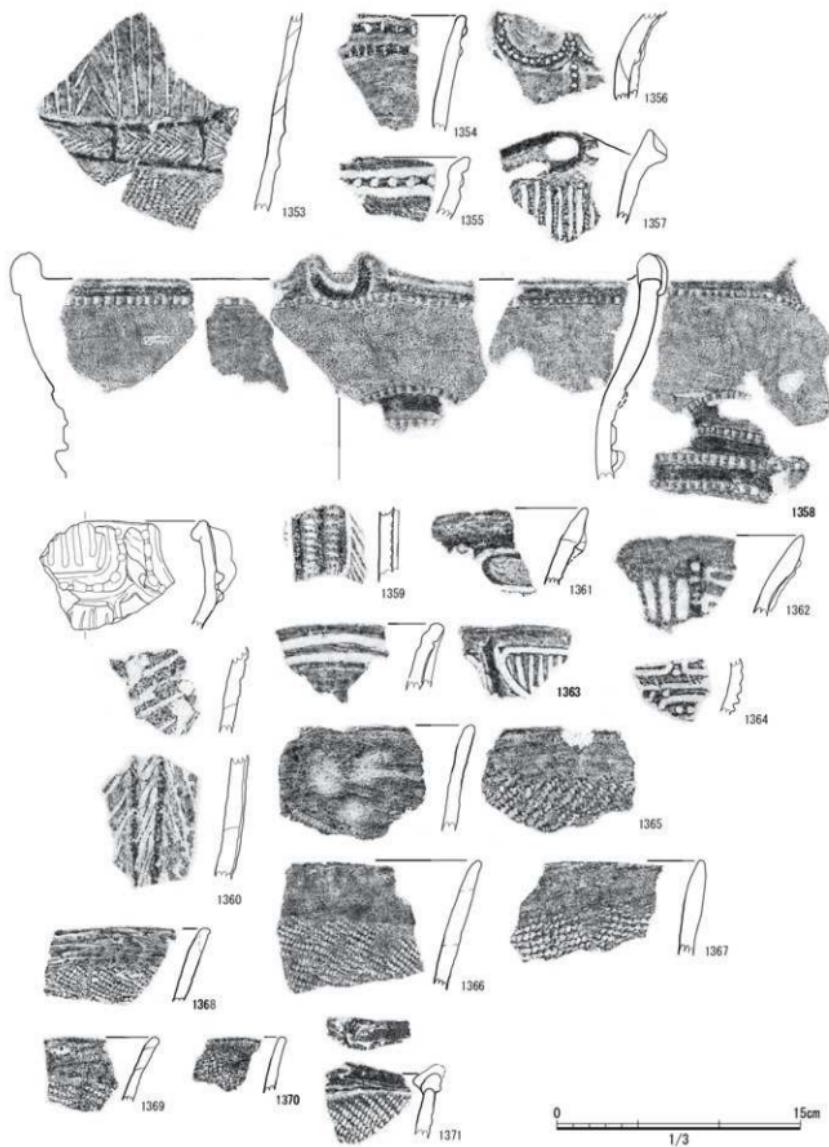


第 130 図 やなぎさこ遺跡遺物実測図 (I)

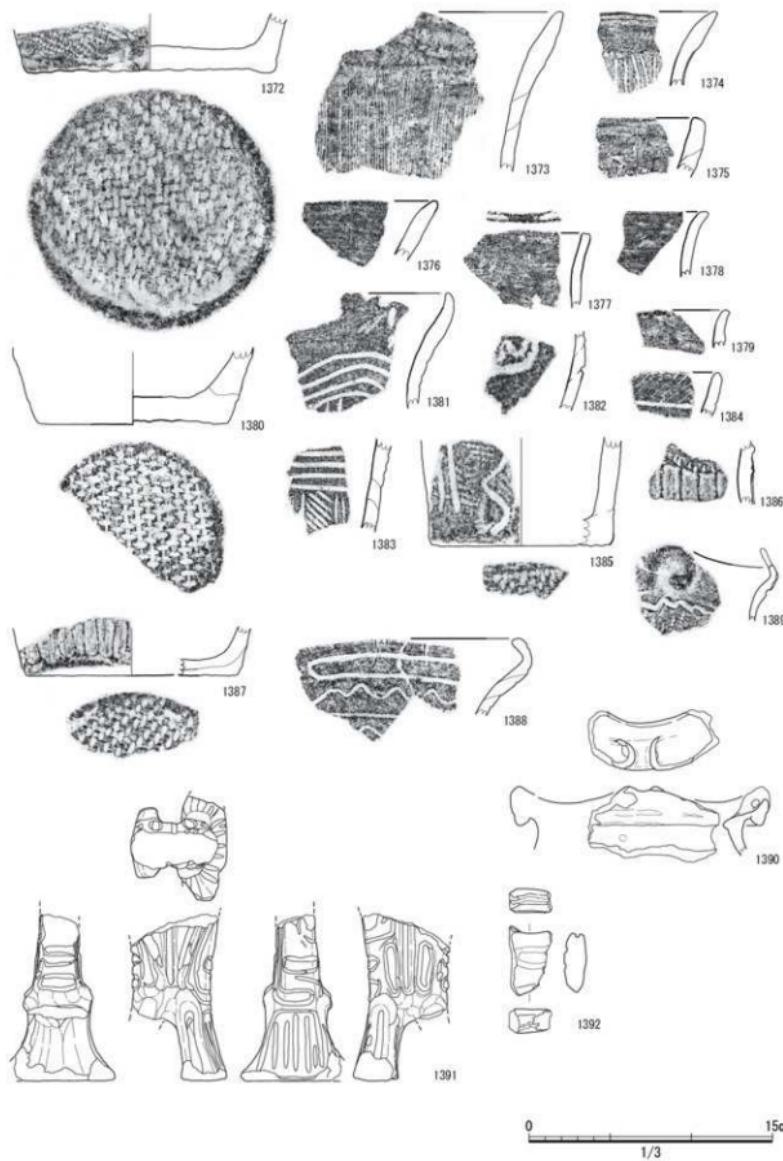


第131図 やなぎさこ遺跡遺物実測図(2)

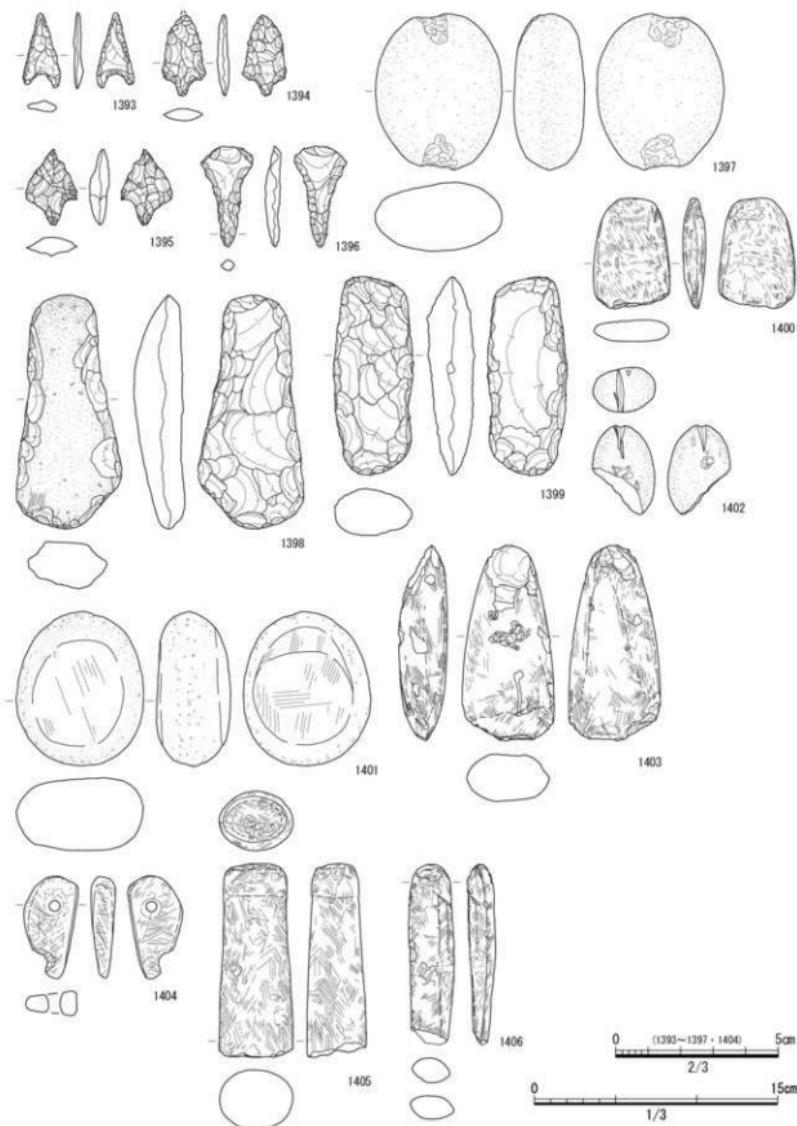
1324・1325はキャタピラー文に連続刺突による三角押文が伴い、新道式期の縄文時代中期前半のものと推定される。1326は隆帶上に綾杉状文、1327は隆帶脇に広い間隔のキャタピラー文と隆帶上にキザミを施す。1328・1329は同一個体であり、隆帶脇に波状文を施す。1326～1329は藤内式期の縄文時代中期前半のものと推定される。1330はキャリバー器形の胴部破片であり、縦位隆帶による施文が認められ、唐草文系第1段階期の縄文時代中期前半のものと推定される。1331・1332は連続した半截竹管状工具により施文する。1333は縄文を地文とし、横位の半截竹管状工具による半隆起線で施文する。1334・1335は幅広の半截竹管状工具により施文する。1331～1335は、古串田新式期の縄文時代中期中葉のものと推定される。1336～1340は口縁部直下に隆帶による施文を施す。1341・1342は沈線により施文、1343は隆帶と沈線により施文、1344はハシゴ状沈線により施文する。1336～1344は串田新式期の縄文時代中期後葉のものと推定される。1345～1348は同一個体の可能性がある。口縁部直下に無文帶を有し、胴部の張り出す部分に隆帶による楕円区画内に綾杉状沈線と縦位沈線による施文を施す。1349は胴部中央に工字状沈線文帶を有し、その上下を縦位沈線で施文する。1350は屈曲する胴部破片である。屈曲部に隆帶による工字状文を施し、胴上半部は縦位沈線、胴下半部は縄文を施す。1351～1353は同一個体の可能性が高い、外反する胴部破片である。胴部中央辺りの隆帶による区画施文帶を境に胴上半部に縦位沈線と矢羽根状沈線、胴下半部に縄文と沈線による施文を施す。1354～1357は口縁部周辺の破片である。隆帶と隆帶上のキザミや指頭押圧により施文される。1345～1357は串田新式期の縄文時代中期後葉のものと推定される。1358は外反する器形で、口縁部はゆるく内湾する。2単位のU字状双頭突起を持つ。隆帶脇に加飾を施す。U字状双頭突起を根拠に、串田新式期のものと考えた。1359は隆帶間のハシゴ状沈線と矢羽根状沈線を根拠に、串田新式期のものと考えた。1360は口縁部が内湾し、端部が強く屈曲する。隆帶と沈織により施文され、信州系唐草文系土器第3段階の縄文時代中期後葉のものと推定される。1361～1363は外反する口縁部に隆帶と沈線により施文される。1362のように隆帶上に円形刺突を施すものもあり、1364はその胴部破片と考えた。1361～1364は在地の縄文時代中期後葉のものと推定される。1365～1371は地文を縄文とする土器である。1365～1370は外反する口縁部破片である。1367の口縁部は肥厚し、縄文時代中期後葉のものと推定される。1371は突起を有する。1372は2超2潜1送の網代压痕が遺存する。1373～1375は条線を地文とする土器である。1373・1374は口縁部が肥厚・外反し、在地の縄文時代中期後葉のものと推定される。1376～1380は無文土器である。1376～1379は外反する口縁部破片である。1376の口縁部は肥厚し、縄文時代中期後葉のものと推定される。1377は口唇部に沈線を施す。1380は2超1潜1送の網代压痕が遺存する。1381～1384は沈線により施文する口縁部周辺の破片である。1385は胴下半部破片であり、地文を縄文とし、沈線による波状懸垂文が認められる。1381～1385は前田式期の縄文時代中期末葉のものと推定される。1386は頬ぐびれ部の破片であり、波状に列点文と縦位微隆起線文を施す。1387は微隆起線文を施す底部破片であり、2超1潜1送の網代压痕が遺存する。1386・1387は岩崎野式期の縄文時代中期末葉のものと推定される。1388・1389は口縁部が強く内湾し、沈線により施文される。気屋式期の縄文時代中期前葉のものと推定される。1390は壺型土器である。口縁部内面にハシゴ状把手を有し、串田新式期の縄文時代中期後葉のものと推定される。1391・1392は土偶である。胸部より下半が遺存し、右脚部は欠損する。全面を沈線と隆帶により施文する。左脚部の爪先の長い方を正面と判断した。1392は土偶肩部の破片と判断した。沈線による施文がある方を正面と考えた。



第132図 やなぎさこ遺跡遺物実測図(3)



第133図 やなぎさこ遺跡遺物実測図(4)



第134図 やなぎさこ遺跡遺物実測図(5)

1393～1395は石鎌である。1393は凹基無茎鎌、1394・1395は凸基有茎鎌である。1396は摘み部を有する石錐である。1397は打ち欠きにより紐掛かりの部分を作出した石錐である。1398・1399は打製石斧であり、1398の表面には自然面を残す。1400は小型の磨製石斧であり、製作時の敲打痕と研磨痕が顕著である。1401は表裏両面に磨痕が残る磨石である。1402は表裏両面に敲打痕が残り、切目石錐としての使用を終えた後、敲石として転用したものと推測される。1403は表面中央に敲打痕があり、磨製石斧を敲石に転用したものと推測される。1404は珪質凝灰岩製垂飾である。下部を一部欠損する。表裏側面に荒い研磨痕が目立ち、別製品を再加工した可能性がある。1405は石棒である。頭部に敲打痕が残り、全体によく研磨されている。頭部を敲打による作出し、研磨で仕上げたものである。小型石棒であり、縄文時代後期のものと推定される。1406は断面が鏡状に観察できるため石刀と推測されるが、頭部の状況などから未製品と判断した。

縄文土器は、縄文時代中期から後期が主体となる。須恵器・灰釉陶器も4点採集しているが図示しない細片であり、やなぎさこ遺跡は縄文時代の散布地と考えられる。

71 吉田なかど洞遺跡（遺跡番号 21217-00087）

神岡町吉田に所在し、高原川の支流吉田川に注ぐなかど洞左岸の緩斜面に立地する。

縄文時代晩期のものとされる刻文入両頭石棒や、環状石斧、縄文土器の存在が知られる（岐阜県1972、高山市教委1987、飛騨市教委2009、吉朝1992a）。調査カードには、吉田白山神社の所在する同一段丘で、神社南側に位置する。下段の段丘に位置する野尻遺跡と別遺跡とされている。

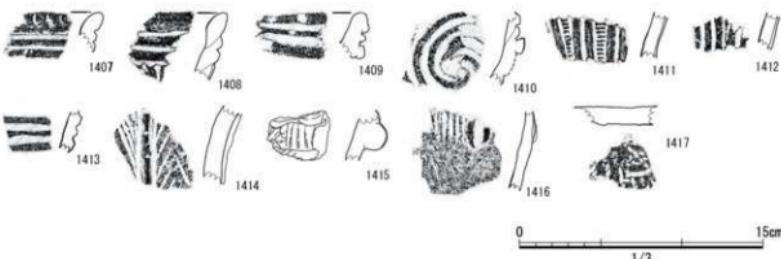
踏査では、遺物の散布が認められなかった。吉田なかど洞遺跡と野尻遺跡の関係、及び位置・範囲についての新たな見を得ることはできなかった。なかど洞は白山神社北側の谷筋のことを呼ぶため、遺跡地が谷一つずれている可能性もある。その谷筋は棚田が広がり、現状で遺物の確認は難しい。なお、刻文入両頭石棒は高原郷土館で展示を行っている。

既往調査より、縄文時代の散布地と考えられる。

72 六郎谷遺跡（遺跡番号 21217-00061）

神岡町東町字六郎に所在し、高原川右岸緩斜面に立地する。

現在は工場が立ち並び、踏査を行うことができない。かつて拾われた遺物の借用を受けた。



第135図 六郎谷遺跡遺物実測図

遺物は、縄文土器と石器・石製品である。今回は縄文土器 11 点（1407～1417）を実測した。

1407～1409は幅広の半截竹管状工具による半隆起線で施文する。1410は半隆起線と隆帶による渦巻文を施す。1411・1412は縦位の半隆起線、1413は横位の半隆起線を密に施す。1407～1413は、古串田新式期の縄文時代中期中葉のものと推定される。1414は縦位の隆帶と矢羽根状沈線で施文され、1415は隆帶による区画文内に縦位沈線を施す。1414・1415は信州唐草文系第3段階期のもので縄文時代中期後半のものと推定される。1416は縦位隆帶と沈線で施文され、胴下半部が無文であり、串田新式期の縄文時代中期後葉のものと推定される。1417は底部破片で、底部にスダレ状圧痕が遺存する。

遺物から、縄文時代の散布地と考えられる。

73 割石遺跡（遺跡番号 21217-00060）

神岡町割石に所在し、高原川左岸の東向き河岸段丘に立地する。

割石区では、戦前より遺物の散布が知られている（多賀 1941）。『神岡町史通史編 I』では、高原郷土館に保管されていた遺物が東雲遺跡と割石遺跡の出土として掲載される。踏査では、割石区が大きく 3 段の河岸段丘に分かれ、そのうち、下から 2 段目と 3 段目で遺物が散布する状況を確認した。段丘が異なるため別遺跡となる可能性を想定した。

遺物は縄文土器 10 点を採集したが、図示できるものはなかった。

遺跡は、縄文時代の散布地と考えられる。

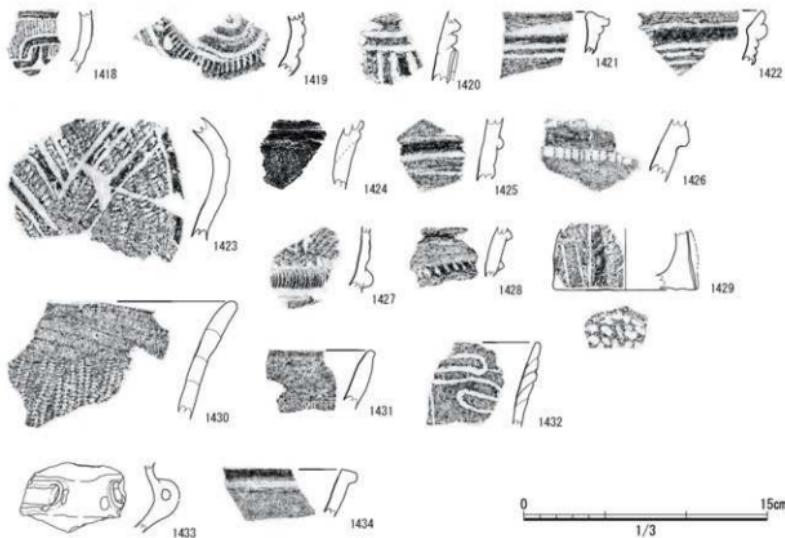
74 割石川巾遺跡（遺跡番号 21217-11824）

神岡町割石字川巾に所在し、高原川左岸の東向き河岸段丘に立地する。

『神岡町史通史編 I』に記載のある縄文土器を採集した方からの聞き取りでは、割石川巾遺跡の位置になるとのことであった。遺物は、縄文土器 29 点、陶器 1 点、合計 30 点を採集し、また遺物の寄贈もあった。今回は、縄文土器 17 点（1418～1434）を図示した。

1418は内湾する器形に、半截竹管状工具により互字状文を施す。新崎式に比定でき、縄文時代中期前葉のものである。1419は内湾する器形に、半截竹管状工具による渦巻文があり、基隆帶にキザミを施す。古府式期の縄文時代中期中葉のものと推定される。1420は幅広の半隆起線により施文する。1421～1425は半隆起線で施文し、古串田新式期の縄文時代中期中葉のものと推定される。1426は隆帶に沿って加飾を施し、信州系の影響を受けた縄文時代中期の土器と推測される。1427は隆帶に爪形文を施す。1428は横位隆帶にキザミを施し、1429は縦位隆帶と沈線で施文する。1428・1429は串田新式期の縄文時代中期後葉のものと推定される。1430は地文縄文、1431は地文条線で、口縁部が肥厚外反する縄文時代中期後葉の在地土器である。1432は外反する口縁部に沈線で施文し、前田式期の縄文時代中期末葉のものと推定される。1433・1434は浅鉢である。1433は口縁下に橋状把手を有し、串田新式期の縄文時代中期後葉のものと考えられる。

遺物からは、縄文時代の散布地と考えられる。



第136図 割石川巾遺跡遺物実測図

第3表 古川町内遺跡一覧表(1)

索引	遺跡名	種別	時代	掲載頁
あ行	池之山城跡	城館跡	中世	5
	稻荷神社1号古墳	古墳	古墳	5
	稻荷神社2号古墳	古墳	古墳	5
	稻荷神社3号古墳	古墳	古墳	5
	大洞平1号古墳	古墳	古墳	6
	大洞平2号古墳	古墳	古墳	6
	大洞平3号古墳	古墳	古墳	6
	大洞平4号古墳	古墳	古墳	6
	大洞平5号古墳	古墳	古墳	6
	岡前遺跡	散布地	縄文・弥生・古墳・古代・中世	7
	岡前奥御堂跡	散布地	縄文・古代	10
	岡前諏訪神社裏1号古墳	古墳	古墳	10
	岡前諏訪神社裏2号古墳	古墳	古墳	10
	岡前駒跡	散布地	縄文・古墳・古代・中世	10
	落岩城跡	城館跡	中世	12
か行	上氣多遺跡	散布地	縄文・古墳・古代	12
	上氣多上野遺跡	散布地	縄文・古墳・古代・中世	15
	上氣多古墳	古墳	古墳	16
	上氣多櫛岡遺跡	散布地	縄文・古墳・古代・中世	16
	上氣多櫛岡北遺跡	—	古墳	18
	上氣多沢1号古墳	古墳	古墳	18
	上氣多沢2号古墳	古墳	古墳	18
	上氣多沢3号古墳	古墳	古墳	18
	上野遺跡	散布地	縄文・古代	18
	上野井西1号古墳	古墳	古墳	19
か行	上野井西2号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西3号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西4号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西5号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西6号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西7号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西8号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西9号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西10号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西11号古墳	古墳	古墳	19
さ行	上野井西12号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西13号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西14号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西15号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西16号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西17号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西18号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西19号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西20号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西21号古墳	古墳	古墳	19
さ行	上野井西22号古墳	古墳	古墳	19
	上野井西23号古墳	古墳	古墳	19
	上野上野遺跡	散布地	縄文・古代・中世	21
	上野上野東遺跡	散布地	縄文・古代・中世	22
	上野城山1号古墳	古墳	古墳	22
	上野城山2号古墳	古墳	古墳	22
	上野城山3号古墳	古墳	古墳	22
	上野城山4号古墳	古墳	古墳	22
	上野城山5号古墳	古墳	古墳	22
	上野城山6号古墳	古墳	古墳	22
さ行	上野梨ヶ洞遺跡	散布地	縄文	23
	上野水上洞1号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞2号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞3号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞4号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞5号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞6号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞7号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞8号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞9号古墳	古墳	古墳	23
さ行	上野水上洞10号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞11号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞12号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞13号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞14号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞15号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞16号古墳	古墳	古墳	23
	上野水上洞17号古墳	古墳	古墳	23
	上町遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代・中世	24
	上町麻寺跡	社寺跡	古代	27
さ行	上町三塚1号古墳	古墳	古墳	31
	上町三塚2号古墳	古墳	古墳	31
	上町三塚3号古墳	古墳	古墳	31
	黒内古屋敷跡	散布地	古代・中世	31
	黒内細野遺跡	集落跡	縄文	32
	袈裟丸祖父あん遺跡	散布地	古代・中世	32
	五阿尔冢古墳	古墳	古墳	34
	小坂神社跡古墳	古墳	古墳	36
	小島城跡	城館跡	中世・近世	36
	小鷹城跡	城館跡	中世	36
さ行	小沼遺跡	—	古代	38
	御番屋敷遺跡	散布地	集落跡	38
	御番屋敷遺跡	散布地	縄文・古代・中世	38
	菅ヶ洞上番場遺跡	散布地	縄文	46
	菅ヶ洞川原遺跡	散布地	縄文	46
	菅ヶ洞石窟跡	生産遺跡	近代	46
	沢遺跡	集落跡	縄文	46
	沢尾寺跡	社寺跡	古代	47
	塙屋遺跡	散布地	縄文	47
	下気多川原遺跡	散布地	縄文・古代・中世	47
さ行	下北城跡	城館跡	中世	50
	下気多山崎遺跡	—	古代	50
	下野長洞古墳	古墳	古墳	50
	下野羽根坂古窯跡	生産遺跡	古代	50
	寿楽寺庵寺跡	社寺跡	古代・中世	53
	城見寺城跡	城館跡	中世	60
	杉崎北野遺跡	散布地	縄文・古墳・古代・中世	60
	杉崎鶴洞1号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞2号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞3号古墳	古墳	古墳	61
さ行	杉崎鶴洞4号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞5号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞6号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞7号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞8号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞9号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎鶴洞10号古墳	古墳	古墳	61
	杉崎庵寺跡	社寺跡	弥生・古墳・古代	61
	杉崎尼沙門遺跡	散布地	古代	61

第4表 古川町内遺跡一覧表（2）

索引	遺跡名	種別	時代	掲載頁
た行	太江遺跡	集落跡	古墳・古代・中世	62
	太江上番場遺跡	散布地	古墳・古代	66
	太江上番場東遺跡	散布地	古代	67
	太江釜ヶ淵遺跡	散布地	古代	68
	太江小林遺跡	散布地	古代	68
	太江多度 1号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 2号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 3号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 4号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 5号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 6号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 7号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 8号古墳	古墳	古墳	69
	太江多度 9号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 1号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 2号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 3号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 4号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 5号古墳	古墳	古墳	69
	太江中ヶ野 6号古墳	古墳	古墳	69
	太江中日影古墳	古墳	古墳	70
	太江灰古墳	古墳	古墳	70
	太江福藏 1号古墳	古墳	古墳	70
	太江福藏 2号古墳	古墳	古墳	70
	太江洞口遺跡	散布地	古墳・古代	70
	太江前平 1号古墳	古墳	古墳	70
	太江前平 2号古墳	古墳	古墳	70
	太江前平 3号古墳	古墳	古墳	70
	高田神社裏古墳	古墳	古墳	72
	高野光専寺遺跡	—	繩文・古代	72
	高野光泉寺古墳	古墳	古墳	73
	高野巾ノ上遺跡	散布地	繩文・古墳・古代	73
	高野巾ノ上古墳	古墳	古墳	77
	高野水上古墳	古墳	古墳	77
	高野瀧添遺跡	散布地	繩文	77
	高野瀧添古墳	古墳	古墳	78
	谷遺跡	散布地	繩文・古代	78
	谷字土遺跡	散布地	繩文	80
	種村古墳	古墳	古墳	80
	寺地岬ヶ洞 1号古墳	古墳	古墳	80
	寺地岬ヶ洞 2号古墳	古墳	古墳	80
	寺地土州ヶ洞古墳	古墳	古墳	81
	寺地西ヶ洞 1号古墳	古墳	古墳	81
	寺地西ヶ洞 2号古墳	古墳	古墳	81
	寺地西ヶ洞 3号古墳	古墳	古墳	81
	寺地西ヶ洞 4号古墳	古墳	古墳	81
	寺地西ヶ洞 5号古墳	古墳	古墳	81
	戸市遺跡	散布地	繩文	82
	戸市長者跡	散布地	近世	83
	戸市古屋敷 1号古墳	古墳	古墳	83
	戸市古屋敷 2号古墳	古墳	古墳	83
	塔の懸庵寺塔心礎	—	古代	84
な行	中気多三塚 1号古墳	古墳	古墳	85
	中気多三塚 2号古墳	古墳	古墳	85
	中気多三塚 3号古墳	古墳	古墳	85
	中野大洞平遺跡	散布地	繩文・弥生・古代	85
	中野トシヶ洞遺跡	散布地	繩文・古墳・古代	87
	中野西ヶ洞遺跡	散布地	繩文	90
	中野祢宜ヶ洞古墳	古墳	古墳	90
	中野宮ヶ洞遺跡	散布地	繩文	90
	中野宮田古墳	古墳	古墳	91

索引	遺跡名	種別	時代	掲載頁
な行	中野山越 1号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 2号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 3号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 4号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 5号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 6号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 7号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 8号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 9号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 10号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 11号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越 12号古墳	古墳	古墳	91
	中野山越遺跡	集落跡	繩文・古墳・古代	92
	西ヶ洞摩寺跡	社跡	平安	97
	西之御堂遺跡	古代	97	
	沼町川原遺跡	散布地	古墳・古代・中世	98
	沼町竹原遺跡	—	古墳・古代	99
	沼町天王洞古墳	古墳	古墳	100
	沼町日明遺跡	—	古墳	100
	沼町南洞古墳	古墳	古墳	100
	野口城跡	城館跡	中世	100
	野口辻垣内遺跡	散布地	繩文・古代	100
	信包上野遺跡	散布地	繩文	101
	信包上野添遺跡	散布地	古代	102
	信包大洞遺跡	散布地	繩文	102
	信包塙屋古窯跡	生產遺跡	古代	102
	信包千島遺跡	散布地	繩文・中世	102
	信包中原田古窯跡	生產遺跡	古代	104
	信包八幡神社跡	古墳	古墳	107
は行	八幡古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 1号古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 2号古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 3号古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 4号古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 5号古墳	古墳	古墳	107
	羽根板 6号古墳	古墳	古墳	107
	古川城跡	城館跡	中世・近世	108
	古町魔寺跡	社寺跡	古代	109
ま行	増島城跡	城館跡	近世	109
	丸山古墳	古墳	古墳	110
	向小島城跡	城館跡	中世	110
	百足城跡	城館跡	中世	110

第5表 神岡町内遺跡一覧表

索引	遺跡名	種別	時代	掲載頁
あ行	浅井田城跡館跡	—	—	111
	呼称地	散布地	縄文・古墳・古代・中世	111
	東雲道路	散布地	縄文	117
	東雲下野遺跡	散布地	縄文	118
	遊鶴石神社遺跡	散布地	縄文	119
	麻生野遺跡	散布地	縄文	119
	跡津遺跡	散布地	縄文	119
	荒田口留番所跡	その他	近世	119
	石神遺跡	散布地	縄文	120
	石神城跡	城館跡	中世	121
か行	岩ヶ平城跡	城館跡	中世	121
	内洞遺跡	散布地	縄文	121
	江馬氏城跡下館跡	城館跡	中世	121
	江馬氏殿遺跡	城館跡	中世	121
	大多和遺跡	散布地	縄文	121
	奥政元城跡	城館跡	中世	122
	の龍の渡し跡	その他	近世	122
	牟松城跡	城館跡	中世	122
	柏原遺跡	散布地	縄文	123
	柏原古墳	古墳	古墳	124
さ行	金森左京屋敷跡	城館跡	近世	124
	金森宗貞邸跡	城館跡	縄文・中世・近世	124
	釜崎下坦内遺跡	散布地	縄文	125
	上朝浦遺跡	集落跡	縄文	125
	上小萱井ノ下遺跡	散布地	縄文・古代・中世	126
	上山田遺跡	散布地	縄文	129
	願智坊廟	その他	近世	129
	葛谷洞遺跡	散布地	縄文・中世	129
	小萱上遺跡	散布地	縄文	129
	金剛寺跡	寺社跡	中世	130
た行	坂巻遺跡	散布地	縄文・古代	130
	佐古遺跡	散布地	縄文	131
	塙野遺跡	集落跡	縄文・古代	131
	下麻生野遺跡	散布地	縄文	133
	下小萱遺跡	散布地	縄文・古墳	133
	下山田遺跡	散布地	縄文・古代	135
	下山田城跡	城館跡	中世	135
	下吉田遺跡	散布地	縄文	135
	敷河中田遺跡	散布地	縄文・古代	135
	高原原跡防城跡	城館跡	中世	136
な行	谷城跡	城館跡	近世	136
	誕生石遺跡	散布地	縄文	137
	出水遺跡	散布地	中世	137
	寺林遺跡	散布地	縄文・古代・中世	137
	寺林城跡	城館跡	中世	137
	天の森遺跡	散布地	縄文	138
	土城跡	城館跡	中世	139
	殿遺跡	散布地	縄文	139
	殿坂口遺跡	散布地	縄文・古代・中世	139
	梨ヶ根上垣内遺跡	散布地	縄文・中世	140
は行	梨ヶ根神成遺跡	散布地	縄文	142
	梨ヶ根下打遺跡	散布地	縄文・中世	144
	梨ヶ根中垣内遺跡	散布地	縄文・古代・中世	144
	梨ヶ根森屋遺跡	散布地	縄文・古代・中世	146
	西遺跡	散布地	縄文	146
	西瀆山遺跡	散布地	縄文	146
ま行	西瀆山牧反畠遺跡	散布地	縄文	147
	八幡山城跡	散布地	縄文・中世	148
や行	八幡山遺跡	散布地	縄文	149
	東町城跡	城館跡	中世	149
	東町白山遺跡	散布地	縄文	149
	二越遺跡	散布地	縄文	149
	洞城跡	城館跡	中世	149
	堀之内遺跡	散布地	縄文	149
ら行	政元城跡	城館跡	中世	150
	明智坊旧跡の碑	その他の墓	近世	151
わ行	森茂遺跡	散布地	縄文・中世	151
	やなぎさこ遺跡	散布地	縄文	152
ら行	吉田なからど洞跡	散布地	縄文	158
	六郎谷遺跡	散布地	縄文	158
わ行	削石遺跡	散布地	縄文	159
	削石川山遺跡	散布地	縄文	159

第6表 土器・土製品觀察表(1)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 場 所
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面		
1	大洞平古墳	須恵器	杯形盃	口縁～天井部	10.0	4.9	3.1	灰白色 95.5	灰色 7.0	-	外面:クロコ調溝→天井部1/2をヘラケズリ 内面:クロコ調溝 中央部に、条の印模が落ち。苦體留料	2 3
2	大洞平古墳	土師器	高杯	口縁～脚部	12.7	(7.8)	7.6	明褐色 95.5	明褐色 95.5	-	外面:回転ナデ横方向にヘラミガキ→口縁下部 横ナデ、脚部:ヘラミガキ 内面:回転ナデ横方向にヘラミガキ 蓋みが大きい。苦體留料	2 3
6	同前遺跡	圓文土器	深鉢	脚部	-	-	-	口:灰・黃褐色 100.0	口:灰・黃褐色 100.0	脚部	外面:手綱竹管状工具による縦位捺絆線文 内面:ナデ	3 -
7	同前遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	口:灰・褐色 7.35	口:灰・褐色 90.5	-	外面:口縁下に十字突筋、房突交差部に棒状工具による刷文、口部にキザミ 内面:ナデ	3 -
8	同前遺跡	圓文土器	深鉢	脚部	-	-	-	灰黃褐色 100.0	灰黃褐色 100.0	-	外面:平行沈線、刷文、圓文 内面:ナデ	3 -
9	同前遺跡	圓文土器	深鉢	脚部	-	-	-	口:灰・褐色 100.0	口:灰・褐色 100.0	-	外面:口縁、脚部:圓文 内面:ナデ	3 -
10	同前遺跡	圓文土器	口口土器	-	3.4	6.4	-	口:灰・黃褐色 100.0	口:灰・褐色 100.0	-	脚円の小窓口口縁、左側の縫合部分が欠損しているが、棒状工具による彎巻文が9枚所にあるとみられる	3 3
11	同前遺跡	須恵器	杯G身	底部	-	(6.2)	-	90.0	灰色 95.5	-	外面:回転ナデ、回転ヘラ切り 内面:回転ナデ	3 -
12	同前遺跡	須恵器	杯G身	口縁部	-	-	-	90.0	90.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	3 -
13	同前遺跡	須恵器	杯G身	口縁部	-	-	-	灰褐色 95.5	灰褐色 95.5	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	3 -
14	同前遺跡	須恵器	楕B	底部	-	(8.0)	-	90.0	90.0	-	外面:回転ナデ、名切り後回転ナデ、貼付高台 内面:回転ナデ	3 -
15	同前遺跡	須恵器	高杯	脚部	-	(12.0)	-	50.0	灰色 95.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 機能不良	3 -
16	同前遺跡	須恵器	蓋箱蓋	底部	-	(10.0)	-	90.0	90.0	-	外面:回転ナデ、回転ヘラケズリ、貼付高台、自然擦 内面:回転ナデ	3 -
17	同前遺跡	土師器	蓋	口縁～底部	(5.0)	-	1.3	口:灰・黃褐色 100.0	口:灰・黃褐色 100.0	-	外面:ナデ	3 -
18	同前遺跡	土師器	蓋	口縁～体部	-	-	-	口:灰・黃褐色 100.0	口:灰・黃褐色 100.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	3 -
28	同前奥御宝殿	須恵器	杯G身	天井部	-	-	-	灰褐色 2.0	灰褐色 2.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	5 -
29	同前奥御宝殿	須恵器	便	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.0	灰褐色 2.0	-	外面:回転ナデ、自然擦	5 -
30	同前遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	口:灰・黃褐色 100.0	口:灰・黃褐色 100.0	-	外面:口縁下押型文 内面:押型文	6 -
31	同前遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 100.0	灰褐色 100.0	-	外面:口縁下押型文 内面:口縁下押型文 口脇部に押型文、圓文土器	6 -
32	同前遺跡	圓文土器	深鉢	脚部	-	-	-	口:灰褐色 2.0	口:灰褐色 2.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
33	同前遺跡	圓文土器	深鉢	脚部	-	-	-	灰褐色 100.0	灰褐色 100.0	-	外面:口縁横舟押型文 内面:ナデ	6 -
34	同前遺跡	須恵器	杯G身	口縁～天井部	(11.0)	-	-	灰色 5.5	墨褐色 100.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
35	同前遺跡	須恵器	楕G蓋	口縁部	(14.0)	-	-	灰色 5.5	灰色 5.5	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
36	同前遺跡	須恵器	楕G身	底部	-	(5.0)	-	灰色 5.5	灰色 5.5	-	外面:回転ナデ、回転ヘラ切り 内面:回転ナデ	6 3
37	同前遺跡	須恵器	楕G身	底部	-	(6.6)	-	灰色 3.7	灰色 3.7	-	外面:回転ナデ、回転ヘラ切り 内面:回転ナデ	6 -
38	同前遺跡	須恵器	蓋	口縁～天井部	-	-	-	灰色 2.0	灰色 2.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
39	同前遺跡	須恵器	楕G	底部	-	(11.7)	-	灰白色 2.7	灰白色 2.7	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 3
40	同前遺跡	須恵器	楕G身	底部	-	(9.8)	-	暗灰褐色 2.0	暗灰褐色 2.0	-	外面:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内面:回転ナデ	6 -
41	同前遺跡	須恵器	楕G	口縁部	-	-	-	暗褐色 2.0	暗褐色 2.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
42	同前遺跡	須恵器	楕A	底部	-	5.4	-	灰色 100.0	灰色 100.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 3
43	同前遺跡	須恵器	楕A	底部	-	(7.0)	-	灰色 1.0	灰色 1.0	-	外面:回転ナデ、名切り 内面:回転ナデ	6 -
44	同前遺跡	須恵器	楕A	底部	-	(4.9)	-	灰白色 0.8	灰白色 0.8	-	外面:回転ナデ、回転ヘラケズリ 内面:回転ナデ	6 -
45	同前遺跡	須恵器	楕B	底部	-	(10.0)	-	灰色 3.5	灰色 3.5	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 自然擦	6 3
46	同前遺跡	須恵器	楕B	口縁～体部	(15.0)	-	-	灰色 100.0	灰色 100.0	-	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ	6 -
47	同前遺跡	須恵器	楕B	底部	-	(10.2)	-	灰色 3.0	灰色 3.0	-	外面:回転ナデ、貼付高台 内面:回転ナデ	6 -

第7表 土器・土製品観察表(2)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.基盤内定は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 別		
					口径	進径	器高	内面			外	断面		
								灰	灰	灰	外:円柱ナメ、回転ヘラケズリ、縫疣			
48	同前船跡	須恵器	陶	底部	-	(9.0)	-	灰色 1050/1	灰色 1050/1	灰色 1050/1	灰白~灰 35W/2	-	-	6 -
49	同前船跡	須恵器	陶	口縁~ 体部	-	-	-	灰色 1050/1	灰色 1050/1	灰色 1050/1	灰白~灰 35W/1	外:円柱ナメ、自然縫	-	6 -
50	同前船跡	須恵器	直柄瓶	体~底部	-	(9.0)	-	褐色灰 1050/1	褐色灰 1050/1	褐色灰 1050/1	褐色灰 1050/1	外:円柱ヘラケズリ、回転ナメ	-	6 -
51	同前船跡	須恵器	直便瓶	底部	-	-	-	灰白色 2,35T/1	灰白色 2,35T/1	灰白色 2,35T/1	灰白色 2,35T/2	外:円柱ナメ、外:火ぶくれ、内:外身に底部に自然縫	-	6 -
52	同前船跡	須恵器	直便瓶	底部	-	(12.0)	-	灰色 36/1	灰色 36/1	灰色 36/1	灰白~灰 35W/1	外:タマノミ、ラケズリ 内:円柱ナメ、ナメ	-	6 -
53	同前船跡	須恵器	直便瓶	体~底部	-	(14.0)	-	黄褐色 2,35S/3	黄褐色 2,35S/3	黄褐色 2,35S/3	灰白~ 35W/1	外:円柱ナメ、ナメ 内:円柱ヘラケズリナメ	-	6 -
54	同前船跡	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐色 7,35R/6	褐色 7,35R/6	褐色 7,35R/6	褐色 7,35R/6	外:摩滅により調査不明	-	6 -
55	同前船跡	灰輪陶器	陶	体~底部	-	(7.0)	-	灰白色 35T/1	灰白色 35T/1	灰白色 35T/1	灰白色 35T/1	外:円柱ヘラケズリ 内:円柱ナメ、灰輪	-	6 -
56	同前船跡	灰輪陶器	陶	底部	-	(6.0)	-	浅黄色 35T/2	浅黄色 35T/2	浅黄色 35T/2	灰白色 35T/2	外:横ナメ、灰輪高台 内:円柱ヘラケズリ	-	6 -
57	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	(9.0)	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:横ナメ、ユビオサエ 内:横ナメ、ナメ	-	6 3
58	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	(6.0)	-	(1.6) 7,35R/4	(1.6) 7,35R/4	(1.6) 7,35R/4	灰白色 7,35R/4	外:横ナメ、ナメ	-	6 3
59	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 底部	-	(6.0)	-	(1.7) 7,35R/2	(1.7) 7,35R/2	(1.7) 7,35R/2	浅黄褐色 7,35R/2	浅黄褐色 7,35R/2	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ 57-59合	6 3
60	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 底部	-	(7.0)	-	(1.6) 7,35R/4	(1.6) 7,35R/4	(1.6) 7,35R/4	浅黄褐色 7,35R/4	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
61	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 底部	-	(6.0)	-	(1.5) 7,35R/2	(1.5) 7,35R/2	(1.5) 7,35R/2	褐色 7,35R/2	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
62	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	-	-	灰白色 2,35R/2	灰白色 2,35R/2	灰白色 2,35R/2	灰白色 2,35R/2	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
63	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	-	-	53R/6	53R/6	53R/6	53R/6	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
64	同前船跡	土師器	瓶	底部	-	-	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:ナメ 内:ナメ	-	6 -
65	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	-	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:ナメ、ユビオサエ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
66	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	(7.0)	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 3
67	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 体部	-	(12.0)	-	灰黄色 2,35T/2	灰黄色 2,35T/2	灰黄色 2,35T/2	灰白色 2,35T/2	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 3
68	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 底部	-	-	-	褐色 1050/1	褐色 1050/1	褐色 1050/1	灰白色 1050/2	外:ナメ 内:ナメ	-	6 -
69	同前船跡	土師器	瓶	体~底部	-	-	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
70	同前船跡	土師器	瓶	口縁~ 底部	(8.0)	-	(2.6) 7,35R/4	(2.6) 7,35R/4	(2.6) 7,35R/4	浅黄褐色 7,35R/4	浅黄褐色 7,35R/4	外:横ナメ、ナメ 内:横ナメ、ナメ	6 3	-
71	同前船跡	土師器	瓶	口縁部	-	-	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:ナメ 内:ナメ	-	6 -
72	同前船跡	瓦器	火鉢	体部	-	-	-	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	灰白色 1050/2	外:突唇、スタンプ文 内:円柱ナメ	-	6 3
73	同前船跡	漁戸美濃	平碗	口縁部	-	-	-	灰白色 35E/2	灰白色 35E/2	灰白色 35E/2	灰白色 35E/2	外:横ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 3
74	同前船跡	漁戸美濃	天日茶碗	口縁部	-	-	-	褐色 7,35E/4	褐色 7,35E/4	褐色 7,35E/4	褐色 7,35E/4	外:横ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 -
75	同前船跡	漁戸美濃	天日茶碗	口縁部	-	-	-	褐色 1050/1	褐色 1050/1	褐色 1050/1	灰白色 1050/2	外:横ナメ 内:横ナメ、ナメ	-	6 3
76	同前船跡	漁戸美濃	茶入	口縁部	(5.0)	-	-	灰黄色 2,35T/2	灰黄色 2,35T/2	灰黄色 2,35T/2	灰白色 2,35T/2	外:横ナメ 内:横ナメ、ナメ 外:上口縁部に火鉢	-	6 3
77	同前船跡	漁戸美濃	粗瓶	口縁部	(4.6)	-	-	褐色 7,35T/1	褐色 7,35T/1	褐色 7,35T/1	灰黄色 2,35T/2	外:横ナメ 内:横ナメ、ナメ 外:上口縁部に火鉢	-	6 -
78	同前船跡	近世陶器	十り升	体部	-	-	-	褐色 1050/1	褐色 1050/1	褐色 1050/1	褐色 1050/2	外:円柱ナメ 内:横ナメ、ナメ 外:縫合	-	6 3
79	上気多道跡	織文土器	深鉢	口縁部	(20.0)	-	-	暗黃色 2,35U/2	暗黃色 2,35U/2	暗黃色 2,35U/2	暗黃色 2,35U/2	外:縫合 内:縫合	7 -	-
80	上気多道跡	織文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 1050/2	褐色 1050/2	褐色 1050/2	褐色 1050/2	外:縫合 内:縫合	7 -	-
81	上気多道跡	織文土器	深鉢	脚	-	5.6	-	-	-	-	灰白色 35T/2	脚付	7 -	4
82	上気多道跡	須恵器	甕	脚~底部	-	5.6	-	-	-	-	灰白色 35T/2	脚付 脚付	7 -	4

第8表 土器・土製品觀察表（3）

遺物 番号	遺跡名	種類	分類	部位	法量 (cm,括弧部は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版		
					口径	底径	高さ	内面						
								外面	断面					
83	上気多遺跡	須恵器	罐	胴～底部	—	(5.7)	—	—	暗緑灰色 T.5G3/1	灰白色 T.5D5/1	灰白色 T.5D5/1	輪底上方斜面ナデ、下方斜面ヘラケグリ、注口部底面後方ラケグリ調整、胴部上方中央部に削り工具による通達した網状文、底面高台點々付打痕あり、使用痕	7 4	
84	上気多遺跡	須恵器	蓋	口縁部	(16.8)	—	—	灰白色 D7/1	灰白色 D7/1	灰白色 D7/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ	7 —		
85	上気多遺跡	須恵器	蓋	口縁部	—	—	—	灰黃褐色 10H3/2	灰灰色 10H3/1	灰黃褐色 10H3/2	外面:円転ナデ、同軸ヘラケグリ 内面:円転ナデ	7 —		
86	上気多遺跡	須恵器	杯	底部	—	(8.6)	—	灰褐色 5S/	灰褐色 5S/	灰褐色 5S/	外面:円転ナデ、同軸ヘラケグリ、點付高台 内面:円転ナデ、使用痕	7 —		
87	上気多遺跡	須恵器	杯	底部	—	(11.2)	—	灰黃褐色 10H3/2	灰黃褐色 10H3/2	灰黃褐色 10H3/2	外面:円転ナデ、同軸ヘラケグリ、點付高台 内面:円転ナデ	7 —		
88	上気多遺跡	須恵器	杯	底部	—	(16.0)	—	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	外面:円転ナデ、同軸ヘラケグリ、點付高台 内面:円転ナデ	7 —		
89	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	3.4	—	黄褐色 2.5H1/1	黄褐色 2.5H1/1	黄褐色 2.5H1/1	外面:円転ヘラクタノデ、同軸系切り後ナデ 内面:円転ナデ	7 —		
90	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	5.5	—	灰褐色 T.5H3/1	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 4		
91	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	5.4	—	灰白色 D7/1	灰白色 D7/1	灰白色 D7/1	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 4		
92	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	4.8	—	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 4		
93	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	4.7	—	灰褐色 2.5H1/1	灰褐色 2.5H1/1	灰褐色 2.5H1/1	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 —		
94	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	(6.5)	—	オーバープロト 2.5H6/1	灰褐色 2.5H6/1	灰褐色 2.5H6/1	外面:円転ナデ、同軸系切り、無高台 内面:円転ナデ 体側にユニアコ瓶あり、使用痕	7 —		
95	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	(6.4)	—	灰褐色 2.5H3/2	灰褐色 2.5H3/2	灰褐色 2.5H3/2	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 —		
96	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	(6.4)	—	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 —		
97	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	(6.0)	—	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	外面:円転ナデ、同軸系切り 内面:円転ナデ	7 —		
98	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	8.7	—	灰褐色 2.5H3/2	灰褐色 2.5H3/2	灰褐色 2.5H3/2	外面:円転ナデ、同軸系切り、點付高台 内面:円転ナデ、自然釉	7 4		
99	上気多遺跡	須恵器	碗	底部	—	—	—	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	外面:円転ナデ、點付高台 内面:円転ナデ	7 —		
100	上気多遺跡	須恵器	碗	口縁～ 体部	(16.4)	—	—	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ、自然釉	7 4		
101	上気多遺跡	須恵器	碗	口縁部	15.0	—	—	灰褐色 2.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ	7 4		
102	上気多遺跡	須恵器	盤	底部	—	7.9	—	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	外面:円転ナデ、同軸ヘラ切り、點付高台 内面:円転ナデ	7 4		
103	上気多遺跡	須恵器	高杯	脚部	—	(8.9)	—	灰褐色 2.5H1/1	灰褐色 2.5H1/1	灰褐色 2.5H1/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ 自然釉	7 —		
104	上気多遺跡	須恵器	小豆	底部	—	(4.0)	—	灰白色 D7/1	暗褐色 T.5H3/2	灰白色 D7/1	外面:円転ナデ、系切り 内面:円転ナデ 双耳造	7 4		
105	上気多遺跡	須恵器	置瓶類	底部	—	(12.0)	—	黑褐色 2.5H7/1	灰褐色 2.5H7/1	黑褐色 2.5H7/1	外面:円転ヘラケグリ、同軸ヘラ切り後ナデ	7 —		
106	上気多遺跡	須恵器	便	口縁部	(15.0)	—	—	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	外面:円転ナデ、沈線 内面:円転ナデ、自然釉	7 —		
107	上気多遺跡	須恵器	便	口縁～ 胴部	18.6	—	—	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	灰褐色 T.5H1/1	外面:円転ナデ、平行タタキ 内面:円転ナデ、具後ナデ消し	7 4		
108	上気多遺跡	須恵器	便	胴～底部	—	—	—	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	外面:ナデ、平行タタキ 内面:円転ナデ、自然釉	7 —		
109	上気多遺跡	須恵器	便	胴部	—	—	—	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	灰褐色 10H3/2	外面:ナデ、平行タタキ 内面:当具後ナデ消し、自然釉	8 —		
110	上気多遺跡	灰陶器	便	体～底部	—	(7.4)	—	灰白色 T.5H1/1	灰褐色 2.5H6/2	灰褐色 2.5H6/2	外面:円転ナデ、使用痕、點付高台 内面:円転ナデ、自然釉	8 —		
111	上気多遺跡	灰陶器	便	底部	—	(8.4)	—	青褐色 2.5H7/1	青褐色 2.5H7/1	青褐色 2.5H7/1	外面:ナデ、円転ナデ 内面:円転ナデ 無輪K-90	8 —		
112	上気多遺跡	灰陶器	里	口縁～ 底部	(13.4)	66.6	2.9	灰白色 D7/2	灰白色 D7/2	灰白色 D7/2	外面:円転ナデ、同軸系切り、點付高台 内面:円転ナデ	8 4		
127	上気多・野原跡	須恵器	杯身	口縁～ 底部	(12.2)	—	—	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	灰褐色 D7/1	外面:円転ナデ、同軸ヘラ切り 内面:円転ナデ	10 —		
128	上気多・野原跡	須恵器	杯身	口縁部	(10.8)	—	—	褐灰色 10H3/1	褐灰色 10H3/1	褐灰色 10H3/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ	10 —		
129	上気多・野原跡	須恵器	杯G蓋	口縁部	—	—	—	青褐色 10H3/1	青褐色 10H3/1	青褐色 10H3/1	外面:円転ナデ 内面:円転ナデ	10 —		
130	上気多・野原跡	須恵器	蓋	天井部	—	つまみ 径3.2	—	灰褐色 D6/1	灰褐色 D6/1	灰褐色 D6/1	外面:円転ナデ、同軸ヘラケグリ 内面:円転ナデ 無輪K-90	10 —		

第9表 土器・土製品観察表(4)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	重量 (cm.估観内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	種 別	國 籍
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
131	上気多上野道跡	須恵器	杯G	底部	-	(9.9)	-	灰白~ 576/2	灰白~ 575/2	灰白~ 576/2	外面部:同軸ナゲザ、回転ヘラ切り 内面部:同軸ナゲザ	10	-
132	上気多上野道跡	須恵器	杯A	底部	-	(8.0)	-	灰色 576/1	暗黃色 575/2	灰色 576/1	外面部:同軸ナゲザ、回転ヘラケズリナゲザ 内面部:同軸ナゲザ	10	-
133	上気多上野道跡	須恵器	杯A	底部	-	-	-	灰白色 575/1	灰黄色 575/2	灰白色 575/2	外面部:同軸ナゲザ、回転ヘラケズリ 内面部:同軸ナゲザ	10	-
134	上気多上野道跡	須恵器	杯B	底部	-	(7.4)	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲザ、輪模様、貼村高台 内面部:同軸ナゲザ	10	-
135	上気多上野道跡	須恵器	杯B	底部	-	7.8	-	灰白色 576/2	灰白色 576/2	灰白色 576/2	外面部:同軸ナゲザ、回転ヘラケズリ、貼村高台 内面部:同軸ナゲザ	10	-
136	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁部	-	-	-	灰色 575/	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲザ 内面部:同軸ナゲザ	10	-
137	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁~ 体部	-	-	-	灰色 576/1	灰白色 576/1	灰白色 576/1	外面部:同軸ナゲザ 内面部:同軸ナゲザ	10	-
138	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:ナゲ、回転ナゲ 内面部:回転ナゲ	10	-
139	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁~ 体部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ 内面部:回転ナゲ	10	-
140	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁部	(13.6)	-	-	灰色 575/1	灰褐色 575/2	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ 内面部:回転ナゲ	10	-
141	上気多上野道跡	須恵器	杯	口縁~ 底部	(17.6)	(9.9)	6.0	灰褐色 7.204/2	褐色 7.204/1	褐色 7.204/1	外面部:同軸ナゲ、棒切り、自然釉、貼村高台 内面部:同軸ナゲ	10	-
142	上気多上野道跡	須恵器	杯	底部	-	(7.9)	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、棒切り、貼村高台 内面部:同軸ナゲ、隕灰	10	-
143	上気多上野道跡	須恵器	短頸瓶	口縁部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	10	-
144	上気多上野道跡	須恵器	瓶	底部	-	(7.4)	-	褐灰色 575/1	褐褐色 575/1	褐褐色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ヘラ切り、貼村高台 内面部:同軸ナゲ	10	-
145	上気多上野道跡	須恵器	直腹瓶	底部	-	(22.2)	-	灰白色 575/1	褐色 575/1	褐色 575/1	外面部:ナゲ、コヨオサエ 内面部:ナゲ、コヨオサエ	10	-
146	上気多上野道跡	灰陶壺	壺	口縁~ 体部	-	-	-	灰黄色 575/2	灰白色 575/2	灰白色 575/2	外面部:同軸ナゲ 内面部:回転ナゲ、灰釉	10	-
147	上気多網河道跡	須恵器	杯G	体部	-	-	-	灰白色 575/	灰白色 575/	灰白色 575/	外面部:同軸ナゲ 内面部:回転ナゲ	11	-
148	上気多網河道跡	須恵器	杯G	口縁部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、自然釉 内面部:回転ナゲ、受胎膏	11	-
149	上気多網河道跡	須恵器	杯G	口縁部	(13.6)	-	-	褐灰色 575/1	褐色 575/1	褐色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ヘラ切り 内面部:回転ナゲ	11	-
150	上気多網河道跡	須恵器	杯G	底部	-	(6.6)	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、棒切り 内面部:回転ナゲ	11	-
151	上気多網河道跡	須恵器	蓋	口縁~ 体部	(13.9)	-	-	褐灰色 575/1	褐色 575/1	褐色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ナゲ 内面部:回転ナゲ	11	-
152	上気多網河道跡	須恵器	蓋	天井部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ 内面部:回転ナゲ	11	-
153	上気多網河道跡	須恵器	蓋	口縁部	(15.0)	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、隕灰 内面部:回転ナゲ	11	-
154	上気多網河道跡	須恵器	蓋	底部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ヘラケズリ 内面部:回転ナゲ	11	-
155	上気多網河道跡	須恵器	蓋	底部	-	-	-	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ナゲ、回転ナゲ切り面回転ヘラケズリ 内面部:回転ナゲ	11	-
156	上気多網河道跡	須恵器	蓋	口縁~ 底部	(13.0)	(9.4)	3.3	灰白色 575/1	灰白色 575/1	灰白色 575/1	外面部:同軸ナゲ、回転ヘラ切り、貼村高台 内面部:回転ナゲ	11	-
157	上気多網河道跡	須恵器	蓋	底部	-	-	-	黄褐色 575/1	褐色 575/1	褐色 575/1	外面部:高白陶器後回転ナゲ 内面部:回転ナゲ	11	-
158	上気多網河道跡	須恵器	蓋	高杯	底部	-	-	褐黄色 575/2	褐色 575/2	褐色 575/2	外面部:回転ナゲ 内面部:回転ナゲ	11	-
159	上気多網河道跡	須恵器	蓋	底部	-	(10.3)	-	灰白色 575/1	褐色 575/1	灰白色 575/1	外面部:回転ナゲ、回転ヘラケズリ、回転ヘラ切 り、貼村高台 内面部:回転ナゲ	11	-
160	上気多網河道跡	須恵器	蓋	脚部	-	(9.6)	-	褐灰色 575/1	褐色 575/1	褐色 575/1	外面部:回転ナゲ、回転ヘラケズリ、自然釉 内面部:回転ナゲ、回転ナゲ、心内凹当具後ナゲ洒し	11	-
161	上気多網河道跡	須恵器	便	頭部	-	-	-	褐灰色 575/2	褐色 575/2	褐色 575/2	外面部:回転ナゲ、平行タキ 内面部:タキ	11	-
162	上気多網河道跡	須恵器	便	胴部	-	-	-	浅黄色 575/3	褐色 575/3	褐色 575/3	内面部:同心凹当具瓶	11	-
163	上気多網河道跡	須恵器	便	頭部	-	-	-	褐灰色 575/1	褐色 575/2	褐色 575/1	外面部:回転ナゲ、タキ 内面部:回転ナゲ	11	-
164	上気多網河道跡	土師器	高杯	口縁部	-	-	-	褐色 576.8	褐色 576.8	褐色 576.8	外面部:ナゲ 内面部:ナゲ	11	-
165	上気多網河道跡	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐黃褐色 576.7	褐黃褐色 576.7	褐黃褐色 576.7	外面部:圓盤ナゲ 内面部:ナゲ、シボリ	11	-
166	上気多網河道跡	土師器	高杯	脚部	-	(6.2)	-	赤褐色 574.9	赤褐色 574.9	赤褐色 574.9	外面部:圓盤ナゲ 内面部:圓盤ナゲ	11	-
167	上気多網河道跡	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐黃褐色 574.7	褐黃褐色 574.7	褐黃褐色 574.7	外面部:ミガキ 内面部:ミガキ	11	-
168	上気多網河道跡	土師器	甕	口縁部	(20.6)	-	-	淡黃褐色 578.4	淡黃褐色 578.4	淡黃褐色 578.4	外面部:ナゲ、回転 内面部:ナゲ	11	-

第10表 土器・土製品觀察表(5)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm、括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版
					口径	底径	器高	内面	外面	断面		
169	上氣多綱岡遺跡	灰釉陶器	碗	底部	—	—	—	灰黄色 2.57/2	灰黄色 2.57/2	灰黄色 2.57/2	外面:回転ナメ、貼付高台 内面:回転ナメ	11 —
171	上気多綱岡北遺跡	須恵器	盃	体部	—	—	—	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	外面:回転ナメ・ラケズリ、刷文字、自然釉 内面:回転ナメ	12 —
172	上気多綱岡北遺跡	須恵器	高盤	脚部	—	(9.6)	—	灰白色 10.06/1	灰白色 10.06/2	灰白色 10.05/1	外面:回転ナメ、自然釉 有孔	12 —
173	上野道路	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	黒褐色 30.03/2	黒褐色 16.03/2	黒褐色 16.03/4	外面:隆起 内面:ナメ	13 —
174	上野道路	縄文土器	深鉢	底部	—	11.0	—	黒褐色 2.52/1	黒褐色 2.53/3	黒褐色 2.53/3	外面:ナメ、見込み調色、黒化	13 —
175	上野道路	須恵器	盤	体～底部	—	8.2	—	灰白色 2.55/1	灰白色 10.05/1	褐黄色 2.55/2	外面:面切りナメ→高台貼付→周辺ナメ。 ユビオヌエあり 内面:回転ナメ、重ね堆積あり 外面部:自然釉あり 茎體資料	13 —
176	上野道路	灰釉陶器	碗	体～底部	—	(7.3)	—	灰黄色 2.57/2	灰黄色 2.57/2	浅黄色 2.57/3	外面:ロクナメ・調整ナメ、高台貼付→ラケズリ →高台貼付→周辺ナメ 内面:ロクナメ、ナメ無し、茎體資料	13 —
177	上野道路	灰釉陶器	碗	体～底部	—	(6.9)	—	浅黄色 2.57/3	灰黄色 2.57/2	浅黄色 2.57/4	外面:回転ナメ→高台貼付→高台調切ナメ 無輪、茎體資料	13 —
184	上野上野遺跡	須恵器	皿	つまみ部	—	つかみ 3.5	—	灰色 3.54/1	灰白色 3.54/1	褐色 3.54/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	15 —
185	上野上野遺跡	須恵器	皿	口縁～体部	—	—	—	灰色 3.6/1	灰色 3.6/1	灰色 3.6/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	15 —
186	上野上野遺跡	須恵器	杯	底部	—	—	—	灰白色 2.35/1	灰白色 2.35/1	灰色 2.36/1	外面:回転ナメ・貼付高台	15 —
187	上野上野遺跡	須恵器	杯	口縁部	—	—	—	灰白色 3.50/1	灰白色 10.04/1	灰白色 10.04/1	外面:回転ナメ、貼付高台 自然釉	15 —
188	上野上野遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	—	—	—	灰白色 2.56/1	灰白色 2.56/1	灰白色 2.56/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	15 —
189	上野上野遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	—	—	—	灰白色 7.35/4	灰白色 7.35/4	灰白色 7.35/4	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	15 —
190	上野上野遺跡	須恵器	碗	体～底部	—	(6.0)	—	灰色 3.4/1	灰白色 2.54/1	灰白色 2.54/1	外面:回転ナメ、素切り 内面:回転ナメ	15 —
191	上野上野遺跡	須恵器	碗	底部	—	(8.0)	—	灰色 3.05/1	褐黄色 3.05/2	灰白色 3.05/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	15 —
192	上野上野遺跡	須恵器	便	口縁～頭部	(17.8)	—	—	灰白色 30.06/3	灰白色 30.06/3	灰白色 30.06/3	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ 外面部:自然釉	15 —
193	上野上野遺跡	須恵器	便	銅部	—	—	—	灰色 3.55/1	灰色 3.54/1	灰色 3.54/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ 外面部:自然釉 内面:当其根後ナメ消し	15 —
194	上野上野遺跡	灰釉陶器	碗	体～底部	—	6.0	—	灰白色 2.55/2	灰白色 2.55/2	灰白色 2.55/2	外面:回転ナメ、回転系切り後回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ、貼付高台	15 —
195	上野上野遺跡	灰釉陶器	碗	体～底部	—	(7.5)	—	灰白色 1.53/1	灰白色 1.53/1	灰白色 1.53/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ 外面部:自然釉 内面:回転ナメ、自然釉	15 —
196	上野上野東遺跡	須恵器	杯	底部	—	—	—	灰色 3.55/1	灰色 3.55/1	灰色 3.55/1	外面:回転ナメ・ラケズリ 内面:回転ナメ	16 —
197	上野上野東遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	(16.3)	—	—	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	16 —
199	上町道路	縄文土器	深鉢	口縁～銅部	—	—	—	灰白色 7.35/6	灰白色 7.35/6	灰白色 7.35/6	外面:円筒状突起からねじれ突起構造による U字状の凹凸内へシロウタ工具によるキザミ 状状口縁、内面	17 —
200	上町道路	須恵器	杯皿蓋	天井部	—	—	—	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	外面:回転ナメ・回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ 7cm半	17 —
201	上町道路カ	須恵器	杯皿蓋	口縁～体部	(12.2)	—	—	灰白色 2.55/2	灰白色 2.55/2	灰白色 2.55/2	外面:回転ナメ・回転ヘラケズリ	17 —
202	上町道路カ	須恵器	蓋	口縁～体部	(21.0)	—	—	反覆織目 10.01/2	反覆織目 10.01/2	反覆織目 10.01/2	外面:回転ナメ・回転ヘラケズリ	17 —
203	上町道路	須恵器	蓋	口縁～天井部	11.2	—	2.1	灰白色 3.57/2	灰白色 3.57/2	灰白色 3.57/2	外面:ナメ、回転ヘラケズリ、貼付高台 内面:回転ナメ	17 —
204	上町道路	須恵器	杯	底部	—	(12.6)	—	灰白色 1.53/1	灰白色 1.53/1	灰白色 1.53/1	外面:ナメ、回転ヘラケズリ、貼付高台 内面:回転ナメ	17 —
205	上町道路	須恵器	杯	底部	—	(10.4)	—	灰色 10.05/1	灰色 10.05/1	灰色 10.05/1	外面:回転ナメ・回転ヘラケズリ、貼付高台 内面:回転ナメ	17 —
206	上町道路カ	須恵器	杯	底部	—	(11.0)	—	灰色 2.56/2	灰色 2.56/2	灰色 2.56/2	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	17 —
207	上町道路カ	須恵器	杯	口縁～	(17.8)	—	—	灰色 7.35/6	灰色 7.35/6	灰色 7.35/6	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	17 —
208	上町道路	須恵器	楕円	底部	—	(9.0)	—	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	灰白色 2.55/1	外面:回転ナメ・回転系切り後回転ナメ、貼付 高台 内面:回転ナメ	17 —

第 11 表 土器・土製品観察表 (6)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成型・文様等)	種 類	國 籍
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
209	上町遺跡	須恵器	碗	底部	-	(7.4)	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード、ヘラナード、素切り、貼付高台 内面部:回転ナード	17	-
210	上町遺跡	須恵器	碗	底部	-	(6.0)	-	褐灰褐色 2.515.2	褐灰褐色 2.515.2	褐灰褐色 2.515.2	外面部:回転ナードケズリ、回転系切り後回転ヘラ 内面部:回転ナード	17	-
211	上町遺跡	須恵器	盤	底部	-	(6.4)	-	黄褐色 2.515.1	黄褐色 2.515.1	黄褐色 2.515.1	外面部:回転ナード、高台貼付後回転ナード 内面部:回転ナード、使用痕	17	-
212	上町遺跡	須恵器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色 36%	灰褐色 36%	灰褐色 36%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード 透かし有	17	-
213	上町遺跡	須恵器	短頸壺	口縁～底部	7.0	4.8	7.45	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	-	外面部:回転ナードケズリ調整 内面部:回転ナード	17	-
214	上町遺跡	須恵器	短頸壺	口縁部	(9.1)	-	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード、陰灰	17	-
215	上町遺跡	須恵器	鉢	口縁部	(11.1)	-	-	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	外面部:回転ナード、自然輪 内面部:回転ナード 削け出し摩滅	17	-
216	上町遺跡	須恵器	長頸瓶	肩部	-	-	-	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	外面部:回転ナード、自然輪 内面部:回転ナード	17	-
217	上町遺跡	須恵器	長頸瓶	底部	-	(9.2)	-	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	外面部:ナード、回転ヘラケズリ、貼付高台 内面部:回転ナード、自然輪	17	-
218	上町遺跡 2	須恵器	長頸瓶	口縁～肩部	(14.6)	-	-	灰褐色～灰色 37.5%	灰褐色～灰色 37.5%	灰褐色～灰色 37.5%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	17	-
219	上町遺跡	須恵器	直底瓶	底部	-	(10.8)	-	灰白色 30.0%	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	外面部:回転ヘラ切り、回転ヘラケズリ、貼付高台 内面部:回転ナード、椎形孔、自然輪	17	-
220	上町遺跡	須恵器	鉢	口縁～体部	-	-	-	灰褐色 36%	灰褐色 36%	灰褐色 36%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	17	-
221	上町遺跡	須恵器	甕	口縁～頸部	(34.6)	-	-	灰褐色 2.515.1	灰褐色 2.515.1	灰褐色 2.515.1	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	17	-
222	上町遺跡 3	須恵器	甕	底～肩部	-	-	-	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード、当其瓶	17	-
223	上町遺跡	須恵器	甕	胴部	-	-	-	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	外面部:平行タチキ 内面部:ナード	17	-
224	上町遺跡	須恵器	転用罐	胴部	-	-	-	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	外面部:タチキ、自然輪 内面部:ナード、使用痕	18	-
225	上町遺跡	灰袖陶器	碗	底部	-	(6.0)	-	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	灰白色 37.5%	外面部:回転ナード、貼付高台 内面部:ナード、無輪孔、90°半	18	-
226	上町遺跡	八足燒	甕	口縁部	-	-	-	褐灰褐色 2.515.1	褐灰褐色 2.515.1	褐灰褐色 2.515.1	外面部:ナード 内面部:ナード 燒接縫	18	-
227	上町遺跡	白磁	盤	底部	-	(6.2)	-	明け二段階 2.507.1	灰白色 36%	灰白色 36%	外面部:回転ナード、ケズリ出し高台 内面部:回転ナード、施釉	18	-
228	上町南寺跡	須恵器	達	口縁～頸部	-	-	-	黑褐色 2.511.0	黑褐色 2.511.0	黑褐色 2.511.0	外面部:回転ナード、貼付実斧 内面部:回転ナード、自然輪	20	-
229	上町南寺跡	須恵器	柄蓋瓶	天井部	-	最小径 (3.6)	-	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード、回転ヘラケズリ 内面部:回転ナード	20	-
240	上町南寺跡	須恵器	柄底瓶	口縁部	-	(12.0)	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	20	-
241	上町南寺跡	須恵器	斜形	底部	-	(9.2)	-	褐灰褐色 30.0%	褐灰褐色 30.0%	褐灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード、ケズリ出し後回転ヘラケズリ 内面部:回転ナード、施釉	20	-
242	上町南寺跡	須恵器	甕	口縁部	(12.0)	-	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	20	-
243	上町南寺跡	須恵器	甕	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	灰褐色 2.516.2	外面部:回転ナード 内面部:回転ナード	20	-
244	上町南寺跡	灰袖陶器	長頸瓶	底部	-	(6.0)	-	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード、貼付高台 内面部:回転ナード	20	-
254	黒内古層敷遺跡	須恵器	甕	口縁～天井部	(19.5)	-	-	灰褐色 36%	灰褐色 36%	灰褐色 36%	外面部:回転ナード、回転ヘラケズリ 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
255	黒内古層敷遺跡	須恵器	杯	底部	-	(6.2)	-	褐灰褐色 30.0%	褐灰褐色 30.0%	褐灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
256	黒内古層敷遺跡	須恵器	碗A	口縁～体部	(11.6)	(6.1)	3.3	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
257	黒内古層敷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	5.4	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
258	黒内古層敷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(6.2)	-	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	灰褐色 30.0%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
259	黒内古層敷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(6.0)	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-
260	黒内古層敷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(6.0)	-	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	灰褐色 37.5%	外面部:回転ナード、施切り 内面部:回転ナード 焼接資料	23	-

第12表 土器・土製品観察表(7)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版	
					口径	進深	基高	内面	外面	断面			
361	黒内古墳敷道跡①	須恵器	陶A	—	—	—	—	灰褐色 5.5/	灰褐色 5.5/	黄褐色 2.0/0.7	ロクロナゲ 外面部底部系切り	23 —	
362	黒内古墳敷道跡	須恵器	盤	口縁～ 底部	(19.0)	—	—	灰褐色 10.0/5.1	灰褐色 10.0/5.1	灰褐色 10.0/5.1	外面部・内面部ナゲ,薄尻 内面部・内面部ナゲ	23 —	
363	黒内古墳敷道跡	須恵器	盤	底部	—	(10.7)	—	灰褐色 5.5/1	灰褐色 5.5/1	灰褐色 5.5/1	外面部・内面部ナゲ,輪柱高台 内面部・内面部ナゲ 機知れあり,吉賀資料	23 —	
364	黒内古墳敷道跡	土師器	皿	口縁～ 底部	(8.0)	—	(1.7)	淡黃褐色 10.0/8.1	淡黃褐色 10.0/8.1	淡黃褐色 10.0/8.1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ 吉賀資料	23 —	
365	黒内緑野遺跡	圓文土器	深林	口縁部	—	—	—	綠色 7.3/0.7	綠色 7.3/0.7	綠色 7.3/0.7	外面部ナゲ 内面部ナゲ 無文	24 —	
366	黒内緑野遺跡	須恵器	陶A	底部	—	(6.0)	—	灰褐色 10.0/1	灰褐色 10.0/1	灰褐色 10.0/1	外面部・内面部ナゲ,系切り 内面部・内面部ナゲ	24 —	
367	黒内緑野遺跡	須恵器	陶A	体～底部	—	5.6	—	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 7.3/0.7	外面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ 吉賀資料	24 —	
368	黒内緑野遺跡	須恵器	不明	口縁部	—	—	—	黑褐色 2.5/1.1	黑褐色 2.5/1.1	黑褐色 2.5/1.1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ,自然釉 内面部・内面部ナゲ	24 —	
369	黒内緑野遺跡	土師器	便	口縁～ 脚部	(16.0)	—	—	淡黃褐色 2.5/0.7	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,ナゲ,自然釉 内面部・内面部ナゲ,ナゲ,自然釉 ナサエ痕あり 吉賀部外反,吉賀資料	24 —	
370	黒内緑野遺跡	土製品	不明	不明	—	—	—	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 10.0/2	外面部・内面部ナゲ 内面部・ナゲ,江綱 内面部・ナゲ	24 —	
371	黒内緑野遺跡	土製品	耳飾	—	—	—	—	灰褐色 7.3/0.5	灰褐色 7.3/0.5	—	ドーナツ状,表面から側面に沈線による旋文、 種付工具による孔の有無 3.5×3.5,9mm,厚さ1.4cm,重さ20.1g,吉賀資料	24 5	
372	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	杯形	底部	—	(7.4)	—	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,輪柱高台	27 —	
373	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	須A	底部	—	(5.4)	—	灰褐色 7.3/0.7	灰褐色 7.3/0.7	灰褐色 7.3/0.7	外面部・内面部ナゲ,系切り	27 —	
374	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	須A	底部	—	(7.6)	—	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
375	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	須A	底部	—	(6.0)	—	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
376	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	須A	底部	—	—	—	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
377	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	須A	口縁部	—	—	—	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
378	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	高杯	脚部	—	—	—	灰褐色 10.0/1	灰褐色 10.0/1	灰褐色 10.0/1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
379	須安丸祖父さん 道跡	須恵器	便	底部	—	(16.0)	—	灰褐色 5.5/1	灰褐色 5.5/1	灰褐色 5.5/1	外面部・内面部ナゲ,ナゲ	27 —	
380	須安丸祖父さん 道跡	土師器	皿	口縁～ 底部	(7.0)	—	(1.1)	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 10.0/2	淡黃褐色 10.0/2	外面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ	27 —	
381	五阿弥塚古墳	須恵器	高杯	口縁～ 底部	10.6	7.5	6.1	灰褐色 3.0/1	灰褐色 3.0/1	灰褐色 3.0/1	内面部・ナゲ,調整 脚部は丸をもって立ち上がる,脚部は柱状脚 がハメの形に開き祝部で大きさ水平状に開 き端部ではなす,脚部は低い小型,脚部接合 部附近に凹入	28 6	
382	五阿弥塚古墳	須恵器	広口壺	口縁～ 底部	14.0	6.0	27.2	暗オーライト色 2.5/0.7	暗オーライト色 2.5/0.7	暗オーライト色 2.5/0.7	外面部・手打叩き,口部から肩部にかけて自然釉, 底部まで手打叩きあり 内面部・同心円文,底部はより小さな同心円文,工 芸品あり 内面部・内面部ナゲ,ナゲ	28 6	
383	五阿弥塚古墳	須恵器	広口壺	口縁～ 底部	—	—	—	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	外面部・手打叩き,口部から肩部にかけて自然釉, 底部まで手打叩きあり 内面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ	28 6	
384	五阿弥塚古墳	須恵器	広口壺	口縁～ 底部	13.0	6.0	—	灰褐色 5.5/1	オリーバ系 5.5/2	灰褐色 5.5/2	内面部・ナゲ,調整 脚部は丸をもって立ち上がる,脚部は柱状脚 がハメの形に開き祝部で大きさ水平状に開 き端部ではなす,脚部は低い小型,脚部接合 部附近に凹入	28 —	
385	五阿弥塚古墳	須恵器	平瓶	頭～底部	—	11.0	—	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ	28 —	
386	五阿弥塚古墳	須恵器	横瓶	口縁～ 底部	11.0	6.1	21.5	—	暗褐色 2.5/0.7	暗褐色 2.5/0.7	暗褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ 内面部・内面部ナゲ,ナゲ	28 6
387	小沼遺跡	須恵器	壺	口縁部	—	—	—	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	灰褐色 2.5/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
388	小沼遺跡	須恵器	井G器	口縁～ 天井部	(9.0)	最大径 (11.0)	—	—	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	灰褐色 2.5/1	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —
389	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
390	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
391	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
392	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
393	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
394	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
395	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	
396	小沼遺跡	須恵器	壺	天井部	—	—	—	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	灰褐色 7.0/0.7	外面部・内面部ナゲ,内面部・内面部ナゲ 内面部・内面部ナゲ	29 —	

第13表 土器・土製品観察表(8)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm. 范囲内は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 別
					口径	底径	器高	内面	外面	断面		
317	小沼遺跡	須恵器	蓋	口縁部	-	-	-	灰白色 18/	灰色 18/1	灰白色 18/1	外面:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ 内面:同軸ナゲ	29
318	小沼遺跡	須恵器	杯	口縁部	-	-	-	灰白色 18/1	灰白色 18/1	灰白色 18/1	外面:同軸ナゲ 内面:同軸ナゲ	29
319	小沼遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(6.0)	-	に白・黃褐色 10B8/3	に白・黃褐色 10B8/3	に白・黃褐色 10B8/3	外面:同軸ナゲ、同軸系切り	29
320	小沼遺跡	須恵器	碗B	底部	-	-	-	灰色 18/	灰色 18/	灰白色 18/	外面:同軸ナゲ 内面:同軸ナゲ	29
321	小沼遺跡	須恵器	碗	全体	-	-	-	灰白色 2.5H7/1	灰白色 2.5H7/1	灰白色 2.5H7/1	外面:同軸ナゲ 内面:同軸ナゲ	29
322	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁~ 胴部	(40.0)	-	-	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	外面:半裁竹管状工具による半降起線と沈線で施文、文様 内面:ナゲ、口縁部に沈線で草花文、施文	30
323	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	灰白色 10B8/2	灰白色 10B8/2	灰白色 10B8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による平行施文、施文 内面:ナゲ、ヘラケズリ	30
324	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	に白・黃褐色 3H8/2	に白・黃褐色 3H8/2	に白・黃褐色 3H8/2	外面:ナゲ、施文線後半裁竹管状工具による施文 内面:ナゲ	30
325	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	外面:半裁竹管状工具による半降起線でT字文 内面:ナゲ	30
326	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	外面:半裁竹管状工具による半降起線で施文、基脚 内面:半裁竹管状工具によるキズ 外側:ナゲ、T字文	30
327	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	胴部	-	-	-	灰白色 10B8/2	に白・黃褐色 10B8/2	灰白色 10B8/2	外面:半裁竹管状工具による施文で横文 内面:ナゲ	30
328	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線と沈線 内面:ナゲ、ヘラケズリ	30
329	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 3H8/2	灰白色 3H8/2	灰白色 3H8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線で施文とキ ズで施文 内面:ナゲ、ヘラゲ	30
330	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線 内面:ナゲ	30
331	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 10B8/3	に白・黃褐色 10B8/3	褐色 10B8/3	外面:施文部に施文でT字文、半裁竹管状工具による半降起線 内面:ナゲ 底内:横文	30
332	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰白色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	灰白色 10B8/2	外面:横ナゲ、横T字文 内面:ナゲ、キズ	30
333	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	(15.0)	-	-	浅黄褐色 10B8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 10B8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線 内面:ナゲ	30
334	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 7.5H8/3	に白・褐色 7.5H8/3	褐色 7.5H8/3	外面:横文、半裁竹管状工具による施文 内面:ナゲ	30
335	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	外面:横ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線 内面:ナゲ	30
336	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 10B8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	外面:沈線、底部の上からキズ 内面:ナゲ	30
337	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	外面:ナゲ、沈線、施文 内面:ナゲ	30
338	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	外面:施文部、半裁竹管状工具による施文 内面:ナゲ	30
339	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	(22.0)	-	-	灰褐色 10B8/2	に白・黃褐色 10B8/2	褐色 10B8/2	外面:横ナゲ、口縫下に施文とキズ 内面:ヘラケズリ、復古者	30
340	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	(34.0)	-	-	に白・褐色 7.5H8/2	灰褐色 7.5H8/2	灰褐色 7.5H8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による半降起線で施文 内面:施文、横文	31
341	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 7.5H8/2	に白・黃褐色 7.5H8/2	灰褐色 7.5H8/2	外面:口縫に沿って半裁竹管状工具による2本の半 降起線で施文、施文 内面:ナゲ	31
342	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	褐色 7.5H8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具による施文 内面:ナゲ、横ナゲ	31
343	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	黑褐色 10B8/2	灰褐色 7.5H8/2	灰褐色 10B8/2	外面:ナゲ、半裁竹管状工具によるキズと縦方向の比 較で施文 内面:ナゲ	31
344	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 10B8/2	明褐色 10B8/2	明褐色 10B8/2	外面:横文、施文部の間に縦位沈線、施文でヘラケズリ 内面:ナゲ	31
345	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	赤褐色 10B8/2	に白・赤褐色 10B8/2	褐色 10B8/2	外面:半裁竹管状工具による施文で口縫文、口内 に半裁竹管状工具による施文 内面:ナゲ	31
346	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	(11.0)	-	-	黑褐色 10B8/2	に白・黒褐色 10B8/2	褐色 10B8/2	外面:ナゲ、施文と施文、施文、施文部付着 内面:ナゲ、ヘラケズリ	31
347	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黒褐色 10B8/2	に白・黒褐色 10B8/2	に白・黒褐色 10B8/2	外面:口縫下に施文で施文、施文 内面:ナゲ	31
348	御岳城敷道跡	陶文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 10B8/2	灰褐色 10B8/2	褐色 10B8/2	外面:施文、ヘラケズリ 内面:ナゲ、施文部付着	31

第14表 土器・土製品觀察表(9)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	断面	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(形態・文様等)	排 出 國 版
					口径	底径	器高	内面	外面	断面		
349	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 1.5mm/6	灰黃褐色 1.5mm/4	灰黃褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、沈継、調文瓶 内面:ナメ	31 -
350	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	淡褐色 1.5mm/6	淡褐色 1.5mm/4	淡褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、調文 内面:横文	31 -
351	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/6	褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:斜文沈継と縱文帶地で瓶文 内面:ナメ	31 -
352	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/6	黒褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:櫛状工具による刷毛で斜瓶文、半竹管状工具による半斜柱線と沈継で施文、基盤部に櫛状工具による刷文 内面:ナメ	31 -
353	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/6	内面:黄褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:半斜竹管状工具による半斜柱線で施文、基盤部に櫛状工具による刷文 内面:ナメ	31 -
354	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/6	内面:黄褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、沈継、調文瓶 内面:ナメ	31 -
355	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 1.5mm/4	灰褐色 1.5mm/4	灰褐色 1.5mm/2	外面:施文突起、櫛沈継の後沈継で洗継 内面:ナメ	31 -
356	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/6	内面:黄褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、斜列柱線、板文洗継、黒帯の間にキザミ 内面:ナメ、出目突起 356-357同一個体	31 -
357	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	(22.0)	-	-	内面:褐色 1.5mm/3	褐色 2.0mm/4	褐色 2.5mm/3	外面:施文点点、施高の中に沈継、ナメ 内面:ナメ、出目突起 356-357同一個体	31 7
358	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	美褐色 1.5mm/4	美褐色 1.5mm/4	美褐色 1.0mm/2	外面:ナメ 内面:ナメ	31 -
359	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	(20.4)	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、出目突起、S字彫花、棒文 内面:ナメ	31 7
360	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、沈継、黒帯文様 内面:ナメ	31 -
361	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁~ 胴部	(26.6)	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/4	灰黃褐色 1.5mm/4	内面:黄褐色 1.0mm/2	外面:隆起に沿ってへラ状によるキザミ、口縫無 内面:調文瓶 内面:ナメ	32 7
362	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、出目突起 内面:ナメ	32 7
363	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、半斜竹管状工具による刷文突起、棒形 内面:ナメ	32 -
364	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/4	褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、棒文 内面:ナメ	32 -
365	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:矢張模状洗継後コンパス文 内面:ナメ	32 -
366	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、施文洗継、施帶による沈継 内面:ナメ	32 -
367	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁~ 胴部	(22.8)	-	-	内面:黄褐色 2.5mm/4	内面:黄褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、出目突起、S字彫花 内面:ヘマガリ、ナメ	32 -
368	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	(20.0)	-	-	内面:黄褐色 2.5mm/4	内面:黄褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、施文の刷毛で瓶文 内面:ナメ	32 -
369	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	内面:褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:ナメ、調文 内面:ナメ	32 -
370	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	(24.8)	-	-	浅黃褐色 1.5mm/2	浅黃褐色 1.5mm/2	灰白色 1.0mm/2	外面:ナメ、調文 内面:ナメ	32 -
371	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:褐色 2.5mm/4	内面:褐色 2.5mm/4	内面:褐色 1.5mm/2	外面:調文 内面:ナメ 359-360同一個体	32 -
372	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐灰色 1.0mm/2	外面:横ナメ、調文、瓶文 内面:横文	32 -
373	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	青黄褐色 1.5mm/2	青黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、調文、スヌ付唇 内面:ナメ	32 -
374	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	青黄褐色 1.5mm/2	青黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:口縫下に瓶文押捺、調文 内面:ナメ	32 -
375	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:横ナメ、調文 内面:ナメ	32 -
376	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 1.5mm/2	褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、口縫部にキザミ 内面:ナメ	32 -
377	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴~底部	(11.0)	-	-	黑色 1.5mm/2	内面:褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:調文、底面に斜竹瓦痕 内面:ナメ	32 -
378	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	胴~底部	(10.6)	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:調文、既存に調文瓦(2枚)2枚 内面:ナメ	32 -
379	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	底部	(14.0)	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、既存 内面:ナメ	33 -
380	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、調文押捺 内面:ナメ	33 -
381	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:褐色 1.5mm/2	内面:褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:調文 内面:ナメ	33 -
382	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 1.5mm/2	褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:調文 内面:ナメ	33 -
383	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内面:黄褐色 1.5mm/2	内面:黄褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:ナメ、調文 内面:ナメ	33 -
384	御番屋敷遺跡	両文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰黃褐色 1.5mm/2	灰黃褐色 1.5mm/2	褐色 1.0mm/2	外面:調文 内面:ナメ	33 -

第15表 土器・土製品観察表(10)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.基盤内に示す)			色調			備考(形態・文様等)	種 別	
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
385	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 30mm/3	黒褐色	褐色	外面:ナガ、調文	33	-
386	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	胴・底部	(8.0)	-	-	褐色	灰褐色	褐色	外面:調文、撲文系、底部無文	33	-
387	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	黄褐色	に白・黄褐色 2.5mm/2	褐色	外面:ナガ、底位土紋、横位沈綱	33	-
388	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	灰褐色	に白・黄褐色 10mm/2	褐褐色	外面:ナガ、底位土紋、スス付有	33	-
389	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 10mm/4	10mm/2	10mm/4	外面:ナガ、平成綱(へくさう)状工具による条縫	33	-
390	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	胴・底部	-	-	-	に白・黄褐色 2.5mm/2	黒褐色	褐色	外面:底位沈綱、ナガ	33	-
391	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・褐色	に白・褐色 2.5mm/2	褐色	外面:底位沈綱、スス付有	33	-
392	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色	に白・黄褐色 10mm/2	灰褐色	外面:底位沈綱(脚日)	33	-
393	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	10.2	-	に白・黄褐色	に白・黄褐色	褐色	外面:底位沈綱、底部にすだれ状沈綱	33	-
394	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	(15.4)	-	-	褐色	に白・赤褐色 2.5mm/4	黒褐色	外面:ナガ	33	-
395	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	明褐色	に白・褐色 30mm/6	褐色	外面:調文	33	-
396	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	(10.0)	-	に白・褐色 2.5mm/4	に白・褐色 2.5mm/2	褐色	外面:ナガ、底部に網代正絹(しやくじやく)付(縫)	33	-
397	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	(10.0)	-	に白・黄褐色	に白・黄褐色	褐色	外面:底位沈綱、底部にすだれ状沈綱	33	-
398	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	(8.0)	-	褐色	に白・赤褐色 3mm/2	黒褐色	外面:底位沈綱、文様にすだれ状沈綱	33	-
399	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	(17.0)	-	に白・黄褐色	に白・黄褐色 30mm/3	褐色	外面:調文、底部すだれ状沈綱	33	-
400	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	-	-	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:底位沈綱	33	-
401	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	-	-	に白・褐色	に白・褐色 2.5mm/4	褐色	外面:ナガ、底部に種子伝承	33	-
402	御番屋敷遺跡	圓文土器	深鉢	底部	-	-	-	に白・赤褐色	に白・褐色 2.5mm/3	褐色	外面:ナガ、スス付有	33	-
403	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	口縁~ 胴部	(32.8)	-	-	に白・褐色	に白・褐色 2.5mm/4	褐色	外面:ハラマキ、縁端で渦巻文と横長区画文、区画内に折斜突文	33	7
404	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	に白・褐色 2.5mm/4	に白・褐色	明褐色	外面:ナガ、キヂミ、半截竹管状工具による沈綱、床付有	34	-
405	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	褐色	褐色	灰褐色	外面:ナガ、半截竹管状工具による口厚部施文	34	-
406	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	口縁部	-	-	-	浅褐色	浅褐色	灰褐色	外面:ヘラガキ、沈綱 内面:ヘラガキ	34	-
407	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	胴部	-	-	-	黑褐色	黑褐色	黑褐色	外面:ヘラガキ	34	-
408	御番屋敷遺跡	圓文土器	浅鉢	胴・底部	-	5.0	-	に白・黑褐色	に白・褐色 10mm/2	褐色	外面:ナガ	34	-
409	御番屋敷遺跡	圓文土器	小形土器	胴・底部	-	(7.0)	-	黑褐色	に白・黄褐色 10mm/1	黑褐色	外面:研磨、底部網代压痕 内面:ナガ、ケズリ	34	-
410	御番屋敷遺跡	圓文土器	小形土器	口縁~ 胴部	(11.0)	-	-	に白・褐色	に白・褐色 2.5mm/2	褐色	外面:調文 内面:ナガ	34	-
411	御番屋敷遺跡	圓文土器	注口器	-	-	-	-	暗黄色	暗黄色	褐色	外面:ナガ、貼付要筋、キズ 内面:ナガ	34	-
412	御番屋敷遺跡	圓文土器	有孔跨足 土器	口縁~ 胴部	-	-	-	黑褐色	に白・黄褐色 2.5mm/2	灰褐色	外面:ミガキ 内面:ミガキ 穿孔有	34	7
413	御番屋敷遺跡	土製品	土偶	胴部	長さ 6.2 (6.2)	最大幅 6.2 (6.2)	厚み 3.4	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:沈綱 内面:沈綱	34	7
414	御番屋敷遺跡	須志器	口縁~ 底部	36.4	9.1	5.6	-	褐色	褐色	褐色	外面:口縁ナガ、系切り、茎付高台、隕坑 内面:口縁ナガ、隕坑	34	7
415	御番屋敷遺跡	須志器	底部	-	(9.0)	-	-	褐色	褐色	褐色	外面:口縁ナガ、系切り、茎付高台 内面:口縁ナガ	34	-
416	御番屋敷遺跡	須志器	須志器 体部	(6.6)	-	-	-	に白・赤褐色	に白・褐色 3mm/3	褐色	外面:口縁ナガ、隕坑 内面:口縁ナガ	34	-
417	御番屋敷遺跡	須志器	須志器 体部	(7.0)	-	-	-	暗褐色	に白・赤褐色 2.5mm/2	褐色	外面:口縁ナガ、隕坑 内面:口縁ナガ	34	-
418	御番屋敷遺跡	須志器	楕	体部	-	-	-	に白・赤褐色	灰褐色	灰褐色	外面:口縁ナガ 内面:口縁ナガ	34	-
419	御番屋敷遺跡	須志器	楕	体部	-	-	-	淡褐色	に白・黄褐色 2.5mm/4	褐色	外面:口縁ナガ、隕坑 内面:口縁ナガ	34	-
420	御番屋敷遺跡	土師器	甕	口縁~ 胴部	(19.0)	-	-	丸褐色	丸褐色 10mm/2	褐色	外面:横ナガ、タタキ 内面:ナガ	34	7
421	御番屋敷遺跡	土師器	甕	口縁~ 胴部	(28.0)	-	-	淡黄色	淡黄色	淡黄色	外面:ナガ、底付ケ日、媒・固化物付有 内面:ナガ、ハケ日	34	-

第16表 土器・土製品観察表(11)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 庫		
					口径	進深	基高	内面	外面	断面				
422	御番用敷道板	土桶器	便	胴部	—	—	—	浅黄色	浅黄色	浅黄色	背面:暗ベージュ 内面:模様無	34	—	
423	御番用敷道板	陶器	瓶壺類	胴部	—	—	—	灰黄色	灰黄色	灰黄色	背面:模様無 外面:凹輪ナガ, 鉄袖	34	—	
424	御番用敷道板	青磁	輪花器	口縁~ 体部	—	—	—	F7~灰生	F7~灰生	灰生	背面:単文字, 口縁輪花 火被焼	34	—	
446	下気多川原道板	灰瓦器	杯皿	天井部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ, 回転ヘラケズリ	39	—	
447	下気多川原道板	灰瓦器	HG身	口縁~ 体部	—	—	—	2.97/1	2.97/1	2.97/1	内面:凹輪ナガ, 回転ナガ	39	—	
448	下気多川原道板	灰瓦器	杯	底部	—	(11.6)	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ, 回転ヘラケズリ, 斜肩高台	39	—	
449	下気多川原道板	灰瓦器	杯	底部	—	(10.4)	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ, 船形高台	39	—	
450	下気多川原道板	灰瓦器	便	胴部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:単文字, 振手方口 内面:単円当板	39	—	
451	下気多川原道板	灰釉陶器	碗	口縁~ 体部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ	39	—	
452	下気多川原道板	灰釉陶器	碗	口縁~ 体部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ	39	—	
453	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG身	口縁~ 天井部	(11.9)	—	3.0	灰黄色	灰黄色	灰黄色	背面:大井型凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 借用資料	40	9	
455	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	杯	完形	12.4	6.9	4.6	灰オリーブ色	灰オリーブ色	灰オリーブ色	背面:底面凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 借用資料	40	9	
456	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	杯	ほぼ完形	12.4	8.2	4.4	灰色	2.96/1	2.96/1	米白色 背面:底面凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 借用資料	40	—	
457	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG身	完形	12.2	6.6	4.2	浅黄色	浅黄色	浅黄色	背面:底面凹輪ヘラカタリ, 回転ナガ 借用資料	40	—	
458	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG身	完形	12.8	6.7	4.35	灰白色	灰白色	灰白色	背面:底面凹輪ヘラカタリ, 回転ナガ 借用資料	40	—	
459	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG身	完形	12.0	6.7	4.4	浅黄色	浅黄色	浅黄色	背面:底面凹輪ヘラカタリ, 回転ナガ 借用資料	40	9	
460	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	蓋	完形	16.8	—	4.2	オリーブ灰色	オリーブ灰色	2.90/1 2.90/1	— 背面:底面凹輪ヘラカタリ→まみ脛付→つ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	9	
461	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG	完形	12.8	11.6	3.7	浅黄色	浅黄色	2.97/1	背面:凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	9	
462	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	HG	略完形	16.0	11.9	3.9	オリーブ灰色	オリーブ灰色	2.90/1 2.90/1	背面:底面凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—	
463	下野羽根坂 古窯跡	陶器	杯	完形	15.7	11.3	4.4	灰色	灰色	灰色	背面:底面凹輪ヘラケズリ→中心部ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	9	
464	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	杯	口縁~底 部	13.2	7.2	4.5	灰白色	灰白色	灰白色	背面:凹輪ナガ, 底底凹輪→へら切り 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	9	
465	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	杯	口縁~ 底部	10.8	6.4	3.8	褐色	褐色	褐色	背面:底面凹輪ヘラケズリ, 逆路凹輪底切り 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—	
466	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	杯	体~底 部	—	(5.8)	—	灰色	灰色	灰色	背面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—	
467	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	盤	完形	15.5	—	2.3	灰色	褐色	褐色	背面:大井型凹輪ヘラケズリ, 回転ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—	
468	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	高杯	口縁~ 脚部	—	—	—	灰色	灰色	褐色	背面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—	
469	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	高杯	口縁~ 脚部	(13.0)	(8.8)	7.8	灰オリーブ色	灰オリーブ色	2.98/2 2.98/2	灰オリーブ色 2.98/2 2.98/2	内面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	9
470	下野羽根坂 古窯跡	灰瓦器	高杯	脚部	—	9.0	—	灰白色	灰オリーブ色	2.98/1 2.98/1	灰白色 2.98/1 2.98/1	内面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—
471	下野羽根坂 古窯跡	陶器	便	口頭部	(21.3)	—	—	黑褐色	灰オリーブ色	2.57/2	灰褐色 2.57/2	内面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	40	—
472	下野羽根坂 古窯跡	灰釉陶器	楓	口縁~ 底部	15.2	7.3	4.3	灰白色	灰白色	2.97/2 2.97/2	灰白色 2.97/2 2.97/2	背面:ナガ, 回転ヘラケズリ 内面:ナガ, 口縁端外反, 粒子こぼし痕あり 借用資料	40	9
473	下野羽根坂 古窯跡	陶器	小皿	把手欠損	4.5	6.2	8.5	オリーブ黒色	オリーブ黒色	2.97/1 2.97/1	灰褐色 2.97/1 2.97/1	ロクロ, 切り出し高台, 借用資料	40	—
474	下野羽根坂 古窯跡	不明	不明	—	—	—	灰白色	灰オリーブ色	2.97/1 2.97/1	—	借用資料	40	—	
475	東寺寺庭周遭跡	灰瓦器	便	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	2.97/2 2.97/2	灰褐色 2.97/2 2.97/2	背面:ダマキ 内面:使用による摩滅 転写か?	42	—
304	村崎北野遺跡	灰瓦器	HG身	口縁部	(12.2)	—	—	緑褐色	灰褐色	2.97/1 2.97/1	内面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	48	—	
305	村崎北野遺跡	灰瓦器	HG身	底部	(9.0)	—	—	灰褐色	灰褐色	2.97/2 2.97/2	内面:凹輪ナガ 内面:凹輪ナガ 借用資料	48	—	

第 17 表 土器・土製品観察表 (12)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	重量 (cm. 評量内は推定)			色調			備考(成型・文様等)	種 別	國 籍
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
506	村崎北野遺跡	須	つまみ	-	つまみ 2.2	-	灰色 54	灰色 34/1	灰色 34/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	48	-	
507	村崎北野遺跡	須	杯	底部	-	0.6.0	-	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	外面部:回転ナメ、ナメ 内面部:回転ナメ	48	-
508	村崎北野遺跡	須	碗	体～底部	-	(7.0)	-	に5.5.褐色 2.35/2	に5.5.褐色 2.35/2	に5.5.褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ、角切り 内面部:回転ナメ	48	-
509	村崎北野遺跡	須	碗	底部	-	7.4	-	灰黄褐色 10141/2	灰黄褐色 10141/2	灰黄褐色 10141/2	外面部:回転ナメ、回転系切り 内面部:回転ナメ	48	-
510	村崎北野遺跡	須	短筒盃	口縁～底部	(11.6)	-	-	灰黄色 2.35/2	灰黄色 2.35/2	灰黄色 2.35/2	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ、短頭頭	48	-
511	村崎瀧沙門遺跡	須	口縁部	(20.6)	-	-	灰色 336/1	灰色 336/1	灰色 336/1	外面部:回転ナメ、自然釉 内面部:回転ナメ	49	-	
512	村崎瀧沙門遺跡	須	杯	底部	-	08.8	-	灰色 336/1	灰色 336/1	灰色 336/1	外面部:回転ナメ、貼付高台	49	-
513	村崎瀧沙門遺跡	須	碗	体部	-	-	-	灰色 337/1	灰色 337/1	灰色 337/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	49	-
514	村崎瀧沙門遺跡	須	碗	口縁～体部	-	-	-	灰白色 1.35/1	灰白色 1.35/1	灰白色 1.35/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	49	-
515	村崎瀧沙門遺跡	須	直腹碗	肩部	-	-	-	灰色 56	灰色 56	灰色 56	外面部:回転ナメ、回転ヘラケズリ、病変丈、回轉 芯線、自然釉 内面部:回転ナメ	49	-
516	村崎瀧沙門遺跡	須	甕	底部	-	-	-	灰色 56	灰色 56	灰色 56	外面部:タタキナメ、底部にヘラ書き 内面部:回転ナメ	49	-
517	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	灰色 336/1	灰色 336/1	灰色 336/1	外面部:回転ナメ、回転ヘラケズリ	50	-
518	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	褐灰色 10141/2	褐灰色 1.35/1	褐灰色 1.35/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
519	太江遺跡	須	口縁部	天井部	(12.6)	-	-	灰白色 10142/1	灰白色 10142/1	灰白色 10142/1	外面部:回転ナメ、沈穢 内面部:回転ナメ、自然釉	50	-
520	太江遺跡	須	口縁部	天井部	(10.4)	-	-	灰灰 2.35/2	灰灰 2.35/2	灰灰 2.35/2	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
521	太江遺跡	須	口縁部	(11.6)	-	-	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-	
522	太江遺跡	須	口縁部	-	-	-	灰色 56/1	灰色 56/1	灰色 56/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-	
523	太江遺跡	須	口縁部	-	-	-	灰色 56/1	灰色 56/1	灰色 56/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-	
524	太江遺跡	須	口縁部	天井部	(15.8)	-	-	灰色 337/1	灰色 337/1	灰色 337/1	外面部:回転ナメ、ヘラケズリ 内面部:回転ナメ 成不成	50	-
525	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
526	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	08.0	-	黄灰色 1.35/1	黄灰色 1.35/1	黄灰色 1.35/1	外面部:回転ナメ、回転ヘラ切り	50	-
527	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	(10.0)	-	黑褐色 1.35/1	黑褐色 1.35/1	黑褐色 1.35/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
528	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	(2.0)	-	灰白色 2.35/1	灰白色 2.35/1	灰白色 2.35/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	11
529	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	-	-	褐灰色 10146/1	褐灰色 10146/1	褐灰色 10146/1	外面部:回転ナメ	50	-
530	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	外面部:回転ナメ、自然釉	50	11
531	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	褐灰色 2.35/2	褐灰色 2.35/2	褐灰色 2.35/2	外面部:回転ナメ、回転ナメ、自然釉	50	-
532	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	灰灰 336/1	灰灰 336/1	灰灰 336/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
533	太江遺跡	須	口縁部	天井部	-	-	-	灰色 56/1	灰色 56/1	灰色 56/1	外面部:回転ナメ、回転ヘラケズリ	50	-
534	太江遺跡	須	口縁部	天井部	(16.4)	-	-	黄灰色 2.35/2	黄灰色 2.35/2	黄灰色 2.35/2	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
535	太江遺跡	須	口縁部	天井部	(10.4)	-	-	に5.5.褐色 2.35/2	に5.5.褐色 2.35/2	に5.5.褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ、回転ヘラケズリ	50	-
536	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	(2.0)	-	灰色 10146/1	灰色 10146/1	灰色 10146/1	外面部:回転ナメ 内面部:回転ナメ	50	-
537	太江遺跡	須	口縁部	体～底部	-	08.8	-	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ、ヘラケズリ	50	-
538	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	08.0	-	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	外面部:回転ナメ、使用痕	50	-
539	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	(12.0)	-	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	灰白色 2.35/2	外面部:回転ナメ、ヘラケズリ	50	-
540	太江遺跡	須	口縁部	体～底部	-	-	-	灰色 56/1	灰色 56/1	灰色 56/1	外面部:回転ナメ、ナメ、使用痕	50	-
541	太江遺跡	須	口縁部	底部	(16.0)	(12.0)	4.6	灰黄色 2.35/2	灰黄色 2.35/2	灰黄色 2.35/2	外面部:回転ナメ、貼付高台	50	-
542	太江遺跡	須	口縁部	体～底部	-	(5.4)	-	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	外面部:回転ナメ、貼付高台	50	-
543	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	08.0	-	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ、貼付高台	50	-
544	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	(11.0)	-	灰色 56/1	灰色 56/1	灰色 56/1	外面部:回転ナメ、貼付高台	50	-
545	太江遺跡	須	口縁部	底部	-	08.0	-	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	外面部:回転ナメ、貼付高台	50	-

第18表 土器・土製品観察表(13)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版	
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面			
566	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	(8.9)	—	灰褐色 2.35/2	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、貼付高台 外側:回転ナメ、自然縫	50	—
547	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	(7.6)	—	灰色 2.35/1	灰色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、貼付高台	50	—
548	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	(10.4)	—	灰色 2.35/1	灰色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、回転ヘラケヅリ、貼付高台	50	—
549	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	—	—	灰色 2.35/1	灰色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、貼付高台	50	—
550	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	—	—	灰褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、貼付高台	50	—
551	太江遺跡	須恵器	杯B	口縁～ 体部	—	—	—	灰褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
552	太江遺跡	須恵器	杯B	底部	—	—	—	灰褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
553	太江遺跡	須恵器	杯	口縁～ 体部	(15.0)	—	—	灰褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	明黄色 100/8	背面:回転ナメ	50	—
554	太江遺跡	須恵器	杯	口縁～ 体部	—	—	—	灰色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
555	太江遺跡	須恵器	杯	体部	—	—	—	褐色 2.35/6	褐色 2.35/8	褐色 2.35/8	背面:回転ナメ	50	—
556	太江遺跡	須恵器	陶A	底部	—	(8.0)	—	RH7-7色 2.35/2	RH7-7色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、赤り後回輪ヘラナメ	50	—
557	太江遺跡	須恵器	陶A	底部	—	(6.0)	—	灰褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	黄褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、赤切り	50	—
558	太江遺跡	須恵器	陶A	体～底部	—	(5.4)	—	灰色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、回輪系切り	50	—
559	太江遺跡	須恵器	陶A	底部	—	(6.2)	—	灰褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	黄褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、回輪系切り	50	—
560	太江遺跡	須恵器	陶A	体～底部	—	(8.6)	—	褐色 2.35/4	褐色 2.35/6	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、赤切り	50	—
561	太江遺跡	須恵器	陶A	底部	—	(7.0)	—	暗褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、赤切り	50	—
562	太江遺跡	須恵器	陶A	口縁～ 体部	(15.8)	7.8	4.9	灰色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、赤切り 内面と口縁部に黒焼	50	11
563	太江遺跡	須恵器	陶B	底部	—	(7.4)	—	白色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、赤切り	50	—
564	太江遺跡	須恵器	陶B	底部	—	(8.2)	—	灰色 2.35/1	褐色 2.35/1	黄褐色 2.35/2	背面:回転ナメ	50	—
565	太江遺跡	須恵器	慨	口縁～ 体部	(14.4)	—	—	灰色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
566	太江遺跡	須恵器	高盤	脚部	—	—	—	白色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	暗褐色 2.35/2	背面:回転ナメ	50	—
567	太江遺跡	須恵器	高杯	脚部	—	—	—	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	11
568	太江遺跡	須恵器	高杯	脚部	—	—	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ	50	—
569	太江遺跡	須恵器	高杯	脚部	—	(13.0)	—	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
570	太江遺跡	須恵器	蓋	口縁～ 原縁	(11.9)	—	—	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、自然縫	50	—
571	太江遺跡	須恵器	直板輪	口縁～ 原縁	(11.8)	—	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ	50	—
572	太江遺跡	須恵器	直板輪	前部	—	—	—	褐色 2.35/1	RH7-7色 2.35/1	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、回輪ヘラケヅリ、自然縫	50	—
573	太江遺跡	須恵器	直板輪	脚部	—	—	—	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
574	太江遺跡	須恵器	直板輪	体～底部	—	—	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ、回輪ヘラカタリ、自然縫	50	—
575	太江遺跡	須恵器	直板輪	底部	—	(10.4)	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、貼付高台	50	—
576	太江遺跡	須恵器	直板輪	底部	—	(17.0)	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/1	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、貼付高台	50	—
577	太江遺跡	須恵器	直板輪	体～底部	—	(10.0)	—	RH7-7色 2.35/2	褐色 2.35/1	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、回輪ヘラケヅリ、自然縫	50	—
578	太江遺跡	須恵器	直板輪	底部	—	(12.0)	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ	50	—
579	太江遺跡	須恵器	林	口縁～ 体部	—	—	—	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	褐色 2.35/2	背面:回転ナメ、回輪ヘラケヅリ、隣接	50	—
580	太江遺跡	須恵器	林	口縁部	—	—	—	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—
581	太江遺跡	須恵器	盤	口縁～ 底部	(13.3)	7.6	25.6	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	褐色 2.35/1	背面:回転ナメ	50	—

※1-11回輪均輪ナメ、脚部正面ヘラケヅリナメ、正面縫から脚部に4寸でヘラカタリ、平行引き目組、脚部回輪ヘラケヅリ、裏面回輪ナメ

※1-12頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ、頭輪均輪ナメ

※1-13頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ

※1-14頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ

※1-15頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ

※1-16頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ

※1-17頭輪均輪ナメ、脚部均輪ナメ(底)、均輪ナメ

第19表 土器・土製品観察表(14)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	重量 (cm.估観内は肯定)			色調			備考(成形・文様等)	種 類	
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
582	太江遺跡	灰色器	便	口縁～頭部	—	—	—	灰色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	51	—
583	太江遺跡	灰色器	便	口縁～頭部	—	—	—	灰黃色	灰黃色	灰黃色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	51	—
584	太江遺跡	灰色器	便	口縁～頭部	—	—	—	灰黃色	灰黃色	灰黃色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード, 当具瓶	51	—
585	太江遺跡	灰色器	便	口縁部	—	—	—	暗灰黃色	暗灰黃色	暗灰黃色	外面部:同軸ナード, 薄灰 内面部:同軸ナード	51	—
586	太江遺跡	灰色器	便	口縁部	—	—	—	灰白～色	灰白～色	灰白～色	外面部:同軸ナード, 自然釉 内面部:同軸ナード	51	—
587	太江遺跡	灰色器	便	脚部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	外面部:タタキ, 自然釉 内面部:タタキ後ナード	51	—
588	太江遺跡	灰色器	便	脚部	—	—	—	黃灰色	黃灰色	黃灰色	外面部:ナード, タタキ 内面部:タタキ後ナード	51	—
589	太江遺跡	灰色器	便	脚部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	外面部:同軸ナード, 同心円当具瓶	51	—
590	太江遺跡	土師器	杯	体部～底部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:ナード 内面部:ミガキ	51	—
591	太江遺跡	土師器	高杯	脚部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面部:ナード, 調整不明 内面部:ナード, シボリ	51	—
592	太江遺跡	灰袖陶器	碗或皿	底部	—	—	—	灰的色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, 貼付高台 内面部:同軸ナード	52	—
593	太江遺跡	灰袖陶器	碗或皿	底部	—	08.03	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, 貼付高台 内面部:同軸ナード	52	—
594	太江遺跡	灰袖陶器	瓶	口縁～頭部	—	—	—	灰～黃色	灰黃色	灰黃色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	52	—
595	太江遺跡	灰袖陶器	瓶	底部	—	(12.0)	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, ハケズリ, 回転ナード, 回転ヘラ切 り, 自然釉 内面部:同軸ナード, 使用痕	52	—
603	大江上番場道跡	灰色器	罐?	口縁部	(10.0)	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, 内面部:同軸ナード	54	—
604	大江上番場道跡	灰色器	杯或蓋	口縁部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	54	—
605	大江上番場道跡	灰色器	杯或蓋	口縁部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	54	—
606	大江上番場道跡	灰色器	杯或蓋	底部	—	(7.0)	—	灰黃色	灰～黃色	灰白色	外面部:同軸ナード, ハラ切 り, 自然釉 内面部:同軸ナード, 使用痕	54	—
607	大江上番場道跡	灰色器	杯或蓋	口縁部	—	—	—	灰白色	灰黃色	灰黃色	外面部:同軸ナード, 自然釉 内面部:同軸ナード	54	—
608	大江上番場道跡	灰色器	蓋	口縁～天井部	(14.9)	—	—	灰色	灰色	灰黃色	外面部:同軸ナード, 回転ヘラケズリ, 薄灰 内面部:同軸ナード	54	—
609	大江上番場道跡	灰色器	蓋或瓶	口縁部	(11.4)	—	—	灰黃色	灰黃色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	54	—
610	大江上番場道跡	灰色器	蓋	体～底部	—	—	—	灰黃色	灰黃色	灰黃色	外面部:同軸ナード, 補削部に別粘土を附む, 施釉 内面部:同軸ナード, 自然釉	54	—
611	大江上番場道跡	灰色器	蓋或瓶	体～底部	—	08.03	—	褐色	褐色	褐色	外面部:同軸ナード, ハケズリ, A切り 内面部:同軸ナード	54	—
612	大江上番場道跡	灰色器	蓋	天井部	—	つまみ 2.2	—	灰白色	深褐色	灰白色	外面部:同軸ナード, 回転ヘラケズリ 内面部:同軸ナード	55	—
613	大江上番場東道跡	灰色器	蓋	天井部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, 回転ヘラケズリ 内面部:同軸ナード	55	—
614	大江上番場東道跡	灰色器	蓋	口縁部	(25.8)	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	55	—
615	大江上番場東道跡	灰色器	杯	口縁～体部	—	—	—	灰黃色	灰黃色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード, 自然釉	55	—
616	大江上番場東道跡	灰色器	碗	体～底部	—	(6.4)	—	灰～黃色	灰～黃色	深褐色	外面部:同軸ナード, 使用痕, 回転底部切 内面部:同軸ナード, 使用痕	55	—
617	大江上番場東道跡	灰袖陶器	碗	底部	—	09.83	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード, 贼付高台 内面部:同軸ナード	55	—
618	大江番ヶ洞道跡	灰色器	碗	口縁～体部	(8.5)	—	—	灰色	灰白～色	灰白～色	外面部:同軸ナード, 薄灰 内面部:同軸ナード	56	—
619	大江番ヶ洞道跡	灰色器	蓋	天井部	—	—	—	黃褐色	黃褐色	黃褐色	外面部:同軸ナード, 回転ヘラケズリ 内面部:同軸ナード	56	—
620	大江番ヶ洞道跡	灰色器	杯	底部	—	—	—	黃褐色	灰～黃褐色	灰～黃褐色	外面部:同軸ナード, 使用痕, 贊付高台 内面部:同軸ナード	56	—
621	大江番ヶ洞道跡	灰色器	蓋或瓶	底部	—	—	—	灰黃褐色	灰黃褐色	灰黃褐色	外面部:同軸ナード, 贊付高台 内面部:同軸ナード	56	—
622	大江小林遺跡	灰色器	杯或身	体部	—	—	—	灰色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	57	—
623	大江小林遺跡	灰色器	蓋	脚部	—	—	—	灰色	灰白色	灰白色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	57	—
624	大江小林遺跡	灰色器	蓋	口縁部	—	—	—	黃灰色	黃灰色	黃灰色	外面部:同軸ナード 内面部:同軸ナード	57	—

第20表 土器・土製品観察表(15)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧部内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版	
					口径	進深	高さ	内面		外面			
								内面	外面	断面			
625	太江小林遺跡	須恵器	壺	口縁部	-	-	-	灰褐色 5.0cm	灰褐色 5.0cm	灰褐色 2.3cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	ST	-
626	太江小林遺跡	須恵器	壺	口縁部	-	-	-	灰褐色 5.0cm	灰褐色 5.0cm	灰白色 3.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	ST	-
627	太江小林遺跡	須恵器	杯	底部	-	(9.6)	-	灰白色 2.3cm/1	灰白色 2.3cm/1	灰褐色 2.3cm/2	外面:円転ナメ,底部凹縮へラケズリ 内面:円転ナメ	ST	-
628	太江小林遺跡	須恵器	杯	底部	-	-	-	灰褐色 5.0cm	灰褐色 5.0cm	灰褐色 2.3cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	ST	-
629	太江小林遺跡	灰釉陶器	壺	口縁部	-	-	-	灰白色 7.5cm/1	灰白色 7.5cm/1	灰白色 3.0cm/2	外面:円転ナメ,施釉 内面:円転ナメ,施釉	ST	-
630	太江多度古墳群	須恵器	杯	天井部	-	-	-	黄褐色 2.5cm/1	黄褐色 2.5cm/1	黄褐色 2.2cm/2	外面:円転ナメへラケズリ 内面:円転ナメ	S8	-
631	太江多度古墳群	須恵器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色 2.3cm/2	灰褐色 2.3cm/2	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,立脚 内面:円転ナメ 後縁部に擦摩	S8	11
632	太江多度古墳群	須恵器	甕	口縁+ 肩部	(15.2)	-	-	灰白色 2.3cm/1	灰白色 2.3cm/1	灰白色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,タタキ 内面:円転ナメ,同心円当具孔,自然縫	S8	11
633	太江多度古墳群	土師器	高杯	脚部	-	(9.0)	-	灰白色 7.5cm/1	灰白色 7.5cm/1	灰白色 7.0cm/2	外面:複屈曲により調整不明 内面:複屈曲により調整不明	S8	-
634	太江多度古墳群	土師器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色 7.5cm/3	灰褐色 7.5cm/3	灰褐色 7.0cm/3	外面:調整不明 内面:調整不明,シボリ	S8	11
635	太江多度 弓矢古墳	須恵器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色 5.5cm	灰褐色 5.5cm	灰褐色 5.0cm/2	外面:弓矢,立脚,高台延長,方彌形透孔 内面:セクロ模様	S8	-
636	高野光寺寺道跡	陶文土器	深鉢	口縁~側 部	-	-	-	褐色 7.0cm/6	褐色 7.0cm/6	褐色 7.0cm/6	外面:口縁下下垂,施錐形窓にハシゴ状沈線を施 文,腹部次線と接縫間に斜文 内面:ナメ	S9	-
637	高野光寺寺道跡	陶文土器	深鉢	胸~底部	-	13.0	-	灰褐色 10.0cm/4	灰褐色 10.0cm/4	灰褐色 10.0cm/2	外面:地文・繪文ナメ,粗面压痕あり 内面:ナメ 縫合部10.0cmの網代瓦瓶	S9	-
638	高野光寺寺道跡	須恵器	碗	体~底部	-	(8.5)	-	灰オーバー 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	外面:底部切込糸切り・高台延長・周辺ナメ 内面:ナメ	S9	-
639	高野光寺寺道跡	灰釉陶器	碗	体~底部	-	(6.5)	-	灰白色 2.3cm/1	灰褐色 2.3cm/1	灰褐色 2.3cm/2	外面:円転ナメ,底部切込糸切り・全面ナメ 内面:ナメ,日本古都あり 縫合部内面:ナメ,施釉	S9	-
640	高野巾上遺跡	須恵器	深鉢	口縁~底部	-	-	-	灰褐色 10.0cm/2	灰褐色 10.0cm/2	灰褐色 10.0cm/2	外面:地文・繪文ナメ,粗面压痕あり 内面:ナメ	S9	-
641	高野巾上遺跡	須恵器	深鉢	体~底部	-	-	-	灰褐色 10.0cm/4	灰褐色 10.0cm/4	灰褐色 10.0cm/2	外面:円転ナメ,自然縫 内面:円転ナメ,隣縫	S9	-
642	高野巾上遺跡	須恵器	深鉢	体~底部	-	(6.8)	-	灰褐色 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
643	高野巾上遺跡	須恵器	杯	体~底部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,ヘラケズリ 内面:円転ナメ	S9	-
644	高野巾上遺跡	須恵器	壺	口縁~底部	-	-	-	灰白色 2.3cm/1	灰白色 2.3cm/1	灰白色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
645	高野巾上遺跡	須恵器	杯	口縁~ 底部	(11.0)	(9.0)	-	灰褐色 M/L	灰褐色 M/L	灰褐色 2.5cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ 外面:自然縫	S9	-
646	高野巾上遺跡	須恵器	杯	底部	-	(9.0)	-	灰褐色 2.3cm/1	灰褐色 2.3cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,取付着物有 内面:円転ナメ	S9	-
647	高野巾上遺跡	須恵器	杯	休部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
648	高野巾上遺跡	須恵器	杯	休部	(12.0)	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
649	高野巾上遺跡	須恵器	杯	休部	(9.0)	-	-	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:口縁部に自然縫	S9	-
650	高野巾上遺跡	須恵器	壺	口縁部	-	-	-	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
651	高野巾上遺跡	須恵器	壺	天井部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,自然縫	S9	-
652	高野巾上遺跡	須恵器	壺	口縁~ 天井部	-	(9.8)	-	灰褐色 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	灰褐色 5.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
653	高野巾上遺跡	須恵器	杯	休部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,ヘラケズリ 内面:円転ナメ	S9	-
654	高野巾上遺跡	須恵器	杯	口縁~ 底部	(11.0)	(9.0)	-	灰褐色 M/L	灰褐色 M/L	灰褐色 2.5cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ 外面:自然縫	S9	-
655	高野巾上遺跡	須恵器	杯	底部	-	(9.0)	-	灰褐色 2.3cm/1	灰褐色 2.3cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,取付着物有 内面:円転ナメ	S9	-
656	高野巾上遺跡	須恵器	杯	休部	(12.0)	-	-	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
657	高野巾上遺跡	須恵器	杯	口縁~ 休部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ 外面:自然縫	S9	-
658	高野巾上遺跡	須恵器	杯	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/1	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
659	高野巾上遺跡	須恵器	碗	休部	-	(8.0)	-	灰褐色 10.0cm/1	灰褐色 10.0cm/1	灰褐色 10.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
660	高野巾上遺跡	須恵器	壺	口縁部	(9.0)	-	-	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	灰褐色 7.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
661	高野巾上遺跡	須恵器	直瓶類	肩部	-	-	-	灰色 5.0cm/1	黑色 5.0cm/1	黑色 5.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
662	高野巾上遺跡	須恵器	直瓶類	休部	-	-	-	灰白色 7.0cm/1	灰白色 7.0cm/1	灰白色 7.0cm/1	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
663	高野巾上遺跡	須恵器	甕	休部	(12.0)	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ,底部にヘラ書き 内面:円転ナメ	S9	-
664	高野巾上遺跡	灰釉陶器	碗	口縁部	-	-	-	灰白色 2.5cm/1	灰白色 2.5cm/1	灰白色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ 外縁部	S9	-
665	高野巾上遺跡	灰釉陶器	碗	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.5cm/2	灰褐色 2.0cm/2	外面:円転ナメ 内面:円転ナメ	S9	-
666	高野巾上遺跡	土製品	土偶	頭部	-	-	-	浅褐色 10.0cm/4	浅褐色 10.0cm/4	浅褐色 10.0cm/4	表面:鳥は珠帶,目・口は突きで回せる,眉・ひ く・鼻・耳・唇を思わせる彫刻あり 裏面:棒状工具による複数文様 頭部ヒモセ形状をより合わせて、立体的に髪を 始めた状態を表現,頭部前面に横縫	61	11

第21表 土器・土製品観察表(16)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.基盤内定は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 別	國 籍
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
716	谷遺跡	須恵器	蓋	天井部	-	-	-	オリーブ黒色 105.0	オリーブ黒色 105.0	オリーブ黒色 105.0	外面:回転ナード、回転ヘラケズリ 内面:回転ナード	64	-
717	谷遺跡	須恵器	碗A	体～底部	-	(6.0)	-	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	外面:回転ナード、素切り 内面:回転ナード	64	-
718	谷遺跡	須恵器	碗A	体～底部	-	(5.4)	-	灰黑色 SA	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	外面:回転ナード、素切り 内面:回転ナード	64	-
719	谷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(6.0)	-	灰黑色 1.35cm	灰黑色 SA	灰黑色 1.35cm	外面:回転ナード、回転素切り 内面:回転ナード、使用痕	64	-
720	谷遺跡	須恵器	碗A	底部	-	(5.4)	-	灰黑色 SA	灰黑色 SA	灰黑色 SA	外面:回転ナード、回転素切り 内面:回転ナード、使用痕	64	-
721	谷遺跡	單底器	碗B	底部	-	(6.0)	-	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	外面:回転ナード、船形高台 内面:回転ナード、底灰	64	-
722	谷遺跡	須恵器	盤	口縁部	-	-	-	灰黑色 105.0	灰黑色 105.0	灰黑色 105.0	外面:回転ナード 内面:回転ナード	64	-
723	谷遺跡	灰陶器	碗	口縁～体部	-	-	-	灰白色 105.0	灰白色 105.0	灰白色 105.0	外面:回転ナード 内面:回転ナード、灰釉	64	-
724	谷遺跡	土製品	土鍋	-	-	-	-	灰白色 105.0	灰白色 105.0	灰白色 105.0	長さ:3cm、幅1.5cm、孔隙0.3cm	64	-
726	種村古墳	須恵器	糞身舟	口縁部	(10.30)	-	-	灰黑色 SA	灰黑色 SA	灰黑色 SA	外面:回転ナード 内面:回転ナード	66	-
727	種村古墳	須恵器	糞身舟	底部	(9.0)	-	-	灰黑色 SA	灰黑色 SA	灰黑色 SA	外面:回転ナード、回転ヘラ切り 内面:回転ナード	66	-
728	種村古墳	須恵器	高杯	頸部	-	-	-	灰黑色 SA	灰黑色 SA	灰黑色 SA	縦方向の透かし有 外面:回転ナード、陰灰	66	-
729	種村古墳	須恵器	蓋	胴部	-	-	-	灰黑色 SA	灰黑色 1.35cm	灰黑色 1.35cm	外面:回転ナード	66	-
730	種村古墳	土師器	高杯	口縁～耳部	(19.0)	-	-	黄褐色 1.35cm	黄褐色 1.35cm	黄褐色 1.35cm	外面:コロナード～ヘラミガキ 内面:荷积、脚踏混み合わせ、口縫外反、外面墨縁彌縫、 茎管斜裂	66	12
741	種村古墳	土師器	高杯	杯部	-	-	-	明褐色 7.505.5	明褐色 7.505.5	明褐色 7.505.5	外面:ミガキ 内面:ミガキ	66	-
742	種村古墳	土師器	高杯	杯部	-	-	-	明褐色 7.506.8	明褐色 7.506.8	明褐色 7.506.8	外面:ヘラミガキ 内面:ヘラミガキ	66	-
743	種村古墳	土師器	高杯	口縁部	(15.0)	-	-	灰褐色～黃褐色 105.0	灰褐色～黃褐色 105.0	灰褐色～黃褐色 105.0	外面:横ナード 内面:横ナード	66	-
744	種村古墳	土師器	高杯	底～脚部	-	-	-	褐色 105.0	褐色 105.0	褐色 105.0	外面:ケズリ、ナード 内面:調整不均	66	12
745	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色～黃褐色 105.0	灰褐色～黃褐色 105.0	灰褐色～黃褐色 1.35cm	外面:ミガキ 内面:ナード	66	-
746	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	浅褐色 105.0	浅褐色 105.0	浅褐色 105.0	外縁:横ナード、中央に斜窓に連続した凸縫、ユビ オサ有り 内面:横ナード、ヘラ状工具板あり、基部ヨコナード 茎管斜裂	66	12
747	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐色 1.35cm	褐色 1.35cm	褐色 1.35cm	外縁:ミガキ(鏡張模) 内面:ナード	66	-
748	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色～黃褐色 1.057.4	灰褐色～黃褐色 1.057.4	灰褐色～黃褐色 1.057.4	外縁:ミガキ 内面:ナード	66	-
749	種村古墳	土師器	高杯	脚部	(10.0)	-	-	黄褐色 1.058.6	黄褐色 1.058.6	黄褐色 1.058.6	外縁:ヘラミガキ 内面:ナード	66	12
750	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐色 1.059.6	褐色 1.059.6	褐色 1.059.6	外縁:ミガキ 内面:ヘラミガキ、ヘラナード	66	12
751	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	褐色 1.059.6	褐色 1.059.6	褐色 1.059.6	外縁:ミガキ 内面:ナード	66	-
752	種村古墳	土師器	高杯	脚部	-	-	-	灰褐色～黃褐色 1.059.7	灰褐色～黃褐色 1.059.7	灰褐色～黃褐色 1.059.7	外縁:摩滅 内面:摩滅	66	-
753	種村古墳	土師器	甕	口縁部	(12.0)	-	-	灰褐色～黃褐色 1.059.8	灰褐色～黃褐色 1.059.8	灰褐色～黃褐色 1.059.8	外縁:ナード 内面:ナード	66	-
754	種村古墳	土師器	甕	口縁部	-	-	-	褐色 1.059.8	褐色 1.059.8	褐色 1.059.8	外縁:ナード 内面:ナード 施塗不良	66	-
755	種村古墳	土師器	甕	脚部	-	-	-	灰褐色～黃褐色 1.059.8	灰褐色～黃褐色 1.059.8	灰褐色～黃褐色 1.059.8	外縁:ハク目 内面:ハク目	66	-
757	戸市遺跡	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	褐色 1.059.8	褐色 1.059.8	褐色 1.059.8	外縁:半輪竹管状工具により施文 内面:ケズリ	67	-
758	戸市遺跡	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	黄褐色 1.059.8	黄褐色 1.059.8	黄褐色 1.059.8	外縁:半輪竹管状工具による施文 内面:ナード	67	-
774	戸市長者跡	漬口美濃 カ	天日御酒 カ	体部	-	-	-	(鉛錠) 灰褐色 2.053.1	(鉛錠) 灰褐色 2.053.1	(鉛錠) 灰褐色 2.053.1	外縁:回転ナード 内面:回転ナード	68	-
775	戸市長者跡	陶器	土器鉢	脚部	-	-	-	褐色 2.053.2	褐色 2.053.2	褐色 2.053.2	外縁:回転ナード、船形高台 内面:回転ナード	68	-
776	戸市長者跡	染付	盤	底部	-	3.6	-	灰褐色 1.057.1	灰褐色 1.057.1	灰褐色 1.057.1	外縁:回転ナード、施物、染付、肥頭面	68	-
781	中野大洞平 遺跡	須恵器	糞身舟	体部	(11.2)	-	-	灰褐色 2.059.2	灰褐色 2.059.2	灰褐色 2.059.2	外縁:回転ナード	71	-

第22表 土器・土製品觀察表(17)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版
					口径	進径	器高	内面	外面	断面		
782	中野大削平 道路	裏窓器	杯身	口縁部	(11.0)	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ	71 —
783	中野大削平 道路	裏窓器	杯身	口縁部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ	71 —
784	中野大削平 道路	裏窓器	杯身	底部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ	71 —
785	中野大削平 道路	裏窓器	蓋	天津部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ	71 —
786	中野大削平 道路	裏窓器	FG蓋	口縁～天 井部	(15.0)	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 回転ヘラケズリ	71 —
787	中野大削平 道路	裏窓器	杯B	底部	—	(8.8)	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台	71 —
788	中野大削平 道路	裏窓器	杯B	底部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台	71 —
789	中野大削平 道路	裏窓器	杯B	底部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台	71 —
790	中野大削平 道路	裏窓器	楕A	底部	—	—	—	淡灰色	淡灰色	淡灰色	背面:輪軸ナメ, 底部にハケ目	71 —
791	中野大削平 道路	裏窓器	楕A	体～底部	—	(6.0)	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 直切り	71 —
792	中野大削平 道路	裏窓器	楕A	体～底部	—	(6.0)	—	淡灰色	淡灰色	淡灰色	背面:輪軸ナメ, 直切り	71 —
793	中野大削平 道路	裏窓器	楕B	底部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	背面:輪軸ナメ, 直切り	71 —
794	中野大削平 道路	裏窓器	楕B	底部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台	71 —
795	中野大削平 道路	裏窓器	直板類	底部	—	(9.0)	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台, 自然釉	71 —
796	中野大削平 道路	裏窓器	純	体～底部	—	(10.2)	—	黄灰色	黄灰色	黄灰色	背面:輪軸ナメ, 横ハケ, 使用痕	71 —
797	中野大削平 道路	裏窓器	純	底部	—	(9.0)	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:輪軸ナメ, 葵付高台	71 —
798	中野大削平 道路	裏窓器	担板A	楕部	—	—	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	背面:カキ目	71 —
799	中野大削平 道路	裏窓器	便	楕部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	背面:タタキ	71 —
800	中野トシッピ貝 道路	縄文土器	深鉢	口縁～楕 部	(18.5)	—	—	黑色	黑色	黑色	背面:横縫で溝文, 陰面にキザミ 平口縁, 口縁部くわ字状に屈曲して外反, 爪贈	72 —
803	中野トシッピ貝 道路	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	淡黄褐色	淡黄褐色	淡黄褐色	背面:縫合-底縫による施文, 陸帯-次縫に半載竹管 による爪, 爪贈資料	72 —
804	中野トシッピ貝 道路	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	淡黄褐色	淡黄褐色	淡黄褐色	背面:縫合-縫縫による区画文, 区画内に縱縫の沈線 平口縁, 厚壁, 外反, 爪贈資料	72 —
805	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	杯身	完形	6.5	5.5	3.1	オーバーグレー 5.5/3	オーバーグレー 5.5/3	オーバーグレー 5.5/3	背面:輪軸ナメ, 大井路ヘラケズリ～ヘラ調整, 天 井部に突起(アーチ)あり 内面:輪軸ナメ, 口縁部で丸穴をもつて口縫に延びる, 口縫 大井路に突き出る 受部立ち上りはなく天縫に先端は丸く收める, 受部先端は丸く收め, 工具による丸痕がみられる。 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 12
806	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	杯身	口縁～体 部	(12.6)	—	—	浅色	浅色	浅色	背面:輪軸ナメ, 受部立ち上りは丸く收める, 受部先端は丸く收め, 工具による丸痕がみられる。 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 —
807	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	杯身	口縁～底 部	(9.0)	(4.8)	2.8	浅色	浅色	浅色	背面:全井田-浅く平ら, 立ち上りはは低く崩壊 隠部は尖る, 受部は水平-先端は丸く收める, ヘラ ヘラケズリ～ヘラ調整, 内外面にクロロ彫刻, 吉賀資料	72 —
808	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	杯身	口縁～底 部	9.2	5.4	3.4	灰白色	淡褐色	淡褐色	背面:輪軸ナメ, 既成回転ヘラ切り～ヘラ調整 内面:輪軸ナメ 受部立ち上りは内傾し隠部は丸く收める, 受部 先端は丸く收め, 工具による丸痕がみられる。 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 12
809	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	杯身	完形	8.9	5.5	3.3	灰白色	淡褐色	淡褐色	背面:輪軸ナメ, 既成回転ヘラ切り～ヘラ調整 内面:輪軸ナメ 受部立ち上りは内傾し隠部は丸く收める, 受部 先端は丸く收め, 工具による丸痕がみられる。 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 12
810	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	FG蓋	口縫充填	13.2	—	3.4	灰オーバーグレー 5.5/2	灰オーバーグレー 5.5/2	オーバーグレー 5.5/2	背面:輪軸ナメ, 既成回転ヘラ切り～ヘラ調整 内面:輪軸ナメ 受部立ち上りは内傾し隠部は丸く收める, 受部 先端は丸く收め, 工具による丸痕がみられる。 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 12
811	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	楕B	体～底部	—	(7.2)	—	灰色	灰色	灰色	背面:輪軸ナメ, 既成回転ヘラ切り～ヘラ調整 内面:輪軸ナメ, 排氣孔あり 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 —
812	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	楕B	体～底部	—	(8.5)	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:輪軸ナメ, 既成回転ヘラ切り～ヘラ調整, 内外 面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 —
813	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	高杯	楕～楕部	—	2.5	—	灰白色	灰白色	灰白色	背面:丸穴をもつて立ち上る, 隠部は低く外方 に広がり, 隠部で強く折れる, 内外面ロジニア彫刻, 吉賀資料	72 12
814	中野トシッピ貝 道路	裏窓器	短縫	底部	—	7.6	—	オーバーグレー 5.5/2	灰白色	灰白色	背面:やや不安定を呈し, 丸みをもつて立ち上がる, 前面に幾重の凹をもつて口縫は反する, 深さへ切 り, 内外面回転ナメ, 外面は自然であり, 粗 立着, 吉賀資料	72 —

第23表 土器・土製品観察表(18)

遺物 番号	遺跡名	種類	分類	部位	法量 (cm.基盤内は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 別	國 籍
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
815	中野トンビノ瀬道跡	須恵器	短頸瓶	口縁～底部	(10.0)	(4.0)	(11.0)	灰白色 37/1	灰白色 35/1	灰白色 37/2	口縁部はやや斜め傾いており、瓶肩部は丸みを帯びる。瓶底へフチ切付～ラケズリ、内外面剥離なし。	72	~
816	中野トンビノ瀬道跡	須恵器	瓶	胴～底部	—	2.4	—	灰白色 36/1	暗灰色 2.35/1 上部4/1	暗灰色 2.35/3	外面部にロクナケズリ、底部ナマモテ、内外面剥離なし。	72	~
817	中野トンビノ瀬道跡	須恵器	横柄瓶	口縁～底部	11.5	—	(21.6)	灰白色 36/1	灰白色 34/1	灰白色 2.50/6	外面部に横柄ナガ、瓶底平行切付	72	12
818	中野トンビノ瀬道跡	灰釉陶器	瓶	体～底部	—	(7.4)	—	灰白色 37/2	灰黄色 2.35/2	灰白色 2.35/2	内側に横柄型、平底	72	~
819	中野トンビノ瀬道跡	世向陶器	すり鉢	口縁部	—	—	—	黒褐色 7.59A/1	黒褐色 7.59A/2	黒褐色 10.0B/2	外面部にロクナケズリ、内面部にロクナケズリ、底部ナマモテ、内側に施文、苦難資料	72	~
820	中野トンビノ瀬道跡	土製品	土块	—	—	—	—	灰白色 35/2	灰白色 35/2	灰白色 35/2	瓶底に土塊、内側に施文	72	~
821	中野トンビノ瀬道跡	土製品	垂飾	—	—	—	—	灰白色 37/1	—	—	瓶底に土塊、内側に施文	72	12
841	中野山越遺跡	須恵器	罐	体部	—	—	—	灰白色 36/1	灰白色 35/1	黄灰色 2.35/3	ロクナケズリ、連続木口瓶	75	13
842	中野山越遺跡	須恵器	杯形器	天井部	—	—	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	外面部にロクナケズリ	75	~
843	中野山越遺跡	須恵器	杯形器	天井部	—	—	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
844	中野山越遺跡	須恵器	杯形器	口縁～天井部	(12.7)	—	(2.7)	灰白色 1.05/1	灰白色 1.05/1	灰白色 1.05/1	外面部にロクナケズリ	75	~
845	中野山越遺跡	須恵器	杯身	口縁部	—	—	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
846	中野山越遺跡	須恵器	杯身	口縁部	—	—	—	灰白色 36/1	灰白色 36/1	灰白色 36/1	内面部にロクナケズリ	75	~
847	中野山越遺跡	須恵器	杯G蓋	口縁部	(9.7)	—	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	外面部にロクナケズリ、内側にロクナケズリ	75	~
848	中野山越遺跡	須恵器	杯G身	底部	—	(9.4)	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	外面部にロクナケズリ	75	~
849	中野山越遺跡	須恵器	杯G身	底部	—	(7.0)	—	暗紅色黃 2.35/2	暗紅色黃 2.35/2	暗紅色黃 2.35/2	外面部にロクナケズリ、内側にロクナケズリ	75	~
850	中野山越遺跡	須恵器	杯G身	体～底部	—	(7.0)	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 1.05/1	外面部にロクナケズリ、内側にロクナケズリ	75	~
851	中野山越遺跡	須恵器	蓋	天井部	—	—	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	天井部ケズリ	75	13
852	中野山越遺跡	須恵器	蓋	天井部	—	—	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	自然軸	75	~
853	中野山越遺跡	須恵器	蓋	天井部	(14.6)	—	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
854	中野山越遺跡	須恵器	蓋	口縁部	(15.0)	—	—	灰白色 35/1	灰白色 1.7.35/1	灰白色 2.35/2	内面部にロクナケズリ	75	~
855	中野山越遺跡	須恵器	蓋	口縁～天井部	—	—	—	暗紅色黃 2.35/2	暗紅色黃 2.35/2	暗紅色黃 2.35/2	内面部にロクナケズリ、内側にロクナケズリ	75	~
856	中野山越遺跡	須恵器	蓋	口縁部	—	—	—	灰白色 3.5/1	灰白色 3.5/1	灰白色 3.5/1	内面部にロクナケズリ	75	~
857	中野山越遺跡	須恵器	蓋	口縁部	—	—	—	灰白色 2.35/1	灰白色 2.35/1	灰白色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
858	中野山越遺跡	須恵器	蓋	体～底部	—	(9.0)	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
859	中野山越遺跡	須恵器	蓋	口縁部	(11.0)	—	—	灰白色 1.05/2	灰白色 1.05/2	灰白色 1.05/2	内面部にロクナケズリ	75	~
860	中野山越遺跡	須恵器	杯	口縁～底部	(12.2)	8.8	3.1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 2.35/1	ロクナケズリ	75	13
861	中野山越遺跡	須恵器	杯	底部	—	(10.0)	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	底部、底部ケズリ	75	~
862	中野山越遺跡	須恵器	杯	底部	—	(9.8)	—	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
863	中野山越遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	(12.4)	—	—	黑褐色 1.7.35/1	黑褐色 1.7.35/1	黑褐色 1.7.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
864	中野山越遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	(12.6)	—	—	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	黄灰色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
865	中野山越遺跡	須恵器	杯	口縁～体部	(12.0)	8.0	(2.4)	黄白色 2.35/1	黄白色 2.35/1	黄白色 2.35/1	内面部にロクナケズリ	75	~
866	中野山越遺跡	須恵器	碗	口縁～底部	(12.2)	8.8	3.1	灰白色 35/1	灰白色 35/1	灰白色 7.05/1	ロクナケズリ(右)	75	13
867	中野山越遺跡	須恵器	碗	体～底部	—	5.0	—	灰白色 1.05/1	灰白色 1.05/1	灰白色 1.05/1	内面部にロクナケズリ	75	~

第24表 土器・土製品觀察表(19)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 庫	
					口径	進径	器高	内面	外面	断面			
868	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	5.4	—	黄褐色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ、赤切り、底部にヘラ書き 内面:凹輪ナガズ	75	—
869	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	(7.0)	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:凹輪ナガズ、赤切り 内面:凹輪ナガズ	75	—
870	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	5.4	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:凹輪ナガズ、赤切り 内面:凹輪ナガズ	75	—
871	中野山経道跡	灰窓器	楕	底部	—	(5.0)	—	黄褐色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ、赤切り 内面:凹輪ナガズ、白模様不明、自然縫	75	—
872	中野山経道跡	灰窓器	楕	底部	—	(5.2)	—	褐紅色	褐紅黄色	灰	外面:凹輪ナガズ、赤切り 内面:凹輪ナガズ	75	—
873	中野山経道跡	灰窓器	楕	底部	—	(6.0)	—	褐紅色	褐紅黄色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ、赤切り 内面:凹輪ナガズ	75	—
874	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	(10.0)	—	灰色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ、貼付高台 内面:凹輪ナガズ	75	—
875	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	(10.4)	—	褐紅色	褐紅色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ、貼付高台 内面:凹輪ナガズ	75	—
876	中野山経道跡	灰窓器	楕	底部	—	(7.8)	—	褐紅色	褐紅黄色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ、ナゲ、貼付高台 内面:凹輪ナガズ	75	—
877	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	(9.0)	—	褐紅色	褐紅色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
878	中野山経道跡	灰窓器	楕	体～底部	—	(10.0)	—	褐紅色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
879	中野山経道跡	灰窓器	楕	底部	—	9.0	—	二三の小窓有 口縁2	褐紅色	二三の小窓有 口縁2	外面:凹輪ナガズ、赤切り、貼付高台 内面:凹輪ナガズ	75	—
880	中野山経道跡	灰窓器	楕	口縁～体部	(15.0)	—	—	褐紅色	褐紅色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ、自然縫	75	—
881	中野山経道跡	灰窓器	楕	口縁～体部	(14.0)	—	—	褐紅色	褐紅色	褐紅色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
882	中野山経道跡	灰窓器	短縫造	口縁部	(9.8)	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
883	中野山経道跡	灰窓器	短縫造	口縁～底部	4.4	4.4	10.6	—	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	13
884	中野山経道跡	灰窓器	口縁部	口縁部	(11.8)	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
885	中野山経道跡	灰窓器	口縁部	口縁部	(16.0)	—	—	灰色	灰色	灰色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
886	中野山経道跡	灰窓器	口縁部	口縁部	(9.8)	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
887	中野山経道跡	灰窓器	直瓶型	体～底部	—	(10.0)	—	灰色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ、回転ヘラケズリ、貼付高台 内面:凹輪ナガズ	75	—
888	中野山経道跡	灰窓器	直瓶型	小型透頭～体部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
889	中野山経道跡	灰窓器	便	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	75	—
890	中野山経道跡	灰窓器	平瓶	頭～底部	—	6.0	—	褐色	灰色	灰	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	13
891	中野山経道跡	灰窓器	便	口縁部	(44.0)	—	—	灰色	灰	灰	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	—
892	中野山経道跡	灰窓器	便	口縁部	(40.0)	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:凹輪ナガズ、ロ眉頭に沈縫 内面:凹輪ナガズ	76	—
893	中野山経道跡	灰窓器	便	口縁部	(24.0)	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	—
894	中野山経道跡	灰窓器	便	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	—
895	中野山経道跡	灰窓器	便	頭～肩部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ、タタキ 内面:凹輪ナガズ、当具痕	76	—
896	中野山経道跡	灰窓器	便	頭	—	—	—	灰色	灰色	灰	外面:タタキ、凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	—
897	中野山経道跡	灰窓器	便	頭～肩部	(14.0)	—	—	明黃褐色	明黃褐色	明黃褐色	外面:凹輪ナガズ、沈縫 内面:凹輪ナガズ	76	13
898	中野山経道跡	灰窓陶器	楕or直	体部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ、底部へ書き 内面:凹輪ナガズ	76	—
899	中野山経道跡	灰窓陶器	直瓶型	体～底部	—	(10.0)	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ 内面:凹輪ナガズ	76	—
900	西ヶ瀬舟寺跡	灰輪陶器	楕	口縁部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:ナガズ 内面:ナガズ	79	—
902	西ヶ瀬舟寺跡	灰輪陶器	楕	口縁部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:ナガズ 内面:ナガズ	79	—
903	西ヶ瀬舟寺跡	灰輪陶器	楕	口縁部	(12.0)	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:凹輪ナガズ、凹輪 内面:凹輪ナガズ	80	—

第25表 土器・土製品観察表(20)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	重量 (cm.估観内は推定)			色調			備考(成型・文様等)	種 類	
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
934	西之御堂遺跡	單色器	杯G蓋	口縁部	—	—	—	灰色 NS%	灰黑色 2.35% / NS%	灰色 NS%	外面部:同軸ナゲ、降灰 内面部:同軸ナゲ 外壁:有	80	—
935	西之御堂遺跡	單色器	蓋	口縁部	(15.0)	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
936	西之御堂遺跡	單色器	杯A	底部	—	—	—	灰色 NS%	灰色 NS%	灰色 NS%	外面部:同軸ナゲズリ 内面部:同軸ナゲ	80	—
937	西之御堂遺跡	單色器	杯B	底部	—	(6.0)	—	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、ヘラケズリ、貼付高台 内面部:自然輪	80	—
938	西之御堂遺跡	單色器	杯C	口縁部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
939	西之御堂遺跡	單色器	杯	口縁部	—	—	—	灰色 2.35% /	灰色 2.35% /	灰色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
940	西之御堂遺跡	單色器	杯	口縁部	—	—	—	灰色 NS%	灰色 NS%	灰色 NS%	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
941	西之御堂遺跡	乳白色器	碗4	底部	—	(6.0)	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、希切り 内面部:同軸ナゲ	80	—
942	西之御堂遺跡	單色器	碗B	底部	—	(9.2)	—	黄灰色 2.35% /	黄灰色 2.35% /	黄灰色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
943	西之御堂遺跡	單色器	碗C	底部	—	(6.8)	—	灰色 NS%	灰色 NS%	灰色 NS%	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ、貼付高台、降灰 内面部:同軸ナゲ	80	—
944	西之御堂遺跡	單色器	高杯C	口縁部	—	—	—	灰色 NS%	灰色 NS%	灰色 NS%	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
945	西之御堂遺跡	單色器	高杯	脚部	—	(10.6)	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、自然輪 内面部:同軸ナゲ	80	—
946	西之御堂遺跡	須色器	便携指 頭部	—	—	—	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ、自然輪	80	—	
947	西之御堂遺跡	單色器	便携箱	口縁部	—	—	—	黄灰色 2.35% /	黄灰色 2.35% /	黄灰色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	80	—
948	西之御堂遺跡	灰釉陶器	盤	口縁部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ 無輪	80	—
949	西之御堂遺跡	灰釉陶器	碗	底部	—	(5.6)	—	灰黄色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ、貼付高台 内面部:同軸ナゲ、使用痕、釉残存	80	—
950	沼町川原遺跡	單色器	杯N蓋	天井部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ 内面部:同軸ナゲ	81	—
951	沼町川原遺跡	單色器	杯N蓋	天井部	—	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ 内面部:同軸ナゲ	81	—
952	沼町川原遺跡	單色器	杯N蓋	天井部	—	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ 内面部:同軸ナゲ	81	—
953	沼町川原遺跡	單色器	杯N底	底部	—	(6.9)	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ 内面部:同軸ナゲ	81	—
954	沼町川原遺跡	單色器	蓋	口縁～ 体部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	81	—
955	沼町川原遺跡	單色器	杯A	底部	—	(6.0)	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、贴付高台 内面部:同軸ナゲ	81	—
956	沼町川原遺跡	單色器	杯B	底部	—	(6.7)	—	105% /	105% /	105% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	81	—
957	沼町川原遺跡	單色器	碗	口縁～ 体部	—	—	—	灰白色 NS%	灰白色 NS%	灰白色 NS%	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	81	—
958	沼町川原遺跡	單色器	蓋	天井部	—	—	—	黄褐色 2.35% /	黄褐色 2.35% /	黄褐色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ、沈綱 内面部:同軸ナゲ	82	—
959	沼町川原遺跡	單色器	蓋	口縁部	—	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	82	—
960	沼町川原遺跡	單色器	蓋	口縁部	(15.4)	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ	82	—
961	沼町竹原遺跡	單色器	蓋	口縁部	(14.8)	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、自然輪 内面部:ナゲ	82	—
962	沼町竹原遺跡	單色器	蓋	天井部	—	—	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	82	—
963	沼町竹原遺跡	單色器	杯A	底部	—	(7.0)	—	2.35% /	2.35% /	2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ、贴付高台 内面部:同軸ナゲ	82	—
964	沼町竹原遺跡	單色器	杯B	口縁部	—	—	—	灰白色 NS%	灰白色 NS%	灰白色 NS%	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	82	—
965	沼町竹原遺跡	單色器	杯	口縁部	—	—	—	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	暗灰黄色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	82	—
966	沼町竹原遺跡	灰釉陶器	蓋	口縁～ 体部	—	—	—	黄灰色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ 内面部:同軸ナゲ	82	—
967	沼町竹原遺跡	灰釉陶器	蓋	底部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、贴付高台 内面部:同軸ナゲ	82	—
968	沼町竹原遺跡	灰釉陶器	碗	底部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、同軸ヘラケズリ、贴付高台 内面部:同軸ナゲ	82	—
969	沼町竹原遺跡	單色器	杯G蓋	天井部	(16.6)	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:ミガキ 内面部:エリヤリ、青緑資料	83	—
970	野口社内遺跡	陶文土器	深盆	脚部	—	—	—	浅灰褐色 2.35% /	浅灰褐色 2.35% /	浅灰褐色 2.35% /	浅灰褐色 内面部:ナゲ 青緑資料	84	—
971	野口社内遺跡	單色器	杯E	底部	—	—	—	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	灰白色 2.35% /	外面部:同軸ナゲ、贴付高台 内面部:同軸ナゲ 青緑資料	84	—

第26表 土器・土製品觀察表(21)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版		
					口径	進深	基高	内面	外面	断面				
955	信安上野道跡	有孔附付 土器	波	口縁~ 胴部	8.8	7.2	(3.1)	褐色	褐色	灰褐色	外面:ナメ,浮文,底面に輪積模,赤彩付唇 内面:ナメ,ヘラ模,赤彩付唇 断面:安字(1)型	85	14	
957	信安上野道跡	單底器	杯	底部	—	(9.0)	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ナメ,回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ,使用痕	86	—	
958	信安上野道跡	單底器	蓋	体~底部	—	(8.6)	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ナメ,回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ	86	—	
959	信安上野道跡	單底器	蓋	肩部	—	—	—	灰色	オリーブ灰褐色	灰褐色	外面:回転ナメ 内面:自然模	86	—	
964	信安千石道跡	珠涙燒	すり鉢	体部	—	—	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ,オリ目	88	—	
965	信安中原田 古窯跡	單底器	杯H蓋	天井部	—	—	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:回転ナメ,回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ	89	—	
966	信安中原田 古窯跡	單底器	杯H蓋	口縁~ 大井部	(12.0)	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ヘラケズリ,回転ナメ 内面:回転ナメ	89	—	
967	信安中原田 古窯跡	單底器	蓋	天井部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ナメ,回転ヘラケズリ 内面:回転ナメ	89	—	
968	信安中原田 古窯跡	單底器	杯G身	体~底部	—	(4.0)	—	灰黃色	灰黃色	灰黃色	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	89	—	
969	信安中原田 古窯跡	單底器	杯G身	体~底部	—	(8.0)	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	89	—	
990	信安中原田 古窯跡	單底器	杯A	口縁~ 底部	(12.0)	(7.0)	(2.7)	褐褐色	褐褐色	褐褐色	外面:回転ナメ,ヘラケズリ 内面:回転ナメ,褐色,褐色 底面:輪積模,付着物有	89	—	
991	信安中原田 古窯跡	單底器	杯	口縁~ 体部	(16.6)	—	—	灰色	灰色	黄褐色	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	89	—	
992	信安中原田 古窯跡	盃	口縁部	—	—	—	灰色	灰色	灰色	外面:回転ナメ 内面:回転ナメ	89	—		
993	信安中原田 古窯跡	單底器	便	口縁~ 胴部	(35.4)	—	—	黄褐色	暗褐色	黄褐色	外面:回転ナメ,刻文,沈線 内面:回転ナメ 底面:自然模	89	—	
1001	古町鹿寺跡	單底器	杯H蓋	口縁~ 大井部	(12.0)	(7.0)	(2.7)	灰白色	灰白色	灰白色	外面:回転ナメ,回転ヘラケズリ,断面に沈線 内面:回転ナメ 底面:輪積模,付着物有	92	—	
1002	古町鹿寺跡	單底器	杯G身	底部	—	(9.0)	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:回転ナメ,古町鹿寺村造(字古町) 内面:回転ナメ 底面:古町鹿寺村造(字古町)	92	—	
1006	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	外面:小口文,縫合状刻文,鷹日条脚,口縫 内面:ナメ	93	—	
1007	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	外面:兩重刻文,鷹日,圓文 内面:ナメ,圓文	93	—	
1008	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐褐色	褐褐色	褐褐色	外面:横位の半降伏線の下にヘラ状工具による 棒状状突起,棒状突起 内面:ナメ	93	—	
1009	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁~ 胴部	(30.5)	—	—	[(口)-褐色]	褐色	褐色	外面:ナメ,縫位沈線,陰面 内面:ナメ 中腹:ナメ	93	14	
1010	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	黑色	黑褐色	黑褐色	外面:ナメ,縫位沈線,陰面 内面:ナメ,ヘラミガキ 全体保付者,中腹:竹管	93	—	
1011	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	(27.0)	—	—	[(口)-褐色]	[(口)-褐色]	[(口)-褐色]	外面:半降伏線による半降伏線と沈線で 構成,棒状突起,棒状突起 内面:ナメ	93	—	
1012	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:口縁下の横位隆筋にヒラ茎工具による 凹字 内面:ナメ 中腹:ナメ	93	—	
1013	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	外面:ナメ,ヘラ模 内面:ナメ	93	—	
1014	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:ナメ,縫位沈線,陰面 内面:ナメ 中腹:古市田新	93	—	
1015	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐褐色	褐褐色	褐褐色	外面:縫位沈線で仕切り網突を隔壁で施文 内面:ナメ,保付者	93	—	
1016	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	—	—	—	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	[(口)-黃褐色]	外面:沈線(縫位・横位),半降伏状工具による 半降伏線,圓文 内面:ナメ 竹管破片	93	—	
1017	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	把手	—	—	—	[(口)-褐色]	[(口)-褐色]	[(口)-褐色]	外面:ナメ,陰面,半降伏状工具による ナメ,棒状,半降伏管 内面:ナメ 中腹:ナメ	93	—	
1018	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁~ 胴部	(37.0)	—	—	黃褐色	黃褐色	黃褐色	外面:ナメ,自然模 内面:ナメ	93	15	
1019	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:縫位捺付,圓文 内面:ナメ 中腹:ナメ	94	—	

第27表 土器・土製品観察表 (22)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	種 類	國 籍
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面			
1020	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	黒褐色 10.9cm(2)	黒褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	外面部:波紋葉巻,ナデ後式縁による絞状文 内面部:横目テ	90	-
1021	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:ナデ,瓶口彫刻,口縁下に纏状文模,口縫肥厚 内面部:ナデ	93	-
1022	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,圓文 内面部:ナデ	93	-
1023	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	外面部:圓目 内面部:ナデ	93	-
1024	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	灰白色 10.9cm(2)	褐色 10.9cm(2)	にぬく褐色 10.9cm(2)	外面部:圓文,スヌけ付着 内面部:ナデ 圓文	94	-
1025	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 10.9cm(2)	褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	外面部:ナデ 内面部:ナデ 無文	94	-
1026	東雲遺跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	浅褐色 10.9cm(2)	にぬく褐色 10.9cm(2)	にぬく褐色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,残帶 内面部:ナデ,残帶 残端部:△	93	-
1027	東雲遺跡	楕円器	楕B	底部	-	(4.6)	-	浅黃褐色 2.5cm(4)	浅黃褐色 2.5cm(4)	浅黃褐色 2.5cm(4)	外面部:圓目ナデ 内面部:圓目ナデ 底部:円錐形切り	94	-
1028	東雲遺跡	楕円器	楕B	底部	-	7.7	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:圓目ナデ 内面部:圓目ナデ 底部:円錐形切り,瓶付高台	94	-
1029	東雲遺跡	土師器	鉢	口縁~底部	12.0	-	5.2	褐褐色 10.9cm(2)	褐褐色 10.9cm(2)	褐褐色 10.9cm(2)	外面部:横目テ,アザ,スピオサエ 内面部:ナデ,アザ,ナデ	94	-
1030	東雲遺跡	土師器	高杯	口縁~脚部	16.2	-	-	浅黃褐色 10.9cm(2)	浅黃褐色 10.9cm(2)	浅黃褐色 10.9cm(2)	外面部:コヨオサエ,ナデ 内面部:ナデ,脚指捺印痕+ハケ調整 杯底からゆるやかに外反しながら立ち上がり,口唇部でさらに外反する,脚部2回筋状に聞く,空鎬資料	94	14
1031	東雲遺跡	土師器	高杯	杯部	14.8	-	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:ナデ,ハケ調整 内面部:ナデ,ハケ調整 杯部2回筋に横を持つ,杯底部よりゆるやかに内凹して立ち上がる,空鎬資料	94	14
1032	東雲遺跡	土師器	高杯	口縁~肩部	(18.1)	-	-	浅黃褐色 10.9cm(2)	浅黃褐色 10.9cm(2)	浅黃褐色 10.9cm(2)	外面部:脚指捺印痕の為不規則 内面部:脚指捺印痕の為不規則	94	-
1033	東雲遺跡	土師器	高杯	杯~底部	-	-	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:ナデ,斑斑	94	-
1034	東雲遺跡	土師器	高杯	口縁部	(17.4)	-	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:ナデ 内面部:ナデ	94	-
1035	東雲遺跡	土師器	高杯	杯部	16.4	-	-	浅黃褐色 10.9cm(2)	にぬく黒褐色 10.9cm(2)	灰白色 10.9cm(2)	外面部:エニナデ,ミガキ,指捺印痕 内面部:ナデ 杯部2回筋のやかな丸みを持って立ち上がり,口縫部は丸く埋める,空鎬資料	94	11
1036	東雲遺跡	土師器	高杯	口縁部	(13.8)	-	-	褐褐色 10.9cm(2)	褐褐色 10.9cm(2)	褐褐色 10.9cm(2)	外面部:ヘラマキ 内面部:ヘラマキガキ(不規則)	94	-
1037	東雲遺跡	土師器	高杯	脚部	-	-	-	浅黃褐色 10.9cm(2)	褐色 10.9cm(2)	浅褐色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,シボリ 内面部:ナデ,摩滅	94	-
1038	東雲遺跡	土師器	高杯	脚部	-	10.3	-	褐色 2.5cm(6)	にぬく褐色 2.5cm(6)	灰褐色 2.5cm(6)	外面部:エニナデ,ヘラミガキ 内面部:ナデ,ハクメ,指捺印痕 ゆるやかな円錐形に聞き、脚部は丸くおさめる 空鎬資料	94	13
1039	東雲遺跡	土師器	小型丸底鉢	全体	-	-	-	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	灰褐色 2.5cm(6)	外面部:ヘラミガキ 内面部:ヘラミガキ	94	-
1040	東雲遺跡	土師器	蓋	口縁~胴部	(11.0)	-	-	にぬく赤褐色 2.5cm(2)	にぬく赤褐色 2.5cm(2)	にぬく黄褐色 2.5cm(2)	外面部:ナデ,ハクメ	94	15
1041	東雲遺跡	土師器	蓋	口縁~胴部	(10.0)	-	-	浅褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:横目テ,ナデ,ハケ目	94	15
1042	東雲遺跡	土師器	蓋	口縁部	-	-	-	明褐色灰 2.5cm(2)	灰褐色 2.5cm(2)	灰白色 2.5cm(2)	外面部:ヘラミガキ+ヘラナデ,スピオサエ 内面部:ナデ,カケ目	94	-
1043	東雲遺跡	土師器	蓋	口縁~胴部	(16.6)	-	-	褐色 10.9cm(2)	褐褐色 10.9cm(2)	灰褐色 10.9cm(2)	外面部:ハクメ,復合着 内面部:ナデ,ハケ目 口縫部:摩滅	95	15
1044	東雲遺跡	土師器	便	口縁~胴部	(10.0)	-	-	真褐色 10.9cm(2)	真褐色 10.9cm(2)	真褐色 10.9cm(2)	外面部:横目テ,摩滅	95	-
1045	東雲遺跡	土師器	便	口縁部	(16.0)	-	-	にぬく褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	褐色 2.5cm(6)	外面部:横目テ,ナデ,復合着	95	-
1046	東雲遺跡	土師器	便	口縁~胴部	(12.7)	-	-	浅褐色 2.5cm(3)	褐色 2.5cm(3)	灰褐色 2.5cm(3)	外面部:ナデ,纏ハケ	95	-
1047	東雲遺跡	土師器	便	口縁部	(16.0)	-	-	にぬく褐色 2.5cm(2)	にぬく褐色 2.5cm(2)	にぬく褐色 2.5cm(2)	外面部:横目テ,ナデ,スピオサエ	95	-
1048	東雲遺跡	土師器	便	口縁部	(16.6)	-	-	にぬく褐色 2.5cm(2)	にぬく褐色 2.5cm(2)	にぬく褐色 2.5cm(2)	外面部:横目テ,スピオサエ 内面部:ナデ,カケ目	95	-
1049	東雲遺跡	土師器	便	口縁部	(14.0)	-	-	黃褐色 10.9cm(2)	灰褐色 10.9cm(2)	灰白色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,復合着	95	-
1050	東雲遺跡	土師器	便	口縁部	-	-	-	灰褐色 10.9cm(2)	褐色 10.9cm(2)	灰白色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,纏ハケ 内面部:ナデ,カケ目,スピオサエ	95	-
1051	東雲遺跡	土師器	便	胴部	-	-	-	にぬく褐色 10.9cm(2)	にぬく褐色 10.9cm(2)	にぬく褐色 10.9cm(2)	外面部:ナデ,復合着 内面部:スピオサエ,ナデ	95	-

第28表 土器・土製品觀察表(23)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面		
1052	東宮遺跡	土師器	便	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:ヘタ目 内面:ナゲ, 指押文	95-
1053	東宮遺跡	土師器	便	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:ナゲ, 指押文	95-
1054	東宮遺跡	土師器	便	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:摩減, 保付着 内面:ナゲ	95-
1055	東宮遺跡	土師器	便	胴部	—	—	—	米白色	米黄色	米白色	外面:ナゲ 内面:ナゲ	95-
1056	東宮遺跡	戸口玉造	平腹	底部	—	(4.9)	—	ナメラ紫色 内:白・褐色	内:白・褐色	内:白・褐色	外面:クロコ調整 内面:クロコ調整, 抵触, 剥り出し下高台	95-
1057	東宮遺跡	戸口玉造	削腹	底部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:刮削, 切り 内面:凹目 底面:刮削, 切り	95-
1058	東宮遺跡	珠御焼	すり鉢	体部	—	—	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	外面:ナゲ 内面:凹目	95-
1059	東宮遺跡	珠御焼	すり鉢	底部	—	(10.8)	—	黄褐色	黄褐色	黄褐色	内面:クロコ調整 外面:クロコ調整	95-
1060	東宮遺跡	陶器	大口茶碗	底部	—	(6.5)	—	褐色	米黄色	米黄色	外面:クロコ調整 内面:クロコ調整	95-
1061	東宮遺跡	土製品	人形	左胸	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:型押し 内面:ナゲ, 指押文	95-
1060	勝沼遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	暗灰褐色	淡黄色	淡黄色	外面:無文, テヨコナナ 内面:ヨコナナ 株木様に上向張りあり, 借用資料	100-
1061	勝沼遺跡	陶文土器	深鉢	胴・底部	—	(13.0)	—	米白色	米白色	米白色	外面:無文, 波捺に古代瓦瓶 借用資料	100-
1062	勝沼遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:無文, ハラ状工具によるナゲ 借用資料	100-
1063	勝沼遺跡	陶文土器	浅鉢	胴部	—	—	—	暗褐色	褐色	米白色	外面:楕円に1条の波継, ヘラミガキ 内面:ハラミガキ 借用資料	100-
1064	石神遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式 内面:ナゲ	101-
1065	石神遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式 内面:ナゲ	101-
1066	石神遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:抹擦, 重形式, 線文 内面:楕ナゲ	101-
1067	石神遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:2本の波起線文・波紋文による施文 内面:ナゲ	101-
1068	石神遺跡	陶文土器	深鉢	底部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1069	石神遺跡	陶文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:波捺, 波継, 波継文 内面:ナゲ	101-
1070	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 波継文 内面:ナゲ	101-
1071	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 波継文 内面:ナゲ	101-
1072	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 波継文 内面:ナゲ	101-
1073	江戸城挖跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:波捺, 竹管文, 波捺文 内面:ミガキ 口縫部扣合點付け, 苦槽資料	103-
1074	江戸城挖跡	瓦器	風呂	口縁	(25.0)	—	—	灰色	灰色	灰色	外面:ナゲ 内面:ナゲ 縁際は側面から立ち上がり, 番が大きくなり, ロ繩 縁に捲出状況有り 借用資料	103-
1075	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:口縁部抹擦, 朝顔模様 内面:ナゲ	106-
1076	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1077	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1078	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1079	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1080	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1081	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1082	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1083	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1084	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1085	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1086	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1087	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1088	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1089	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1090	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1091	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1092	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1093	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1094	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1095	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1096	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1097	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1098	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1099	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1100	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1101	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1102	石神遺跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	101-
1103	江戸城挖跡	陶文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ミガキ 口縫部扣合點付け, 苦槽資料	103-
1104	江戸城挖跡	瓦器	風呂	口縁	(25.0)	—	—	灰色	灰色	灰色	外面:ナゲ 内面:ナゲ 縁際は側面から立ち上がり, 番が大きくなり, ロ繩 縁に捲出状況有り 借用資料	103-
1105	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:口縁部抹擦, 朝顔模様 内面:ナゲ	106-
1106	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1107	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1108	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1109	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1110	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1111	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1112	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1113	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1114	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1115	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1116	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1117	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	米白色	米白色	米白色	外面:抹擦, 重形式文 内面:ナゲ	106-
1118	上根瀬遺跡	陶文土器	深鉢	口縁	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:ナゲ, ケヅリ	106-

第29表 土器・土製品観察表(24)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.基盤内定は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 別	
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
1119	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5087.4	褐色	褐色	外面:半裁竹管状工具による半降起線文、基盤帯に ヘラサミ 内面:ヘラナフ	107	-
1120	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	浅黄褐色 7.5088.6	浅黄褐色 10788.3	浅黄褐色 10788.2	外面:半裁竹管状工具による半降起線と沈線で施 文、基盤帯に施状工具による網文 内面:ヘラナフ、保付着	107	-
1121	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	黑色 10781.7/1	褐色	浅黄褐色 10781.6	外面:半裁竹管状工具による半降起線と沈線で施 文、基盤帯に施状工具による網文 内面:ヘラナフ、保付着	107	-
1122	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・褐色 7.5086.4	所調褐色 0165.4	に白・褐色 7.5086.4	外面:ナゲ、沈継、把手付 内面:ナゲ	107	-
1123	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・褐色 7.5086.4	に白・黃褐色 10786.4	明赤褐色 10786.3	外面:棒縫、ナダ、格子文 内面:ナダ	107	-
1124	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 7.5087.4	に白・黃褐色 10787.4	に白・黃褐色 10787.3	外面:棒縫による施文、基盤帯に指擦押印 内面:ナダ	107	-
1125	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 7.5087.4	に白・黃褐色 10787.3	に白・黃褐色 10787.2	外面:棒縫3条 内面:ナダ	107	-
1126	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5086.6	に白・褐色 7.5086.5	灰褐色 7.5086.4	外面:ナゲ、沈継、回丸文、保付着 内面:ナダ	107	-
1127	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 7.5087.4	に白・黃褐色 10787.4	に白・黃褐色 10787.3	外面:沈継 内面:ナダ 全体に摩滅	107	-
1128	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	明赤褐色 7.5085.6	灰褐色 7.5085.5	明赤褐色 7.5085.4	外面:ナゲ、隆筋 内面:ナダ	107	-
1129	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 7.5086.4	に白・褐色 7.5086.3	褐色	外面:縱位桿縫、隆筋 内面:ナダ	107	-
1130	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 7.5086.2	灰褐色 10786.2	褐色 10786.1	外面:沈継、隆筋による施文 内面:ナゲ、沈継	107	-
1131	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 7.5086.6	褐色 7.5086.5	褐色 7.5086.4	外面:調文、ナゲ、沈継、隆筋にキザミ 内面:ナダ	107	-
1132	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・褐色 7.5086.4	に白・褐色 7.5087.4	褐色 7.5087.3	外面:ナゲ、沈継、縱位条縫 内面:ナダ	107	-
1133	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 10782.3	に白・黃褐色 10782.2	褐色 10782.1	外面:沈継、条縫 内面:ナダ	107	-
1134	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 7.5085.2	灰褐色 10785.2	褐色 10785.1	外面:ナゲ、沈継 内面:ナダ	107	-
1135	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 7.5087.4	に白・黃褐色 10787.4	褐色 10787.3	外面:ナゲ、微降起線文にキザミ 内面:ナゲ、保付着	107	-
1136	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・褐色 7.5088.4	に白・褐色 10788.4	褐色 10788.3	外面:ナゲ、保付着 内面:ナダ	107	-
1137	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 10784.2	灰褐色 10784.1	褐色 10784.0	外面:横ハケ、工具によるナゲ 内面:横ハケ	107	-
1138	上小便井ノ下 道跡	調文土器	深鉢	底部	(10.0)	-	-	に白・黃褐色 10785.2	單色 7.5086.6	單色 2.5076.5	外面:ナゲ、底面部代板(1脚1述)削 内面:ナゲ、ユビオサリ	107	-
1139	上小便井ノ下 道跡	須恵器	高杯	脚部	-	-	-	黃褐色 2.5075.1	黃褐色 2.5075.0	黃褐色 2.5075.0	外面:ナゲ、須縫による墨書き文 内面:ナゲ	107	-
1140	上小便井ノ下 道跡	須恵器	蓋粗輪	胴部	-	-	-	灰褐色 10787.1	灰褐色 10787.0	灰褐色 10787.0	外面:底板、工具によるナゲ 内面:底板	107	-
1141	上小便井ノ下 道跡	須恵器	蓋	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 10787.4	に白・黃褐色 2.5075.0	褐色 10787.4	外面:タタキ、自然釉 内面:ナダ	107	-
1142	上小便井ノ下 道跡	土製品	土偶	-	-	-	に白・褐色 7.5086.4	に白・褐色 7.5086.4	褐色 3.5064.6	外面:ナゲ、隆筋、沈継 内面:ナゲ、沈継	107	-	
1150	萬谷削道路	珠洲焼	手すり鉢	体部	-	-	-	灰褐色 35.	灰褐色 35.	灰褐色 2.5053.0	外面:ナゲ 内面:ナダ日	109	-
1160	坂巻道路	調文土器	深鉢	口縁~ 底部	-	-	-	に白・黃褐色 10785.3	灰褐色 7.5085.2	黒褐色 2.5073.2	外面:調文 内面:調文	110	-
1161	坂巻道路	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 10786.4	灰褐色 10786.3	黒褐色 2.5073.2	外面:口縁による区画文による施文、底面で施文 内面:保付着	110	-
1162	坂巻道路	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	に白・黃褐色 10786.4	灰褐色 10786.2	黒褐色 2.5073.2	外面:棒縫と区画文による施文 内面:口縁に1条の棒縫、底面で施文	110	-
1163	坂巻道路	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 10786.4	に白・赤褐色 10786.3	黒褐色 10786.2	外面:棒縫による区画文による施文、底面で施文 内面:保付着	110	-
1164	坂巻道路	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	灰褐色 10786.4	褐色 10786.3	黒褐色 10786.2	外面:保付着 内面:保付着	110	-
1165	坂巻道路	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	に白・黃褐色 10786.4	褐色 10786.3	灰褐色 2.5073.0	外面:半裁竹管状工具による縦位の半降起線と斜位 内面:調用資料	110	-
1166	坂巻道路	調文土器	深鉢	胴~直部	(12.0)	-	-	に白・黃褐色 10786.2	褐色 10786.1	灰褐色 10786.0	外面:半裁竹管状工具による縦位の半降起線文 内面:区画文	110	-
1167	坂巻道路	調文土器	深鉢	口縁~ 胴部	-	-	-	に白・黃褐色 10786.4	に白・褐色 10786.4	灰褐色 10786.2	外面:口辺部に半裁竹管状工具によるU字状文、胴 部縫文 内面:保付着、厚外 内面:ナゲ	110	-

第30表 土器・土製品觀察表(25)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面		
1168	阪谷遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰黄褐色 10.0×4.2	灰褐色 7.2×3.5	—	表面:縦帶と沈澱による区画文、底帯に解状工具による網状突起 使用資料	110 —
1169	阪谷遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:2条の縦溝間に輪状工具による網状突起 内面:底付着	110 —
1170	阪谷遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	明褐色 9.5×4.5	灰褐色 10.0×4.5	—	表面:文 底付着、外灰	110 —
1171	坂谷遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	淡褐色 7.2×3.5	灰褐色 10.0×4.5	—	表面:文 使用資料	110 —
1172	坂谷遺跡	土師器	便	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:ハケメ 内面:ハケメ	110 —
1173	佐古遺跡	須恵器	碗A	底部	—	(6.7)	—	黄褐色 6.0×3.5	黄褐色 6.0×3.5	—	表面:文 底付着	111 —
1175	佐古遺跡	須絆	便	胴部	—	—	—	灰色 7.5×3.5	灰色 7.5×3.5	—	表面:文 底付着	111 —
1176	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着、系形文	112 —
1177	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	黄色 7.3×3.6	灰褐色 10.0×7.0	—	表面:文 底付着	112 —
1178	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1179	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1180	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1181	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	(8.0)	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1182	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	(11.0)	—	—	—	—	表面:底部に網代压痕	112 —
1183	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	(8.0)	—	灰色 7.5×6.5	灰色 7.5×6.5	—	全体に壓痕	112 —
1184	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1185	塙野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	(15.6)	—	灰褐色 7.5×15.6	灰褐色 7.5×15.6	—	表面:文 底付着	112 —
1186	塙野遺跡	須恵器	便	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	112 —
1189	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1190	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1191	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1192	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1193	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1194	下原野遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	113 —
1195	下小笠遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:下縫に横状沈殿と連続した系形文、下縫に 底付着	114 —
1196	下小笠遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	—	—	表面:文 底付着	114 —
1197	下小笠遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:下縫に横状沈殿と連続した系形文、下縫に 底付着	114 —
1198	下小笠遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	—	—	表面:下縫に横状沈殿と連続した系形文、下縫に 底付着	114 —
1199	下小笠遺跡	土師器	鉢	壳形	7.0	2.8	5.0	—	—	—	表面:平口外灰、使用資料	114 —
1200	下小笠遺跡	土師器	鉢	口縁～ 底部	15.8	5.5	7.8	—	—	—	表面:ハケメ 底付着	114 —
1201	下小笠遺跡	土師器	小型丸底 鉢	口縁～ 底部	(7.0)	—	—	淡褐色 10.0×6.4	灰褐色 10.0×7.4	—	表面:内面が長く内側しながら立ち上がる。ミガ ナリ 内面:網状底張り 古墳頭頂(荒尾山B、道町)、借用資料	114 —
1202	下小笠遺跡	土師器	小型丸底 鉢	底部	—	(1.6)	—	褐色 7.3×0.5	褐色 7.3×0.5	—	表面:全底に朱、ナダ 内面:ナダ、底面に網状底張り 古墳頭頂(荒尾山B、道町)、借用資料	114 —
1203	下小笠遺跡	土師器	高杯	脚部	—	12.0	—	淡褐色 10.0×6.7	褐色 10.0×6.7	—	表面:脚部ヘラミガキ～脚基部に1条の横位ヘラミ ガキ、網状底張り 内面:ナダ、網状底張り、借用資料	114 —

第31表 土器・土製品観察表（26）

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(形態・文様等)	種 類
					口径	底径	器高	内面	外面	断面		
1204	下小糸道路	土師器	高杯	脚部	-	-	-	浅黄色 7.386/4	浅黄色 7.386/4	浅黄色 7.386/3	外面:ヘラガキ 内面:指紋捺紙、上から下への引き上げ瓶	114
1205	下小糸道路	土師器	器台	脚部	-	-	-	黄褐色 10.975/8	浅黄色 10.975/4	浅黄色 10.975/4	外面:ミガキ、円錐透かし4方開 内面:ハタケ	114
1206	下小糸道路	土師器	器台	脚部	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	明黄色 10.975/7	外面:一端にヘラガキで脚基部に横ナデ 内面:カキメナデ	114
1207	下小糸道路	土師器	有段口縁 甌	口縁~ 脚部	(17.0)	-	-	淡黄色 2.376/4	にぬ・淡黄色 10.975/4	にぬ・淡黄色 10.975/4	114種27例の、使用した頭部下辺から脚部に 合せてカキメ、外周全体に保有者 の意地切削、使用資料	114
1208	下小糸道路	土師器	甌	脚部	-	-	-	浅黄色 2.376/3	明黄色 10.975/6	黄褐色 10.975/6	外面:ハケメ、保有者 内面:ハケメ、クラナデ 使用資料	114
1209	下山田道路	須恵器	井G付	底部	(3.8)	-	-	灰色 NS/	灰色 NS/	灰褐色 10.975/2	ロクナデ	115
1210	下山田道路	須恵器	柄A	底部	(10.0)	-	-	灰色 1.255/1	灰色 1.255/1	灰褐色 2.355/2	ロクナデ	115
1211	下山田道路	須恵器	柄A	体部	-	-	-	灰色 NS/	灰褐色 10.975/6	灰褐色 10.975/6	ロクナデ、焼彫	115
1212	敷河中田道路	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	黄褐色 2.355/1	外面:半輪竹管状工具による半輪柱縁で逆V字形の 輪え、陳尼縁柱に半載竹管状工具によるキザミ 使用資料	116
1213	敷河中田道路	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	黄褐色 2.355/4	黄褐色 2.355/4	黄褐色 2.355/2	外面:回転ナデ、底部回転朱切り後ナデ調整 内面:回転ナデ、底部回転朱切り 使用資料	116
1214	敷河中田道路	陶文土器	深鉢	脚部	(12.0)	(6.2)	(3.45)	黄褐色 2.355/2	にぬ・赤褐色 10.975/4	黄褐色 2.355/2	外面:体部ナデ、底部回転朱切り 内面:陈尼に連続した細眉正絞 使用資料	116
1215	敷河中田道路	須恵器	柄A	口縁~ 底部	-	-	-	灰褐色 1.255/1	灰褐色 1.255/1	灰褐色 1.255/2	外面:回転ナデ、底部回転朱切り後ナデ調整 内面:回転ナデ、底部回転朱切り 使用資料	116
1216	敷河中田道路	須恵器	柄A	体部	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	黄褐色 10.975/5	外面:体部ナデ、底部回転朱切り 内面:陈尼に火摩瓶あり、差贈資料	116
1217	敷河中田道路	須恵器	柄A	体~底部	-	(6.0)	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	黄褐色 10.975/5	外面:回転ナデ 内面:回転ナデ 差贈資料	116
1218	敷河中田道路	須恵器	柄	口縁~ 体部	(13.0)	-	-	灰褐色 2.356/2	灰褐色 355/1	灰褐色 355/1	外面:口縁斜構ナデ、体部斜方向ハケメ 内面:口縁斜構ナデ、体部斜方向ハケメ、ユビオ サナデ 差贈資料	116
1219	敷河中田道路	土師器	甌	口縁~ 体部	(11.0)	-	-	浅黄色 2.357/3	暗黄色 2.357/2	灰褐色 2.357/2	外面:口縁斜構ナデ、体部斜方向ハケメ 内面:口縁斜構ナデ、体部斜方向ハケメ、ユビオ サナデ 差贈資料	116
1220	寺林道路	床洞燒	ナリ鉢	体部	-	-	-	灰褐色 355/1	灰褐色 2.356/2	灰褐色 2.356/2	外面:ナリ鉢による沈継 内面:ナリ	117
1221	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	黑褐色 10.975/1	にぬ・黒褐色 10.975/1	黑褐色 10.975/5	外面:棒状工具による沈継 内面:ナリ	119
1222	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	黑褐色 7.385/6	黑褐色 7.385/6	黑褐色 7.385/6	外面:ミガキ、棒状工具による沈継 接觸期	119
1223	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	口縁	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	黄褐色 2.355/1	内面:調溝による条線(横位)	119
1224	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	底部	-	-	-	黄褐色 2.355/2	黄褐色 10.975/4	黄褐色 2.355/2	底部斜代(1辺)置	119
1225	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	口縁	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/4	にぬ・黄褐色 10.975/4	黄褐色 2.355/2	内面:調溝による条線(横位)	119
1226	殿坂口道路	陶文土器	深鉢	底部	-	-	-	黄褐色 2.352/2	黄褐色 10.975/4	黄褐色 2.352/2	底部斜代(1辺)置	119
1227	殿坂口道路	土器	深鉢	脚部	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/2	にぬ・黄褐色 7.387/4	灰褐色 2.357/2	内面:調溝(多線)	119
1228	殿坂口道路	須恵器	柄A	底部	-	-	-	黄褐色 2.356/1	黄褐色 2.356/1	黄褐色 2.356/2	底部回転朱切り→高台置付	119
1229	殿坂口道路	青磁	柄	口縁	-	-	-	オリーブ色 10.975/2	オリーブ色 10.975/2	白褐色 10.975/2	龍泉窑B1, 13c後半~14c初	119
1230	殿坂口道路	青磁	柄	口縁	-	-	-	オリーブ色 10.975/2	オリーブ色 10.975/2	白褐色 10.975/2	龍泉窑B2, 14c代	119
1231	殿坂口道路	青磁	柄	口縁	-	-	-	オリーブ色 10.975/2	オリーブ色 10.975/2	白褐色 10.975/2	龍泉窑B2, 14c代	119
1232	殿坂口道路	天日茶碗	底部	-	-	-	-	灰褐色 2.357/2	半リップ白色 2.357/2	灰褐色 2.357/2	跡	119
1233	殿坂口道路	殿戸美濃	ナリ鉢	体部	-	-	-	黑褐色 2.353/3	黑褐色 2.353/3	黑褐色 2.353/3	内面:ナリ	119
1234	殿坂口道路	殿戸美濃	蓋板類	脚部	-	-	-	墨色 2.352/1	灰白色 2.352/2	灰白色 2.352/2	内面:回転朱切り	119
1235	殿坂口道路	殿戸美濃	蓋板類	口縁	-	-	-	烟灰色 2.352/1	烟灰色 2.352/1	烟灰色 2.352/2	内面:回転朱切り	119
1236	殿坂口道路	殿戸美濃	蓋板類	底部	-	-	-	烟灰色 2.352/2	烟灰色 10.975/4	烟灰色 2.352/2	内面:回転朱切り	119
1237	殿坂口道路	殿戸美濃	ナリ鉢	脚部	-	-	-	にぬ・黄褐色 10.975/2	にぬ・黄褐色 7.387/4	灰褐色 2.357/2	内面:調溝(多線)	119
1238	殿坂口道路	殿戸美濃	ナリ鉢	底部	-	-	-	黄褐色 2.356/1	黄褐色 2.356/1	黄褐色 2.356/2	内面:回転朱切り→高台置付	119
1239	殿坂口道路	青磁	柄	口縁	-	-	-	オリーブ色 10.975/2	オリーブ色 10.975/2	白褐色 10.975/2	龍泉窑B1, 13c後半~14c初	119
1240	殿坂口道路	青磁	柄	口縁	-	-	-	オリーブ色 10.975/2	オリーブ色 10.975/2	白褐色 10.975/2	龍泉窑B2, 14c代	119
1241	殿坂口道路	殿戸美濃	天日茶碗	底部	-	-	-	灰褐色 2.357/2	半リップ白色 2.357/2	灰褐色 2.357/2	跡	119
1242	殿坂口道路	殿戸美濃	ナリ鉢	体部	-	-	-	黑褐色 2.353/3	黑褐色 2.353/3	黑褐色 2.353/3	内面:ナリ	119
1243	殿坂口道路	殿戸美濃	蓋板類	脚部	-	-	-	墨色 2.352/1	灰白色 2.352/2	灰白色 2.352/2	内面:回転朱切り	119
1244	殿坂口道路	珠洲燒	ナリ鉢	口縁	-	-	-	烟灰色 2.356/1	烟灰色 2.356/1	白褐色 2.356/2	口縁斜面方形 珠洲燒B1, 13c中頃	119
1245	殿坂口道路	珠洲燒	ナリ鉢	口縁	-	-	-	黄褐色 2.355/1	黄褐色 2.355/1	白褐色 2.355/2	口縁斜面水平 珠洲燒B1, 14c代	119
1246	梨ヶ原上短内 道路	陶文土器	深鉢	口縁	-	-	-	にぬ・黄褐色 2.356/4	にぬ・黄褐色 2.356/4	烟灰色 2.356/2	外面:山形押型文 内面:板ナデ	120
1247	梨ヶ原上短内 道路	陶文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にぬ・黄褐色 2.356/3	半リップ白色 2.356/3	烟灰色 2.356/3	外面:棒帶を工具で押しながら、途中突起するよう 繰り上げている、棒帶下に斜片状工具による縱位の 沈継	120
1248	梨ヶ原上短内 道路	殿戸美濃	ナリ鉢	体部	-	-	-	灰褐色 10.975/2	灰褐色 10.975/2	烟灰色 10.975/2	ロクナデ 内面:ナリ目	120
1249	梨ヶ原上短内 道路	床洞燒	ナリ鉢	口縁~ 体部	-	-	-	灰褐色 2.356/1	灰褐色 2.356/1	烟灰色 2.356/2	ロクナデ 内面:ナリ目	120
1250	梨ヶ原上短内 道路	土製品	土鉢	-	-	-	-	-	-	-	外面:中央部タナデ、両面部コナデ 内面:長さ3.7cm、幅1.5cm、芯贈資料	120

第32表 土器・土製品観察表(27)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm、括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版	
					口径	進深	基高	内面			断面		
								内面	外面	断面			
1264	梨ヶ田沖成道跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内:灰・黃褐色 2.5mm/3	淡黃褐色 2.5mm/4	淡黃褐色 10mm/3	外:半截竹管状工具による手彌縫縫で渦巻文、網目型に半截竹管状工具によるキザミ内:ナチュラル	121 -	
1265	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	灰褐色 10mm/1	外:口縁に沿って3本の横位縞帶に移状共による研究 内:ナチュラル	121 -	
1266	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/4	内:灰・黃褐色 7.5mm/4	褐色 7.5mm/6	外:面部下に2条の横位沈縫で輪文を囲む内:横・ナチュラル 外面に保存者、借用資料	121 -	
1267	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	オリーバ黒色 3mm/1	内:灰・黃褐色 10mm/3	外:面部下に2条の横位沈縫で輪文を囲む内:横・ナチュラル 外面に保存者、借用資料	121 -	
1268	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	黃褐色 2.5mm/2	灰褐色 3mm/1	外:口縁に沿って3重の縞帶、底状下にツツノ型の縞帶 内:横・ナチュラル 外面に口縫で、借用資料	121 -	
1269	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・褐色 7.5mm/4	内:灰・褐色 7.5mm/3	内:灰・褐色 7.5mm/4	外:口縫で底部に虹織文、体派織文 内:ナチュラル 平口縫、肥厚、内縫、借用資料	121 -	
1270	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	胴・底部	-	(12.5)	-	内:灰・黃褐色 10mm/3	淡黃褐色 2.5mm/3	淡黃褐色 2.5mm/3	外:底盤副代板(1組)附(1透)、脚部無し、底部無し、借用資料	121 -	
1271	梨ヶ根神成道跡	圓文土器	深鉢	胴・底部	(10.5)	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/4	内:灰・黃褐色 10mm/4	内:灰・黃褐色 7.5mm/4	外:成形跡付近、脚部無し 内:陶化物、保存者 借用資料	121 -	
1272	梨ヶ根下石道跡	珠洲燒	すり鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 5mm/2	灰褐色 5mm/2	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル、指圧痕	122 -	
1273	梨ヶ根下石道跡	珠洲燒	盃型杯	底部	(12.8)	-	-	灰褐色 5mm/2	灰褐色 2.5mm/1	灰褐色 2.5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部静止系切り	122 -	
1281	梨ヶ根中船内道跡	直底器	柄鉢	底部	(8.4)	-	-	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部ケズリ	123 -	
1282	梨ヶ根中船内道跡	直底器	柄鉢	底部	(5.5)	-	-	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部ケズリ	123 -	
1283	梨ヶ根中船内道跡	直底器	直底	底部	(9.6)	-	-	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部ケズリ	123 -	
1284	梨ヶ根中船内道跡	灰陶器	甕	底部	-	-	-	灰褐色 10mm/1	灰褐色 10mm/1	灰褐色 10mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部ケズリ	123 -	
1285	梨ヶ根中船内道跡	灰陶器	短頸甕	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.5mm/1	灰褐色 2.5mm/1	灰褐色 2.5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部灰袖	123 -	
1296	梨ヶ根中船内道跡	珠洲燒	すり鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル	123 -	
1287	梨ヶ根中船内道跡	珠洲燒	盃型杯	底部	(8.6)	-	-	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	灰褐色 5mm/1	ロクロナチュラル、外削:底部ケズリ、底部ケズリ	123 -	
1295	梨ヶ根森屋道跡	珠洲燒	すり鉢	体鉢	-	-	-	灰褐色 5mm/2	灰褐色 5mm/2	灰褐色 5mm/1	外削:手印叩き痕 内:ナチュラル調整、ユビオサエ 陶泥資料	124 -	
1296	梨ヶ根森屋道跡	珠洲燒	甕	胴部	-	-	-	灰褐色 7.5mm/1	灰褐色 7.5mm/1	灰褐色 7.5mm/1	外削:手印叩き痕 内:ナチュラル調整、ユビオサエ 陶泥資料	124 -	
1299	西津山道路	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:口縫に沿って純粋文と沈縫、底起線文 に楕状工具による刻痕 平口縫、肥厚、外削、借用資料	125 -	
1300	西津山道路	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:底盤付近の沈縫、無文 平口縫、外削、借用資料	125 -	
1301	西津山道路	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/3	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:圓文地の上に半截竹管による沈縫 陶泥資料	125 -	
1302	西津山道路	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:底盤付近の沈縫、無文 平口縫、外削、借用資料	125 -	
1304	西茂山牧灰中道跡	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内:灰・黃褐色 2.5mm/2	内:灰・黃褐色 2.5mm/2	内:灰・黃褐色 2.5mm/2	外:底盤付近の沈縫、無文 平口縫、外削、借用資料	126 -	
1305	八幡山道路	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	明赤褐色 5mm/6	明赤褐色 5mm/6	内:灰・褐色 5mm/6	外:底盤付近の沈縫、無文 平口縫、外削、借用資料	127 -	
1306	八幡山道路	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:底盤付近の沈縫、無文 平口縫、外削、借用資料	127 -	
1308	脛之内道路	圓文土器	深鉢	口縁部	(12.0)	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:内:ナチュラル、突起の上から瓜形のキザミ 内:ナチュラル	128 -	
1309	脣之内道路	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	明赤褐色 10mm/6	明赤褐色 10mm/6	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:内:ナチュラル、底盤付近の沈縫、キザミ 内:ナチュラル	128 -	
1310	脣之内道路	圓文土器	深鉢	胴部	-	-	-	明赤褐色 10mm/6	明赤褐色 10mm/6	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:内:ナチュラル、底盤付近の沈縫、ナチュラル 内:ナチュラル	128 -	
1311	脣之内道路	圓文土器	深鉢	底部	(12.0)	-	-	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	内:灰・黃褐色 10mm/2	外:ナチュラル、底盤付近の沈縫(滑) 内:ナチュラル	128 -	
1312	脣之内道路	圓文土器	深鉢	底部	(10.0)	-	-	灰褐色 10mm/1	内:灰・黃褐色 10mm/1	内:灰・黃褐色 10mm/1	外:ナチュラル、底盤付近の沈縫 内:ナチュラル	128 -	
1316	森茂道跡	圓文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	明赤褐色 10mm/6	内:灰・黃褐色 10mm/6	内:灰・黃褐色 10mm/1	外:口縫部に實文に似た文様あり、横位の沈縫に底盤の沈縫と研究 内:ナチュラル	129 -	

第33表 土器・土製品観察表 (28)

番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)	色調			備考(成型・文様等)	種 類		
						口径	底径	器高	内面	外面	断面	
1317	森茂遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	にふく黄褐色 10106/4	にふく黄褐色 10106/3	暗黄褐色 2.355/2	外面:矢羽根状文 内面:矢羽根状文 借用資料	129 -
1318	森茂遺跡	珠洲焼	すり鉢	口縁部	-	-	-	黄褐色 2.355/1	黄褐色	灰褐色 2.355/1	外面:ナデ 内面:ナデ 借用資料	129 -
1319	森茂遺跡	珠洲焼	甕	口縁部	-	-	-	灰褐色 3.4/1	褐褐色 10104/1	灰褐色 3.4/1	外面:平打引き 内面:当て具板 借用資料	129 -
1320	森茂遺跡	珠洲焼	甕	口縁部	-	-	-	灰褐色 3.4/1	褐褐色 3.4/1	灰褐色 3.4/1	外面:平打引き 内面:ナデ, 当て具板 借用資料	129 -
1321	森茂遺跡	珠洲焼	甕	口縁部	-	-	-	灰褐色 3.4/1	褐褐色 3.4/1	灰褐色 3.4/1	外面:平打引き 内面:ナデ, 当て具板 借用資料	129 -
1322	森茂遺跡	近世陶器	天目茶碗	体～底部	4.5	-	-	黑色 5.0/2.1	灰褐色 1.0106/2	灰褐色 1.0106/2	内面:絞緋(黒色) 削り出し, 高台, 内面～外面部外側面打紋	129 -
1323	森茂遺跡	近世陶器	碗	体部	-	-	-	黑褐色 10103/2	灰褐色 10103/2	灰褐色 2.357/1	内面:絞緋(黒色) 削り出し, 高台, 内面～外面部外側面打紋	129 -
1324	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	黑褐色 2.355/3	にふく褐色 2.355/4	灰褐色 2.355/2	外面:珠帶(凸部), 角押引き, キザミ 内面:保付着, 口縁部下に剥離したあと使用 被と見られるものあり	130 -
1325	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 3.0107.6	灰褐色 10104/1	灰褐色 2.355/3	内面:口縁に2条の強帯又は半強起線文, 珠帶 手口縫, 内面借用資料	130 -
1326	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 2.357.8	褐色 2.357.8	褐色 2.357.8	外面:無文部の下に珠帶で区画文の中に横位矢 羽根, 縦位矢, 指屈正綱, 指屈正綱 借用資料	130 -
1327	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にふく黄褐色 10107/2	にふく黄褐色 10107/2	灰褐色 2.357/1	外面:半強起線文に無捺文, 押引き文, 珠帶 に無捺文 借用資料	130 -
1328	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	にふく黄褐色 10107/4	黑色 2.357/2	にふく黄褐色 1.0105/4	外面:吹拂による吹付軽地他工機に半強打管状工 具によく平行吹拂文, 珠帶で垂垂文 内面:ヨコナデ	130 -
1329	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	成黄褐色 10108/1	灰褐色 1.0108/4	にふく黄褐色 1.0108/3	外面:半強打管による吹拂文 内面:ヨコナデと同一体, 借用資料	130 -
1330	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	頭部	-	-	-	にふく黄褐色 10106/5	にふく黄褐色 1.0105/3	灰褐色 2.357/2	外面:ナデ, 成黄褐色と珠帶による施文, 保付着 借用資料	130 -
1331	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	黑褐色 10103/2	黑色 10107/2	にふく黄褐色 1.0105/4	外面:半強起線文, 珠帶にハシゴ状キサギ, 条 の半強起線に織文庄板 借用資料	130 -
1332	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	にふく黄褐色 10107/4	にふく黄褐色 10108/1	黑色 1.0105/2	外面:半強起線文 内面:半強起線文 借用資料	130 -
1333	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縫～胴部	-	-	-	褐灰色 10104/1	にふく褐色 2.357/4	灰褐色 2.357/2	外面:口縫に沿って半強打管による2条の半強 起線文間に吹拂文(ヨコナデ), 保付着 皮吹付, 珠帶, 借用資料	130 -
1334	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にふく褐色 2.357.3	にふく褐色 2.357.4	黑色 1.0105/4	外面:口縫に沿って2条の半強起線文 半強打, 外文, 借用資料	130 -
1335	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 2.357.6	にふく褐色 2.357.4	黑色 2.355/1	外面:口縫に沿って2条の強帯半強打 内面:ヨコナデ 借用資料	130 -
1336	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縫	-	-	-	褐灰色 10104/1	にふく褐色 2.357.3	灰褐色 2.357.2	外面:口縫に沿って半強打管による吹拂文 内面:吹拂文(ヨコナデ), 保付着 皮吹付, 珠帶, 借用資料	130 -
1337	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰褐色 2.357.2	にふく黄褐色 1.0105/2	灰褐色 2.357.2	外面:半強打管状工具による半強吹拂文とキサ ギ, 成黄褐色, 保付着, 供用資料	130 -
1338	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縫部	-	-	-	半褐色 2.357.5	にふく褐色 2.357.4	灰褐色 2.357.2	外面:半強吹拂文, 珠帶から履位に珠帶 皮吹付, 珠帶, 借用資料	130 -
1339	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	にふく褐色 10106/4	褐色 10106/6	にふく褐色 2.357.3	外面:口縫の珠帶区画内外に珠帶, 珠帶にキ サギ, 逃げ吹付, 逃げ吹付, 高山上市前野遺跡に類 似例出土あり, 借用資料	130 -
1340	やなぎさこ遺跡	調文土器	浅鉢	口縫部	-	-	-	にふく褐色 2.357.3	にふく褐色 2.357.3	灰褐色 1.0106/2	外面:口縫に2条の強帯吹拂文(ヨコナデ)と 成黄褐色, 保付着, 逃げ吹付, 高山上市前野遺跡に類 似例出土あり, 借用資料	130 -
1341	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縫部	-	-	-	にふく褐色 2.357.4	にふく褐色 2.357.6	灰褐色 2.357.6	外面:口縫に2条の強帯吹拂文(ヨコナデ) 内面:吹拂文(ヨコナデ), 保付着 借用資料	130 -
1342	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 2.357.3	にふく褐色 2.357.6	灰褐色 2.357.2	外面:吹拂文(ヨコナデ)による吹拂文 内面:ヨコナデ 借用資料	130 -
1343	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 2.357.3	にふく褐色 2.357.6	灰褐色 2.357.2	外面:吹拂文(ヨコナデ)による吹拂文 内面:ヨコナデ 借用資料	130 -
1344	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	-	-	-	褐色 2.357.6	にふく褐色 2.357.7	灰褐色 1.0105/4	外面:逃げ吹付による吹拂文を施す 借用資料	130 -
1345	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縫～胴部	(42.4)	-	-	褐褐色 10106/1	にふく褐色 2.357.4	灰褐色 1.0106/2	外面:口縫に2条の強帯吹拂文(ヨコナデ)による吹拂 内面:吹拂文(ヨコナデ), 保付着 借用資料	131 16

第34表 土器・土製品観察表(29)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm,括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 國 版	
					口径	進深	高さ	内面	外面	断面			
1346	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐色	灰褐色	褐色	外面:陰刻線と虎頭によるT字状凹溝内に虎頭、隆起の接着面にヘラ状工具による刺突 内面:褐色	131	—
1347	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	淡黃褐色	灰褐色	灰褐色	外面:虎頭で区画内に虎頭、葉脈文 内面:褐色	131	16
1348	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	灰褐色	外面:2条の縦位隆帯間に矢列椎文、横位沈線 内面:褐色	131	—
1349	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:横位隆帯、辯位辯、横長椎文、矢羽椎文 内面:褐色	131	—
1350	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	褐色	灰褐色	灰褐色	外面:横位隆帯、虎頭文、褐色による彫刻、スピナ 内面:褐色	131	—
1351	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	褐色	褐色	外面:横位による区画の中に縦位沈線、下部に 底状點椎文、保付唇 内面:褐色	131	—
1352	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:横位の上に横帶、沈線で施す 内面:褐色	131	—
1353	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:横位の辯矢形羽根、隆起による区画内に 横線の矢羽形、辯位下位に横文 内面:褐色	132	—
1354	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁下の2条の隆帯にヘラ状工具による 平行線、外反、借用資料	132	—
1355	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:口縁下2条の隆帯の間に半載竹管による 平行線、外反、借用資料	132	—
1356	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:横位隆帯に刷状工具による刺突と辯位隆 帯にキナコナデ 内面:褐色	132	—
1357	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁に沿って幅広の隆帯と沈線、調文地 波状口縁、外反、借用資料	132	—
1358	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁～ 頸部	(37.0)	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:状口縁、双肩突起に沿って半載竹管工具による 押し引き文、虎頭文 内面:褐色	132	—
1359	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	褐色	褐色	外面:横位2条の隆帯に虎頭文、即ち刷状工具による 押し引き文、虎頭文 内面:褐色	132	—
1360	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁～ 頸部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁の隆帯画面に横位沈線、ねじり棒 状の突起、隆帯間に刺突、横位2本の縦位隆帯に 矢羽根 内面:平行線、外反、借用資料	132	16
1361	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁に沿って幅広の隆帯、その下に横文 平行線、やや外反、借用資料	132	16
1362	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰白色	灰白色	灰白色	外面:口縁下に幅広の隆帯、沈線で施す、隆帯に 横文 内面:平行線、やや外反、借用資料	132	16
1363	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁内に辯位沈線 内面:口縁に沿って2条の幅広の沈線 平行線、外反、借用資料	132	—
1364	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁による彫文、彫形工具・刷状工具によ る刺突文 内面:褐色	132	—
1365	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	淡黃褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁下に無文帯、その下に横文(IH) 内面:横位沈線 平行線、外反、借用資料	132	—
1366	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰白色	灰白色	褐色	外面:口縁下に無文帯、その下に横文(IH)、横文 平行線、外反、借用資料	132	—
1367	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁下に幅広の無文帯、その下に横文 平行線、借用資料	132	—
1368	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	(24.0)	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁上部板状工具によるヨコナデ、下部 調文II施文 内面:刷状工具によるヨコナデ 借用資料	132	—
1369	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:調文 内面:ヨコナデ 借用資料	132	—
1370	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	褐色	褐色	褐色	外面:調文 内面:平行線、借用資料	132	—
1371	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:調文 内面:ヨコナデ 借用資料	132	—
1372	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	底部	—	15.0	—	灰褐色	灰白色	褐色	外面:口縁下に無文帯、底位沈線、保付唇 内面:ヨコナデ 借用資料	133	—
1373	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	灰褐色	灰褐色	褐色	外面:口縁下に無文帯、辯位沈線、保付唇 内面:平行線、らしく外反、借用資料	133	—

第35表 土器・土製品観察表(30)

番号	通説名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は肯定)			色調			備考(成形・文様等)	種 類	
					口径	底径	器高	内面	外面	断面			
1374	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/4	1884/4	外面部口縁下に縱縦状溝 平口縁、把手なし、借用資料	133	-
1375	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/2	10364/3	外面部横状工具による条線 内面部ナゲ 借用資料	133	-
1376	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/4	1.3185/4	外面部無文 平口縁、ゆるく外反、借用資料	133	-
1377	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/5	2.3185/1	外面部縦付着 平口縁、ゆるく外反、口唇部底縫 借用資料	133	-
1378	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/2	3185/4	外面部無文 平口縁、外反、借用資料	133	-
1379	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/6	3185/6	外面部無文 平口縁、外反、借用資料	133	-
1380	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	底部	-	(11.7)	-	にら・黒褐色 3185/3	にら・黒褐色 2.3185/6	2.3185/2	外面部無文、底縫網代E底(2組)透 借用資料	133	-
1381	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁～脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/3	にら・黒褐色 2.3185/6	1.3185/2	外面部底縫による施文 口縁部内、借用資料	133	-
1382	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	オリーブ色 3185/1	オリーブ色 3185/2	1.3185/2	外面部底縫による区画、捺行文 借用資料	133	-
1383	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 2.3185/4	にら・黒褐色 2.3185/5	1.3185/2	外面部横状条以上底縫、底縫ヒズ、斜底、脚部底縫、一部重ねて条縫 借用資料	133	-
1384	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	青褐色 3185/6	青褐色 3185/6	1.3185/3	外面部口縁に斜底底縫文と1条の横底底縫 内面部ナゲ 借用資料	133	-
1385	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	底部	-	(11.9)	-	褐色 3185/6	褐色 2.3185/6	1.3185/2	外面部動文、底縫による軽行文、底縫網代 (2組)透(2透) 借用資料	133	-
1386	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	灰黒褐色 3185/2	灰黒褐色 3185/5	2.3185/2	外面部底縫にキザミ、その下位に縦位側隣起 縫文 借用資料	133	-
1387	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	底部	-	(13.0)	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/4	1.3185/1	外面部底縫起縫文、底縫網代(2組)透(1透) 借用資料	133	16
1388	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 2.3185/4	にら・黒褐色 2.3185/6	1.3185/4	外面部底縫による施文、保村看 借用資料	133	16
1389	やなぎさこ遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰黒褐色 3185/2	灰黒褐色 2.3185/4	2.3185/2	外面部底縫内面で済文、口縁下底縫沈縫、磯 波状口縁、借用資料	133	-
1390	やなぎさこ遺跡	調文土器	堅型土器	口縁部	(15.0)	-	-	にら・黒褐色 3185/1	にら・黒褐色 2.3185/2	1.3185/3	外面部無文 内面部口縁内側に4横筋の柄状把手 底状化、外反、頭部くびれ、借用資料	133	-
1391	やなぎさこ遺跡	土製品	土偶	脚～脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/2	にら・黒褐色 2.3185/3	1.3185/1	表裏面に底縫による正反縫、胸部から腹部に曲 線的の次縫、末広がり形態の脚部に縫帶を貼り 付け、脚部には口縁内側に抜き縫、借用資料	133	16
1392	やなぎさこ遺跡	土製品	土偶	-	-	-	にら・黒褐色 3185/1	にら・黒褐色 3185/2	2.3185/5	外面部半載竹管による尻縫文で 内面部ナゲ 借用資料	133	-	
1407	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	灰黒褐色 3185/3	灰黒褐色 2.3185/2	2.3185/1	外面部口縫に底縫に底縫文、小横筋による横底半 縫 借用資料	135	-
1408	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/3	にら・黒褐色 2.3185/8	1.3185/6	外面部半載竹管による2条の横底半縫起 縫 借用資料	135	-
1409	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/4	にら・黒褐色 2.3185/7	2.3185/2	外面部半載竹管による底縫面に凸て2条の半 縫起縫 借用資料	135	-
1410	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 2.3185/4	にら・黒褐色 2.3185/2	1.3185/3	外面部半載竹管による半縫起縫で済文、基座 面にシザミ 借用資料	135	-
1411	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	灰黒褐色 2.3185/1	灰黒褐色 2.3185/3	1.3185/4	外面部半載竹管による2条の縫位半縫起縫文の 間にシザミの状縫 借用資料	135	-
1412	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/2	にら・黒褐色 2.3185/2	1.3185/3	外面部半載竹管による半縫起縫文 借用資料	135	-
1413	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	灰黒褐色 3185/2	灰黒褐色 2.3185/1	1.3185/4	外面部半載竹管による半縫起縫文 借用資料	135	-
1414	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/3	にら・黒褐色 2.3185/1	1.3185/4	外面部口縫に縫帶抜け付け、底縫底縫をもつ突 起縫、口縫下に斜底底縫、借用資料	135	-
1415	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	褐色 2.3185/6	にら・黒褐色 2.3185/6	1.3185/2	外面部底縫に縫帶抜け付け、底縫底縫をもつ突 起縫、借用資料	135	-
1416	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/3	にら・黒褐色 2.3185/6	1.3185/3	外面部口縫下に縫帶抜け付け、底縫底縫をもつ突 起縫、口縫下に斜底底縫、借用資料	135	-
1417	六郎谷遺跡	調文土器	深鉢	底部	-	-	-	灰褐色 2.3185/3	灰褐色 2.3185/4	1.3185/4	外面部底縫に半載竹管による半縫起縫を施 借用資料	135	-
1418	荒石川市遺跡	調文土器	深鉢	脚部	-	-	-	にら・黒褐色 3185/2	にら・黒褐色 2.3185/2	1.3185/2	外面部底縫に半載竹管による半縫起縫を施 借用資料	136	-

第36表 土器・土製品觀察表(31)

遺物 番号	遺跡名	種別	分類	部位	法量 (cm.括弧内は推定)			色調			備考(成形・文様等)	排 出 場 所	固 定 版
					口径	底径	高さ	内面	外面	断面			
1419	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	にじい 黄褐色 10φ7.0	黒褐色 2.0H6.1	黒褐色 2.0H5.1	外面:縁帶と半隆起線文で渦巻文、基盤帯に斜状工具による軋突 使用資料	136	—
1420	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	淡黃褐色 10φ8.0	にじい 暗褐色 7.0H7.4	黒褐色 10φ8.0	外面:半載竹管による横位半隆起線の下に縱位の 半隆起線を施文 使用資料	136	—
1421	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	にじい 黄褐色 10φ6.0	にじい 黄褐色 10φ6.0	灰黃褐色 10φ6.2	外面:口縁に沿って2条の半隆起線文 平口縫、内溝、使用資料	136	—
1422	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	(22.0)	—	—	にじい 黄褐色 10φ7.0	黒褐色 10φ8.1	灰褐色 2.0H6.2	外面:口縫下に横位1条の基盤帯、その下に半載竹 管による3条の半隆起線、保付着 平口縫、くの字状に屈曲して外反、使用資料	136	—
1423	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	灰白色 10φ8.2	にじい 暗褐色 7.0H7.4	黒褐色 10φ8.2	外面:縄文施文後、半載竹管による半隆起線でY字 状施文 内面:保付着 使用資料	136	—
1424	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	にじい 暗褐色 7.0H6.4	灰褐色 10φ6.2	にじい 暗褐色 7.0H6.3	外面:縫合部の歪 内面:ナグ	136	—
1425	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	淡黃褐色 2.0H6.2	淡褐色 2.0H6.1	黒褐色 10φ6.1	外面:半載竹管による基盤帯下に半隆起線文で施 文 使用資料	136	—
1426	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	淡黃褐色 7.0H6.3	にじい 暗褐色 7.0H6.4	灰褐色 10φ6.2	外面:縫合部の歪 内面:保付着 使用資料	136	—
1427	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	黒褐色 2.0H6.1	黒褐色 2.0H7.2	黒褐色 2.0H7.1	外面:縫合部を施した縁帶に沿って半載竹管によ るナグで、縁帯上に縄文施文後に施文 使用資料	136	—
1428	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	にじい 黄褐色 10φ6.2	淡褐色 2.0H6.1	灰褐色 10φ6.2	外面:2本の縫合線、基盤帯にヘリ状工具によるナ グと 使用資料	136	—
1429	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	底部	—	(9.6)	—	にじい 黄褐色 10φ7.4	にじい 黄褐色 10φ6.3	灰褐色 10φ6.2	外面:縫合部の歪 内面:縫合部斜線文と縦位斜位の底縫で施文、底部 網代E瓶 使用資料	136	—
1430	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	(32.0)	—	—	にじい 暗褐色 7.0H6.4	にじい 暗褐色 7.0H6.4	灰褐色 10φ7.4	外面:口縫に沿って斜位にナグ直あり、縄文E. 半口縫、肥厚、外反、使用資料	136	—
1431	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	にじい 暗褐色 7.0H6.2	灰褐色 7.0H6.1	にじい 暗褐色 7.0H6.2	外面:縫合部 内面:縫合部斜線文 半口縫、肥厚、外反、使用資料	136	—
1432	新石川市遺跡	縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	淡黃褐色 2.0H7.2	灰褐色 10φ6.2	灰褐色 10φ6.2	外面:底縫による平行線や柳円文 使用資料	136	—
1433	新石川市遺跡	縄文土器	浅鉢	胴部	—	—	—	にじい 黄褐色 10φ7.2	灰白色 2.0H6.1	灰褐色 10φ6.2	外面:縫合部把手の端が残存となる 使用資料	136	—
1434	新石川市遺跡	縄文土器	浅鉢	口縁部	(26.0)	—	—	褐赤褐色 2.0H3.2	黒褐色 2.0H3.2	黒褐色 2.0H3.1	外面:無文 内面:口縫から内面にかけて朱あり 半口縫、外反、使用資料	136	—

第37表 石器・石製品観察表(1)

遺物 番号	遺物名	分類	部位	法量(cm. 括弧内に残存)				石材	備考	種 別	國 原
				長さ	幅	厚さ	重さ (g)				
19	圓頭遺跡	石劍	—	1.9	1.6	0.3	0.5	下駄石	凹基無葉鋸	—	3 3
20	圓頭遺跡	石劍	(2.70)	1.4	0.5	1.4	チャート	細部欠損	—	3 3	
21	圓頭遺跡	スクライバー	完形	2.5	2.4	0.8	5.0	チャート	—	3 3	
22	圓頭遺跡	太型始刀 磨製石斧	完形	9.7	6.2	4.3	424.8	安山岩	—	3 3	
23	圓頭遺跡	石劍	—	7.9	6.7	5.3	318.6	礫灰岩	表面磨き、彫刻が無い	—	3 —
24	圓頭遺跡	嘴状石器	(2.23)	2.7	0.8	3.8	チャート	—	—	4 3	
25	圓頭遺跡	斧	—	3.5	3.1	1.3	10.6	下駄石	—	4 3	
26	圓頭遺跡	石刀	—	—	—	—	11.7	粗粒岩	頭部のみ、抜物の沈線によつて彫文されている。くびれを作つてある。借用資料	4 3	
27	圓頭遺跡	鉤状石器	—	25.5	10.0	5.4	1780.0	礫灰岩	左右間に十字の削り出し文様。奇麗資料	4 3	
79	圓頭遺跡	スクライバー	—	3.6	3.5	0.9	10.3	チャート	—	6 —	
113	上氣多遺跡	石劍	—	2.6	1.8	0.8	2.2	下駄石	凹基無葉鋸、刃みのある石劍。脚底が欠けて再成した跡がみられる。借用資料	8 —	
114	上氣多遺跡	石劍	—	—	—	0.3	0.5	下駄石	平基有葉鋸。借用資料	8 4	
115	上氣多遺跡	有孔刮削器	完形	3.4	2.2	0.5	2.5	粗粒岩	孔を作り直した跡が裏面にみられる。借用資料	8 4	
116	上氣多遺跡	石劍	完形	3.2	1.85	0.8	3.0	下駄石	借用資料	8 4	
117	上氣多遺跡	楔形石器	—	1.8	1.3	0.8	1.7	無礫岩	借用資料	8 4	
118	上氣多遺跡	楔形石器	—	1.6	1.6	0.7	1.6	下駄石	借用資料	8 —	
119	上氣多遺跡	スクライバー	完形	2.3	2.6	1.0	6.0	下駄石	借用資料	8 —	
120	上氣多遺跡	打製石斧	—	7.4	4.7	1.7	69.7	綠色片岩	短縫形	8 —	
121	上氣多遺跡	打製石斧	完形	8.7	4.9	2.0	94.1	礫灰岩	短縫形	8 —	
122	上氣多遺跡	打製石斧	完形	14.6	8.4	4.6	560.0	砂岩	短縫形、礫面利用。借用資料	8 —	
123	上氣多遺跡	打製石斧	—	17.8	8.4	3.6	631.0	礫灰岩	—	8 —	
124	上氣多遺跡	磨製石斧	—	11.6	7.3	3.0	351.5	礫灰岩	—	8 4	
125	上氣多遺跡	石刀	—	(3.9)	3.4	(1.6)	32.7	粗粒岩	一部研磨底あり。未製品か。上下端刃部欠損	9 4	
170	上氣多網向遺跡	打製石斧	完形	13.8	6.6	2.3	209.6	安山岩	初期形	11 —	
179	上野井遺古墳	勾玉	完形	2.85	—	0.95	6.1	碧玉	穿孔は斜めから無される。上部及び株の端部分平地に研磨。借用資料	14 —	
198	上野井東遺跡	楔形石器	—	3.3	2.4	0.9	9.3	チャート	—	16 —	
228	上町南遺跡	打製石斧	—	16.0	7.4	4.1	517.8	礫灰岩	短縫形	18 —	
229	上町南遺跡	打製石斧	(12.5)	5.9	—	2.6	214.7	礫灰岩	短縫形、刃部欠損	18 —	
230	上町南遺跡	太型始刀 磨製石斧	—	15.8	6.5	4.7	867.2	綠色石類	—	18 —	
231	上町南遺跡	石劍	—	9.2	5.9	3.15	262.8	綠色石類	基部部分削ぎ落し、再生しようとした痕跡が少く、表面には叩いて使用した痕跡がみられる。借用資料	18 —	
272	黒内綿野遺跡	石劍	(1.30)	1.1	0.3	0.4	下駄石	凹基無葉鋸	—	24 —	
273	黒内綿野遺跡	石劍	完形	1.6	1.3	0.25	0.4	白雲母石	凹基無葉鋸。借用資料	24 —	
274	黒内綿野遺跡	石劍	—	1.9	1.5	0.4	0.8	斑錫員石	凹基無葉鋸。借用資料	24 —	
275	黒内綿野遺跡	石劍	—	2.0	1.3	0.2	0.4	下駄石	平基無葉鋸。刃部欠けた。	24 —	
276	黒内綿野遺跡	石劍	—	0.90	0.93	0.43	0.9	下駄石	平基無葉鋸。借用資料	24 —	
277	黒内綿野遺跡	石劍	—	3.8	1.2	1.1	4.9	チャート	先端部削ぎ落さ。0.3mm	24 —	
278	黒内綿野遺跡	楔形石器	—	2.9	1.0	0.4	1.6	下駄石	—	24 —	
279	黒内綿野遺跡	楔形石器	—	3.4	2.4	0.6	6.0	下駄石	—	24 —	
280	黒内綿野遺跡	スクライバー	—	5.4	3.4	2.1	30.1	チャート	—	24 —	
281	黒内綿野遺跡	スクライバー	—	3.2	2.2	1.0	7.7	チャート	玄武岩資料	24 —	
282	黒内綿野遺跡	打製石斧	完形	9.3	5.0	1.6	82.3	礫灰岩	表面は自然面で理無し	24 —	
283	黒内綿野遺跡	打製石斧	完形	10.5	4.6	2.0	114.8	礫灰岩	短縫形	24 —	
284	黒内綿野遺跡	打製石斧	—	14.9	5.6	1.7	162.8	頁岩	短縫形、基部欠損	24 —	
285	黒内綿野遺跡	打製石斧	完形	12.7	5.8	2.6	229.5	礫灰岩	短縫形、奇麗資料	25 —	
286	黒内綿野遺跡	磨製石斧	完形	18.9	6.35	2.9	696.0	透閃石岩	奇麗資料	25 —	
287	黒内綿野遺跡	磨製石斧	—	8.65	4.2	1.9	116.2	透閃石岩	奇麗資料	25 —	
288	黒内綿野遺跡	圓石	(7.11)	6.8	3.6	218.7	砂岩	—	25 —		
289	黒内綿野遺跡	石刀	—	17.6	3.4	2.0	126.8	頁岩	全体形、全体を摩耗している。頭頂部にチャートが入り込んだ石材を利用している。奇麗資料	25 3	
290	黒内綿野遺跡	石刀	—	—	3.0	1.5	113.5	頁岩	—	25 5	
291	黒内綿野遺跡	鉤状石器	—	28.6	11.6	7.9	3780.0	安山岩	奇麗資料	26 5	
307	五阿祭古墳	磨製石斧	—	15.5	4.8	3.2	367.2	礫灰岩	乳棒狀。奇麗資料	28 —	
308	五阿祭古墳	不明	—	3.3	3.4	3.3	47.8	透閃石岩	土器を削いたための製品か。奇麗資料	28 —	
309	五阿祭古墳	不明	—	2.45	2.55	2.3	15.8	礫灰岩	土器を削いたための製品か。奇麗資料	28 —	
435	御番屋遺跡	石柄	—	6.2	6.9	2.9	156.6	玉類	—	35 —	
426	御番屋遺跡	石柄	—	8.0	7.3	4.4	289.2	チャート	—	35 —	
427	御番屋遺跡	石柄	—	7.0	6.4	2.6	156.9	硬質砂岩	上下面に突起。表・側面磨き	35 —	
428	御番屋遺跡	石柄	—	6.5	6.8	2.0	130.2	安山岩	表・側面磨き	35 —	
429	御番屋遺跡	石柄	—	11.7	10.1	3.1	526.9	透閃石紋岩	—	35 —	
430	御番屋遺跡	石柄	(4.30)	4.5	1.4	38.6	砂岩	F底部欠損	35 —		
431	御番屋遺跡	打製石斧	—	12.8	5.3	2.7	214.5	頁岩	—	35 —	
432	御番屋遺跡	打製石斧	—	11.5	6.0	1.5	82.8	頁岩	扇形、万葉・右側縫欠損	35 —	
433	御番屋遺跡	打製石斧	—	10.1	6.3	2.3	150.2	ホルンブッシュ	—	35 —	
434	御番屋遺跡	打製石斧	(11.30)	6.7	2.3	197.3	礫灰岩	基部欠損	35 —		
435	御番屋遺跡	磨製石斧	(10.3)	5.0	2.4	223.5	透閃石岩	万葉・基部・側縫縫欠損。全面磨き	36 —		
436	御番屋遺跡	磨製石斧	(7.7)	6.9	2.6	248.9	透閃石岩	基部・側縫縫欠損。扁平形。全面磨き	36 —		
437	御番屋遺跡	磨製石斧	(5.2)	4.3	1.6	39.2	透閃石岩	基部欠損。全面磨き	36 —		
438	御番屋遺跡	磨製石斧	(7.30)	6.0	2.5	182.2	透閃石岩	基部欠損。全面磨き	36 —		
439	御番屋遺跡	磨石	(11.8)	8.1	4.0	521.7	礫灰岩	表・側面磨き	36 —		

第38表 石器・石製品観察表(2)

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量(cm. 評定内に残存)			石材	備考	種 別	固 原
				長さ	幅	厚さ (g)				
409	御前山遺跡	砾石	-	14.4	6.9	3.0	55.0	透閃石岩 透閃石端部欠損。磨製石斧を転用	36-	-
410	御前山遺跡	砂岩	-	10.2	7.8	5.1	584.0	細火炎 全表面磨き	36-	-
411	下氷多川遺跡	打製石斧	-	(12.0)	6.0	1.8	157.1	細火炎 端部欠損	39-	-
501	寿老寺廻寺跡	楔形石器	-	2.4	1.4	0.7	2.4	下呂石	47-	-
502	寿老寺廻寺跡	打製石斧	-	(11.0)	5.5	2.5	180.3	細火炎 基部欠損。土づけ痕あり	47-	-
503	寿老寺廻寺跡	IF	-	2.6	1.5	0.4	1.1	下呂石	47-	-
506	太江遺跡	打製石斧	-	9.0	3.9	2.2	107.2	頁岩 肩部欠損。粗彫形。土づけ痕が多くの複数	52-	-
507	太江遺跡	打製石斧	先端	11.2	4.7	2.1	138.3	頁岩 粗彫形	52-	-
600	高野光寺等遺跡	打製石斧	-	13.4	7.2	2.2	256.0	細火炎 空鋸資料	59-	-
601	高野光寺等遺跡	打製石斧	-	12.8	6.5	1.8	194.9	頁岩 空鋸資料	59-	-
602	高野光寺等遺跡	砂岩	-	10.6	9.0	5.3	707.0	細火炎 -	59-	-
603	高野光寺等遺跡	石棒	-	(4.0)	2.6	2.1	34.8	練泥片岩 上端・下部欠損。基部の一部のみ残存。全面磨き	59-	-
607	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.2)	1.7	0.5	1.4	下呂石 凹底無茎鍬。先端部が使用で欠損した後再生したと見られる	61 11	-
608	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(1.0)	1.2	0.3	0.6	チャート 凹底無茎鍬	61-	-
609	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.0)	1.4	0.4	1.0	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
610	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	1.7	1.5	0.3	0.6	下呂石 凹底無茎鍬。先端部・部欠損	61 11	-
621	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	2.1	1.4	0.4	0.8	珪質頁岩 凹底無茎鍬	61 11	-
622	高野巾ノ上遺跡	石鍬	先端	1.7	1.1	0.4	0.5	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
623	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(1.0)	1.3	0.3	0.3	下呂石 凹底無茎鍬。脚部欠損	61 11	-
624	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.0)	1.6	0.5	1.8	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
625	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	1.9	1.7	0.4	1.4	チャート 凹底無茎鍬	61 11	-
626	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.0)	1.5	0.3	0.8	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
627	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.0)	1.8	0.9	3.6	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
628	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	2.7	1.6	0.7	2.5	下呂石 凹底無茎鍬	61 11	-
629	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.7)	1.3	0.4	1.4	下呂石 凸底有茎鍬。先端部厚さ0.2mm	61 11	-
630	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	2.6	1.3	0.4	1.0	下呂石 凸底有茎鍬	61 11	-
631	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(3.0)	1.1	0.7	2.8	下呂石 凸底有茎鍬	61 11	-
632	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	(2.7)	1.5	0.8	3.1	チャート 凸底有茎鍬	61 11	-
633	高野巾ノ上遺跡	石鍬	-	2.6	2.2	1.0	4.0	チャート 凸底有茎鍬	61 11	-
634	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	1.6	1.7	0.8	2.2	下呂石 -	62 11	-
635	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	2.3	1.4	0.6	2.5	下呂石 三鈍	62 11	-
636	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	3.2	1.4	0.9	4.0	チャート -	62 11	-
637	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	(2.0)	2.1	0.6	4.0	チャート -	62 11	-
638	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	3.7	2.2	0.9	6.4	下呂石 -	62 11	-
639	高野巾ノ上遺跡	楔形石器	-	4.1	2.9	1.0	11.6	下呂石 -	62 11	-
640	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	1.8	1.3	0.3	0.8	玉髓 -	62 11	-
641	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	1.7	2.7	0.3	1.4	チャート -	62 11	-
642	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	2.2	3.2	0.5	4.6	チャート -	62 11	-
643	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	(3.0)	2.5	0.8	6.6	チャート -	62 11	-
644	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	2.0	3.0	1.1	10.4	チャート -	62 11	-
645	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	3.4	3.3	0.9	14.2	チャート -	62 11	-
646	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	2.6	4.1	0.9	9.6	チャート -	62 11	-
647	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	2.6	1.8	0.4	1.6	下呂石 -	62 11	-
648	高野巾ノ上遺跡	スケレイバー	-	4.1	2.4	0.8	4.6	下呂石 -	62 11	-
649	高野巾ノ上遺跡	石核	-	5.1	3.6	2.9	48.7	チャート -	62 -	-
707	高野巾ノ上遺跡	打製石斧	-	8.5	5.7	2.3	116.0	細火炎 空鋸資料	62-	-
701	高野巾ノ上遺跡	石冠	-	10.8	4.5	1.6	105.0	頁岩 空鋸資料	62-	-
702	高野巾ノ上遺跡	打製石斧	先端	15.6	7.2	3.8	493.2	細火炎 粗彫形	63-	-
703	高野巾ノ上遺跡	磨製石斧	-	10.6	5.3	2.4	275.5	透閃石岩 空鋸資料	63-	-
704	高野巾ノ上遺跡	磨製石斧	-	10.1	6.2	3.0	226.0	透閃石岩 空鋸資料	63-	-
705	高野巾ノ上遺跡	IF	-	3.4	1.7	0.9	5.7	玉髓 -	63-	-
706	高野巾ノ上遺跡	石刀	-	(3.0)	2.0	0.8	7.0	執板石 -	63 11	-
707	高野巾ノ上遺跡	勾玉	先端	2.8	-	0.96	5.9	瑪瑙 -	63-	-
708	高野巾ノ上遺跡	勾玉	-	2.9	-	0.83	5.0	碧玉 -	63-	-
709	高野巾ノ上遺跡	管玉	-	2.4	0.7	-	1.9	綠色凝灰岩 -	63-	-
710	高野巾ノ上遺跡	管玉	-	2.45	1.3	-	8.0	碧玉 -	63-	-
725	谷造跡	石鍬	-	(3.0)	0.9	0.6	1.8	下呂石 -	64-	-
726	谷造跡	石鍬	-	2.2	3.0	1.4	9.9	チャート -	64-	-
727	谷造跡	打製石斧	-	5.8	(4.0)	1.1	30.4	頁岩 -	64-	-
728	谷造跡	石鍬	-	-	4.7	3.7	242.0	瑪瑙石 空鋸資料	64 11	-
729	谷造跡	石冠	-	-	-	4.8	99.7	瑪瑙石 スタンプ形、右半分と頭部欠損。底部を横断して孔を作った。供用資料	64 11	-
730	谷造跡	石劍	-	-	3.1	1.9	42.8	片麻岩 網膜の小破片。両側面に刃部をもつ。空鋸資料	64-	-
731	谷造跡	管玉	-	2.6	1.6	-	7.8	ヒスイ 丁寧な磨き、縦半分が欠損。空鋸資料	64 11	-
732	谷宇土遺跡	打製石斧	-	10.1	4.1	1.5	80.0	頁岩 空鋸資料	65-	-
733	谷宇土遺跡	打製石斧	-	12.6	6.7	2.4	225.5	細火炎 空鋸資料	65-	-
734	谷宇土遺跡	打製石斧	-	12.4	6.8	2.2	210.0	頁岩 空鋸資料	65-	-
735	谷宇土遺跡	打製石斧	-	15.3	5.9	1.8	236.5	頁岩 空鋸資料	65-	-
739	戸市遺跡	石鍬	-	1.7	1.3	0.3	9.6	チャート 凹底無茎鍬	67-	-
740	戸市遺跡	石鍬	-	(1.5)	1.1	0.5	9.5	チャート 凹底無茎鍬	67-	-
741	戸市遺跡	石鍬	-	(2.4)	1.4	0.3	9.9	下呂石 凹底無茎鍬。先端部欠損	67-	-
742	戸市遺跡	石鍬	-	(2.7)	1.4	0.4	1.0	下呂石 凹底無茎鍬。脚部欠損	67-	-

第39表 石器・石製品観察表(3)

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量(cm. 備註内に現存)			石材	備考	種 別	國 原	
				長さ	幅	厚さ (g)					
763	戸市遺跡	石撲	—	2.4	1.4	0.7	1.7	下呂石	凹基無葉撲	67—	
764	戸市遺跡	石撲	—	(1.5)	1.1	0.3	0.1	下呂石	凹基無葉撲	67—	
765	戸市遺跡	石撲	完形	1.6	1.5	0.4	0.7	チャート	平基無葉撲	67—	
766	戸市遺跡	石撲	—	(2.7)	2.1	0.8	3.5	下呂石	平基無葉撲	67—	
767	戸市遺跡	石撲	—	(1.7)	1.2	0.4	1.0	下呂石	凸基有葉撲、先端部欠損	67—	
768	戸市遺跡	石撲	—	3.9	1.3	0.5	3.0	チャート	側縁に微細な削離が見えるため、スタレイバーとしての使用も考えられる。	67—	
769	戸市遺跡	彫形石器	—	4.0	3.2	0.8	15.0	下呂石	—	67—	
770	戸市遺跡	スクレーパー	—	3.5	3.2	0.8	14.0	チャート	—	67—	
771	戸市遺跡	打製作石	—	(0.2)	5.9	2.0	114.6	凝灰岩	刀型欠損	67—	
772	戸市遺跡	打製作石	—	(10.6)	7.0	2.5	177.9	凝灰岩	刀型欠損	67—	
773	戸市遺跡	石撲	—	0.2	2.6	0.8	9.1	チャート	雕型	67—	
800	中野大胡古道跡	打製作石	完形	20.4	8.3	3.7	598.4	安山岩	—	71—	
801	中野大胡古道跡	磨製作石	—	(5.1)	3.5	1.8	43.9	透閃石岩	刀型欠損、全面磨き	71—	
822	中野トントン洞遺跡	圓形石器	—	5.5	3.3	0.8	11.8	チャート	苔贈資料	73 12	
823	中野トントン洞遺跡	石撲	完形	2.6	1.4	0.6	1.0	下呂石	凹基無葉撲、苔贈資料	73 12	
824	中野トントン洞遺跡	石撲	—	2.9	1.3	0.3	1.1	下呂石	平基無葉撲、裏面に欠けあり	73 12	
825	中野トントン洞遺跡	石撲	—	—	1.25	0.45	0.8	下呂石	丸形石器、有基無葉撲、苔贈資料	73 —	
826	中野トントン洞遺跡	石撲	—	—	1.8	0.85	3.5	チャート	平基有葉撲、苔贈資料	73 12	
827	中野トントン洞遺跡	彫形石器	—	3.2	2.3	0.85	7.2	下呂石	—	73 12	
828	中野トントン洞遺跡	スクレーパー	—	3.9	5.7	0.57	12.7	下呂石	—	73 —	
829	中野トントン洞遺跡	打製作石	—	10.95	4.3	1.85	115.6	凝灰岩	彫形器。上下土づれ瓶あり。装着瓶あり	73 —	
830	中野トントン洞遺跡	磨製作石	—	—	5.75	3.2	315.0	綠色赤褐色岩	—	73 —	
831	中野トントン洞遺跡	小型磨削石斧	—	7.3	2.92	1.55	62.8	透閃石岩	苔贈資料	73 —	
832	中野トントン洞遺跡	小型磨削石斧	—	5.2	3.4	1.15	25.6	泥岩	苔贈資料	73 —	
833	中野トントン洞遺跡	石芯木製品	—	3.0	3.55	0.7	7.2	チャート	苔贈資料	73 —	
834	中野トントン洞遺跡	磨石	—	11.0	12.2	6.2	1050.7	凝灰岩	苔贈資料	73 —	
835	中野トントン洞遺跡	石撲	—	—	4.9	4.2	228	黒曜石	苔贈資料	73 12	
836	中野トントン洞遺跡	石削り石刀	—	—	3.25	2.35	74.6	シルト質粘土岩	—	73 12	
837	中野トントン洞遺跡	鍛結石	—	5.4	—	2.5	121.7	凝灰岩	苔贈資料	73 12	
838	中野トントン洞遺跡	切子玉	完形	2.0	1.3	1.2	4.6	水晶	片面丸突、借用資料	74 —	
839	中野トントン洞遺跡	切子玉	—	—	1.4	1.3	1.41	水晶	借用資料	74 —	
900	中野山絆遺跡	石撲	—	1.6	1.3	0.3	0.5	玉髓	凹基無葉撲、脚部欠損、付着物タールカ	76 13	
901	中野山絆遺跡	石撲	—	(2.0)	0.9	0.3	0.4	下呂石	凹基無葉撲、脚部欠損	76 —	
902	中野山絆遺跡	石撲	—	(1.7)	1.2	0.2	0.4	下呂石	—	76 13	
903	中野山絆遺跡	石撲	—	(2.5)	1.6	0.5	1.6	下呂石	平基有葉撲、先端・脚部欠損	76 13	
904	中野山絆遺跡	石撲	—	—	2.6	1.3	0.5	黒曜石	有葉撲、ごくわずかに基底先端に欠けあり、先端欠損して再生あり。上手に使用したか	76 13	
905	中野山絆遺跡	石撲	—	—	3.5	2.3	1.1	6.7	下呂石	—	76 13
906	中野山絆遺跡	石撲	—	—	2.8	2.3	0.8	4.2	チャート	—	76 13
907	中野山絆遺跡	彫形石器	—	—	2.3	1.3	0.5	1.9	玉髓	印としても使用	76 —
908	中野山絆遺跡	彫形石器	—	—	3.3	1.6	0.7	6.0	チャート	—	76 13
909	中野山絆遺跡	彫形石器	—	—	3.2	2.3	0.9	7.7	チャート	—	76 13
910	中野山絆遺跡	スクレーパー	—	—	2.3	1.7	0.7	1.9	下呂石	—	76 13
911	中野山絆遺跡	スクレーパー	—	—	1.9	3.0	0.9	4.4	黒曜石	—	76 13
912	中野山絆遺跡	スクレーパー	—	—	4.0	1.9	0.8	5.6	チャート	—	76 13
913	中野山絆遺跡	スクレーパー	—	—	3.4	5.8	2.6	38.4	チャート	—	76 —
914	中野山絆遺跡	スクレーパー	—	—	3.0	4.8	1.0	13.1	チャート	—	76 —
915	中野山絆遺跡	打製作石	完形	9.8	4.8	3.0	163.6	紫質頁岩	神子榮型、苔贈資料	77 13	
906	中野山絆遺跡	打製作石	—	17.1	8.4	2.8	482.1	凝灰岩	苔贈資料	77 —	
917	中野山絆遺跡	打製作石	—	11.3	5.2	2.4	364.8	頁岩	—	77 —	
918	中野山絆遺跡	打製作石	—	—	9.5	6.2	1.5	106.0	頁岩	—	77 —
919	中野山絆遺跡	打製作石	—	—	13.3	5.0	2.2	194.4	凝灰岩	刀型欠損、脚部欠損、苔贈資料	77 —
920	中野山絆遺跡	打製作石	—	—	11.2	4.7	2.1	154.1	緑色片岩	刀型欠損、脚部欠損、粗縫形、刃端欠損	77 —
921	中野山絆遺跡	磨製作石	—	—	9.4	3.6	2.6	151.4	凝灰岩	刀型欠損、表面全体的に摩耗、磨製作石を敲打または磨石に再利用か	77 —
922	中野山絆遺跡	磨製作石	—	—	(10.2)	6.0	3.0	333.2	凝灰岩	刀型欠損、磨された面を敲打または磨石に再利用か	77 13
923	中野山絆遺跡	磨製作石	—	—	4.2	1.8	0.9	9.8	透閃石岩	刀型欠損、刀型欠損、全面磨き	77 13
924	中野山絆遺跡	敲石	—	—	14.3	6.8	2.3	427.1	透閃石岩	磨製作石を軸用	77 —
925	中野山絆遺跡	石撲	—	(13.4)	7.1	2.8	150.6	凝灰岩	下呂欠損、端部に縫隙、全体に擦痕	77 13	
926	中野山絆遺跡	石撲	—	(13.9)	4.8	4.1	443.3	濃葉緑色岩	下呂欠損、苔贈資料	78 13	
927	中野山絆遺跡	石刀	—	(8.6)	2.5	1.6	51.0	頁岩	両端部欠損、苔贈資料	78 13	
928	中野山絆遺跡	石刀	—	(5.6)	1.9	0.6	8.7	凝灰岩	—	78 13	
929	中野山絆遺跡	切子玉	—	—	2.4	1.8	1.8	9.2	水晶	—	78 13
932	野口庄相古道跡	石撲	—	(1.6)	1.5	0.3	6.6	チャート	凹基無葉撲	84 —	
933	野口庄相古道跡	小型磨削石斧	—	—	4.1	2.1	0.9	15.7	透閃石岩	苔贈資料、ビニールハウスで集束	84 —
974	野口庄相古道跡	磨製作石	—	(10.3)	5.6	2.6	256.0	蛇紋岩	先端部欠損、苔贈資料、ビニールハウスで集束	84 —	
976	信上山絆遺跡	打製作石	—	(8.6)	2.1	4.5	1.4	67.7	頁岩	粗縫形、刀型・脚端欠損	85 —
990	信人山絆遺跡	打製作石	—	—	12.5	7.6	2.8	250.9	頁岩	苔贈資料	87 —
981	信人山絆遺跡	打製作石	—	—	14.0	6.3	2.4	197.0	頁岩	苔贈資料	87 —
982	信人山絆遺跡	磨製作石	—	—	10.6	4.8	2.8	209.0	砂岩	—	87 —
983	信人山絆遺跡	磨製作石	—	—	14.2	5.9	3.2	463.5	凝灰岩	敲石に軸用か	87 —
994	信弘小原古道跡	石撲	—	—	3.6	2.0	1.6	16.6	安山岩	土・裏面磨き	89 —

第40表 石器・石製品觀察表(4)

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量(cm. 試査面内に残存)				石材	備考	種 別	固 定	
				長さ	幅	厚さ	重さ (g)					
1962	東雲遺跡	石拂	—	(3.1)	1.4	1.2	4.6	黒曜石	—	96-	—	
1963	東雲遺跡	彫形石器	—	2.8	1.5	0.9	3.2	黒曜石	—	96-	—	
1964	東雲遺跡	スクライバー	—	2.7	2.5	0.8	3.7	黒曜石	—	96-	—	
1965	東雲遺跡	石拂	—	4.6	3.5	2.1	51.3	燧灰岩	圓錐打丸、裏・裏面磨き、尖端資料	96-	—	
1966	東雲遺跡	打製石斧	—	13.4	8.2	3.0	417.0	燧灰岩	櫛形、上下に使用した痕跡がみられる、円錐利用、借用資料	96-	—	
1967	東雲遺跡	打製石斧	—	14.7	7.8	3.5	424.4	安山岩	櫛形、円錐利用、借用資料	96-	—	
1968	東雲遺跡	打製石斧	—	15.5	8.7	3.7	571.3	燧灰岩	櫛形、円錐利用、借用資料	96-	—	
1969	東雲遺跡	打製石斧	—	12.7	6.0	3.1	287.2	安山岩	櫛形、円錐利用、借用資料	96-	—	
1970	東雲遺跡	打製石斧	—	18.6	8.0	5.1	800.5	安山岩	櫛形、円錐利用、借用資料	96-	—	
1971	東雲遺跡	礫石	—	—	5.35	1.9	207.5	透閃石岩	n	97-	—	
1972	東雲遺跡	石劍	—	—	3.5	1.9	86.8	綠色片岩	表面共風化により磨滅している(特に裏面)、頭部に裂隙の跡がある。頭部に裂隙の跡は製作によるものではなく転用か借用資料	97-	—	
1973	東雲遺跡	石劍	—	17.35	3.5	1.65	158.0	粘板岩	借用資料	97-	—	
1977	東雲1号道路	磨製石斧	—	6.7	5.5	3.1	149.6	燧灰岩	刀削欠損	98-	—	
1978	透疊神社遺跡	打製石斧	—	10.6	5.3	2.5	130.7	燧灰岩	櫛形、使用による欠損あり、借用資料	99-	—	
1979	透疊神社遺跡	打製石斧	—	(10.0)	5.9	1.8	143.2	燧灰岩	櫛形、借用資料	99-	—	
1994	神道遺跡	磨製石斧	—	(0.3)	7.5	2.3	224.5	透閃石岩	尖端資料	101-	—	
1995	内原遺跡	打製石斧	—	9.2	2.9	1.5	80.0	砂岩	—	102-	—	
1998	柏原遺跡	石礫	—	—	1.35	0.25	0.5	下呂石	凹溝無事跡、再加工されている、借用資料	104-	—	
1999	柏原遺跡	石礫	完形	—	3.2	1.5	0.7	2.4	下呂石	六角有事跡、借用資料	104-	—
1999	柏原遺跡	石礫	—	3.0	0.95	0.4	1.3	チャート	柳葉形、借用資料	104-	—	
1001	柏原遺跡	石礫	ほぼ 完形	2.9	0.95	0.65	1.5	下呂石	刀削先端が使用感(鋼状状)あり、借用資料	104-	—	
1002	柏原遺跡	打製石斧	完形	1.5	5.3	2.2	215.4	燧灰岩	鋸切形、刃部に使用感(欠け)あり、借用資料	104-	—	
1003	柏原遺跡	打製石斧	—	16.8	9.6	4.0	699.4	燧灰岩	—	104-	—	
1004	柏原遺跡	小型磨製石斧	—	—	3.0	1.3	36.6	燧灰岩	—	104-	—	
1105	柏原遺跡	小型磨製石斧 完形	ほぼ 完形	4.0	3.05	1.1	21.8	透閃石岩	基部破壊した後に再度調整、刃端に刀削れあり、借用資料	104-	—	
1106	柏原遺跡	鐵石	—	10.25	5.0	3.35	241.0	燧灰岩	磨製石斧と軽石、借用資料	104-	—	
1107	柏原遺跡	鐵石	—	4.0	2.1	0.5	8.2	透閃石岩	n、借用資料	104-	—	
1143	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	—	1.6	1.2	0.4	0.6	安山岩	凹溝無事跡	107-	—	
1144	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	—	1.8	1.3	0.2	1.1	下呂石	凹溝無事跡	107-	—	
1145	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	—	(1.5)	1.0	0.2	0.2	下呂石	平基無事跡	107-	—	
1146	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	—	3.2	0.8	0.6	2.3	下呂石	—	107-	—	
1147	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	スクリュー	—	2.4	2.8	0.9	5.0	黒曜石	被焼	107-	—
1148	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	スクリュー	—	1.5	1.8	0.7	1.3	黒曜石	—	107-	—
1149	上小菅井ノ下遺跡	石鍬	—	6.2	5.2	2.3	113.1	砂岩	圓錐打丸	107-	—	
1150	上小菅井ノ下遺跡	打製石斧	—	9.4	3.8	1.4	44.3	砂岩	刀削欠損	108-	—	
1151	上小菅井ノ下遺跡	打製石斧	—	11.5	6.4	2.7	160.4	燧灰岩	—	108-	—	
1152	上小菅井ノ下遺跡	打製石斧	—	15.2	7.6	2.6	437.4	安山岩	—	108-	—	
1153	上小菅井ノ下遺跡	磨製石斧	—	8.6	4.6	2.0	139.1	鈍紋岩	刀削欠損	108-	—	
1154	上小菅井ノ下遺跡	磨製石斧	—	5.0	3.2	1.2	35.6	砂泥片岩	—	108-	—	
1155	上小菅井ノ下遺跡	磨製石斧	—	(4.0)	3.4	1.2	31.9	透閃石岩	漏斗欠損、全面磨き	108-	—	
1156	上小菅井ノ下遺跡	横刃石刀	—	6.9	10.0	2.1	157.8	燧灰岩	—	108-	—	
1157	上小菅井ノ下遺跡	石劍	—	(32.3)	28.4	6.4	560.0	燐灰飛灰岩	下端欠損、直・裏面中央部擦痕	108-	—	
1158	上小菅井ノ下遺跡	鐵石	—	11.1	5.6	3.3	328.4	砂岩	直・裏面磨き	108-	—	
1173	夏木遺跡	打製石斧	—	10.0	4.5	1.7	96.2	燧灰岩	下ノ部分に使用感あり、借用資料	110-	—	
1187	塙野遺跡	打製石斧	—	12.7	5.9	2.5	210.5	燧灰岩	櫛形、官塘資料	112-	—	
1198	塙野遺跡	打製石斧	—	12.73	8.6	4.2	619.6	閃綠岩	漏斗・刃脚欠損	112-	—	
1212	下山田遺跡	打製石斧	—	(4.3)	4.8	0.8	31.0	砂岩	漏斗のみ	115-	—	
1213	下山田遺跡	打製石斧	—	9.0	5.0	2.2	106.5	燐灰飛灰岩	櫛形、刃脚欠損	115-	—	
1220	波之田中遺跡	打製石斧	—	—	5.5	2.5	10.5	354.5	ツササギ	尖端敲打枝抜法、基部欠損、奇跡資料	116-	—
1222	寺林遺跡	石鍬	—	2.45	1.60	0.25	0.9	チャート	凹基無事跡、奇跡資料	117-	—	
1223	寺林遺跡	スクライバー	—	5.2	3.6	1.2	22.0	チャート	—	117-	—	
1224	寺林遺跡	打製石斧	—	17.3	7.2	2.8	537.5	燧灰岩	奇跡資料	117-	—	
1225	寺林遺跡	打製石斧	—	11.6	5.3	2.4	229.5	燧灰岩	奇跡資料	117-	—	
1226	寺林遺跡	小型磨製石斧	—	(3.6)	6.3	2.1	79.5	透閃石岩	刃脚欠損	117-	—	
1227	寺林遺跡	小型磨製石斧	—	(3.8)	2.4	0.9	12.3	透閃石岩	基部・刃脚欠損	117-	—	
1228	寺林遺跡	鉗器	—	7.6	10.1	9.9	1036.0	塙野石	—	117-	—	
1229	寺林遺跡	石棒	—	—	3.5	2.7	173.5	塙野石	奇跡資料	117-	—	
1231	船遺跡	打製石斧	—	15.4	5.4	1.8	191.7	燧灰岩	刃脚利用、借用資料	118-	—	
1232	船遺跡	打製石斧	—	—	3.7	1.6	72.1	砂岩	櫛形、円錐利用、借用資料	118-	—	
1251	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	1.35	0.27	0.4	黒曜石	凹基無事跡、奇跡資料	120-	—	
1252	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	1.8	0.95	1.9	チャート	凹基無事跡、奇跡資料	120-	—	
1253	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	1.6	0.6	3.1	下呂石	凹基無事跡、奇跡資料	120-	—	
1254	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	1.50	0.35	0.9	下呂石	平基有事跡、奇跡資料	120-	—	
1255	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	1.2	0.6	1.5	チャート	尖端磨耗、奇跡資料	120-	—	
1256	梨ノ上垣ノ内遺跡	石鍬	—	—	3.7	0.8	0.45	1.8	下呂石	漏斗・刃脚利用あり、奇跡資料	120-	—
1257	梨ノ上垣ノ内遺跡	打製石斧	—	0.8	9.6	3.2	352.0	燐灰飛灰岩	塙野欠損	120-	—	
1258	梨ノ上垣ノ内遺跡	打製石斧	完形	—	10.8	4.9	2.5	172.8	閃綠岩	櫛形、官塘資料	120-	—
1259	梨ノ上垣ノ内遺跡	磨製石斧	—	9.5	6.1	2.3	211.5	透閃石岩	漏斗再成	120-	—	
1260	梨ノ上垣ノ内遺跡	磨製石斧	—	—	6.8	2.75	26.14	透閃石岩	奇跡資料	120-	—	
1261	梨ノ上垣ノ内遺跡	磨製石斧	—	—	3.9	1.55	8.75	透閃石岩	圓錐の風化が著しい、基部大剣、奇跡資料	120-	—	

第 41 表 石器・石製品観察表 (5)

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量 (cm. 框内に現存)				石材	備考	種 別	國 族	
				長さ	幅	厚さ	重さ (g)					
1263	梨ヶ原上原内遺跡	繩石	—	10.8	7.05	4.25	494.7	繩灰岩	表面無し。先端に縫打痕あり。磨石を繩石として使用している。	120	—	
1272	梨ヶ原神成遺跡	有舌尖頭器	—	—	2.9	0.8	12.4	繩灰岩	先端に縫打痕。借用資料	121	—	
1273	梨ヶ原神成遺跡	石鏟	完形	1.7	1.5	0.3	0.5	下呂石	凹基無本縫。借用資料	121	—	
1274	梨ヶ原神成遺跡	打製石斧	—	—	6.4	2.1	167.2	安山岩	短縫形。借用資料	121	—	
1275	梨ヶ原神成遺跡	磨製石斧	—	(10.0)	5.35	2.95	263.9	安山岩	借用資料	121	—	
1276	梨ヶ原神成遺跡	磨製石斧	—	(5.2)	3.1	1.2	31.7	透閃石岩	借用資料	121	—	
1277	梨ヶ原神成遺跡	小型磨製石斧	—	—	1.85	0.7	8.2	透閃石岩	借用資料	121	—	
1280	梨ヶ原上原内遺跡	打製石斧	—	17.7	7.0	3.5	476.5	繩灰岩	借鑑資料	122	—	
1284	梨ヶ原中原内遺跡	石鏟	—	—	1.7	1.1	0.3	1.0	チャート	凹基無本縫。	123	—
1289	梨ヶ原中原内遺跡	石鏟	完形	3.6	1.9	0.45	2.0	下呂石	凹基無本縫。借用資料	123	—	
1290	梨ヶ原中原内遺跡	石鏟	—	—	1.8	0.45	1.9	繩灰岩	平基有本縫。借用資料	123	—	
1291	梨ヶ原中原内遺跡	打製石斧	—	15.4	6.5	3.4	457.0	繩灰岩	短縫形。借用資料	123	—	
1292	梨ヶ原中原内遺跡	打製石斧	—	13.9	—	—	89.4	角閃岩	短縫形。借用資料	123	—	
1293	梨ヶ原中原内遺跡	打製石斧	—	—	8.5	3.4	410.5	繩灰岩	借用資料	123	—	
1294	梨ヶ原中原内遺跡	小型磨製石斧	完形	3.75	1.9	0.8	8.2	透閃石岩	借用資料	123	—	
1297	梨ヶ原森岸遺跡	石鍛錬製品	—	3.05	1.63	0.4	1.7	F石	借鑑資料	124	—	
1298	梨ヶ原森岸遺跡	打製石斧	—	19.1	6.8	3.1	504.6	磨製灰岩	借用資料	124	—	
1303	西山古道跡	石棒	(12.2)	3.7	2.7	456.2	繩灰岩	借鑑資料	125	—		
1307	八幡山古道跡	石鎌	—	8.6	3.9	0.8	31.6	F石	繩型	127	—	
1313	雁ヶ内遺跡	打製石斧	—	15.9	7.1	4.2	585.4	花崗岩	短縫形	128	—	
1314	雁ヶ内遺跡	磨製石斧	—	16.5	7.0	2.6	484.6	透閃石岩	—	128	—	
1315	雁ヶ内遺跡	石鉈	—	26.4	24.9	3.0	4760.0	砂岩	表面擦痕	128	—	
1393	やなぎさき遺跡	石鏟	—	2.3	3.1	0.25	0.6	下呂石	凹基無本縫。借用資料	134	—	
1394	やなぎさき遺跡	石鏟	—	—	1.3	3.5	1.0	下呂石	凹基無本縫。借用資料	134	—	
1395	やなぎさき遺跡	石鏟	—	2.3	1.5	0.6	2.1	砂	凹基無本縫。	134	—	
1396	やなぎさき遺跡	石鏟	完形	2.6	1.6	0.5	1.5	繩灰岩	借用資料	134	—	
1397	やなぎさき遺跡	石鏟	完形	4.8	3.9	2.15	56.2	砂岩	借用資料	134	—	
1398	やなぎさき遺跡	打製石斧	完形	14.4	6.5	2.9	290.9	繩灰岩	楔形。円錐利用。借用資料	134	—	
1399	やなぎさき遺跡	打製石斧	—	12.3	4.9	2.9	222.5	繩灰岩	短縫形。上下兩刃。借用資料	134	—	
1400	やなぎさき遺跡	小型磨製石斧	—	—	4.7	1.3	66.3	繩灰岩	局部欠損。借用資料	134	—	
1401	やなぎさき遺跡	磨石	—	9.5	7.8	4.4	521.0	繩灰岩	—	134	—	
1402	やなぎさき遺跡	繩石	—	—	3.85	2.7	58.0	繩灰岩	切り口の鋸歯形。裏が縱ののみあり (長さ 1.7, 幅外 0.35, 框内 0.15, 厚さ 0.15)。借用資料	134	—	
1403	やなぎさき遺跡	繩石	—	—	19.2	3.0	267.7	砂岩	磨製石斧を転用。借用資料	134	—	
1404	やなぎさき遺跡	繩石	—	—	3.1	1.7	6.76	4.0	透閃石灰岩	借鑑資料	134	16
1405	やなぎさき遺跡	石棒	—	—	4.1	3.7	270.8	繩灰岩	借鑑資料	134	16	
1406	やなぎさき遺跡	石米糸質品	—	—	2.8	1.8	74.4	頁岩	軽く研磨されている。借用資料	134	—	

第 42 表 金属製品観察表

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量 (cm. 框内に現存)				行者物	備考	種 別	國 族
				長さ	幅	厚さ	重さ (g)				
3	大糸平古墳	鉄鏪	下端部	(14.3)	0.6	0.5	17.0	有(縫)	複雑の山根形双縫資料	2	—
4	大糸平古墳	鉄鏪	下端部	(10.5)	1.0	0.4	11.9	—	複雑の山根形双縫資料	2	—
5	大糸平古墳	鉄鏪	—	(7.2)	2.5	0.5	12.0	有(縫)	複雑の山根形双縫資料	2	—
180	上野井古西古墳	金銅製耳環	—	3.15	2.90	0.70	23.9	—	複雑に鍛金。一部鍛金が剥離。錆・緑青あり。借用資料	14	—
181	上野井古西古墳	金銅製耳環	—	2.80	3.60	0.7	24.5	—	複雑に鍛金を施している。2/3ほど鍛金が残っている。錆・緑青あり。借用資料	14	—
301	智頭丸祖父あん遺跡	鉄鏪	—	2.2	2.2	0.2	2.5	—	錆・錆・元・質	27	—
310	高阿乳塚ノ上遺跡	鉄鏪	—	(6.3)	(1.9)	0.4	9.0	有(縫)	複雑の山根形双縫資料	28	—
711	高野町ノ上遺跡	金銅製耳環	—	3.1	2.7	0.80	25.2	—	複雑に鍛金。一部鍛金剥離あり。一部錆青あり。借用資料	63	—
756	鶴村古墳	鍛刀	—	(61.5)	(3.0)	(1.9)	338.0	有(木片)	千葉の松原ノ民指紋双縫資料	66	12
840	中野宮ケ削跡跡	金銅製耳環	—	2.7	2.8	0.65	16.6	—	複雑に鍛金。一部鍛金の剥離あり。錆・緑青あり。借用資料	74	—
1108	金子古墳群	銅鏡	—	2.5	2.5	—	抜け	—	寛永通宝。孔径 0.6 cm 四方	105	—

第 43 表 ガラス製品観察表

遺物 番号	遺跡名	分類	部位	法量 (cm. 框内に現存)				備考	種 別	國 族	
				長さ	幅	厚さ	重さ (g)				
182	上野井古西古墳	丸玉	—	0.90	0.84	0.6	0.7	引き伸ばし法で製作 (札と平行方向に気泡の流れが継続できる)。濃青色。	14	—	
183	上野井古西古墳	丸玉	完形	0.7	0.7	0.65	0.6	引き伸ばし法。濃青色透明。	14	—	
712	高野町ノ上遺跡	丸玉	完形	0.8	0.8	0.7	0.7	引き伸ばし法。孔径 0.2 cm。	借用資料	63	—
713	高野町ノ上遺跡	丸玉	—	0.9	0.95	0.5	0.6	書き打ち法。	借用資料	63	—
714	高野町ノ上遺跡	丸玉	完形	0.4	0.4	0.25	0.1	技術は不明。青緑色半透明。借用資料	63	—	
715	高野町ノ上遺跡	丸玉	—	0.85	0.8	0.3	0.25	0.1未満。青色透明。引き伸ばし法による製作。借用資料	63	—	

第44表 瓦観察表(1)

番号	道路名	分幅	部位	法基 (cm、括弧内は残存)			色調	成形・文様等	種類	図版
				長さ	幅	厚さ				
126	上気多遺跡	平瓦	—	左側面：(3.7)	—	最大：1.2 最小：0.7	灰褐色 10YR5/2	凹面：ナデ 凹面：布目模 側面：ヘラグゼリ、面取 布角度：6×16/2cm 側面厚：1.2cm	9	—
178	上野上野遺跡	平瓦	—	最大：13.2	—	最大：2.1 最小：1.55	灰白色 8Y7/2	凹面：縦平行タタキ 凹面：布目 布角度：17×17/2cm 広面面にわたり伏伝紙、古墳資料	13	—
232	上町遺跡	丸瓦	—	右側面：(6.1)	—	最大：2.0 最小：1.8	灰白色 2.5Y8/1	凸面：ナデ 凹面：無模、輪郭直 側面：ヘラグゼリ、面取 布角度：15×15/2cm	19	—
233	上町遺跡	丸瓦	—	右側面：(5.5)	—	最大：(2.0)	に似る褐色 7.5Y8/4	凸面：ナデ 凹面：布目板、布組じ合わせ瓶 側面：ヘラグゼリ、面取 布角度：18×18/2cm 側面木立、古墳資料	19	—
234	上町遺跡	丸瓦	—	右側面：(6.5)	—	最大：(1.8)	褐色 7.5Y8/5/1	凸面：ナデ 凹面：ナデ、捺頭伝瓶 側面：ヘラグゼリ、面取 布角度：17×17/2cm 側面木立、古墳資料	19	—
235	上町遺跡	平瓦	—	右側面：(5.2)	—	最大：(1.8)	褐色 7.5Y8/6	凸面：継ぎタタキ 凹面：布目模、棒板压痕 側面：ヘラグゼリ、面取 布角度：13×12/2cm 古墳資料	19	—
236	上町遺跡	平瓦	—	—	—	最大：(2.4)	灰白色 7.5Y8/7	凸面：平行タタキ 凹面：ナデ 側面：木立、古墳資料	19	—
237	上町遺跡	平瓦	—	—	—	最大：(3.1)	灰白色 8Y7/1	外面：刻線 内面：格子タタキ 側面木立、古墳資料	19	—
245	上町廻寺跡	軒丸瓦	—	外区外端：19.2 外区中央：16.2 外区内端：14.8	内区外端：14.1 中層付帯：5.0 瓦当圓錐径：19.0	中層：0.3	灰黄色 2.5Y7/2	凸面：ナデ 瓦当：單弁十弁蓮華文 側面：借用資料	20	5
266	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(18.4) 外区中央：(15.6) 外区内端：(13.0)	内区外端：14.0 中層付帯：4.5 中層上端：4.8	最大：2.7 最小：1.9 中層：0.3	灰黄色 2.5Y7/2	瓦当：單弁八弁蓮華文 側面の先端が2つに分かれている。中間に4の運子をもつ。瓦当裏面にビオサエあり。借用資料	20	—
287	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(19.0) 外区中央：(12.0) 外区内端：(13.6)	内区外端：(13.0) 中層付帯：(5.0)	中層：0.3	褐色 10Y8/4	瓦当：單弁十弁蓮華文 裏面に墨書き、瓦当裏面構方向にナデ。開口の先端が2つに分かれている。借用資料	21	—
288	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(18.0) 外区中央：(15.0) 外区内端：(13.6)	内区外端：(12.4) 中層付帯：(4.0)	—	に似る褐色 7.5Y8/4	瓦当：單弁十弁蓮華文 裏面に布目あり。古墳資料	21	—
289	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	—	—	—	灰白色 8Y7/1	凸面：— 凹面：ナデ 瓦当：單弁蓮華文	20	—
290	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	—	—	—	灰白色 2.5Y8/1	凸面：— 凹面：— 瓦当：單弁蓮華文	20	—
251	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(17.0) 外区中央：15.5 外区内端：14.0	内区外端：13.7 中層付帯：5.0 中層上端：4.7 瓦当圓錐径：14.5	最大：2.8 最小：1.6 中層：0.7	—	瓦当：單弁九弁蓮華文 借用資料	21	—
252	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(15.6) 外区中央：(13.0) 外区内端：(10.6)	内区外端：(10.6) 中層付帯：4.2 中層上端：4.1	最大：3.9 最小：2.35 中層：0.65	淡黄色 2.5Y8/4	瓦当：單弁十弁蓮華文 瓦当裏面ナデ濃烈。ビオサエあり 借用資料	21	5
253	上町廻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：(17.0)	内区外端：(15.5) 中層付帯：4.2 中層上端：4.5	最大：2.2 最小：1.7 中層：0.2	灰白色 2.5Y8/2	瓦当：複弁八弁蓮華文 借用資料	22	—
292	黒内細野遺跡	丸瓦	—	—	—	最大：2.0 最小：1.6	に似る黄色 2.5Y8/3	凸面：縦方向のヘタケヅリ 凹面：布目 布角度：14×16/2cm 古墳資料	26	—
442	沢庭寺跡	軒丸瓦	瓦当部	外区外端：13.7 外区中央：11.9 外区内端：10.5	内区外端：9.6 中層付帯：4.2 中層上端：2.25 瓦当圓錐径：10.0	最大：4.1 最小：1.05	灰色 5Y5/1	瓦当：單弁八弁蓮華文 裏面裏面ヘタケヅリで面取り、中間に鉗傷あり 借用資料	37	—
443	沢庭寺跡	丸瓦	—	—	—	最大：3.0 最小：1.7	灰白色 8Y7/2	凸面：紙ナデ凹面、工具痕あり。右側にタタキ痕あり 凹面：布目あり。側板痕あり 布角度：15×17/2cm 柱上記：付いた跡あり、古墳資料	37	8
444	沢庭寺跡	丸瓦	—	—	—	最大：3.5 最小：2.2	淡黄色 8Y8/1	凸面：布目 凹面：ナデ 側面：ヘタケヅリ 布角度：16×17/2cm 古墳面に粘土痕ねじりあり、古墳資料	38	—
445	沢庭寺跡	平瓦	—	—	—	最大：2.5	淡黄色 2.5Y8/2	凸面：布目 凹面：ナデ 側面：ヘタケヅリ 布角度：16×15/2cm 古墳資料	38	—
475	下野羽根板古窯跡	丸瓦	—	最大：(20.5)	最大：(18.0)	最大：2.2 最小：1.5	淡黄色 2.5Y7/4	凸面：ナデ 凹面：ナデ 側面：ヘタケヅリ 布角度：16×16/2cm 古墳資料	41	8
476	下野羽根板古窯跡	丸瓦	—	—	—	最大：2.0 最小：1.7	淡灰色 2.5Y7/2	凸面：ヘタケヅリ 凹面：布目 側面：ヘタケヅリ 布角度：16×18/2cm	41	—
477	下野羽根板古窯跡	平瓦	—	右側面：(22.3)	横端面：(14.5)	最大：2.8 最小：2.2	灰白色 2.5Y8/1	凸面：ヘタケヅリ 凹面：布目 側面：ヘタケヅリ 布角度：16×15/2cm	41	—
478	下野羽根板古窯跡	尾瓦	—	最大：(14.0)	最大：(11.3)	最大：3.1 最小：12.80	暗灰色 N/3	借用資料	41	9

第45表 瓦觀察表(2)

遺物 番号	遺物名	分類	部位	計量 (cm. 破損部は残存)			色調	成形・文様等	種 類	版
				長さ	幅	厚さ				
480	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 19.3 舟内縁: 15.1	内縁外縁: 13.8 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 3.3 瓦当裏縁: 10.5	中筋: 0.1 2.5mm/4	淡黄色 2.5mm/4	片当: 単瓦八弁蓮瓣文 裏面縁: 略当面(舟外縁)に朱赤、瓦当裏縁横方 向にナガオサエ、丸瓦部は白磁あり、瓦当内縁表面 貼付面にタタキ半身あり、借用資料	42	19
481	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 13.85 舟内縁: 10.4	内縁外縁: 9.85 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 11.0	中筋: 0.1 1.6 10mm/5	灰色 10mm/5	片当: 単瓦八弁蓮瓣文 裏面縁: 略当面(舟外縁)に朱赤、瓦当裏縁横方 向にナガオサエ、丸瓦部は白磁あり、瓦当内縁表面 貼付面にタタキ半身あり、其當裏面丸瓦との接着面 に指形痕あり、借用資料	42	-
482	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 15.2 舟内縁: 10.3	内縁外縁: 9.1 中筋外縁: 2.5 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 10.0	中筋: 0.9 10mm/3	に点・黄褐色 10mm/3	舟密度: 15 × 16/2 cm 上面印: 2.5 日あり 借用資料	42	-
483	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 13.6 舟内縁: 11.7 舟内縁: 10.0	内縁外縁: 9.5 中筋外縁: 2.5 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 10.0	中筋: 0.9 5mm/1	褐色 5mm/1	舟密度: 14 × 16/2 cm 借用資料	43	-
484	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 18.6 舟内縁: 12.4	内縁外縁: 13.5 中筋外縁: 3.9 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 11.5	中筋: 0.55 2.5mm/2	灰白色 5mm/1	片当: 単瓦八弁蓮瓣文 借用資料	43	-
485	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 13.8 舟内縁: 12.2 舟内縁: 10.7	内縁外縁: 9.6 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 11.5	-	灰色 5mm/1	舟密度: 15 mm以上の織羅入 借用資料	43	-
486	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 13.0 舟内縁: 11.5 舟内縁: 9.7	内縁外縁: 9.1 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 11.5	中筋: 0.8 5mm/1	灰白色 5mm/1	借用資料	44	-
487	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 14.4 舟内縁: 12.6 舟内縁: 10.7	内縁外縁: 10.2 中筋外縁: 2.8 中筋上縁: 2.2 瓦当裏縁: 11.0	-	灰白色 2.5mm/2	舟密度: 11 × 15/2 cm 全体に焼成している 借用資料	44	-
488	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 14.1 舟内縁: 12.4 舟内縁: 10.5	内縁外縁: 10.0 中筋外縁: 3.0 中筋上縁: 2.3 瓦当裏縁: 11.5	中筋: 0.8 2.5mm/2	淡黄色 2.5mm/2	舟密度: 14 × 16/2 cm 7mm以上の織合入、焼成している 借用資料	44	-
489	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	-	舟当裏縁: 10.5	-	灰白色 2.5mm/1	舟密度: 12 × 15/2 cm 借用資料	45	-
490	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 18.9 舟内縁: 14.9	内縁外縁: 13.8 中筋外縁: 3.8 中筋上縁: 3.3 瓦当裏縁: 9.7	中筋: 0.4 5mm/3	褐色 5mm/3	片当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 18 × 22/2 cm 瓦当裏面あり 借用資料	45	-
491	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 14.3 舟内縁: 12.6 舟内縁: 11.1	内縁外縁: 10.1 中筋外縁: 3.1 中筋上縁: 2.6 瓦当裏縁: 10.6	中筋: 0.8 2.5mm/1	灰白色 2.5mm/1	舟密度: 14 × 14/2 cm 全体に焼成している 借用資料	45	-
492	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: 13.4 舟内縁: 11.7 舟内縁: 10.2	内縁外縁: 9.4 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 2.0 瓦当裏縁: 9.7	中筋: 0.9 5mm/1	灰白色 5mm/1	舟密度: 13 × 17/2 cm 借用資料	45	-
493	舟栄寺窯跡	軒瓦	瓦当部	舟外縁: (13.6) 舟内縁: (12.0) (10.3)	内縁外縁: (9.3) 中筋外縁: 2.6 中筋上縁: 2.1 瓦当裏縁: (11.8)	中筋: 0.9 5mm/1	灰色 5mm/1	片当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 17 × 21/2 cm 瓦当側面に布目庄底あり 借用資料	45	-
494	舟栄寺窯跡	軒瓦	-	舟外縁: (6.0) 舟内縁: (5.2) 舟内縁: (4.2)	内縁外縁: (4.0) 中筋外縁: (4.0) 瓦当裏縁: (12.0)	最大: L.6 最小: L.0 中筋: 0.7 5mm/1	灰色 10mm/4 10mm/1	舟面: ケズリ 侧面: 布目板 瓦当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 24 × 25/2 cm 借用資料	45	-
495	舟栄寺窯跡	軒瓦	-	舟外縁: (7.6) 舟内縁: (6.2) 舟内縁: (5.0)	内縁外縁: (4.6) 中筋外縁: (4.6) 瓦当裏縁: (11.6)	最大: L.8 最小: L.2 中筋: 1.7 2.5mm/1	黄色 2.5mm/1	舟面: ケズリ 侧面: 布目板 瓦当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 11 × 18/2 cm 借用資料	46	-
496	舟栄寺窯跡	軒瓦	-	舟外縁: (6.0) 舟内縁: (6.0) 舟内縁: (4.5)	内縁外縁: (2.8) 中筋外縁: (5.0) 瓦当裏縁: (12.0)	最大: 2.2 最小: 1.7 中筋: 1.0 2.5mm/1	黄色 2.5mm/1	舟面: ケズリ 侧面: 布目板 瓦当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 14 × 17/2 cm 借用資料	46	10
497	舟栄寺窯跡	軒瓦	-	舟外縁: (7.0) 舟内縁: (6.2) 舟内縁: (5.7)	内縁外縁: (5.0) 瓦当裏縁: (14.0)	中筋: 1.5 2.5mm/3	に点・黄色 2.5mm/3	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: 単瓦八弁蓮瓣文 舟密度: 17 × 21/2 cm 借用資料	46	-
498	舟栄寺窯跡	丸瓦	-	右側面: (6.0)	横端面: (4.9)	最大: 2.0 最小: 1.6 中筋: 0.7 2.5mm/2	に点・黃褐色 10mm/4	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 14 × 16/2 cm 借用資料	47	-
499	舟栄寺窯跡	平瓦	-	右側面: (6.0)	広端面: (4.0)	最大: 2.0 最小: 1.6 中筋: 0.7 2.5mm/2	灰色 5mm/1	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 17 × 18/2 cm 借用資料	47	-
500	舟栄寺窯跡	平瓦	-	右側面: (6.0)	狭端面: (6.0)	最大: 2.4 最小: 1.4 中筋: 1.0 2.5mm/2	浅黄色 2.5mm/3	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 17 × 18/2 cm 借用資料	47	-
501	太江道路	丸瓦	-	左側面: (4.0)	-	最大: 2.4 最小: 1.4 中筋: 1.0 2.5mm/2	灰白色 5mm/1	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 16 × 14/2 cm 機成不良	52	-
502	太江道路	丸瓦	-	左側面: (4.0)	-	最大: 1.7 中筋: 1.0 2.5mm/1	灰色 5mm/1	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 16 × 17/2 cm 借用資料	52	-
503	太江道路	丸瓦	-	左側面: (8.0)	広端面: (6.0)	最大: 2.4 最小: 1.4 中筋: 1.0 2.5mm/2	暗灰色 5mm/1	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 18 × 29/2 cm 借用資料	52	-
504	太江道路	丸瓦	-	左側面: (8.0)	広端面: (6.0)	最大: 2.4 最小: 1.4 中筋: 1.0 2.5mm/2	暗灰色 5mm/1	舟面: タタキ 侧面: 布目板 瓦当: ハラケズリ 舟密度: 13 × 13/2 cm 借用資料	52	-

第46表 瓦観察表(3)

遺物番号	遺跡名	分類	部位	法量(cm、括弧内は既存)			色調	成形・文様等	種別	固版
				長さ	幅	厚さ				
601	太江遺跡	丸瓦	後端部	右側面:(16.5)	後端面:(10.2)	最大:3.5 最小:3.0	黒色 S2/	凸面:ヘラケズリ、ヘラナダ 凹面:横目板、縫切り、縫隙 側面:ヘラケズリ 布密度:20×20/cm 粘土含むせ目	53	—
602	太江遺跡	平瓦	後端部	左側面:(13.5)	後端面:(6.5)	最大:2.0 最小:1.8	灰白色 2.5H6/2	凸面:タタキ、ヘラケズリ、ヘラナダ、後端部 ナダオサエ 凹面:布目板、縫切り、縫隙 側面:ヘラケズリ 布密度:16×15/cm 粘土含むせ目	53	—
604	高野光寺遺跡	丸瓦	—	左側面:(11.0)	—	最大:2.5 最小:1.4	黄灰色 2.5H6/1	凸面:ケズリ 凹面:布目板 側面:ケズリ 布密度:12×12/cm 粘土含むせ目	69	—
605	高野光寺遺跡	丸瓦	—	右側面:(5.0)	—	最大:2.0 最小:1.6	黄灰色 2.5H5/3	凸面:ケズリ 凹面:布目板 布密度:14×16/cm 粘土含むせ目	66	—
606	高野光寺遺跡	丸瓦	—	—	—	—	黄灰色 2.5H5/1	凸面:調タタキ 凹面:布目板 布密度:20×21/cm 粘土含むせ目	60	—
777	塔ノ櫻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	両区外端:(14.7) 両区中央:(10.5)	内区外端:10.5 中付板:3.8 中上端:2.5 瓦当裏表径:11.0	最大:2.6 最小:1.53 中間:0.25	灰オリーブ色 S5/2	瓦当:福井十津華文 内区に1~4の連子をもつ。粘土の貼り付け痕あり 苦槽資料	69	—
778	塔ノ櫻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	両区外端:(18.0) 両区中央:(16.5) 両区内端:(15.0)	内区外端:(14.5)	最大:(4.0) 最小:(2.0)	灰色 7.5H4/1	瓦当:單弁十津華文 外端部:設状模様なる。 瓦当裏表:瓦の間に壓衝術の文様をもつ。瓦と瓦間に貼り付け、布目板わざ にあり、瓦頭压痕あり。苦槽資料	69	—
779	塔ノ櫻寺跡	軒丸瓦	瓦当部	両区外端:(15.0) 両区中央:(13.0) 両区内端:(10.0)	内区外端:(10.2) 中付板:(3.2) 中下端:(2.9) 瓦当裏表径:14.5	最大:3.5 最小:1.8 中間:(0.45)	灰褐色 10H6/4	瓦当:單弁十津華文 内区に1~4の連子をもつ。粘土の貼り付け痕あり 瓦頭:外沢開ナメ調整 苦槽資料	70	—
780	塔ノ櫻寺跡	軒平瓦	瓦当部	—	瓦当端大幅:5.8	—	灰白色 2.5H6/1	厚さ:1cmの瓦底部に厚さ:0.6~0.1cmの粘 土板が貼り付けられ、設置あり。平瓦部前面に複数 の指紋压痕あり、使用資料	70	—
900	中野山跡遺跡	丸瓦	—	右側面:(7.2)	—	—	灰褐色 7.5H4/2	凸面:ナダ 凹面:ナダ	78	—
950	西之御堂遺跡	平瓦	—	左側面:(4.5)	—	最大:2.2 最小:2.0	暗オリーブ 2.5H3/1	凸面:平行タタキ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ、面取 布密度:12×13/cm	80	—
955	信包中源田 古窯跡	丸瓦	—	左側面:(15.0)	広端面:(7.2)	最大:2.3 最小:1.4	にぶん:黒褐色 10H7/4	凸面:タタキ、ヘラケズリ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ 布密度:12×15/cm	89	—
966	信包中源田 古窯跡	丸瓦	—	左側面:(10.5)	広端面:(10.7)	最大:2.6 最小:1.3	淡褐色 2.5H3/3	凸面:タタキ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ 布密度:17×15/cm	90	—
997	信包中源田 古窯跡	丸瓦	—	右側面:(5.2)	広端面:(12.6)	最大:2.7 最小:2.0	灰褐色 10H7/2	凸面:ヘラケズリ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ 布密度:16×16/cm	90	—
998	信包中源田 古窯跡	丸瓦	块端部	左側面:(14.0) 右側面:(16.5)	—	最大:2.9 最小:1.4	にぶん:黄色 2.5H6/3	凸面:タタキ、ヘラケズリ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ 布密度:18×17/cm 粘土含むせ目	91	—
999	信包中源田 古窯跡	平瓦	—	右側面:(7.0)	後端面:(6.0)	最大:2.4 最小:1.4	明黄褐色 10H7/6	凸面:タタキ、ヘラケズリ 凹面:布目板、ヘラケズリ 側面:ヘラケズリ 布密度:17×17/cm	90	—
1000	信包中源田 古窯跡	平瓦	—	—	後端面:(13.6)	最大:2.6 最小:2.2	柳灰色 10H5/1	凸面:タタキ 凹面:布目板、ヘラケズリ。縫切り 側面:ヘラケズリ 布密度:17×17/cm	91	—
1003	古町廻寺跡	平瓦	—	左側面:(4.1)	広端面:(7.1)	最大:2.5 最小:2.4	灰色 84/	凸面:綾絞タタキ 凹面:綾絞タタキ 側面:綾絞タタキ 布密度:14×16/cm	92	—
1004	古町廻寺跡	平瓦	—	—	—	最大:2.6 最小:2.4	S9E/1	凸面:平行タタキ 凹面:布目板、縫切り 布密度:14×16/cm	92	—
1005	古町廻寺跡	不明	—	左側面:(5.7)	—	最大:2.1 最小:1.6	暗褐色 7.5H3/2	凸面:調タタキ、ナダ 凹面:ケズリ	92	—
1074	東雲遺跡	丸瓦	—	—	—	最大:1.3 最小:0.9	灰色 7.5H5/1	凸面:ケズリ 凹面:布目板	97	—
1075	東雲遺跡	平瓦	—	—	—	最大:1.6 最小:1.4	灰白色 2.5H7/1	凸面:調タタキ 凹面:布目板	97	—
1076	東雲遺跡	熨斗瓦	—	—	—	最大:1.4 最小:0.7	灰色 S9S/1	凸面:調タタキ 凹面:布目板	97	—
1230	寺林遺跡	丸瓦	—	—	—	最大:(1.6)	暗褐色 2.5H5/2	凸面:縫隙方向にナダ 凹面:0.5、表面に合むせ目 布密度:15×16/cm 苦槽資料	117	—

第3章 総 括

第1節 史跡江馬氏城館跡と牟松城跡の位置づけ

史跡江馬氏城館跡は、飛騨市唯一の国指定史跡である。その指定前より埋蔵文化財保護行政の最前线に位置付け、保護活用を図ってきた。『史跡江馬氏城館跡・名勝江馬氏館跡庭園保存活用計画』（平成31年3月発刊予定）においても、さらに本質的価値の保存のための調査を行うことと、牟松城跡の追加指定を目指すことを謳っている。その方針に則り、江馬氏城館跡と牟松城跡の調査を実施した。

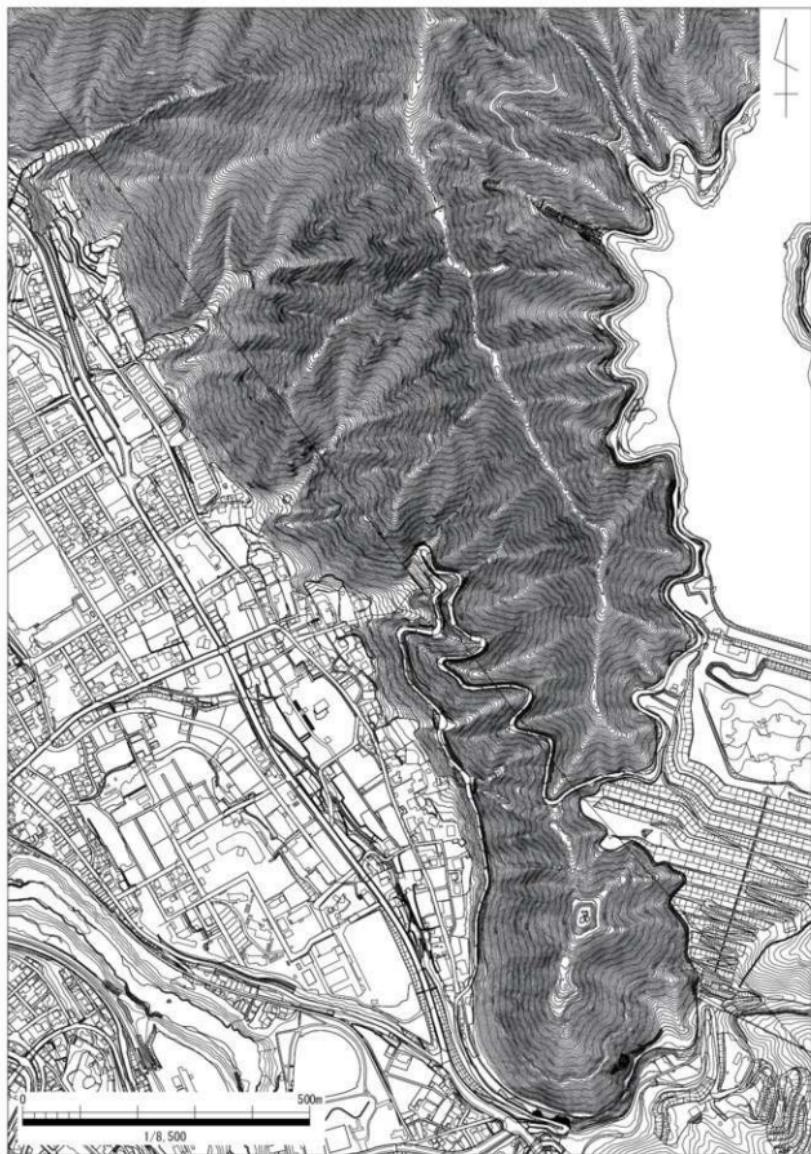
（1）調査経過

江馬氏城館跡は、中世北飛騨において吉城郡高原郷（現：飛騨市神岡町、高山市上宝町）を本拠とした江馬氏との関連が伝わる城館群である。このうち1ヶ所の居館跡（下館跡）及び6ヶ所の山城跡（高原諫訪城跡・土城跡・寺林城跡・政元城跡・洞城跡・石神城跡）が1980（昭和55）年に国史跡に指定されている。国史跡の山城跡については、指定前に作成された測量図が存在するが、30年以上経過したことにより、道路や宅地等周辺の様相が変わって測量図更新の必要性が生じた。また、県史跡の牟松城跡は岐阜県中世城館跡総合調査（平成8～平成16年）の成果により、江馬氏関連の山城跡としての位置づけがなされ、文化庁の中世城館遺跡検討委員会において、江馬氏城館跡の「追加指定レベル」と認定された。飛騨市ではこれらを受け、江馬氏関連の城館跡の適切な保存活用を今後推進するため、詳細測量図を作成することとした。

しかし、対象となる城館は広大かつ地点が多く、現地は樹木が生い茂り、急斜面も多数存在する状況であり、地形や城郭構造を詳細に把握する手法を検討した結果、通常の等高線地形図作成に加えて、樹木の間隙から地表に到達して地形計測を行う航空レーザー測量と、その成果を用いた微地形表現図の作成が有効と考えた。

測量図作成にあたっては、2009（平成21）年度に国土交通省北陸地方整備局神通川水系砂防事務所が実施した航空レーザー測量成果の貸与を受けて図化した。等高線地形図等の作成は株式会社イビソクに委託した。微地形表現図作成については調査研究を主眼として、より微地形が見易い図面を作成するためプロポーザルを実施し、審査会に於いて最も得点であったアジア航測株式会社に委託した（以後、微地形表現図は「赤色立体図」と標記する）。なお、既存の測量成果では十分な精度が確保できなかった牟松城跡、寺林城跡、洞城跡、石神城跡についてはアジア航測株式会社と協議し、再計測を行って成果に反映した。計測は2018（平成30）年11月3日に実機ヘリにより実施し、飛行速度20m/秒、飛行高度500m、計測密度10点/m²、計測コースは4コース以上とした。これらの成果として作成した各城跡の等高線地形図は第137図～第144図、赤色立体図は第145図～第152図のとおりである。

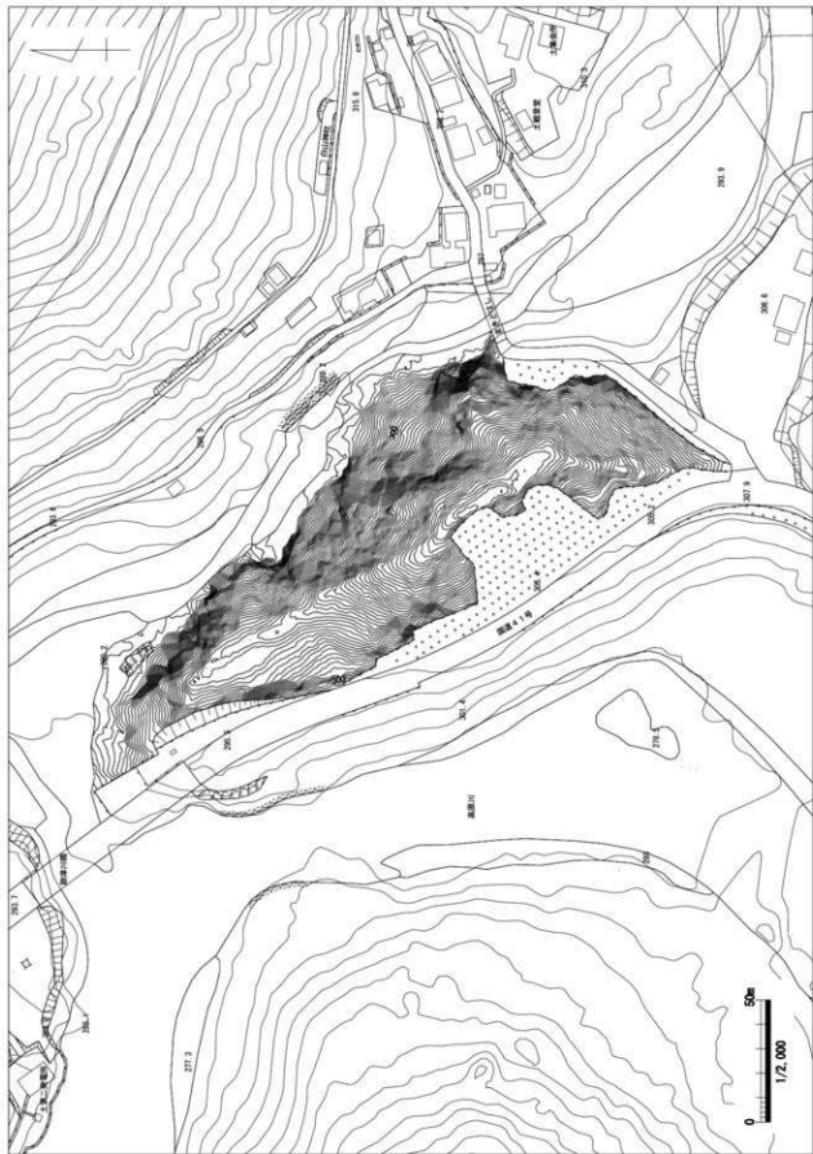
また、牟松城跡については詳細に現況を把握するため、作成した測量図をもとに2018（平成30）年12月25日まで現地踏査を随時実施した。同時に、近世以降の土地の来歴を把握するために、絵画・絵図等の資料調査も並行して実施した。



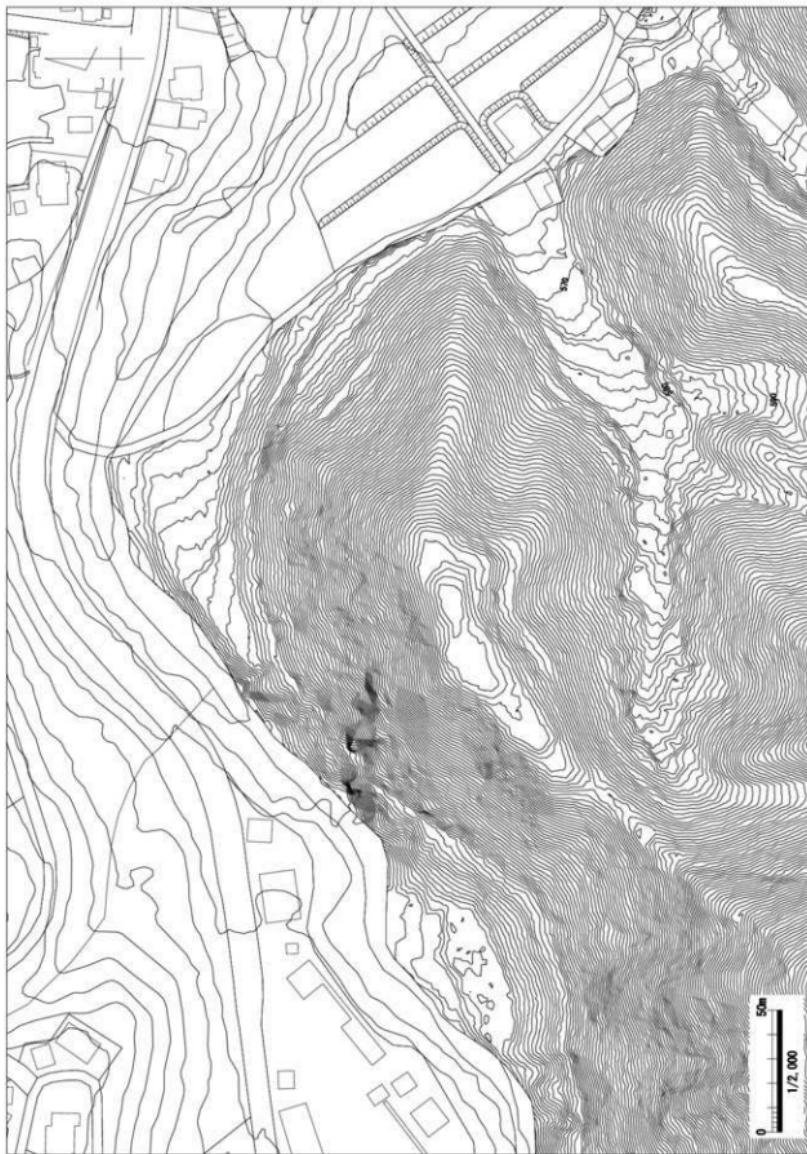
第137図 下館跡・高原諿訪城跡等高線地形図



第138図 高原謙訪城跡主要部等高線地形図



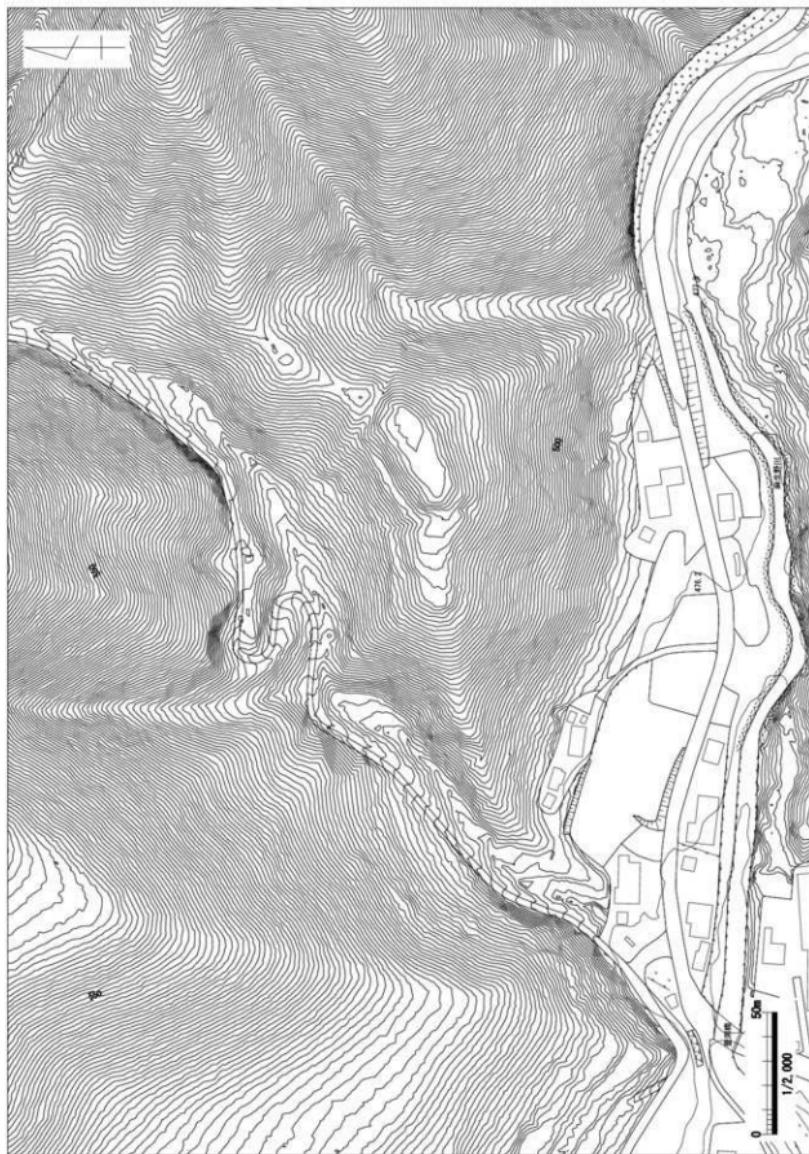
第139図 土城跡等高線地形図



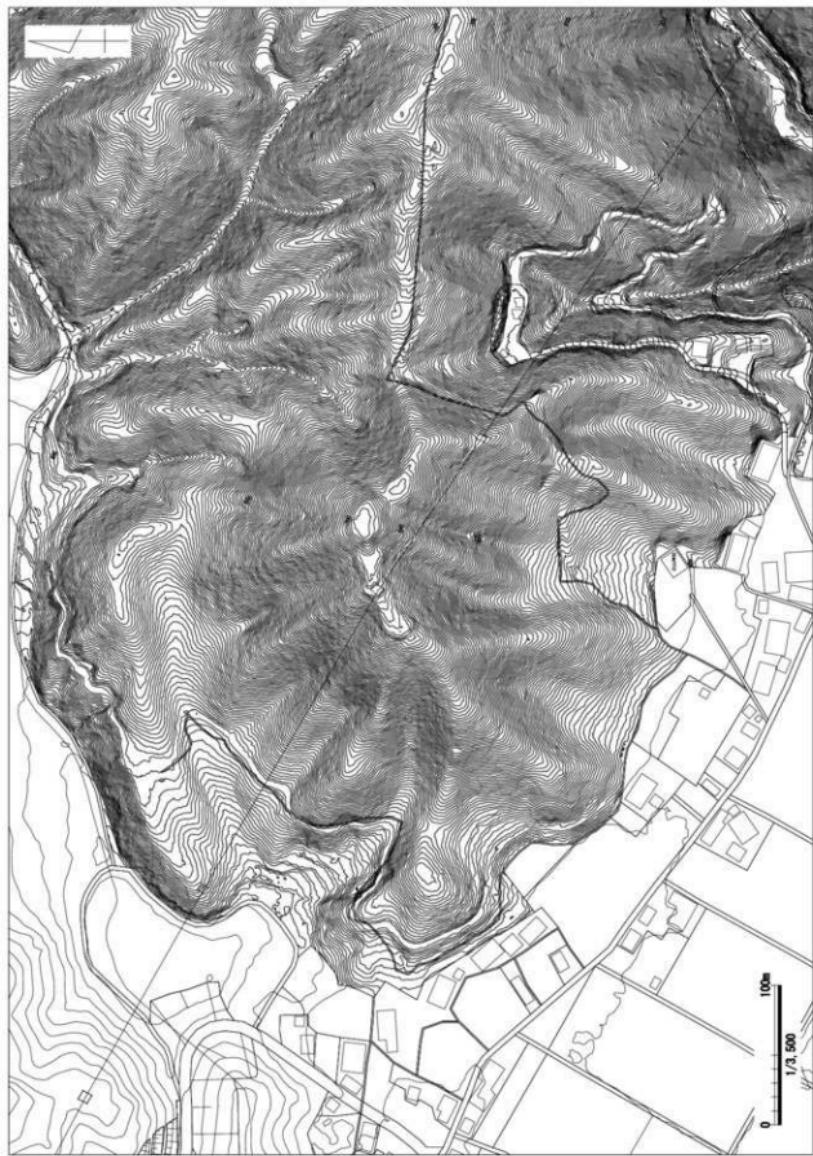
第140図 寺林城跡等高線地形図



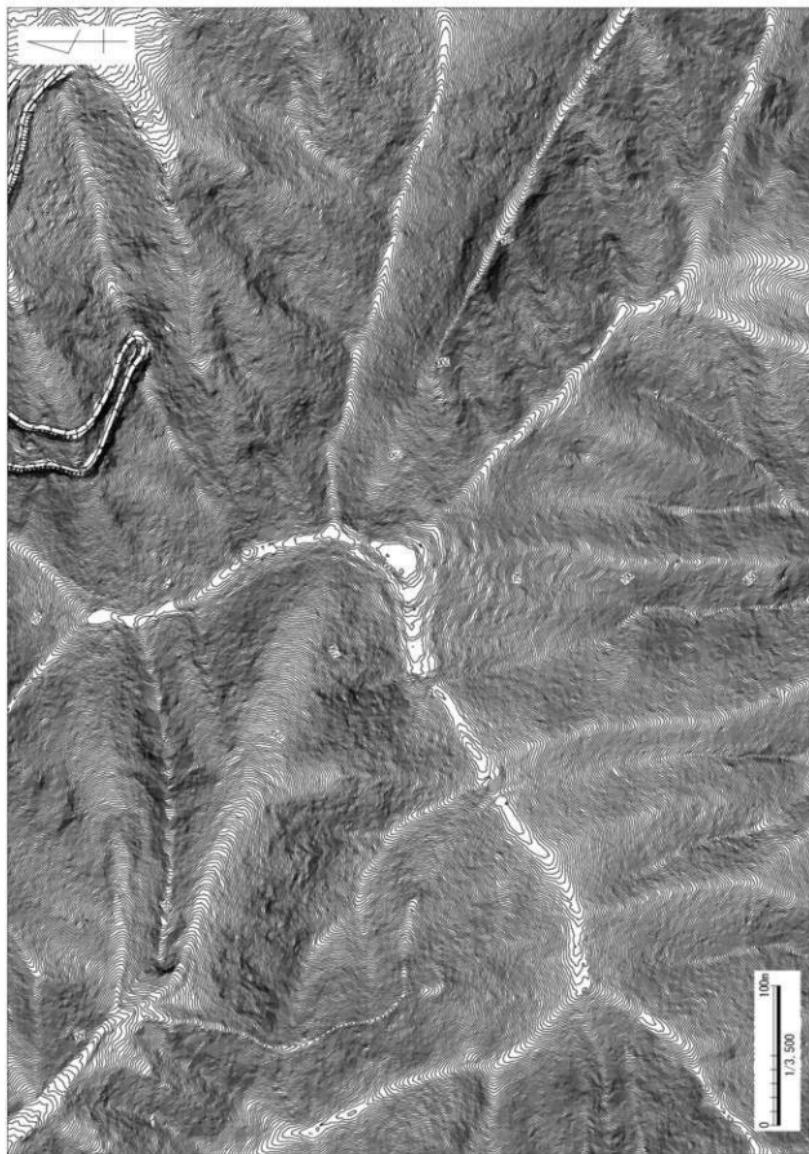
第141図 政元城跡等高線地形図



第142図 洞城跡等高線地形図



第143図 石神城跡等高線地形図



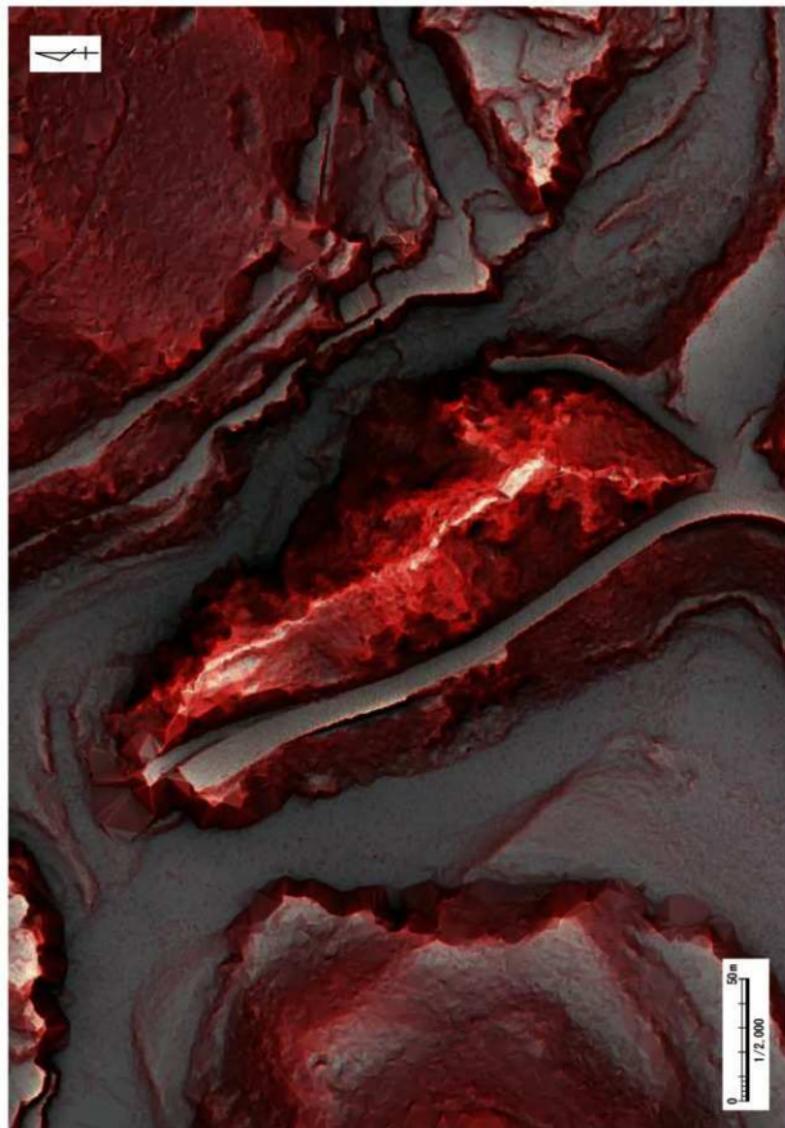
第144図 拿松城跡等高線地形図



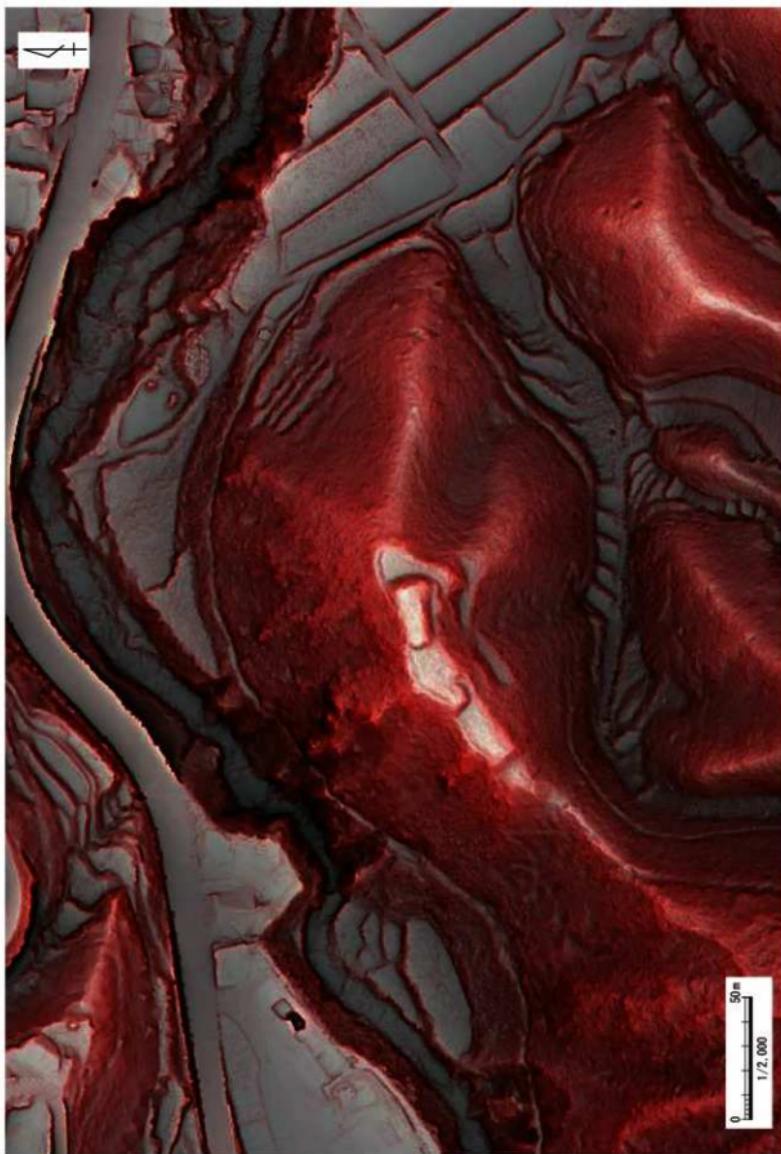
第 145 図 下館跡・高原譲訪城跡赤色立体図



第146図 高原謙訪城跡主要部赤色立体図



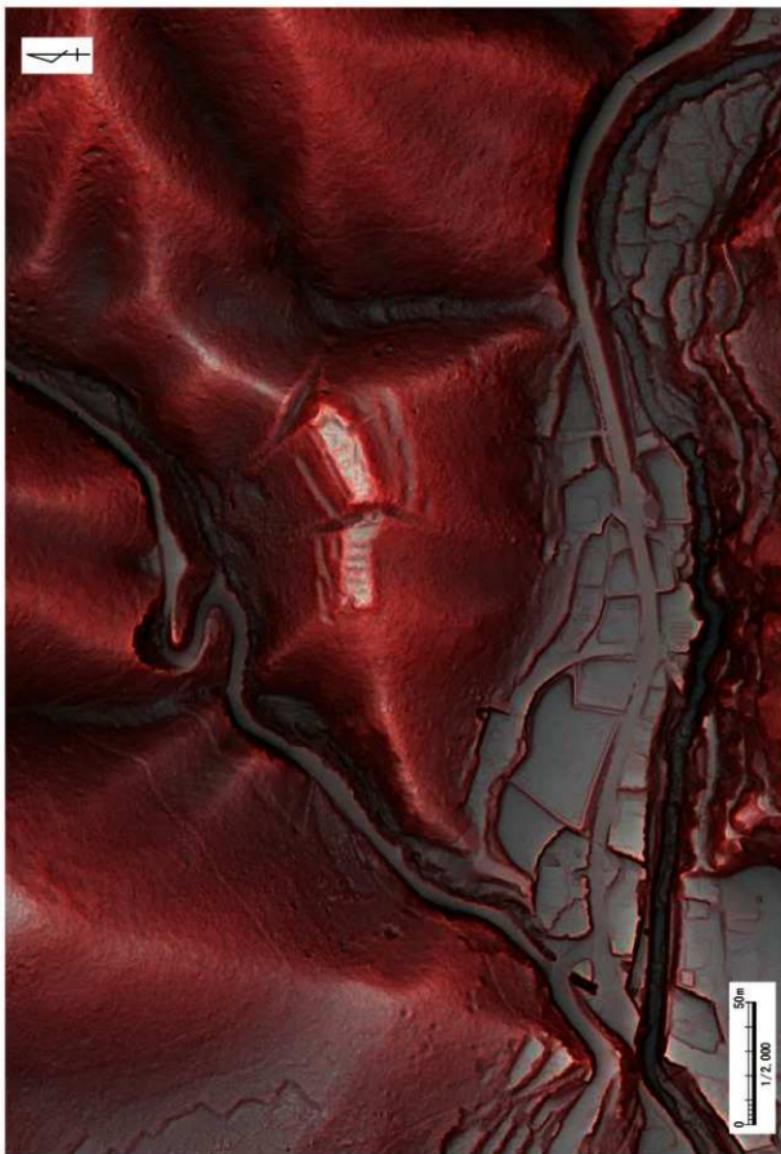
第147図 土城跡赤色立体図



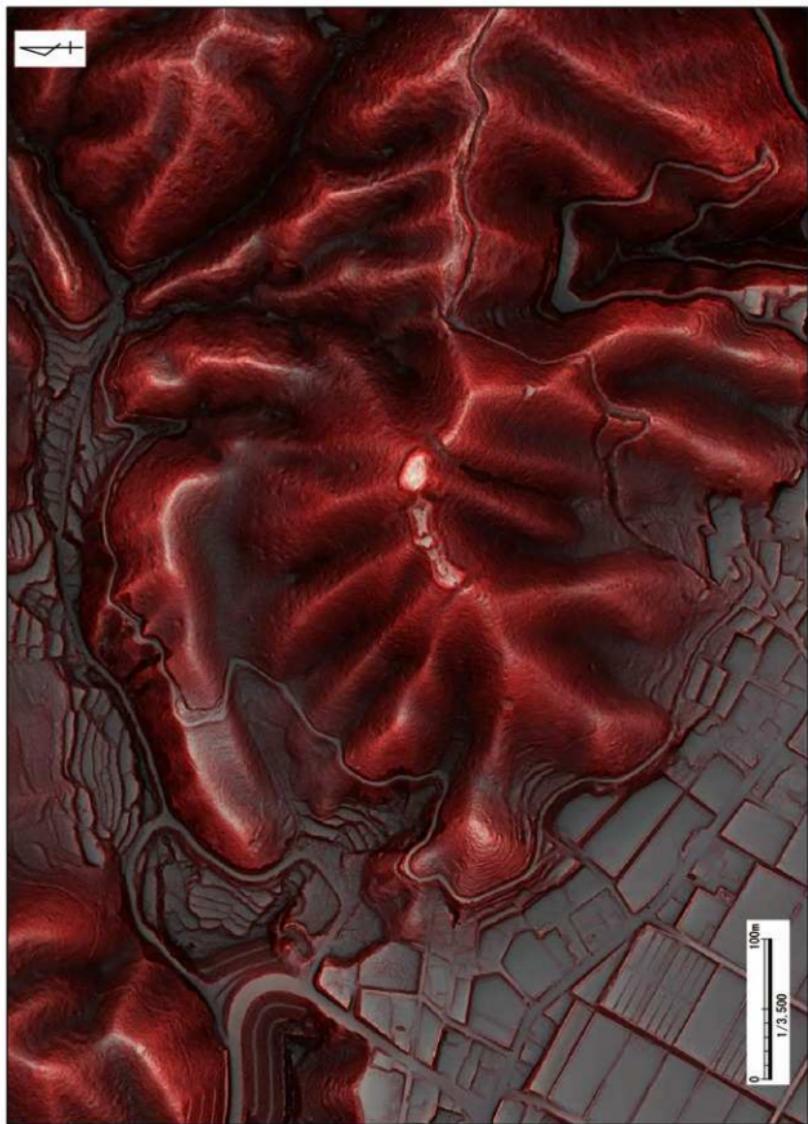
第148図 寺林城跡赤色立体図



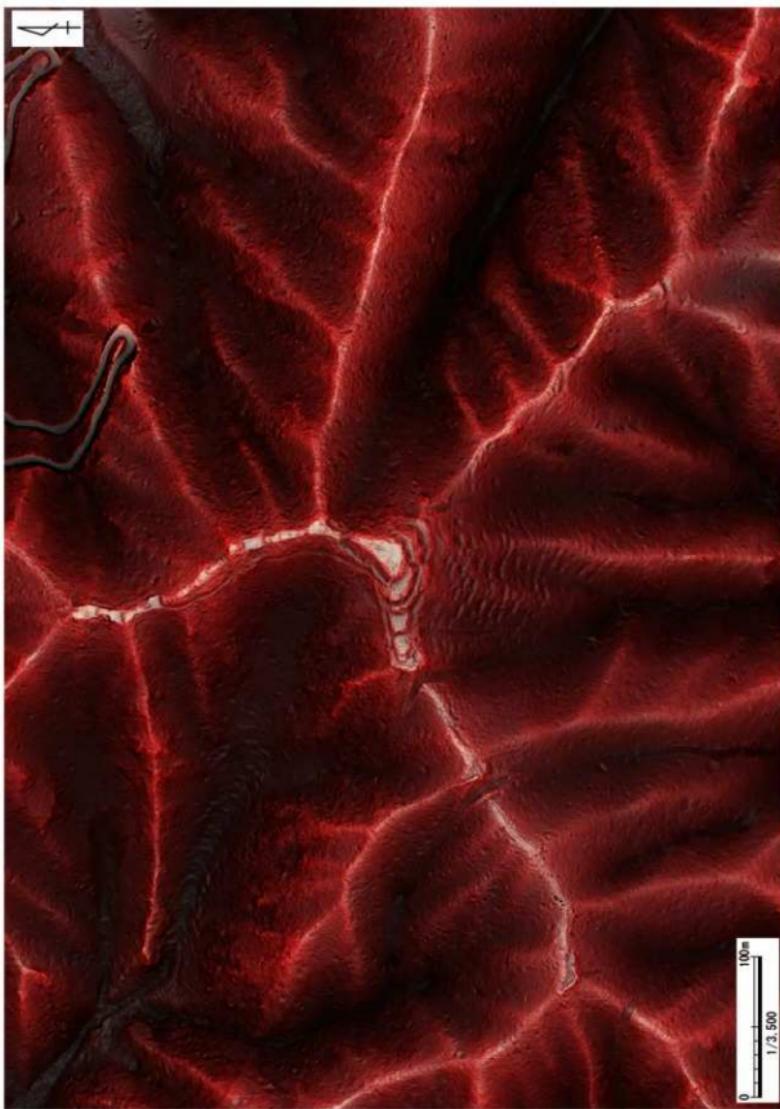
第149図 政元城跡赤色立体図



第150図 洞城跡赤色立体図



第151図 石神城跡赤色立体図



第152図 傘松城跡赤色立体図

(2) 傘松城跡の調査結果

1. 歴史的環境と地理的環境

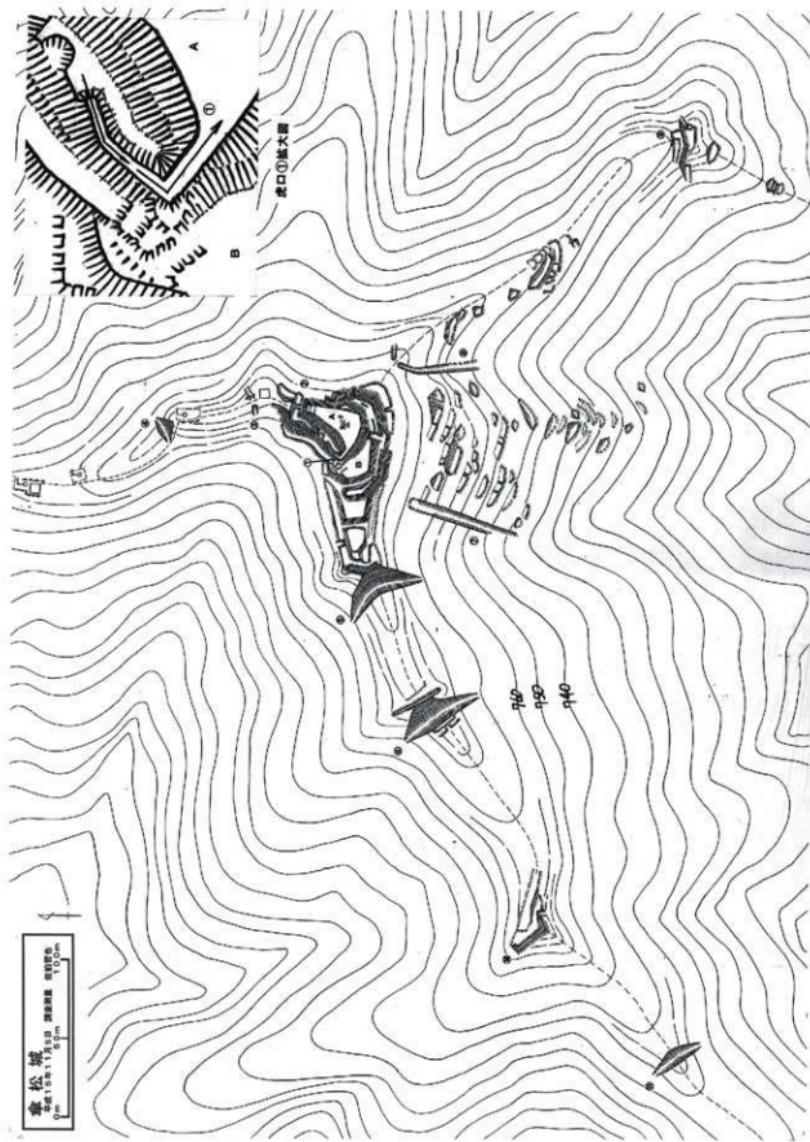
歴史的環境と既往の調査成果

傘松城跡は吉田城とも称される、中世高原郷の中心地・殿段丘を見下ろす山城である。傘松城跡に関する同時代に史料は皆無であるため、その実態は不明である。伝承では城跡南東麓の神岡町小萱地区にある薬師堂（国指定重要文化財）の懸仏に1299（永仁7）年、藤原左兵衛尉国家という人物が權那として記されており、この記録をもって江馬氏入国以前の鎌倉時代築城とされてきた。また、さらに遡って平治の乱で敗れた源義平に絡んだ伝説もあるとされている（森本 1987）。このように平安～鎌倉時代の築城伝承がある一方で、中世後期にこの地方を支配していた江馬氏の城とは伝わってこなかった。

しかし、岐阜県が中世城館跡総合調査を実施し、当城の調査を担当した佐伯哲也によって、現存する城郭遺構は戦国時代末期のものである可能性が高く、現地に残る城郭遺構は江馬氏の最終段階である16世紀末頃まで使用された可能性が高いことが指摘された（岐阜県教育委員会 2005）。また佐伯は近年にも最新の調査成果を発表している（佐伯 2018、第153図）。

これらを受け、江馬氏の山城として捉えた場合の傘松城跡に関する歴史的な変遷は以下のとおり考えられる。直接高原郷の事件では無いが、『大乗院寺社雜事記』の1581（文明13）年5月条に古川盆地の小島郷を治めていた飛騨国司・小島勝言の嫡子が、先年に「姉小路」との争いで討ち死にしたことなどが記されている。応永年間ごろには姉小路氏は古川・小島・向の三家に分家しており、文明年間に小島家と古川家で抗争があったことが分かる。こうした政治的緊張は、隣接する高原郷の江馬氏にも影響を及ぼしていたものと推測される。江馬氏と古川盆地の勢力（姉小路氏）との対立は、史料からは1517（永正14）年に確認できる。この年の2月、古川家の姉小路濟繼は飛騨国内の「錯乱」に対応するために下向している。この対立の相手方は、高原郷の江馬氏であった（『宣胤卿記』）。また、文献の内容からは前年の1516（永正13）年には、既にこの争いが起つたものと考えられる。

その後、南飛騨から進出した三木氏が徐々に勢力を拡大し、1560（永禄3）年に三木良賴は従四位下・飛騨守に叙任され、姉小路氏の一家・古川氏の名跡を継ぐ。この前後から古川盆地周辺は三木氏が押さえ、高原郷の江馬氏と度々対立する状況であったと推測される。1564（永禄7）年には、江馬氏が絡んで甲斐・信濃の武田方の軍勢が飛騨に侵攻し、高原郷も戦場になったと考えられる。こうした軍事的緊張が高まった際には、江馬氏の拠点として傘松城がよく機能したものと考えられる。1582（天正10）年、「本能寺の変」後に、江馬氏は古川盆地へと進軍し、荒木郷八日町において三木氏と合戦に到る（八日町の戦い）。結果、当主の江馬輝盛は討ち死し、その後に三木方の小島時光が高原郷に攻め入って本城の高原譲訪城は落城する（『寿楽寺藏 大般若経裏書』）。以降も江馬時政なる人物の活動が認められるなど江馬氏は以後も存続しているが（『河上家文書』）、その後の動向は不明であり、1585（天正13）年の金森氏侵攻後に江馬氏は完全に滅んだと伝わる。傘松城についても文献で確認できないが、このころに廃城になったものと考えられる。

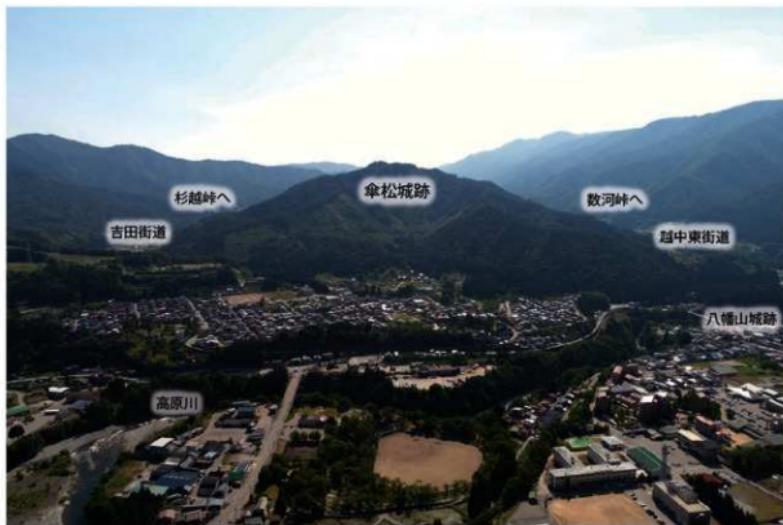


第153図 傘松城跡縄張り図（佐伯 2018 より）

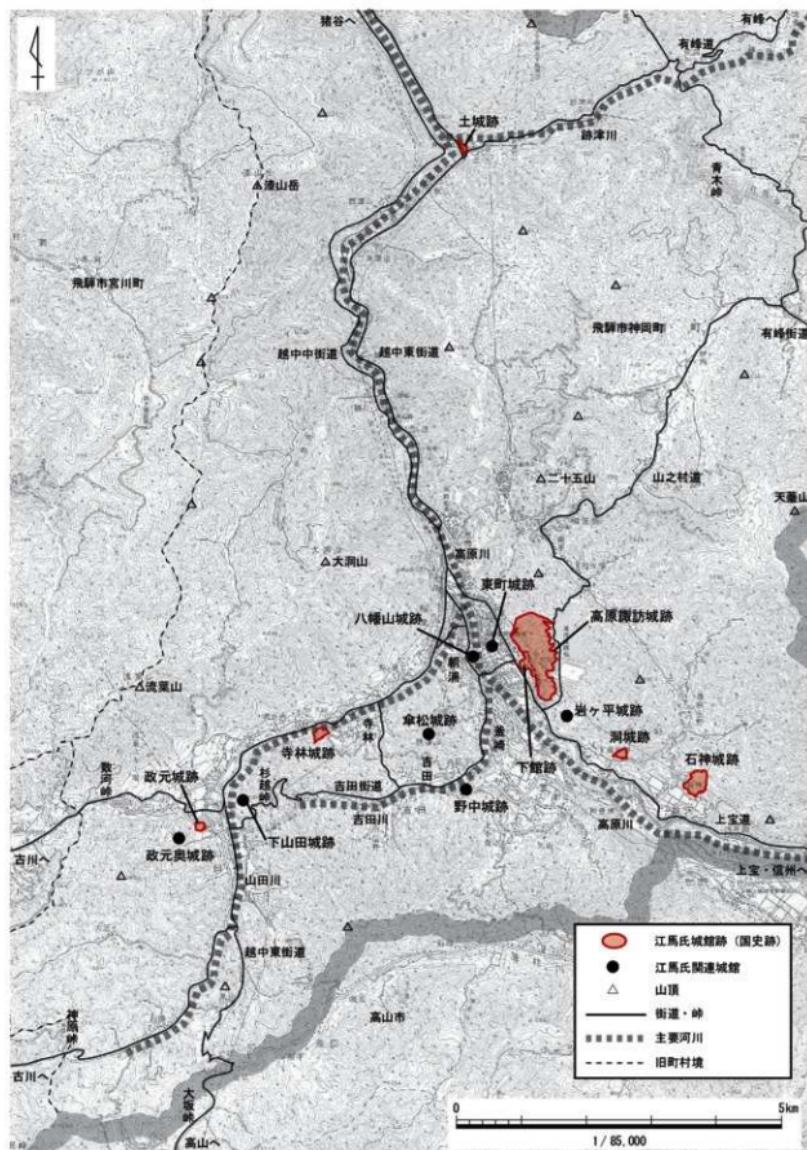
地理的環境（第154・155図）

傘松城跡は現在の神岡市街地の西方・觀音山（洞山）の山頂部に位置する。主郭の標高は803mであり、下館跡との比高差は約350mである。主郭からは江馬氏の本拠である高原諏訪城跡・下館跡・東町城跡を捉えることができる。また、高原川上流（信州方面）に位置する岩ヶ平城跡・洞城跡・石神城跡も視認できる。特に洞城跡・石神城跡については、江馬氏の本城・高原諏訪城跡から直接見ることができないが、傘松城跡を通すことで連絡することができる。高原川下流（越中方面）に位置する土城跡は山の陰になって視認できないが、狼煙による連絡は可能であったと想定される。また、西側の越中街道沿いに位置する寺林城跡を眼下に見下ろし、吉田街道沿いの野中城跡も眼下に見下ろしている。寺林城跡の西方の街道沿いに位置する政元城跡・政元奥城跡・下山田城跡は直接見通すことはできないが、こちらも狼煙による連絡は可能であったと想定される。このような高原郷内の他の城館や麓の集落・街道との立地関係から、傘松城跡は江馬氏の領域支配のための重要な山城であったと推定される。

傘松城跡は、江馬氏にとって防衛上の観点からも重要な立地にある。傘松城跡は、古川盆地から高原郷へ通じる主要道である越中東街道や、城の南側を通る吉田街道・杉越峠を眼下に見下ろしている。これらは、江馬氏が敵対していた鈴小路氏・三木氏が拠点としていた古川盆地方面の街道・峠である。仮に古川盆地から敵が侵攻した場合、本拠の高原諏訪城跡や下館跡からはこの觀音山が屏風のように前に塞がって峠・街道を見通せず、侵入を察知しづらいという立地上の弱点がある。傘松城跡はまさにこの屏風の上から見下ろすような位置にある。傘松城跡は、外敵への侵入警戒としても江馬氏にとって最重要の軍事拠点であったと推定される。



第154図 傘松城跡全景（高原諏訪城跡上空より）

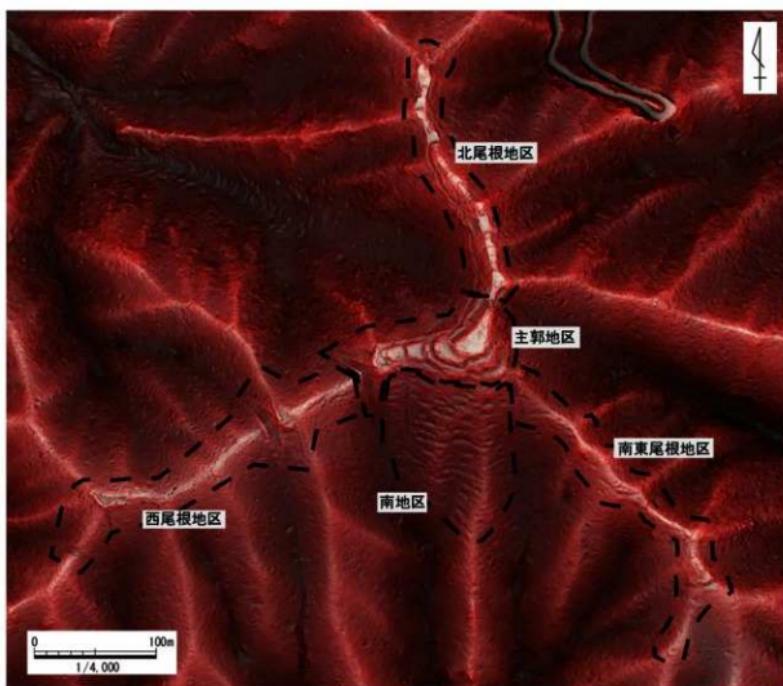


第155図 傘松城跡周辺関連要素位置図

2. 調査成果

1) 赤色立体図の検討による傘松城跡の構造

傘松城跡の構造を把握するため、今回作成した赤色立体図をもとに現地踏査を実施した。傘松城跡は堀切や切岸等から読み取れる遮断線により、城としての機能や場所性の違いが推定できる。山頂部周辺には、主郭を中心とするまとまった曲輪群や虎口・横堀・切岸・土星等の城郭遺構が集中し、各尾根とは堀切や両堅堀で分断されている。このため、主郭周辺を狭義の城域と捉え「主郭地区」とした。また、主郭から北・西・南東方向に派生する各尾根にもそれぞれ堀切・土壘・堅堀・曲輪・切岸といった城郭遺構が認められる。特に堀切・切岸・土壘などの尾根を分断する遺構は傘松城跡の外側の防御ラインとして捉えられる。これら各方向の尾根については、「主郭地区」からの取り付き方向によって「西尾根地区」「北尾根地区」「南東尾根地区」「南地区」と区分した（第156図）。この5地区について、それぞれの全体的な構造や、分布する城郭遺構の特徴を以下に述べる。



第156図 傘松城跡地区区分図

主郭地区（第157図）

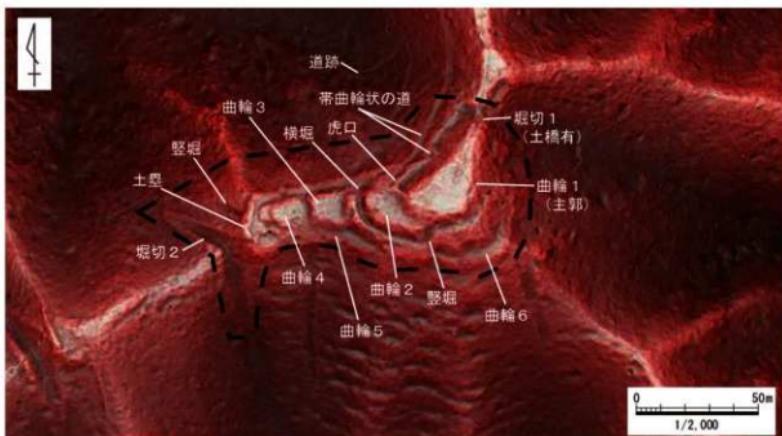
主郭を中心に城郭遺構がまとまって分布する。曲輪1は山塊の最高所に位置するこの城跡で最も広い平坦地で、主郭と想定される。平坦面は東西約25m・南北約35mの規模がある。主郭北側に土壙状通路を連結した平虎口が存在し、北西側から土壙状通路の上を通ることで主郭に到る構造となっている。この土壙状通路は主郭西側の切岸と一緒に、西方向から直行できないよう遮断されている。

主郭（曲輪1）の西方向には曲輪2・3・4が存在する。うち曲輪2と3の間には横堀が存在し、西側は切岸を伴う土壙が存在することから、西方向から直行し難い構造となっている。この横堀から繋がる南側の通路の先には、堅堀が存在する。この堅堀は曲輪2に登る構造であることから、虎口である可能性が考えられる。曲輪2はこの堅堀によって東西に分断されている。

曲輪2・3・4の周囲を帯曲輪（曲輪5）が取り巻き、この地区の西側外郭を構成している。曲輪5の南半分は横堀西側の切岸によって曲輪2・3と遮断されている。北半分は南側と比較すると緩いが曲輪2・3に対して緩斜面が存在し、曲輪2と3の間の横堀に誘導するような構造となっている。曲輪2は西側からは直行できないが北東側の通路から到る場合は緩やかに登るような構造となっている。また曲輪2の南東には、南東尾根方向への備えとして帯曲輪（曲輪6）が取り巻いている。

主郭の北西部には2段の帯曲輪状の道が存在し、上段の道は主郭北部の堀切1から土壙状通路まで接続している。下段の道は北尾根地区まで続いている。なお、現地踏査では判然としなかったが、赤色立体図には下段の道から寺林方面の谷へ下りる、つづら折れの道が確認できる。

主郭地区の西端には巨大な堀切2を設けて、尾根を完全に遮断している。幅約15m・高さ約7.5mを測り、南北の谷にそれぞれ20m以上堅堀状になって続いている。また、城側の切岸上部には土壙を設けて、その北側の切岸には堅堀を設けている。南地区の斜面にも堅堀を設けており、斜面の回り込み制限を意図したものと推測される。また曲輪1の北部には堀切1が存在する。幅約15m・高さ約4.5mで堀切2より高さが低く、堀底に土橋が認められる。



第157図 傘松城跡主郭地区

西尾根地区（第158図）

主郭地区から西方向に延びる尾根上の地区で、堀切・土塁・切岸等の城郭遺構が点在する。尾根の分岐にあたる箇所に曲輪7が存在し、尾根の形状に沿ってL字状に土塁を設けている。南側の切岸には堅堀を設けて主郭（東）方向への回り込みを制限している。曲輪7の北側尾根に堀切等は確認できないが、南側尾根上には堀切4が存在する。堀切4は曲輪7から監視する位置にあり、西尾根地区の最初の遮断線と考えられる。曲輪7と主郭地区の中間地点に堀切3が存在する。幅約15m・高さ約7.5mを測り、東側に存在する主郭地区の堀切2と同様に大規模である。堀切の西側に土塁が存在し、主郭（東）方向にも土塁が存在する。堀切東側土塁は、南北に延びる尾根地形を利用して設けており、ともに主郭方向への回り込み制限を意図したものと考えられる。この土塁は尾根の自然地形に沿って構築されているため尾根の直交部でズレが生じており、その部分は切岸によって遮断線を補完している。

北尾根地区（第159図）

主郭地区から北方向に延びる尾根上の地区で、昭和期に建設された放送施設群の影響により全体的に大きく改変を受けている。これら放送施設及び跡地の敷地には曲輪等の城郭遺構が存在した可能性が高いが、地表面観察では判然としない。北尾根地区は越中街道と神岡の中心部をともに見下ろす絶好の立地であり、それが現代に放送施設が多数建設された理由になったと考えられる。曲輪8は現代施設が存在するが、主郭地区と接していることや東側に小規模な平坦地が伴うことから城郭に伴う曲輪と推定される。曲輪8から約70m北地点に堀切5が存在する。またその北側の尾根上には放送施設が点在する。現代の放送施設や登山道整備で影響を受けているため明確ではないが、堀切5から約110m北地点に城郭遺構と考えられる掘り込みが存在し、北側には土壘状の高まりが認められる。これらが城郭遺構である場合、北尾根地区的最初の遮断線と想定できる。

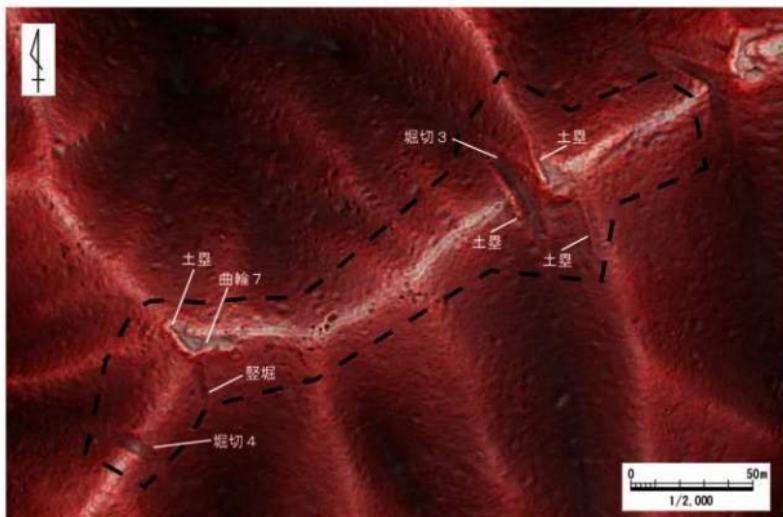
北尾根地区的堀切5は、西尾根地区的堀切3と比較して規模が小さい。北尾根地区と主郭地区を繋ぐ堀切1も同様であり、堀底には土橋が存在する。また帶曲輪状の道は主郭地区に接続している。このように西尾根地区及び南東尾根地区と比較して主郭地区への遮断性が低く連続性が高いことから、北尾根地区は城兵の動線上に位置し、主郭地区と一体で機能していた可能性が考えられる。

南東尾根地区（第160図）

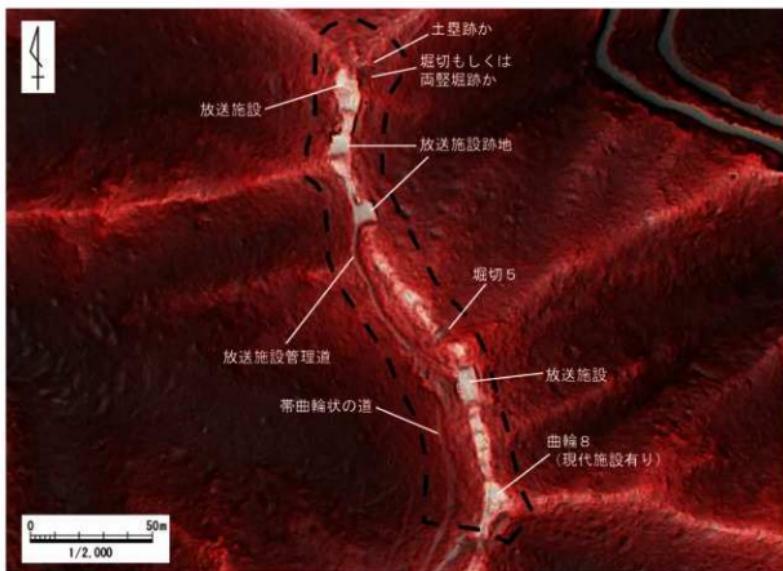
主郭地区から南東方向に延びる尾根上の地区で、他の尾根地区と比較すると遺構の分布は少ない。主郭地区付近に両堅堀が設けられており、主郭地区との明確な遮断線として認められる。その先の尾根沿いには小規模な平坦地群が点在するが、どのような性格の遺構か判断できない。さらにその先の曲輪9～10は城郭遺構と考えられ、曲輪10と9の間は高さ2mほどの切岸が設けられている。これが南東尾根地区における最初の遮断線と想定される。その南（外側）に位置する曲輪11は曲輪10に伴う遺構である可能性があり、その先の尾根上にも小規模な平坦地群が存在する。

南地区（第161図）

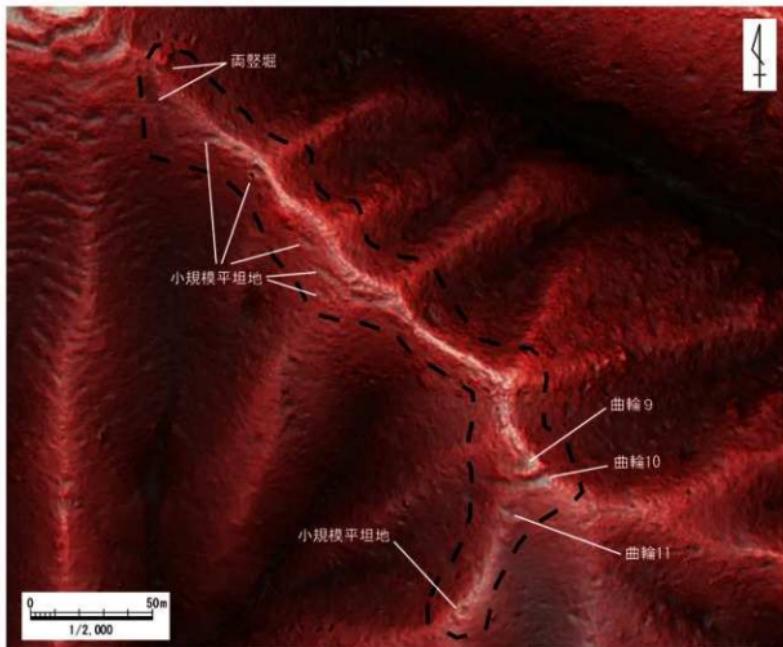
主郭南側の斜面地区。地区的西部に堅堀が存在し、西側の堀切2（主郭地区内）から南斜面への回り込み制限を意図したものと考えられる。また、地区全域に小規模な平坦地が多数分布する。他の城郭遺構との関連性が判然としないため、近世以降の遺構の可能性も含め、今後の検討課題である。



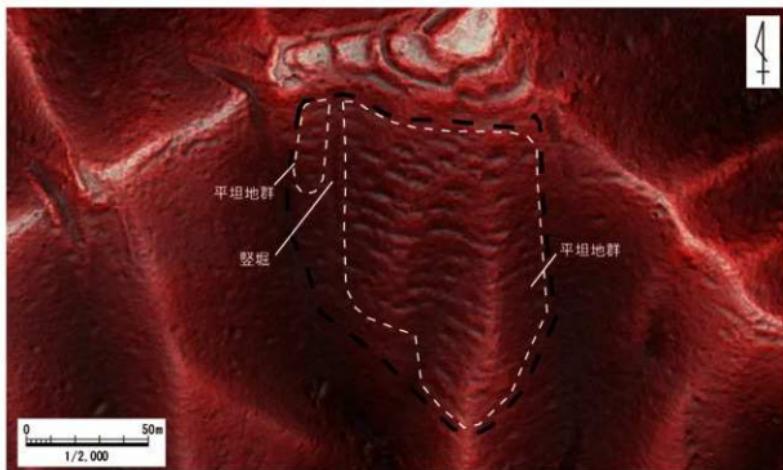
第158図 拿松城跡西尾根地区



第159図 拿松城跡北尾根地区



第160図 拿松城跡南東尾根地区



第161図 拿松城跡南地区

2) 資料調査

測量調査と並行して、近世以降の資料調査を実施した。その目的は城名の整理を実施することであった。飛騨市内の城館名は同時代史料に現れるものが少なく、近世以降に呼称された城館名が殆どである。また、1つの城館についても複数の呼称が存在しているものも多い。傘松城跡についても、『飛州志』では「吉田城」と呼称されている他、「傘松」の読みも地元では「からかさまつ」「かさまつ」という2つの読み方が伝わっている。今後の指定の際の名称決定や、呼称する際の指標とするため、他の飛騨市内の各城館も合わせて資料を確認し、呼称を整理した。

記録類に表記のある城館名の整理

飛騨地方における近世から明治初期にかけての代表的な地誌としては『飛州志』・『飛騨国中案内』(以下、『国中案内』・『斐太後風土記』(以下、『後風土記』)が挙げられる。また、飛騨の城を網羅的に調査したものとしては『定本 飛騨の城』(以下、『飛騨の城』)・『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』(以下、『総合調査報告書』)が挙げられる。これらの各記録に見られる城館名を整理した(第47表)。

例えば、江馬氏の下館跡(指定名「下館跡」)について、『飛州志』では「江馬之下館」、『国中案内』では「江馬殿の下屋敷」、『後風土記』では「居館」としてそれぞれ表記されている。いずれも江馬氏の居館や下館としての伝承をもとにしており、『飛騨の城』においてはそれらを受け「根小屋」としている。

第47表 飛騨市内の主な城館名(記録・報告より)

地区	指定文化財名	飛州志 (1728ごろ)	飛騨国中案内 (1746ごろ)	斐太後風土記(1873)	飛騨の城(1987)	岐阜県中世城館跡総合調査報告書(2005)
神岡	下館跡	江馬之下館	江馬殿の下屋敷	居館	根小屋	江馬氏下館跡
	高原諫訪城跡	諫訪城	古城跡	諫訪城	高原諫訪城(旭山城、江馬城)	高原諫訪城跡
	土城跡	鬼城	鬼ヶ城	-	-	土城跡(鬼ヶ城)
	寺林城跡	寺林城	村郭跡	寺林城、久米城之介古城(玄蕃ヶ城)	寺林城(玄蕃城)	寺林城跡(玄蕃城)
	政元城跡	-	-	古城跡(正本古城)	政本城(政元城)	政元城跡(山田城跡)
	洞城跡	洞城	古城跡	洞城址	洞城	洞城跡(麻生野城)
	石神城跡	二越城	-	杏子城址	杏城(奥二越星形)	石神城跡(杏城跡、二越城跡)
	傘松城跡	吉田城	-	傘松古城跡	傘松城	傘松城跡
	東町城跡	東町城、江馬之御館	古城跡	-	船津東町城(沖野城、野尻館)	東町城跡(野尻城跡)
古川	八幡山城跡	-	-	-	八幡山城	八幡山城跡
	古川城跡	蛤城(古川ノ城)	蛤ヶ城	蛤鮮城(古川城)	蛤城(古川城、高野城)	古川城跡(蛤城跡)
	小島城跡	小島城	小幡の城	小島古城	小島城	小島城跡
	野口城跡	野口城、袈裟丸城	古城跡	古城跡	野口城	野口城跡
	向小島城跡	向小島城	白米ヶ城	向小島古城跡	向小島城	向小島城跡(信包城跡)
	小鷹利城跡	小鷹利城	古城跡	小鷹狩本城跡	小鷹狩本城(付・古川里内城)	小鷹利城跡
	増島城跡	増島城	益幡の城	増島古城	増島城	増島城跡
	百足城跡	百足城	-	-	垣内山城(百足城)	百足城跡(垣内山城)
	下北城跡	下北城	-	下北城	下北城	下北城跡

()は、文献内で別称として記載があるもの

また、東町城（指定名「東町城跡」）について、『飛州志』では「東町城」「江馬之御館」、『国中案内』では「古城跡」とし、『後風土記』には記載が見られない。「東町城」という名称は、近世の村名で現在の大字にあたる「東町村」に由来する。「江馬之御館」という名称は、江馬氏の持城としての伝承に由来している。『国中案内』では単に「古城」としているが、江馬氏家臣の川上中務尉の居城で、後に金森氏家臣の山田小十郎が居住したという伝承を記している。なお、『飛驒の城』に見られる「沖野城」は付近に「沖野」という小字が存在することから由来したものと考えられ、「野尻館」はこの付近の土地の通称から由来したものと考えられる。その他、洞城（指定名「洞城跡」）は、『飛州志』・『後風土記』では「洞城（址）」、『国中案内』では「古城」として伝承を載せている。城山の南麓の集落地区の小字が「洞」であり、そこから由来したものと考えられる。

一方、古川盆地の城館の名称は若干異なる。古川盆地は飛騨国司・姉小路氏の本拠であり、応永年間以前に分家した「古川」「小島」「向（後の小鷹利）」の三家の名を冠する郷名が伝わっており、それぞれに由来の城（古川城・小島城・向小島城・小鷹利城）が存在する。これは地名由来として考えると、神岡で見られる大字・小字由来より一段上の階層である。

このように、それぞれの記録に見られる城名を抽出・整理するとその由来となった性格から「①史料準拠型」「②地名由来型」「③伝承由来型」の3類に分類できる（第48表）。①史料準拠型については、史料から同時代に呼ばれていたと確認できる城名であり、「諏訪城」「古川城（古川ノ城）」「小島城」の3城のみ確認できる。「諏訪城」「小島城」については古川町の寿楽寺藏の大般若經裏書の八日町合戦の記事に確認できる。「古川城」については、原本は残っていないが、『飛州志』所載の飛驒一ノ宮神社棟札文に確認できる。②地名由来型は、その城館が所在する地名（又は近隣の地名）に基づいて呼称されており、各城館の呼称として一般的なものである。②は更に「郷名」「大字」「小字」「通称」の4類に分類できる。③伝承由来型については、城主や言い伝えに由來したものと考えられる。②と③については地名が伝承をもとにしたものもあると考えられ、「政元城」など重複したものも存在する。③は神岡町内の城館については、この政元城を除いてあまり呼称されることがないが、古川町内の城館については「城主=地名」であることから、一般的に呼称されている。また古川城の別称である「蛤城」は現地に由来となった「蛤石」が現在も存在することから、こちらも地元で呼称されている。

以上のように、一つの城に対して名称が複数存在する城が多数あり、それぞれどのような由来があるかを整理した。このうち、①は同時代に則した呼び方と判断できるため呼称する優先度は高いと言える。②③については、同時代史料では確認できず、近世以降に確認できる地名や伝承から由來するものであるため、それぞれは並列的な関係にあると考えられる。

第48表 飛驒市内の城館名由来整理表

地区	指定文化財名	①史料準拠型 (古文献)	②地名由来型				③伝承由来型
			郷名	大字	小字	通称	
神岡	下館跡		(殿)				根小屋、江馬之下館、五ヶ石
	高原諏訪城跡	諏訪城(1)				旭山城	江馬城
	土城跡		土城(本来は隣の牧区)			鬼城、鬼ヶ城	
	寺林城跡		寺林城			玄蕃城	玄蕃城、久米城之介古城
	政元城跡		山田城(本来は隣の西区)	政元城、政本城、正本城(字正元)			政元城
	洞城跡		麻生野城	洞城(麓の集落:字洞)			
	石神城跡		石神城	二越城、奥二越星形			吉城、吉子城
	韋松城跡		吉田城	韋松城			
	東町城跡		東町城	沖野城	野尻城、野尻館	江馬之御館	
古川	八幡山城跡					八幡山城	
	古川城跡	古川ノ城(2)	古川城				蛤城(蛤ヶ城、蛤鮒城)、古川城
	小島城跡	小島城(1)	小島城			城山	小島城(小島の城)
	野口城跡		野口城、要安丸城			磐山	
	向小島城跡		向小島城	信包城			向小島城、白米ヶ城
	小鷹利城跡		小鷹利城		黒内城		小鷹利城
	増島城跡					増島城(益嶋の城)	
	百足城跡						
	下北城跡			下北城(字下気多)			

(1) 寿寧寺藏 大般若経裏書

(2) 飛州志所載 享禄二年 飛驒一ノ宮神社 檻札文

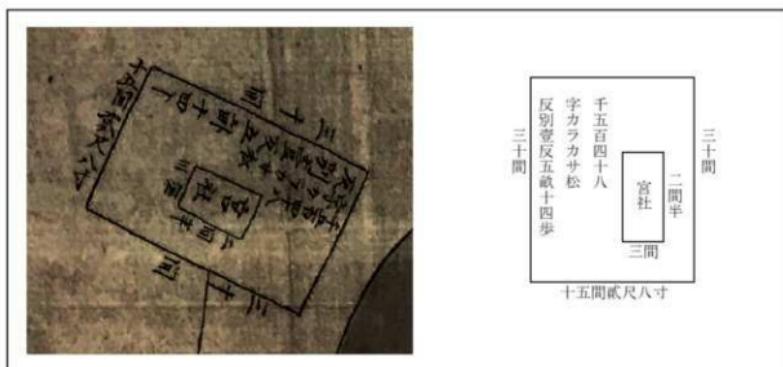
「韋松城」の読み方と近世の様相について

前項の整理により、韋松城跡の城名は吉田村の「字韋松」の地名がその由来になったと考えられる。「字韋松」は近世後期には麓に白山神社が存在したことが確認できる場所で、山上の城跡付近まで含まれる。明治初期に作成された「神岡村吉田組繪図面」(吉田区所蔵)には、この字の読みが記されており、そこには「字カラカサ松」とある(第162・163図)。よって、記録に則した呼び方としては「からかさまつ」と読むのが適当であると考えられる。

なお、韋松城跡は吉田・寺林・釜崎の3地区が尾根を境に接している。近世成立の「越中東街道画巻」(神岡町 洞雲寺寺蔵)には、韋松城跡付近の山上に小屋が描かれている(第164図)。その他、寺林地区には「小屋場」という字名が山城の範囲内で認められる。これらから、城名の由来にあるような麓の集落や神社との関係も伺えるが、山林としての活用もなされていたと考えられる。また、前項の測量図の検討によって、城郭の存続していた戦国時代には北尾根を経由して主郭に登城したと推定できるため、山麓の拠点は城の北方向にあったと考えられるが、「吉田城」「韋松城」という城名から近世以降は南側の吉田村の城山としての位置づけが強くなされていることも特徴的と言える。



第162図 神岡村吉田組絵団面



第163図 神岡村吉田組絵団面 関係部分拡大と翻刻文

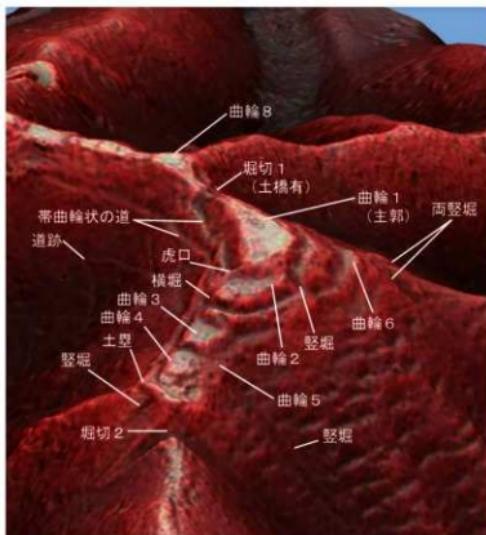


第164図 越中東街道画巻（傘松城跡付近拡大）

3.まとめ

以上の成果から傘松城跡の特徴を整理したい。傘松城跡は主郭を拠点として三方の尾根上に城郭遺構が展開する。北尾根は放送施設による改変が認められるが、残存する堀切等の遺構や主要街道と高原郷中心地を見下ろす立地から、重要な場所であったと考えられる。南東尾根は明確な城郭遺構は少ないが、最低限の遮断線は設けられている。

主郭周辺においては、高さ2～3m程度の切岸や横堀等を幾重にも廻らし、西方向からは主郭に攻め難い構造が認められる（第165図）。通路設定や多くの遮断線によって、攻め手は長時間城兵から



第165図 傘松城跡主郭地区鳥瞰図（南西方向から）

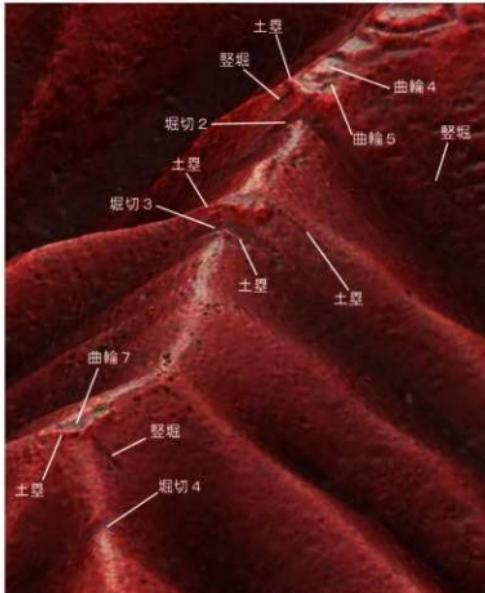
の攻撃に晒されるような構造となっている。この主郭周辺の様相は高原諏訪城跡等、他の江馬氏の山城と比較しても遜色ない構造であるため、牟松城跡は江馬氏の最終段階である16世紀後半まで使用していたと推定される。

主郭周辺と合わせて、防衛上重視したのが西尾根であったと考えられる。この方面には土星等を伴う大規模な堀切2・3や切岸・堅堀・堀切を伴う曲輪7など、防御構造を幾重にも設け、明らかに西方向からの攻めを警戒している様子が認められる(第166図)。この西尾根の堀切の規模を、北尾根の堀切1・5と断面図で比較検討するとより違いが明らかである(第167・168図)。西尾根の堀切2・3はともに幅約15m・高さ約7.5mの規模がある。一方、主郭と北尾根を区切る堀切1は堀底に土橋が存在し、幅約15m・高さ約4.5mの規模である。そこから約90m北地点に存在する堀切5は幅約9m・高さ約3.8mの規模である。堀切1の堀幅は西尾根の堀切2・3と同規模であるが、高さは西尾根の堀切の方が3m以上高い。また主郭方向の切岸の角度をそれぞれ比較すると、堀切2は約40°であるが、堀切1は約25°であり、西尾根の方が急峻である。この堀切の規模や切岸の急峻さの違いは、明らかに古川盆地方面からの敵の侵攻を警戒していることを示していると考えられる。西尾根の堀切2・堀切3と同規模の堀切は、神岡町内では他に高原諏訪城跡と洞城跡の2城に認められる。高原諏訪城跡は江馬氏の本城であり、洞城跡は直系の麻生野氏の居城と伝わる。そのため牟松城跡の築城または改修にあたっては、2城と同様に江馬氏本家の意向が働いた可能性が考えられる。

なお、城兵の動線については南東尾根の城郭構造の分布の少なさや、虎口や通路構造の取り付きから北尾根を経由し、土壘状の通路を通じて直接主郭に入り出したものと考えられる。その場合、城兵は釜崎・朝浦・寺林地区のいずれかより登城したと推定できる。

その他、立地的環境から牟松城跡は周辺の城館や多くの街道・集落を見下ろすことができる場所にある。江馬氏の本拠であった下高原郷内の殆どの城館と直接連絡ができる山城はこの牟松城跡が唯一であり、江馬氏の領域支配の拠点として、極めて重要な立地にあったと言える。また、古川盆地方面からの敵の侵入を本拠地にいち早く伝達する立地でもあるため、軍事上も非常に重要な拠点であったと言える。

以上により、牟松城跡は城郭構造の様相から16世紀後半まで使用されたと推定でき、立地条件も合わせて検討すると、16世紀前半～後半にかけて史料で確認できる古



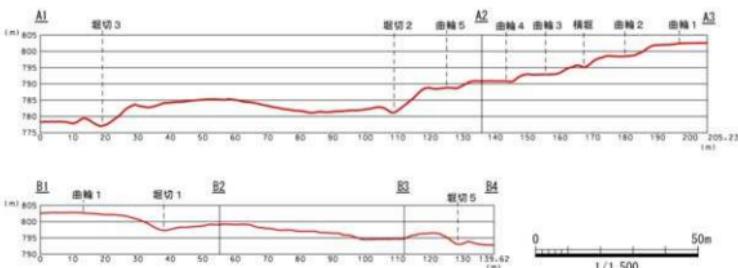
第166図 牟松城跡西尾根地区鳥瞰図（南西方向から）

川盆地の勢力（姉小路氏・三木氏）との対立状況と対応している。よって、傘松城跡は高原郷の支配や、周辺の勢力との争いに備えるために江馬氏が構築・改修したと想定され、江馬氏が滅亡する天正年間まで、その拠点として非常に重要な役割を果たした山城であったと考えられる。

今回、赤色立体図を用いた地表面観察によって、傘松城跡の正確な遺構の規模や微細な道跡などを把握することができた。また、この手法は他の山城跡や古墳等の山林に所在する遺跡の発見や、正確な遺構の規模の把握に有効であることを確認した。今後はこうした手法も用いて詳細な遺跡の分布把握に努めるとともに、傘松城跡においては当時の堀底の検出による正確な堀切の規模や、平坦地の建物等の構造物の存在を、発掘調査等によって再検証することが求められる。一方で、虎口や通路設定の様子など、赤色立体図のみでは細かな城郭遺構の構造を示すことが難しい場合もあるため、従来どおり縄張り図と併用した検討も必要であると考えられる。また、良好に現存する城郭遺構についても、林道や放送施設等の開発によって、これ以上影響が及ばないよう対策を講じる必要がある。



第167図 傘松城跡尾根部分 断面図位置図



第168図 傘松城跡尾根部分 断面図

第2節 遺跡の変遷

(1) 古川町の遺跡分布と変遷

古川町内の遺跡は、盆地をのぞむ山麓裾部に多く立地する（第169図）。これらの遺跡から見た古川町の歴史については、『飛騨古川歴史をみつめて』において既に整理されている（河合2015a～d、戸田2015）。ここでは先行研究を踏まえつつ、『飛騨市遺跡地図』（飛騨市教委2018）作成のために各遺跡で採集された遺物から、改めて盆地全体の様相を提示したい。なお、古川町で最も広い盆地は古川国府盆地と通称され、高山市国府町域と一体であり、歴史的にもつながりが深い。したがって、遺跡の様相を考えるにあたり国府町域の遺跡も踏まえる。

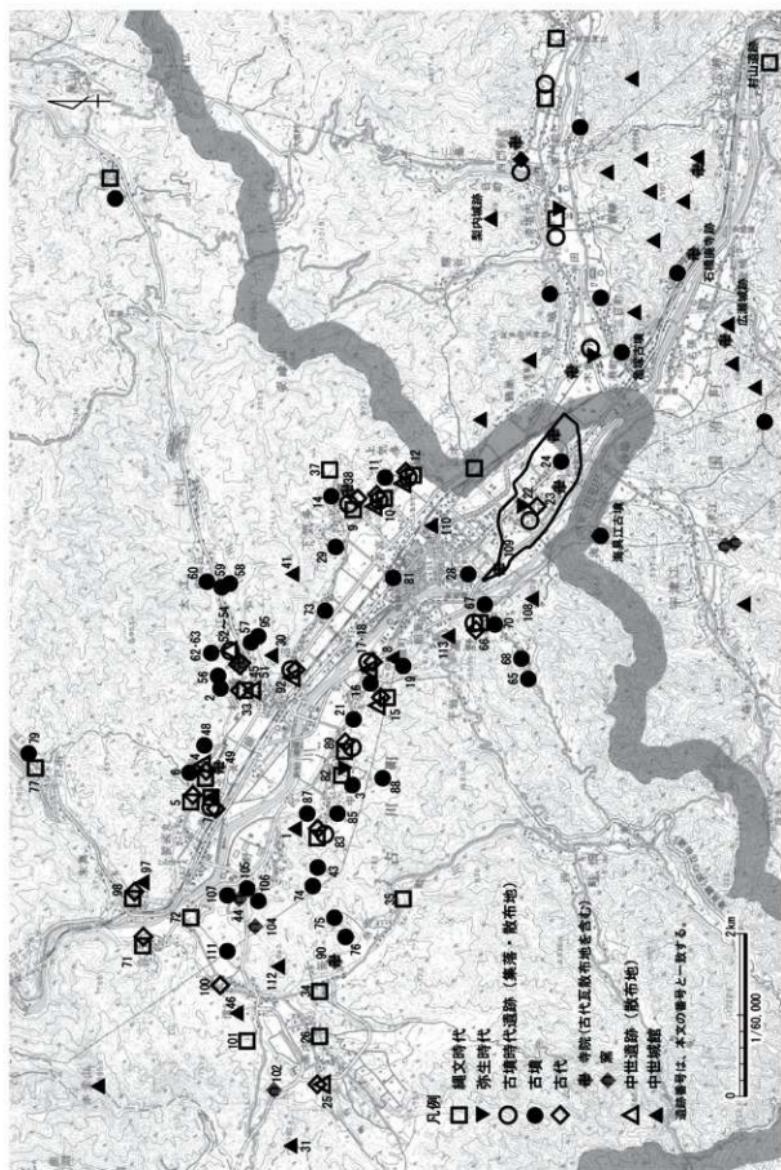
旧石器時代 わずかに中野山越遺跡（89）で神子柴型石器が採集されているのみである。明らかな遺跡としては確認できない。

縄文時代 縄文時代になると遺跡数が増える。町内には33遺跡が認められる。概ね河川に面し、空が広がる日当たりが良い山麓裾部から高位河岸段丘にかけて立地する。最も古い遺跡は早期の押形文土器がみられる沢遺跡（37）である（飛騨市教委2017）。山麓裾部に立地する。他にも、押形文土器は岡前館跡（7）で、早期の異形部分磨製石器は中野トンビケ洞遺跡（83）で見られる。岡前遺跡（4）や黒内細野遺跡（26）、御番屋敷遺跡（33）、中野山越遺跡（89）など中期を主体とする遺跡は、河岸段丘の比較的広い平坦地や緩斜面に立地している。また、縄文時代の特徴的な石製品としては石棒類がある。その中でも、飛騨市宮川町塩屋で産出する塩屋石で作った石棒類が、黒内細野遺跡（26）・谷遺跡（71）・中野トンビケ洞遺跡（83）で見られる。後・晩期になると、発掘調査で実態が把握されている黒内細野遺跡（26）・中野山越遺跡（89）以外は、御物石器27・291や石冠729、独鉛石837などの石製品に垣間見られるが土器は少ない。

弥生時代 弥生時代に入ると、岡前遺跡（4）・上町遺跡（22）・杉崎廃寺跡（49）において中期の大型蛤刃石斧と横羽状文甕が見つかっており、杉崎廃寺跡（49）・上町遺跡（22）・大洞平遺跡（82）において終末期の北陸系有段口縁甕が見られる。立地を比較すると、岡前遺跡（4）・中野大洞平遺跡（82）が高位の河岸段丘に位置する縄文時代以来の遺跡であるのに対し、上町遺跡（22）・杉崎廃寺跡（49）は低位の河岸段丘に位置する。上町遺跡（22）では、土壤分析により弥生時代終末期に離水し、人々が生活するようになったと推察している（飛騨市教委2016）。古川町内では、弥生時代に至って宮川がほぼ現在の河道に落ち着き、生活の場を高位から低位の河岸段丘に移すことができるようになった可能性が高い。なお、弥生時代ではないが、杉崎廃寺跡において水田遺構が見つかっている（杉崎廃寺跡発掘調査団1998）。低位河岸段丘に移るのは、稲作を行いやすい環境を求めてのことであったと推察される。

古墳時代 集落跡・散布地は13遺跡である。上気多遺跡（9）や上町遺跡（22）、太江遺跡（51）などに代表されるように古墳時代後期から古代まで継続的に営まれる遺跡が多い。

また、古墳は143基認められる。信包八幡神社前方後円墳（105）が最も大きい古墳である。群集墳の数では、上野井西古墳群23基（16）、上野水上洞古墳群17基（21）、中野山越古墳群12基（88）、杉崎狐洞古墳群10基（48）と続くが、多くは10基未満で構成される。群集墳が立地する丘陵や山地の麓裾部には集落跡・散布地の遺跡が立地する場合が多い。岡前遺跡（4）－岡前諏訪神社裏古墳群（6）・杉崎狐洞古墳群（48）、上気多遺跡（9）－上氣多沢古墳群（14）、太江遺跡（51）－稻荷神社古墳群（2）・



第169図 古川町主要遺跡分布図

太江多度古墳群（56）・太江前平古墳群（62）、中野山越遺跡（89）一大洞平古墳群（3）・中野山越古墳群（88）が例として挙げられる。

一方で、集落遺跡から望む位置に単独で古墳が存在する場合もある。上町遺跡（22）－海具江古墳、上氣多上野遺跡（10）・上氣多櫛岡遺跡（12）－上氣多古墳（11）、高野巾ノ上遺跡（66）－高野水上古墳（68）・高野光泉寺古墳（65）である。これらの組合せを想定する場合、集落と古墳との年代を考える必要があるため、出土遺物や石室の年代観についての調査を行って検証しなければならない。

さらに、五阿弥塚古墳（28）や中気多三塚古墳群（81）のように、沖積地に単独で所在する場合もある。これらの墳墓を営んだ集落遺跡がよく分かっていないことも課題と言える。

古代 集落跡・散布地等で39遺跡がある。このうち、多くの面積を発掘調査しているのが上町遺跡（22）である。上町遺跡で最も特徴的なのは、11棟の大型掘立柱建物跡である。これらは官衙中枢を支えた施設の可能性が高く、上町遺跡が官衙関連遺跡と考えられる根拠となっている（河合2015）。

古代寺院遺跡は6遺跡である。古代寺院のうち、寿楽寺廃寺跡（45）・沢庵寺跡（38）など山麓に位置し、杉崎廃寺跡（49）・古町廃寺跡（109）・上町廃寺跡（23）は沖積地に位置する。選地が異なる事例である。一方、平安時代の寺院である西ヶ洞廃寺跡（90）の近隣には、同時代の集落跡・散布地を確認できない。寺院が修業の場として機能していたことを示す事例と考えられる。

また、飛鳥時代後半から奈良時代にかけての寺院遺跡の近隣には集落跡・散布地がある。寿楽寺廃寺跡（45）－太江遺跡（51）、杉崎廃寺跡（49）－岡前遺跡（4）・岡前館跡（7）・岡前奥御堂跡（5）、沢庵寺跡（38）－上氣多遺跡（9）、上町廃寺跡（23）・古町廃寺跡（109）－上町遺跡（22）を例として挙げられる。それぞれ寺院を支えた集落遺跡であった可能性が高い。ここで挙げた集落跡・散布地は、全て古墳との関連も想定できた遺跡である。すなわち、稲荷神社古墳群（2）・太江多度古墳群（56）・太江前平古墳群（62）－太江遺跡（51）－寿楽寺廃寺跡（45）、海具江古墳－上町遺跡（22）－上町廃寺跡（23）、上氣多沢古墳群（14）－上氣多遺跡（9）－沢庵寺跡（38）、岡前諏訪神社裏古墳群（6）・杉崎狐洞古墳群（48）－岡前遺跡（4）－杉崎廃寺跡（49）である。なお、杉崎廃寺跡の発掘調査では、大型円墳も確認している。これらは、古墳から古代寺院へと移り変わる事例として提示できる可能性がある。

中世 集落跡・散布地は5遺跡、山城などの城館跡は13遺跡を数える。古川を囲む盆地には、飛騨国司姉小路に関わる城館跡が存在する。主なものは、古川城跡（108）・小島城跡（30）・小鷹利城跡（31）・向小島城跡（113）・野口城跡（97）である。そのうち、小鷹利城跡（31）・向小島城跡（113）・野口城跡（97）では畝状空堀群が認められ、三木氏による改修の痕跡と考えられる。最も発達した畝状空堀群を伴う城館は、広瀬城跡である。なお、三木氏は16世紀中頃に姉小路氏の名跡を継ぐ。さらに、古川城跡（108）・小島城跡（30）では、巨石と裏込めを用いた石垣が残る。これらは金森氏による改修の痕跡と考えられる。その後、増島城跡（110）が築かれた。以上のように、古川周辺には、姉小路氏－三木氏－金森氏という中世から近世にかけての流れを追える城館跡が存在する。

姉小路氏の居館跡とされてきたのが岡前館跡（7）である。ここでは、まとまった量の土師器皿を採集することができた。土師器皿は儀礼や酒器に使用されていたとされる。これまで伝承であった岡前館跡で、初めて中世館跡に関わる遺物を確認したことになる。今後は、現在発掘調査を進める山城で出土した土師器皿と比較検討し、年代観についても考えて行く必要がある。

(2) 神岡町の遺跡分布と変遷

神岡町の遺跡は、高原川とその支流河川に形成された河岸段丘に点在する。これらの遺跡について、『神岡町史通史編Ⅰ』(飛騨市教委 2009)において初めて網羅された。ここでは、先行研究に従いつつ、新たな採集遺物による知見も加えて報告する(第170図)。

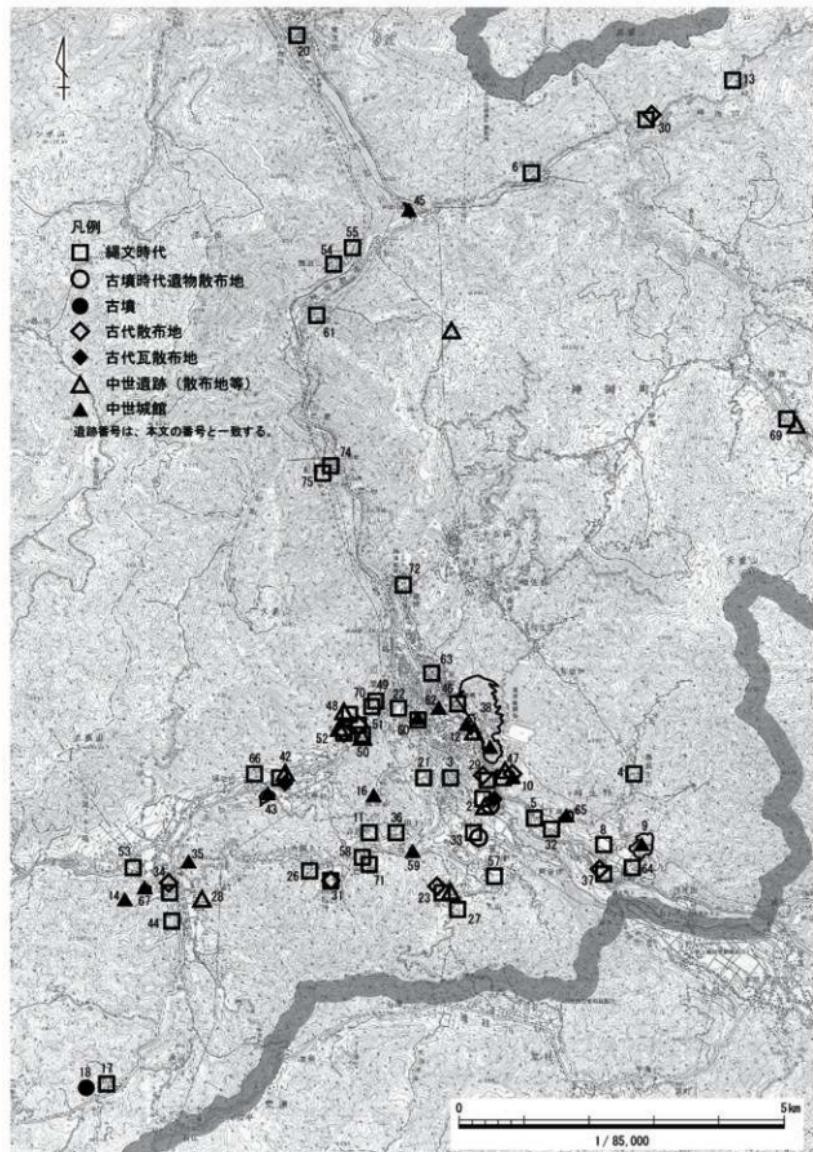
縄文時代 集落跡・散布地で21遺跡を数える。今回の調査で最も古い遺物は、梨ヶ根神成遺跡(49)の有尖頭器(1272)であり、次いで梨ヶ根上垣内遺跡(48)の押型文土器(1246)である。立地では、東雲遺跡(2)、麻生野遺跡(5)、石神遺跡(8)、上朝浦遺跡(22)、下小萱遺跡(33)などのように広めの河岸段丘に立地する遺跡がある一方、盆地へ至るまでの狭小な河岸段丘上に、現在の集落と重なるような形で立地する遺跡がある。高原川上流方面では、遊轎石神社遺跡(4)、上小萱井ノ下遺跡(23)、数河中田遺跡(37)などであり、山田川方面では、柏原遺跡(17)、堀之内遺跡(66)などである。このように、神岡町内の縄文遺跡には、広い河岸段丘に大規模な集落跡の様相を呈する遺跡と、狭小な河岸段丘に小規模な集落跡が想定される遺跡がある。なお、調査記録が残っているのは上朝浦遺跡(22)のみであるが、石神遺跡(8)、塩野遺跡(31)などいくつの遺跡で炉跡が見つかったと伝わる。

古墳時代 集落跡・散布地で2遺跡と、古墳を1基数える。これまで、数点の遺物散布が認められるだけであったが、東雲遺跡(2)・下小萱遺跡(33)においては、古墳時代前期のまとまった遺物が確認された。ともに広い河岸段丘に位置し、縄文時代の遺物も確認できる複合遺跡である。縄文時代には2つのパターンの遺跡立地が認められたが、神岡町域の古墳時代遺跡は広い段丘に位置する。このため、神岡町域では、古墳時代前に広い敷地を求めて生活の場を移した可能性が高い。理由としては、稲作を行いやすい場所を求めてであったと推察される。なお、古墳は柏原古墳(18)のみである。しかし、考古学的調査などにより柏原古墳の実態を把握する必要があろう。

古代 集落跡・散布地で9遺跡を数える。須恵器等を確認した塩野遺跡(31)・下山田遺跡(34)・梨ヶ根中垣内遺跡(51)・殿坂口遺跡(47)・佐古遺跡(30)などは、狭小な河岸段丘に縄文時代の遺跡と重なって分布する。一方で、古代瓦を採集した東雲遺跡(2)・寺林遺跡(42)は神岡町内でも広い河岸段丘に立地する遺跡である。このように、集落跡・散布地は狭小な河岸段丘に立地し、瓦散布地は広い河岸段丘に立地するという差異が認められる。東雲遺跡・寺林遺跡が立地する河岸段丘は、ともに伽藍を持つような広大な平坦地は無いものの、他と比べて規模の大きい集落遺跡であった可能性が高い。その集落内に瓦葺の御堂のような建物があった可能性を指摘しておく。

中世 集落跡・散布地で11遺跡、山城跡など城館跡で26遺跡を数える。下館跡(12)・高原諏訪城跡(38)・洞城跡(65)・石神城跡(9)・政元城跡(67)・寺林城跡(43)・土城跡(45)が、江馬氏城館跡として市内唯一の国史跡に指定されている。これらは中世期に江馬氏が神岡町域を支配するにあたり、群として城館を機能させたことがよく分かる。さらに町内には、傘松城跡(16)・八幡山城跡(60)・東町城跡(62)など江馬氏関連の城館跡が点在する。

集落跡・散布地では、寺林遺跡(42)・梨ヶ根中垣内遺跡(51)・梨ヶ根森屋遺跡(52)など縄文遺跡と重なって分布する。また、遺跡登録は無いが、神岡町笈割と森茂(69)でも珠洲焼の破片が見つかったとのことである。これらのことから、中世の集落跡・散布地は神岡町の中心盆地へ出入りするための街道沿いに立地すると指摘できる。なお、神岡町には金森宗貞邸跡(20)や東町城跡(62)、金森左京屋敷址(19)など近世の遺跡もある。東町城跡(62)は金森氏の改修が想定されている(佐伯 2006)。中世を引き継いで中心的な町場や拠点を支配した事例となる可能性がある。



第170図 神岡町主要遺跡分布図

(3) 成果と課題

これまで、今回の分布調査成果から古川町と神岡町の遺跡を概観した。

古川町域では、縄文時代遺跡が山麓裾部に集まる。これに対し、弥生時代になると低位段丘に遺跡が営まれる様相を提示した。また、古墳時代から古代にかけて営まれる集落跡・散布地の近隣には、古墳と古代寺院があることも提示することができた。中世では、盆地を取り囲む飛騨国司姉小路氏の城館が、三木氏・金森氏に改修された状況を確認した。

神岡町域では、遺跡が神岡町市街地の盆地へ出入りするための河川と街道沿いに分布する。縄文時代の遺跡が最も多く、古墳時代・古代遺跡は縄文遺跡と重なる形で分布する。中世では、領域支配のために群として機能した江馬氏城館跡が位置している。さらに神岡町中心盆地から富山方面に抜けるV字谷の溪谷に立地する中世遺跡は、街道沿いに分布しているものと考えられた。

古川と神岡の遺跡を比較すると、弥生時代・古墳時代・古代において遺跡数に大きな開きが認められる。これは、平坦地を十分に確保できたか否かの地理的環境に起因しているのであろう。つまり、十分に平坦地を確保できた古川では継続的に遺跡が営まれ、急峻な段丘の多い神岡では広い平坦地が限られていたため遺跡数も少ないものと推察される。さらに踏み込むと2町の稻作の導入・展開と大きく関連したものであった可能性が高い。古川町域では、杉崎庵寺跡と上町遺跡において弥生時代の遺物が認められ、稻作導入期に関わるものと考えられるのに対し、神岡町域では古墳時代前期に至り東雲遺跡と下小萱遺跡で稻作が導入された可能性が高い。その後の古墳時代・古代の遺跡数の違いは、稻作が行いやすい環境であったかどうかの違いも物語っているものと考えられる。

以上のような分布調査から見えてくる成果がある一方、多くの課題も明らかとなった。まずは、伝世してきた資料の出自の問題である。大洞平古墳群の遺物など飛騨の山樵館で収蔵してきた資料を幾つか図示したものの、どのような経緯で収蔵に至ったか必ずしも明らかでないものも多い。また、第2章の上町庵寺跡の項でも述べたが、遺跡名と地名の認識が変わってしまっているものもあるかもしれない。今回の報告では幾つかの遺物を参考資料としたが、今後もこれらの出自を求める調査を継続する必要があろう。また、例えば犬塚行藏旧収蔵資料の竹原古墳出土馬具のように、古くから出土している遺物で報告してきたものもある。このように出自が明らかな遺物群を把握するために先行研究を学んだが、全てを実見することができなかつた。このことについても継続して研究史の整理と遺物の調査を行い、遺跡全体の理解につなげる必要がある。

次に遺跡の評価を行うまでの課題もある。古川町域で古墳と集落跡・散布地の関係性について述べたが、現状として石室の形態や出土遺物から年代を推定できる古墳は少ない。その段階で、集落との関係性を考えるのは難しい部分がある。古川町域では石室が開口している古墳も多い。このため、石室構造の比較検討を行うための図化を行なうなど、資料化を進める必要があろう。また、第3章第1節で行ったような微地形表現図・歴史地理調査は、江馬氏城館跡・牟松城跡・寿楽寺庵寺跡でしか行っておらず、今後は古川城跡・小島城跡・小鷹利城跡・向小島城跡・野口城跡でも行なう予定である。より詳細な遺跡範囲の検討のために有効な手法であり、必要に応じて実施するのが望ましい。

以上、成果と課題を述べた。遺跡の詳細分布調査事業は開発対応のために遺跡地図作成を行う目的で開始したが、結果として遺跡から古川町と神岡町の成り立ちを考えるものになってしまった。今後は試掘確認調査などにより、より詳細な遺跡範囲を検証していくと共に、今回の成果と課題を市民と共有しながら地域の成り立ちを考えていく必要がある。

引用・参考文献

- 愛知県史編さん委員会 2010『愛知県史』(史料編4 考古4 飛鳥～平安) 愛知県
- 赤木清 1934a「石冠の第三型式」『石冠』第2年第2号 飛騨考古学会
- 赤木清 1934b「石冠の用途について」『飛騨考古学会会報』第2年第1号 飛騨考古学会
- 赤木清 1939「飛騨石器時代に於ける糠塚文化の研究（一）」『ひだひと』第7年第4巻 飛騨考古土俗学会
- 朝戸高山 1915a「飛騨国石器時代の遺物」『飛騨史壇』第2巻第1号 飛騨史談会
- 朝戸高山 1915b「飛騨国石器時代の遺物（二）」『飛騨史壇』第2巻第1号 飛騨史談会
- 足立和男 2002「佐藤泰郷の考証「穴居跡」について」『飛騨春秋』第494号 飛騨郷土学会
- 石黒末吉 1936「石棒物語」『ひだひと』第4年第7巻 飛騨考古土俗学会
- 石原哲彌 1981「飛騨下呂石を原材とした石器の研究」『飛騨史学』第2巻 飛騨史学会
- 石原哲彌 1990a「飛騨考古学研究史（5）」「どっこいし」33号 飛騨考古学会
- 石原哲彌 1990b「飛騨における最近の発掘調査」『飛騨史学』第10・11巻 飛騨史学会
- 石原哲彌 1992「飛騨考古学研究史（12）佐藤泰郷と考古学研究」「どっこいし」40号 飛騨考古学会
- 伊藤雅文・谷口宗治 2006「石川県出土の縄文時代ヒスイ製品集成」『玉文化』第3号 日本玉文化研究会
- 稻垣晋也 1971「古瓦よりみたる飛鳥・白鳳期の寺院」『古代の日本』第9巻 角川書店
- 稻葉重成 2002『向町の移り変わり』
- 稻葉六郎 2002『福全寺と古川のひとびと』
- 大塚みつ編 1939『大塚行藏 飛騨考古学遺稿』大塚行藏飛騨考古学遺稿刊行会
- 井上善六 1996「刻文入石皿の新資料」『どっこいし』54号 飛騨考古学会
- 井上雅善 1999「中野山越遺跡の表探資料」『どっこいし』62号 飛騨考古学会
- 岩瀬山 1961「高原郷の弥生式遺跡について」『飛騨春秋』第57号 飛騨郷土学会
- 岩田修 2000「飛騨産・玉鶴の石器としての広がり」『どっこいし』64号 飛騨考古学会
- 岩田修 2012「旧石器～縄文時代草創期の下呂石」『斐太紀』通巻第7号 飛騨学の会
- 岩田修 2014「縄文時代草期～前期の下呂石」『斐太紀』通巻第11号 飛騨学の会
- 牛丸岳彦 2016a「第9章第1節 古墳時代に目を向けた人々」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 牛丸岳彦 2016b「第9章第2節 飛騨の古墳時代」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 江馬修 1934「再び環状石垣その他について二、土偶の新資料」『石冠』第2年第4号 飛騨考古学会
- 大石崇史 2010「飛騨の縄文集落」『季刊考古学』第114号（特集西日本の縄文集落と地域社会）雄山閣
- 大石崇史 2016「第4章縄文時代前期 第1節縄文時代ってどんな時代」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 大野雲外 1914「余が飛騨国に關係ある理由と其歴史」『飛騨史壇』第1巻第1号 飛騨史談会

- 大野雲外 1921 「或る奇形の石器に就いて」『民族と歴史』第6卷第2号 日本学術普及会
- 大野政雄 1963a 「御番屋敷先史時代住居址」『岐阜県指定文化財調査報告書』第6卷 岐阜県教育委員会
- 大野政雄 1963b 「信包八幡神社跡前方後円墳」『岐阜県指定文化財調査報告書』第6卷 岐阜県教育委員会
- 大野政雄 1963c 「杉崎廃寺跡」『岐阜県指定文化財調査報告書』第6卷 岐阜県教育委員会
- 佐藤達夫・大野政雄 1967 「岐阜県沢遺跡調査予報」『考古学雑誌』第53卷第2号 日本考古学会
- 大野政雄編 1970 「飛騨国中案内（増補完本）」（上村木曾右衛門『飛騨国中案内』（延享3年））
- 大野政雄 1972 「光泉寺古墳」『岐阜県指定文化財調査報告書』第15卷 岐阜県教育委員会
- 大野政雄 1973 「水上古墳」『岐阜県指定文化財調査報告書』第16卷 岐阜県教育委員会
- 大野政雄 1976a 「大洞平第1号古墳」『岐阜県指定文化財調査報告書』第19卷 岐阜県教育委員会
- 大野政雄 1976b 「大洞平第2号古墳」『岐阜県指定文化財調査報告書』第19卷 岐阜県教育委員会
- 大參義一 1968 「御物石器」『岐阜県指定文化財調査報告書』第11卷 岐阜県教育委員会
- 大參義一 1986 「犬塚行藏菟品集」『岐阜県指定文化財調査報告書』第29卷 岐阜県教育委員会
- 大宮次郎 2016 「第1章第5節 岐阜県文化財保護センターの発掘調査」『高山市史先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 岡村利平編 1909 「飛州志」住伊書店（長谷川忠崇『飛州志』（享保年間））
- 岡村利平編 1911 「飛騨山川」住伊書店
- 岡村利平編 1921 「飛騨編年史要」住伊書店
- 押上森藏 1926 「飛騨国出土古瓦」『考古学雑誌』第16卷第2号 日本考古学会
- 甲斐弓子 2006 「7世紀の伽藍配置にみられる政治背景」『月刊考古学ジャーナル』No.545 ニューサイエンス社
- 垣水富朗 1988 「飛騨地方の石器原材」『飛騨史学』第9卷 飛騨史学会
- 垣内富朗 1990 「古川町中野出土の「猿石」について」『どっこいし』34号 飞騨考古学会
- 笠原鳥丸 1963 「飛騨発見の立石遺構について」『飛騨春秋』第80号 飞騨郷土学会
- 梶山勝 1997 「尾張元興寺跡出土の忍冬蓮華文軒丸瓦をめぐって」『堅田直先生古希記念論文集』堅田直先生古希記念論文集刊行会
- 加藤輝次 1934 「大八賀村に於ける、けつ状耳飾の発見」『飛騨考古学会会報』第2年第1号 飞騨考古学会
- 神岡町教育委員会・富山大学人文学部考古学研究室 1995 『江馬氏城館跡I』
- 神岡町教育委員会・富山大学人文学部考古学研究室 1996 『江馬氏城館跡II』
- 神岡町教育委員会・富山大学人文学部考古学研究室 1997 『江馬氏城館跡III』
- 神岡町教育委員会 1981 『神岡の文化財』
- 神岡町教育委員会 1999 『江馬氏城館跡IV』神岡町埋蔵文化財調査報告第5集・江馬氏城館跡調査報告書第5集
- 神岡町教育委員会 2001 『江馬氏城館跡V』神岡町埋蔵文化財調査報告第6集・江馬氏城館跡調査報告書第6集
- 河合英夫 1994 「岐阜・杉崎廃寺」『木簡研究』第16号 木簡学会

- 河合英夫・島田敏男 1994 「飛騨の伽藍－杉崎廃寺の調査－」『月刊文化財』3 第一法規出版
- 河合英夫 2015a 「第1部第2章 弥生時代の古川盆地と飛騨」『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- 河合英夫 2015b 「第1部第3章 飛騨古川の古墳時代」『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- 河合英夫 2015c 「第1部第4章 遺跡からみた飛騨古川の古代」『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- 河合英夫 2015d 「第2部第6章 発掘された中・近世の飛騨古川」『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- 市川上寒朗 1935 「袈裟丸に下車して」『ひだびと』第3年第9号 飛騨考古土俗学会
- 上町遺跡金子地点・氷見地点発掘調査団 2001 『上町遺跡金子地点・氷見地点発掘調査報告書』古川町埋蔵文化財調査報告第6集 古川町教育委員会
- 上町遺跡C地点遺跡発掘調査団 1989 『上町遺跡C地点発掘調査報告書』古川町教育委員会
- 上町遺跡C地点遺跡発掘調査団 1991 『上町遺跡D地点発掘調査報告書』古川町教育委員会
- 上町遺跡トヨタ地点・O地点・栗原センター地点発掘調査団 1994 『上町遺跡トヨタ地点・O地点・栗原センター地点発掘調査報告書』古川町埋蔵文化財調査報告第4集 古川町教育委員会
- 岐阜県 1972 『岐阜県史』(通史編 原始)
- 岐阜県教育委員会 1962 『岐阜県遺跡目録』岐阜県文化財調査報告書第2輯
- 岐阜県教育委員会 1975 『岐阜県指定文化財調査報告書』第18卷
- 岐阜県教育委員会 2005 『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』第4集 (飛騨地区・補遺)
- 岐阜県教育会 1923 『濃飛両国通史』
- 岐阜県博物館 1992 『特別展 飛騨のあけぼの』
- 岐阜県博物館 1995 『特別展 美濃・飛騨の古代史発掘－律令国家の時代－』
- 岐阜県博物館 2017 『壬申の乱の時代－美濃国・飛騨国の誕生に迫る』平成29年度秋季特別展
- 岐阜県吉城郡国府村 1934 『国府村紀要』
- 岐阜県吉城郡袖川村教育会 1917 『袖川村誌』
- 桐原健 2006 「飛騨で獲たもの」『どっこいし』83号 飞騨考古学会
- 栗山邦二 1968 「飛騨古川付近の遺跡巡り」『大境』第4号 富山考古学会
- 桑谷正道 1965 「神岡町駆け歩る記」『飛騨春秋』第104号 飞騨郷土学会
- 桑谷正道 1966 「古川町駆け歩る記」『飛騨春秋』第109号 飞騨郷土学会
- 桑谷正道 1968 「飛騨の古文書（一）」『飛騨春秋』第134号 飞騨郷土学会
- 国府町史刊行委員会 2007 『国府町史』(考古・指定文化財編)
- 国府町史刊行委員会 2011 『国府町史』(通史編1)
- 後藤勝也 2005 「飛騨古代史雜考 飞騨の古代寺院と「名代」」『飛騨春秋』第530号 飞騨郷土学会
- 後藤新三郎 1990 「氣多若宮神社の造営と古墳」『氣多若宮神社要項』氣多若宮神社
- 小鷹ふさ子 1978 「飛騨の伝説（五）」『飛騨春秋』第242号 飞騨郷土学会
- 小林達雄編 2008 『続観縄文土器』アム・プロモーション
- 財団法人岐阜県教育文化財団 2005 『太江遺跡II』岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第94集
- 財団法人岐阜県教育文化財団 2006 『西ヶ洞廃寺跡・中野山越遺跡・中野大洞平遺跡・大洞平5号古墳』岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第98集

- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2007 『中野大洞平遺跡II』岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第107集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1995 『岡前遺跡』岐阜県文化財保護センター調査報告書第20集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 2002 『太江遺跡・寿楽寺廃寺跡』岐阜県文化財保護センター調査報告書第74集
- 佐伯哲也 2006 「公園整備前の東町城跡写真について」『濃飛史紳』第89号 岐阜県歴史史料保存協会
- 佐伯哲也 2018 『飛騨中世城郭図面集』桂書房
- 笛ヶ洞区 1985 『笛ヶ洞沿革史 恵比須の郷』
- 佐藤泰郷 1909 『莧菜園集』3
- 柴田袖水 1937 『高原郷土史』住伊書店
- 柴田常惠 1916 「飛騨吉城郡国府村瓜果の窯址に就て」『飛騨史壇』第2巻第8号 飛騨史談会
- 島田貞彦 1928 「第五圖古跡器」『有史以前の近江』
- 上嶋善治 1995 「連弧文」を有する土器について」『どっこいし』50号 飛騨考古学会
- 上嶋善治 2001 「飛騨地方の古墳調査の歩み」『美濃・飛騨の古墳とその社会』同成社
- 白川修平 2018 「左近廃寺と寿楽寺廃寺」『斐太紀』通巻第20号 飛騨学の会
- 杉崎区郷土史編纂委員会 2015 『郷土史 小島の郷』
- 杉崎廃寺跡発掘調査団 1998 『杉崎廃寺跡発掘調査報告書』古川町埋蔵文化財調査報告第5集 古川町教育委員会
- 菅田一衛 1985 「古墳のある神社について」『飛騨春秋』第321号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1987a 「桜野発掘物語(二)」『飛騨春秋』第337号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1987b 「桜野発掘物語(五)」『飛騨春秋』第340号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1987 「桜野発掘物語(六)」『飛騨春秋』第342号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1988 「横穴古墳の終末(二)」『飛騨春秋』第355号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1991 「城の話(七)」『飛騨春秋』第370号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1994 「寿楽寺の古代瓦問題提起」『飛騨春秋』第404号 飛騨郷土学会
- 菅田一衛 1995 「古川岩井戸観音堂と砦と石器」『飛騨春秋』第415号 飛騨郷土学会
- 角竹喜登 1934 「吉城郡小鷹利村大字信包の古代窯址」『石冠』第2年第4号 飛騨考古土俗学会
- 角竹喜登 1938 「杉崎廃寺跡」『岐阜県史跡名勝天然記念物調査報告書』第7集 岐阜県
- 角竹喜登 1971 「十能寺在銘の土器」『飛騨春秋』第168号 飛騨郷土学会
- 角竹喜登 1935 「天台宗安峰山西峰寺跡調査概要」『ひだびと』第3年第6号 飛騨考古土俗学会
- 角竹如山 1916 「小鷹利村高野の古墳に就いて」『飛騨史壇』第2巻第8号 飛騨史談会
- 多賀秋五郎 1941 『飛騨史の研究』濃飛文化研究会
- 多賀秋五郎 1982 「飛騨古川町の成立過程について」『飛騨史学』第3巻 飛騨史学会
- 高山考古学会 1986 「縄文時代晩期」『飛騨の縄文時代』高山市教育委員会
- 高山市教育委員会 1985 『飛騨の考古学集成I』高山市埋蔵文化財調査報告書11号
- 高山市教育委員会 1986 『飛騨の縄文時代』
- 高山市教育委員会 1987 『飛騨の考古学遺物集成II』高山市埋蔵文化財調査報告書12号

- 高山市教育委員会 2016『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号
- 竹原淑美 1991a「左近出土の風字硯と瓦」『どっこいし』38号 飛騨考古学会
- 竹原淑美 1991b「刻字「夷」のある須恵器片」『どっこいし』38号 飛騨考古学会
- 竹原淑美 1992「出土瓦と転用遺物」『どっこいし』40号 飞騨考古学会
- 田中彰 1994「国分寺、国分尼寺と条理」『飛騨春秋』第401号 飞騨郷土学会
- 田中彰 1999「三仏寺廃寺の遺構と遺物」『飛騨春秋』第457号 飞騨郷土学会
- 田中彰 2001「飛騨地域の古墳」『美濃・飛騨の古墳とその社会』同成社
- 田中彰 2016「第1章第2節 近代考古学の先覚者」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 田中正太郎 1891「飛騨国石世期の遺跡」『東京人類学会雑誌』第6卷第62号 東京人類学会
- 田中正太郎 1892「飛騨国に於ける金属時代の遺跡」『東京人類学会雑誌』第7卷第77号 東京人類学会
- 田中正太郎 1895「石器時代の曲玉に就いて」『東京人類学会雑誌』第10卷第109号 東京人類学会
- 谷口研吾 2007『飛騨・三木一族』新人物往来社
- 辻合喜代太郎 1965「図様のある須恵器 提瓶と石製円板」『飛騨春秋』第103号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1957「太江かま谷出土の古鏡について」『飛騨春秋』第14号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1958「清楽出土の土器について」『飛騨春秋』第24号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1959「高原峠の石器時代遺跡地を探る」『飛騨春秋』第34号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1960「寿楽寺と左近出土の古瓦について」『飛騨春秋』第41号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1961a「古川町太江釜谷出土の古鏡」『飛騨春秋』第57号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1961b「古川町中野出土の古鏡」『飛騨春秋』第57号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1963「昭和37年度の耕地整理で得たもの」『飛騨春秋』第77号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1964「飛騨における中世の瓦について」『飛騨春秋』第83号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1966「飛騨のヒスイとその考古学的意義」『飛騨春秋』第106号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1968「国府町内史跡めぐり」『飛騨春秋』第132号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1970「信包出土の一頭石斧について」『飛騨春秋』第154号 飞騨郷土学会
- 土田吉左衛門 1988「飛騨一宮と神鏡について」『飛騨春秋』第353号 飞騨郷土学会
- 都竹昭雄 1999「中井正幸先生講演会」『どっこいし』62号 飞騨考古学会
- 戸田哲也 1982「飛騨における晚期縄文土器の様相」『信濃』第34卷第4号 信濃史学会
- 戸田哲也 2001「岐阜県における縄文時代集落の諸様相」『列島における縄文時代集落の諸様相』第1回研究集会基礎資料集 縄文時代文化研究会
- 戸田哲也 2015「第1部第1章 旧石器、縄文時代の飛騨と古川地域」『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- どっこいし編集部 1993「中野山越遺跡の表探資料」『どっこいし』43号 飞騨考古学会
- どっこいし編集部 1994「大型蛤刃石斧の追加集成」『どっこいし』46号 飞騨考古学会
- どっこいし編集部 1995「有舌尖頭器の追加集成」『どっこいし』49号 飞騨考古学会
- どっこいし編集部 2010「大型蛤刃石斧の追加資料」『どっこいし』93号 飞騨考古学会
- 富田礼彦編 1915『大日本地誌体系 豊太後風土記』雄山閣（富田礼彦『斐太後風土記』（明治6年））

- 富田令禾 1964 「性石隨想（下）」『飛驒春秋』第 84 号 飛驒郷土学会
- 富田令禾 1965a 「風土書上帳（六）」『飛驒春秋』第 95 号 飛驒郷土学会
- 富田令禾 1965b 「風土書上帳（九）」『飛驒春秋』第 99 号 飛驒郷土学会
- 富田令禾 1966a 「風土書上帳（十四）」『飛驒春秋』第 105 号 飛驒郷土学会
- 富田令禾 1966b 「風土書上帳（十五）」『飛驒春秋』第 106 号 飛驒郷土学会
- 富田令禾 1966c 「風土書上帳（十七）」『飛驒春秋』第 109 号 飛驒郷土学会
- 長倉三朗 1958 「飛驒の瓦窯」『飛驒春秋』第 26 号 飛驒郷土学会
- 長倉三朗 1962 「飛驒窯業史（総説）」『飛驒春秋』第 65 号 飛驒郷土学会
- 中島栄一 1983 「石冠・土冠」『縄文文化の研究』9巻 雄山閣
- 中野効四郎 1970 『岐阜県の歴史』（県史シリーズ 21） 山川出版社
- 中野山越遺跡発掘調査団 1993 『中野山越遺跡』古川町埋蔵文化財調査報告第3集 古川町教育委員会
- 成瀬正勝 2001 「横穴式石室の導入」『美濃・飛驒の古墳とその社会』同成社
- 西田生男 1994a 「眠れる遺跡はよみがえるか 間われる文化財保護」『飛驒春秋』第 397 号 飛驒郷土学会
- 西田生男 1994b 「天武朝における草壁皇子と大津皇子そして行心」『飛驒春秋』第 403 号 飛驒郷土学会
- 西田生男 1994c 「飛驒の万葉歌碑を訪ねて」『飛驒春秋』第 407 号 飛驒郷土学会
- 西田生男 1995 「木簡から古代を知る」『飛驒春秋』第 419 号 飛驒郷土学会
- 丹生川村教育委員会 1990 『丹生川村の文化財』
- 野村宗作 1986 「莊白川地域の考古学の一考察」『飛驒史学』第 7巻 飛驒史学会
- 野村太郎左衛門 1936 「我が村の神社・寺院」『斐太の細江』細江村教育委員会
- 長谷川幸志 2015 「資料集成 岐阜県」『縄文研究と美術・縄文時代の装身具』第 16 回関西縄文文化研究会発表要旨・資料集 関西縄文文化研究会
- 長谷川豊 1995 「飛驒における縄文時代中期後葉の堅穴住居址について」『飛驒と考古学』飛驒考古学会
- 八賀晋 1995 「飛驒の古代古墳について」『飛驒と考古学』飛驒考古学会
- 八賀晋 2001 「飛驒国伽藍について」『美濃・飛驒の古墳とその社会』同成社
- 八賀晋 2004 「信包八幡神社古墳測量調査報告書」飛驒市教育委員会
- 馬場伸一郎 2016 「第 8 章第 3 節 各時期の遺跡と遺物」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第 5 号 高山市教育委員会
- 早川万年 2015a 「荒城郡の古代」『飛驒古川歴史をみつめて』飛驒市
- 早川万年 2015b 「古代史上の飛驒」『飛驒古川歴史をみつめて』飛驒市
- 林魁一 1933 「飛驒高山付近の石器時代遺物及び遺跡」『史前学雑誌』第 5 卷第 2 号 史前学会
- 林魁一 1938 「吉城郡阿曾布村の遺跡」『ひだひと』第 6 年第 5 号 飛驒考古土俗学会
- 林魁一 1951 「岐阜県発見の子持ち曲玉について」『岐阜史学』第 1 号 岐阜史学会
- 飛驒考古土俗学会 1935 『飛驒石器時代遺跡地名表』
- 飛驒国府シンポジウム実行委員会 1988 『飛驒国府シンポジウム 古代の飛驒』（その先進性を問う）

- 飛騨国府シンポジウム実行委員会 1991『第2回飛騨国府シンポジウム 飛騨と文化』(豊かな生活の再現)
- 飛騨国府シンポジウム実行委員会 1994『第3回飛騨国府シンポジウム 日本歴史の中の飛騨』(両面宿禰と新羅の僧「行心」)
- 飛騨国府シンポジウム実行委員会 1997『第4回飛騨国府シンポジウム 飛騨の古墳時代』(その文化と生産)
- 飛騨市教育委員会 2009『神岡町史』通史編 I
- 飛騨市教育委員会 2010a『江馬氏城館跡VI』飛騨市文化財調査報告書第1集
- 飛騨市教育委員会 2010b『増島城跡』飛騨市文化財調査報告書第3集
- 飛騨市教育委員会 2012『杉崎廃寺跡2』飛騨市文化財調査報告書第5集
- 飛騨市教育委員会 2013『上町遺跡向町地点』飛騨市文化財調査報告書第6集
- 飛騨市教育委員会 2014『黒内細野遺跡』飛騨市文化財調査報告書第8集
- 飛騨市教育委員会 2016『上町遺跡第28~33・37次』飛騨市文化財調査報告書第9集
- 飛騨市教育委員会 2017a『沢遺跡』飛騨市文化財調査報告書第10集
- 飛騨市教育委員会 2017b『信包中原田古窯跡』飛騨市文化財調査報告書第11集
- 飛騨市教育委員会 2017c『百足城跡現地説明会資料』
- 飛騨市教育委員会 2018a『飛騨市遺跡地図』飛騨市文化財調査報告書第12集
- 飛騨市教育委員会 2018b『上町遺跡7』飛騨市文化財調査報告書第13集
- 飛騨市教育委員会 2018c『小島城跡現地説明会資料』
- 飛騨市教育委員会 2018d『古川城跡現地説明会資料』
- 飛騨市美術館 2017『石棒の聖地 塩屋を掘る』
- 福田夕咲 1935『河合、小鷹利界隈』『ひだびと』第3年第9号 飛騨考古土俗学会
- 藤井康隆・森島一貴 2013『飛騨の横穴式石室について』『飛騨と考古学』III 飛騨考古学会
- 藤田富士夫 1990『古代の日本海文化海人文化の伝統と交流』中央公論社
- 藤本健三 1993『飛騨の古墳出現の一考察』『飛騨春秋』第392号 飛騨郷土学会
- 古川町教育委員会編 1986『千代の鏡』『古川町史』史料編 3
- 古川町教育委員会 1988『古川町の文化財』
- ふるさと神岡を語る会 2002『神岡の地名三 鹿間以北編』ふるさと調べ第9集
- ふるさと神岡を語る会 2007『神岡の城(下)』ふるさと調べ第12集
- 星野直哉 1998『飛騨地方古代寺院を考える』『どっこいし』58号 飛騨考古学会
- 星野直哉 2000『飛騨地方古代寺院を考える』『どっこいし』65号 飛騨考古学会
- 細江村郷土史研究会編 1956『御番屋敷遺址の研究』細江村教育委員会
- 堀祥岳 2015『中世古川をめぐる相克』『飛騨古川歴史をみつめて』飛騨市
- 堀祥岳 2018『「飛騨における古代寺院の再検討」にむけて』国府史学会 30年12月例会資料
- 町川克己 2019『平成が終わる』『どっこいし』117号 飛騨考古学会
- 三島誠 2009『岐阜県出土の繩文ヒスイ玉集成』『玉文化』第6号 日本玉文化研究会
- 三好清超 2011『杉崎廃寺跡における寺域確認調査について』『研究事業報告』(平成22年度版) 岐阜県ミュージアムひだ

- 三好清超 2012 「江馬氏下館跡庭園の発掘調査成果について」『遺跡学研究』第9号 日本遺跡学会
- 三好清超 2015 「上町遺跡の近年の発掘調査から」飛騨市図書館歴史講座資料
- 三好清超 2016a 「第10章第1節 古代寺院」『高山市史 先史時代から古代編』高山市史編纂資料第5号 高山市教育委員会
- 三好清超 2016b 「飛騨市神岡町殿宇坂口における中世遺跡について」『飛騨の中世』第7号 飛騨中世史の会
- 三好清超 2017 「飛騨市神岡町東雲遺跡における採集遺物について」『飛騨の中世』第8号 飛騨中世史の会
- 三好清超 2017 「上町遺跡第50次調査における礎石建ち竪穴建物跡」『飛騨の中世』第8号 飛騨中世史の会
- 三好清超 2018a 「中部地方の一本づくり・一枚づくり」『8世紀の瓦づくりVII—一本づくり・一枚づくりの展開1—』発表要旨 奈良文化財研究所
- 三好清超 2018b 「寿楽寺廃寺跡の保存目的調査と活用への展望」『遺跡学研究』第15号 日本遺跡学会
- 三好清超 2018c 「寿楽寺廃寺跡と明科廃寺跡の軒丸瓦の範傷と先後関係について」『「渡来人と寺・道—ヒト・モノ・情報の交差する歴史空間—」講演会・相互討論資料集』積石塚・渡来人研究会 森浩一・八賀晋『飛騨 よみがえる山国の歴史』大巧社
- 森本一雄 1964 「飛騨城址図説(一七)」『飛騨春秋』91号 飛騨郷土学会
- 森本一雄著 1987 『定本 飛騨の城』
- 八木獎三郎 1894 「本邦諸地方より見せる石器の種類」『東京人類学会雑誌』第9卷第95号 東京人類学会
- 八幡一郎 1934 「飛騨考古学関係文献抄(二)」『石冠』第2年第3号 飛騨考古学会
- 八幡一郎 1935a 「飛騨考古学関係文献抄(四)」『ひだびと』第3年第5号 飛騨考古土俗学会
- 八幡一郎 1935b 「飛騨考古学関係文献抄(五)」『ひだびと』第3年第6号 飛騨考古土俗学会
- 山路直充 2013 「山国の寺—情報伝播からみた山国の交通—」『古代山国の交通と社会』八木書店
- 吉朝則富 1981 「飛騨の遺跡-10・沢遺跡」『どっこいし』11号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1987 「飛騨地方における冠の分布とその機能について」『飛騨史学』第8卷 飛騨史学会
- 吉朝則富 1989 「飛騨の弥生時代石器(1)」『どっこいし』31号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1990 「飛騨の弥生時代石器(2)」『どっこいし』34号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1991a 「飛騨における押型文土器の様相」『飛騨史学』第12卷 飛騨史学会
- 吉朝則富 1991b 「飛騨の弥生時代石器(6) 磨製石剣」『どっこいし』36号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1991c 「飛騨の弥生時代石器(7) 環状石斧、多頭石斧」『どっこいし』37号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1991d 「有舌尖頭器の新資料」『どっこいし』37号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1992a 「飛騨の弥生時代石器」『飛騨春秋』第370号 飞騨郷土学会
- 吉朝則富 1992b 「異形部分磨製石器の新資料」『どっこいし』39号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1992c 「石冠の追加資料」『どっこいし』40号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1993a 「異形石器考」『どっこいし』42号 飞騨考古学会
- 吉朝則富 1993b 「国府・神岡方面見学会」『どっこいし』43号 飞騨考古学会

- 吉朝則富 1993c 「飛騨のおいねずみ型石とその類型について」『どっこいし』44号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1994 「石鋸形石冠の系譜について」『どっこいし』45号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1995a 「飛騨における鏃をもつ大型石棒の分布について」『飛騨と考古学』飛騨考古学会
- 吉朝則富 1995b 「独鉛石の追加資料」『どっこいし』48号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1998a 「古川町黒内の考古遺物」『どっこいし』57号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1998b 「山下コレクション見学記」『どっこいし』57号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 1998c 「古川町笛ヶ洞津武里の硬玉製大珠ほか」『どっこいし』59号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2001a 「飛騨の尖頭器集成」『飛騨と考古学』II 旧石器特集号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2001b 「有舌尖頭器集成」『飛騨と考古学』II 旧石器特集号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2001c 「飛騨地方の石冠追加集成」『どっこいし』66号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2006 「異形部分磨製石器について(3)」『どっこいし』81号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2008a 「辰馬考古資料館見学記」『どっこいし』89号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2008b 「高山市照蓮寺田近コレクション見学記」『どっこいし』89号 飛騨考古学会
- 吉朝則富 2010 「飛騨の石冠集成(3)」『どっこいし』93号 飛騨考古学会
- 若田俊一・吉朝則富 1996 「神岡町山田発見の石冠」『どっこいし』53号 飛騨考古学会
- 若林勝邦 1894 「雑報」『東京人類学会雑誌』第9卷第95号 東京人類学会

報告書抄録

飛驒市文化財調査報告書 第14集

飛驒市遺跡詳細分布調査報告 －古川町・神岡町－

発行日 平成31（2019）年3月15日

編集・発行 飛驒市教育委員会

〒509-4292 岐阜県飛驒市古川町本町2番22号

TEL 0577-73-7496 FAX 0577-73-7497

印刷・製本 有限会社 毛野考古学研究所 富山支所

〒939-0351 富山県射水市戸波1679番地3

太閤山老番館A号室

TEL/FAX 0766-57-1618

毎日印刷社

〒506-1161 岐阜県飛驒市神岡町船津1152番地1

TEL 0578-82-0447 FAX 0578-82-5101